
豊田市の教育に関するアンケート調査

報 告 書

令和7年3月
豊田市教育委員会

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査方法及び調査期間	1
4 回収結果	2
5 報告書の見方	2
6 調査項目	3
7 結果概要	5
第2章 回答者の属性	13
1 市民	13
2 小学生・中学生	16
3 保護者	19
4 教員、校長・教頭	22
第3章 学校教育について	25
1 学校全般	25
2 授業	35
3 小中一貫教育・小中連携	38
4 教育環境	41
5 特色ある教育	48
6 教師	54
7 給食	59
第4章 家庭や地域と連携した教育について	63
1 家庭、学校、地域の役割	63
2 子どもの生活	67
3 家庭の状況	71
4 地域の教育力	76
第5章 生涯学習について	87
1 学習や活動	87
2 交流館	89
3 中央図書館	91
4 読書	94
第6章 文化・芸術について	96
1 文化・芸術への関心や活動状況	96

2 文化・芸術振興、文化財保護	105
3 子どもと文化・芸術	108
第7章 スポーツについて	115
1 するスポーツ	115
2 みるスポーツ	124
3 支えるスポーツ	127
4 スポーツ振興に向けて	131
第8章 教育行政について	134
1 教育委員会による学校支援	134
2 教育情報や計画の推進	140
調査票	144

第1章 調査の概要

1 調査目的

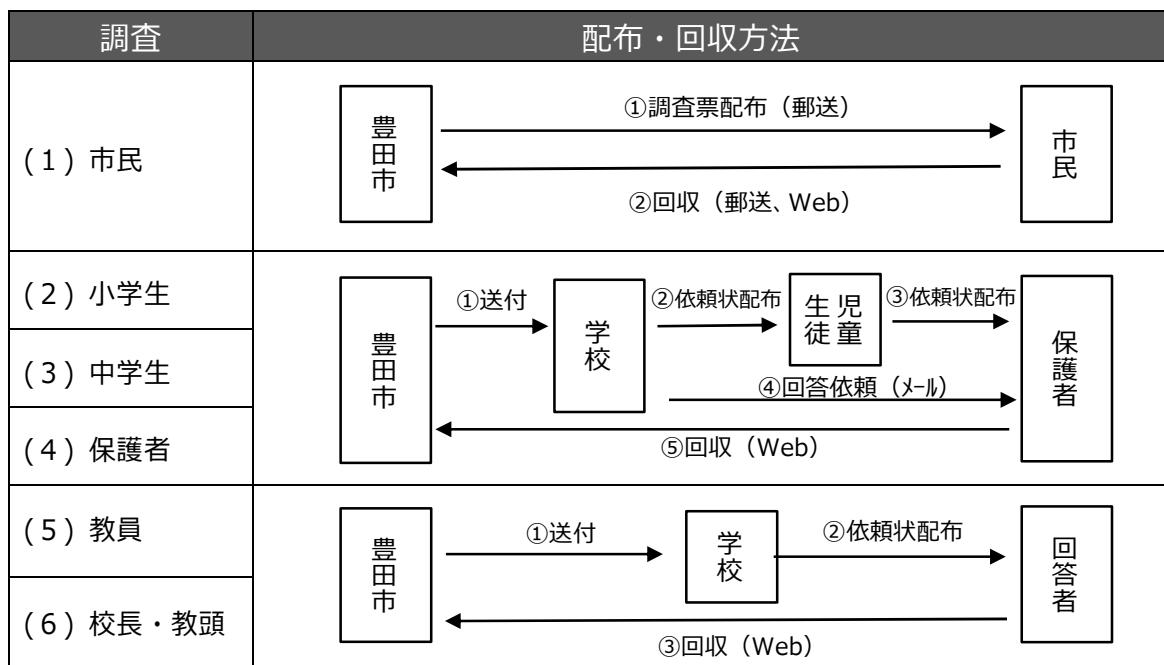
新たな教育行政計画を策定するにあたり、本市の教育行政を取り巻く現状を把握するとともに、今後の重点施策として検討が必要な事柄について、アンケート調査を行う。また、現在の計画において設定されている数値目標について、達成状況を把握し、計画の進捗状況の評価に利用する。

2 調査対象

調査	対象者	配布数	備考
(1) 市民	16歳以上の市民	3,688人	うち約140人は外国人
(2) 小学生	市内の小学校5年生	1,700人	
(3) 中学生	市内の中学校2年生	1,450人	
(4) 保護者	(2)(3)の対象者の保護者	3,150人	
(5) 教員	市内の公立小中学校の教員	2,287人	
(6) 校長・教頭	市内の公立小中学校の校長・教頭	206人	
合 計		12,481人	

3 調査方法及び調査期間

○配布・回収方法



○調査期間

2024年8月～9月

4 回収結果

調査	配布数	有効回収数	回収率
(1) 市民	3,688人	1,775人	48.1%
(2) 小学生	1,700人	1,624人	95.5%
(3) 中学生	1,450人	1,323人	91.2%
(4) 保護者	3,150人	1,882人	59.7%
(5) 教員	2,287人	1,998人	87.4%
(6) 校長・教頭	206人	201人	97.6%
合 計	12,481人	8,803人	70.5%

5 報告書の見方

- 基底となるべき実数(N)は、設問に対する回答者数を表す。
- 集計は、小数点第2位を四捨五入している。そのため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基底として算出している。そのため、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- 同じ項目の設問であるが、対象によって設問文が異なるものについて、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- 前回調査との比較を掲載している表については、今回調査の結果に薄い網掛けをしている。
- グラフや表、本文中に「今回」「前回」と記載している箇所がある。「今回」については、2024年8月～9月に実施した調査、「前回」については、2020年7月～9月に実施した調査を指している。
- クロス集計結果の表を掲載している設問がある。表については、項目ごとに上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしている。ただし、Nが10未満の場合は網掛けをせず、コメントの記載もしていない。また、表側部分における無回答については記載していないため、クロス集計の回答者数の合計と全体の回答者数の合計が一致しないことがある。

6 調査項目

			市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
学校教育	1 学校全般	① 学校生活の満足度		問1	問1	問1		
		② 学校生活に満足している理由		問2	問2			
		③ 学校生活に満足していない理由		問3	問3			
		④ 児童生徒の状況				問3~6	問2~5	問2~5
		⑤ 学校が一層力を入れるべきこと	問1	問6	問6	問2	問1	問1
		⑥ 現在の学校教育の問題点	問2					
		⑦ 学校運営での課題						問17
	2 授業	① 授業の満足度		問4	問4	問7		
		② 好きな授業・学習内容		問5	問5			
		③ 授業に対する子どもの理解度					問6	
	3 小中一貫教育・小中連携	① 中学に進学する（した）ときの不安		問8~10	問9~11			
		② 中1ギャップの状況					問11	問10
		③ 小中一貫教育や小中連携の手法					問12	問11
	4 教育環境	① (小学校)1学年あたりの最低でも必要なクラス数	問7			問11	問13	問12
		② (中学校)1学年あたりの最低でも必要なクラス数	問7			問11	問14	問13
		③ 小規模校の対策の方法				問12	問15	問14
		④ 大規模校の対策の方法				問13	問16	問15
		⑤ 通学時間				問14		
		⑥ 通学時間の妥当性				問15		
	5 特色ある教育	① 特色のある教育として重要なこと・学びたいこと	問3	問7	問7	問9	問8	問7
		② 将来の職業を考えるために必要なこと			問8			
		③ インクルーシブ教育システムの推進に必要なこと	問4			問10	問9	問8
		④ 外国人児童生徒への支援					問10	問9
	6 教師	① 教師に期待すること					問8	
		② 教師の教育活動の状況					問7	問6
		③ 今後充実を希望する研修内容					問17	問16
	7 給食	① 給食の満足度		問11	問12	問16		
		② 給食に満足している理由		問12	問13	問17		
		③ 給食に満足していない理由		問13	問14	問18		
家庭や地域と連携した教育	1 家庭、学校、地域の役割	① 家庭、学校、地域それぞれの役割	問10			問24	問18	問18
		② 自分のよいところ		問14	問15			
	2 子どもの生活	② 学習塾・習い事の状況		問16・17	問17・18			
		③ 電子メディアの閲覧頻度		問18	問19			
	3 家庭の状況	① 学校や勉強についての会話		問15	問16	問19		
		② 現在の暮らしあい				問20		
		③ 家庭の教育力が低下している原因				問21	問19	問19
		④ 家庭教育への評価	問9			問23	問21	問21
	4 地域の教育力	① 近所の子どもとの会話	問8					
		② 地域の大人との関わり		問21	問22			
		③ 地域の行事や活動への参加状況		問19	問20			
		④ 参加している地域活動の内容		問20	問21			
		⑤ 住んでいる地域への愛着		問31	問32			
		⑥ 学校と地域の連携で重要なこと	問5					
		⑦ 保護者・住民の学校への協力・参加	問6			問25	問22	問22
		⑧ 地域の教育力の課題				問22	問20	問20

			市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
生涯学習	1 学習や活動	① 自主的な学習や活動の状況	問11					
	2 交流館	① 交流館の利用状況	問12					
		② 交流館を利用したことがない理由	問13					
	3 中央図書館	① 中央図書館の利用状況	問14					
		② 中央図書館を利用したことがない理由	問15					
		③ 図書館に求めるもの・学校との連携					問23	問23
	4 読書	① 学校以外での読書頻度		問22	問23			
		② 図書コーナーの利用頻度		問23	問24			
文化・芸術	1 文化・芸術への関心や活動状況	① 文化・芸術等に関する興味	問16	問24	問25			
		② 市内の文化施設の利用状況	問17					
		③ 鑑賞・見学した分野	問18					
		④ 鑑賞・見学する上で困ること	問19					
		⑤ 日頃行っている文化・芸術活動の分野	問20					
		⑥ 文化・芸術活動をする上で困ること	問21					
		⑦ 文化・芸術活動への支援状況	問22					
	2 文化・芸術振興、文化財保護	① 地域の文化的環境の充実に向けて	問23					
		② 市の歴史・文化財の継承、魅力発信	問24					
		③ 地域の文化的環境が充実する効果	問25					
	3 子どもと文化・芸術	① 子どもと利用したい文化・スポーツ施設				問26	問24	問24
		② 博物館と学校の連携				問25	問25	問25
		③ 鑑賞・見学した回数		問25	問26			
		④ 文化鑑賞や文化活動の意向と内容		問26	問27			
		⑤ 子どもの文化鑑賞・活動で困ること				問27		
		⑥ 充実していくとよい催しものや取組				問28		
スポーツ	1 するスポーツ	① 運動・スポーツの実施状況と内容	問26					
		② 運動・スポーツの実施頻度	問27					
		③ 運動・スポーツをする理由	問28					
		④ 運動・スポーツをしなかった理由	問29					
		⑤ 子どもの学校以外での運動・スポーツの実施頻度		問27	問28			
		⑥ 子どもの軽い運動を加えたスポーツの実施頻度		問28	問29			
		⑦ 子どもの学校以外での運動・スポーツの実施状況				問29		
	2 みるスポーツ	① 子どものスポーツ観戦の状況		問29・30	問30・31			
		② スポーツ観戦した種目	問31					
	3 支えるスポーツ	① スポーツに関する取組や人材の認知度	問30					
		② スポーツチームの認知度	問33					
		③ スポーツ支援への参加状況	問34					
		④ 学校以外でのスポーツ指導の状況					問26	
教育行政	4 スポーツ振興に向けて	① スポーツ情報で不足している内容	問35					
		② 豊田スタジアム等の利活用	問32					
		③ 市が力を入れるべきこと	問36					
		④ 教育委員会による学校支援						
		① 職務上の多忙感					問27	
		② 自分の裁量で使える時間					問28	
		③ 学校の職場環境					問29	問26
		④ 教育委員会の専門的な支援					問30	問27
	2 教育情報や計画の推進	⑤ 学校の組織的な対応					問31	問28
		① 市内の教育行政情報の入手方法	問37					
		② 今後提供すべき教育行政の情報	問38					
		③ 学校からの情報提供の状況				問30		
		④ 学校評価の課題				問31		

7 結果概要

■学校教育について

【学校全般】

- 学校生活について「満足」「ほぼ満足」と回答した小学生は80.6%、中学生は76.8%、保護者は71.5%である。前回と比べると、中学生・保護者ともに「満足」「やや不満」の割合が減少し、「ほぼ満足」の割合がやや増加している。
- 学校生活に満足している理由としては、小・中学生ともに「友達といっしょに遊んだりするのが楽しいから」が最も多くなっている。次いで、小学生では「学校の行事が楽しいから」「勉強がおもしろいから」、中学生では「部活動が楽しいから」「学校の行事が楽しいから」が多くなっている。
- 学校生活に満足していない理由としては、小・中学生ともに「勉強がよくわからないから」が最も多く、次いで「楽しいと思うことがない」となっている。
- 学校が一層力を入れるべきことがあるとしている理由としては、「基礎的な知識や技能」「自分で考え、判断する力」「思いやりや優しさなどの心」「様々な人と協力して行動する力」が多くなっている。小・中学生では「生きる指針や夢」も多い。
- 現在の学校教育の問題点について、市民は「教師が多忙すぎる」「教師の立場が弱すぎる」「いじめ、学級崩壊などの問題行動が多い」「子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい」が比較的多い。

【授業】

- 授業について「満足」「ほぼ満足」と回答した小学生は73.7%、中学生は62.0%である。前回と比べて「満足」「ほぼ満足」の割合が若干減少している。
- 好きな授業や学習内容について、小・中学生ともに「学校の外で見たり体験したりする学習」「グループで考えたり協力したりする学習」が多い。
- 授業に対する子どもの理解度について、前回と比べて、教員は「8割程度、理解していると思う」の割合が減少し、「半分程度、理解していると思う」の割合が52.0%に増加している。

【小中一貫教育・小中連携】

- 中学に進学したときの不安について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合をみると、中学生は「授業が急に難しくなって大変だと思った」が67.1%、「他の学校出身の子と仲良くなることに苦労した」が25.1%、「先生に気軽に相談しづらくなった」が23.2%となっている。

- 「中1ギャップ」を抱えている生徒がいるかについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、教員が79.1%、校長・教頭が71.2%となっている。

【教育環境】

- 1学年あたりの最低でも必要なクラス数について、小学校は「2クラス以上」が市民で67.5%、保護者で73.4%、中学校は市民で74.9%、保護者で80.6%となっている。
- 小規模校の対策の方法として、保護者、教員では「他校との行事等の合同実施」が最も多くなっている。次いで、保護者では「小中連携や小中一貫教育を推進する」、教員では「ICTを活用した遠隔授業の実施」が多くなっている。校長・教頭では「学校の統合を検討する」が最も多く、次いで「ICTを活用した遠隔授業の実施」が多くなっている。
- 大規模校の対策の方法として、教員、校長・教頭では「教員を増員し、連携強化や学校運営を充実させる」が最も多く、次いで「補助員やスタッフを増員し、連携強化や学校運営を充実させる」が多くなっている。保護者では「地域事情等を考慮しながら学区を見直して児童生徒数を適正化する」も多い。

【特色ある教育】

- 特色ある教育（小・中学生は学校で学びたいこととして質問）について、市民、保護者、教員、校長・教頭では「体験を重視した教育」、小学生は「運動・スポーツ」、中学生は「キャリア教育（人生設計・職業体験）」が最も多くなっている。
- インクルーシブ教育システムの推進に必要なこととして、市民、保護者では「支援人材の確保・増員」、教員、校長・教頭では「教員数の確保・増員」が最も多くなっている。この他、「学校の施設整備の拡充・充実」「教職員をはじめとする人材の専門性の確立」「少人数学級の拡充」など多様な項目で必要との回答が多い。
- 将来の職業を考えるために必要なこととして、中学生では「仕事をするためにどんなことが大切で、どんな勉強をする必要があるのかを学ぶ」が最も多く、次いで「自分にどんな仕事が向いているのかをじっくり考える機会をつくる」が多くなっている。
- 外国人児童生徒への支援について、教員、校長・教頭ともに「外国人児童生徒の日本語学習支援」が最も多く、次いで「保護者への支援（日本語の学習機会、通訳・翻訳支援、外国語表記など）」が多くなっている。

【教師】

- 教師に期待することについて、保護者では「子どもの気持ちを理解しようとすること」が最も多く、次いで「専門的知識が豊富であったり、教え方がうまいこと」「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」が多くなっている。

- 教師の教育活動の状況について「できていない」「どちらかといえばできていない」の合計をみると、教員では「十分な授業の準備をする」が34.3%と他の項目と比べて多い。また、年齢の若い教員では「学級を円滑に運営する」「特別な配慮が必要な子への支援」の割合が他の年代と比べて高い傾向がみられる。
- 今後充実を希望する研修内容として、教員では「教科（道徳含む）の指導」が最も多く、次いで「学級経営」「生徒指導・生徒理解」が多くなっている。校長・教頭では「特別支援教育」「カウンセリング・コーチングの技術」も多い。

【給食】

- 給食について、「満足」「ほぼ満足」と回答した小学生は85.5%、中学生は78.7%である。前回と比べて小学生で「満足」の割合が増加している。
- 満足の理由として、小・中学生ともに「おいしいから」が最も多くなっている。不満の理由として、小・中学生は「食べられなかつたり、嫌いなものばかりになる日があるから」が最も多くなっている。

■家庭や地域と連携した教育について

【家庭、学校、地域の役割】

- 家庭に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭ともに、「基本的な生活習慣」が最も多く、次いで「感情のコントロール（心の強さ）」が多い。
- 学校に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭ともに、「学力」が最も多くなっている。次いで、市民、保護者では、「自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲」、教員、校長・教頭では、「いろいろな人と協力する力」が多くなっている。
- 地域に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭ともに、「郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと」が最も多く、次いで「いろいろな人と協力する力」が多い。

【子どもの生活】

- 自分にはよいところがあると思うことについて、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、小学生が80.8%、中学生が80.7%となっている。「そう思う」の回答者は、学校生活の満足度、学校の授業の満足度が高く、また、家族とよく会話をする、地域の大人との見守りを感じるの回答が多い。
- 自分にはよいところがあると思うことについて、「そう思う」の回答者は、学校生活の満足度、学校の授業の満足度が高くなっている。また、家族とよく会話をする、地域の大人との見守りを感じるの回答が多い。

○学習塾・習い事について、「通っている」小学生は82.0%、中学生は75.5%となっている。

○電子メディアの閲覧頻度として、小・中学生ともに、学校に行く日では「2時間ぐらい」が最も多くなっている。学校が休みの日については、「5時間以上」が小学生で31.8%、中学生で51.8%となっている。前回と比べても、小・中学生ともに閲覧時間が増加傾向にある。

【家庭の状況】

○家庭の教育力が低下している原因について、保護者では「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」「子どもが、お手伝いやいろいろ遊びなど、様々な体験をする機会が不足している」、教員では「親子のコミュニケーションが減っている」「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる」、校長・教頭では「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる」「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」の順に多くなっている。

【地域の教育力】

○地域の大人が自分たちを見守ってくれたりしていると感じるかについて、「感じる」「時々感じる」と回答した合計は、小学生が 83.7%、中学生が 68.2%となっている。

○地域の行事や活動への参加状況について、前回と比べて、小学生で「できる限り多く参加している」の割合が減少している。また、小・中学生ともに「参加していない」の割合が増加している。

○学校と地域の連携で重要なことについて、市民は「児童生徒を地域活動や地域の行事に参加させる」が最も多く、次いで「地域の人を授業の講師や部活動の指導者として招く」「登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める」が多くなっている。

○保護者・住民の学校への協力・参加について、市民は「登下校など子どもの安全管理」「学校行事への参加」、保護者は「学校公開日や授業参観への参加」「学校行事への参加」が多くなっている。教員、校長・教頭は「登下校など子どもの安全管理」「学校外での地域活動体験の受け入れ・手伝い」をはじめ多様な行事・活動についての期待がみられる。

○地域の教育力の課題について、保護者、教員、校長・教頭ともに、「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」が最も多くなっている。次いで、「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」「地域の大人と子どもが会う機会が少ない」が多くなっている。

■生涯学習について

【学習や活動】

○自主的に学んでいることがある市民は74.4%で、「健康・スポーツ・文化・料理・語学など趣味や教養に関すること」「現在の仕事上で必要な知識・技能や資格取得に関すること」が多い。

【交流館】

○交流館を3年以内に利用したことがある市民は54.6%となっている。

○利用目的について、「図書の利用」が最も多く、次いで「講座やイベントの参加」「コミュニティ会議、自治区等の地域活動」が多い。

○利用したことがない理由として、「特に理由はない」「家事や仕事等で行く時間がないから」「参加したい講座や事業がないから」の順に多い。

【中央図書館】

○中央図書館を3年以内に利用したことがある市民は34.1%となっている。

○利用目的について、「本や雑誌、CDを借りるため」「参考にできる情報がないか探すため」の順に多い。

○利用したことがない理由として、「自宅から遠くて行くのに不便だから」「特に理由はない」「家事や仕事等で行く時間がないから」の順に多い。

○図書館に求めるもの・学校との連携について、教員、校長・教頭ともに「調べ学習の出前授業の充実」が最も多く、「団体貸出資料の充実」「レファレンスサービス（知りたい情報への案内）の充実」も多い。

【読書】

○学校以外で週に1日以上の読書をする割合は、小学生で48.2%、中学生で31.5%となっている。前回と比べると、小・中学生ともに「ほとんど読んでいない」の割合が高くなっている。

○中央図書館や交流館・コミュニティセンターの図書コーナーの利用について、「月に1回以上」の割合は、小学生で37.2%、中学生で21.8%である。前回と比べて「月に1回以上」の割合も「ほとんど、または、まったく行かない」の割合とともに高くなっている。

■文化・芸術について

【文化・芸術への関心や活動状況】

○この1年間に文化芸術の直接鑑賞や見学をした市民は70.3%となっている。鑑賞や見学をした分野として、「映画・メディア芸術」「文化財」「音楽」「美術」が多くなっている。鑑賞・見学する上で困ることとして、「特に問題はない」「催し物の情報が少ない」「鑑賞・見学したい催し物が少ない」の順に多い。

○この1年間に文化活動をしたことがある市民は41.3%となっている。活動分野については、「映画・メディア芸術」「音楽」「美術」が多くなっている。文化活動をする上で困ることとしては、「特に問題はない」「活動のきっかけがない」「自分にはできないと思う」の順に多い。

【文化・芸術振興、文化財保護】

○地域の文化的環境の充実に必要なこととして、市民は「身近なところで気軽に文化芸術に触れられる機会の充実」「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が多い。

○市の歴史・文化財の継承、魅力発信に向けて必要なこととして、市民は「歴史・文化財を観光資源として活用し、多くの人に知ってもらえるようにする」「歴史・文化財を楽しく体感できる体験教室や講座を開催する」「文化財の公開などの活用や保存を積極的にすすめる」が多くなっている。

【子どもと文化・芸術】

○子どもと一緒に利用したい文化・スポーツ施設について、保護者は「中央図書館・交流館図書室」「豊田スタジアム」が多くなっている。教員、校長・教頭が授業等で活用・連携したい施設については、「博物館」が最も多く、次いで「中央図書館・交流館図書室」「美術館」が多くなっている。

○博物館と学校の連携については、教員、校長・教頭ともに「博物館の見学への対応の充実」「歴史・自然を体感するための体験学習の実施」「学芸員やボランティア等による学校での出前講座の開催」が多くなっている。

○この1年間で文化・芸術を直接鑑賞や見学した割合は、小学生で74.1%、中学生で61.2%となっている。文化鑑賞・活動をしたいことについて、小・中学生ともに「絵をかいたり、彫刻を作ったりする」「楽器を演奏したり、歌を歌ったりする」が多く、中学生では「歌手などの音楽ライブやクラシックのコンサートを見る」も多くなっている。

○充実していくとよい催しものや取組について、「入門講座や体験講座(ワークショップ)」「音楽・演劇などの学校公演」「授業として文化施設での展示や公演の鑑賞」が多くなっている。

■スポーツについて

【するスポーツ】

- この1年間に運動やスポーツをした市民は74.5%となっている。その内容として「体操・ウォーキング・ランニング・陸上・ジム」が最も多く、次いで「日常生活における体力づくりや健康の保持増進を目的とした身体活動」が多くなっている。
- 運動・スポーツをする理由について、市民は「健康・体力づくりのため」が最も多く、次いで「運動不足を感じるため」「楽しみ・気晴らしのため」が多くなっている。しなかった理由として、「仕事・家事・育児が忙しくて時間がないため」が最も多く、次いで「年をとったため」「機会がなかったため」が多くなっている。
- 子どもの学校以外での運動・スポーツの実施頻度について、小学生では「週に1～2日」、中学生では「週に3日以上」が最も多くなっている。前回と比べると小・中学生ともに「ほぼ毎日」「週に3日以上」の割合がやや増加している。実施内容については、小学生は「学校以外のスポーツ活動（市内）」、中学生は「学校の部活動、クラブ活動」が最も多くなっている。

【みるスポーツ】

- この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見たことがある小学生は46.1%、中学生は68.1%となっている。小学生では「プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」中学生では「部活動の試合・イベント」が多い。
- この1年間に直接スポーツ観戦をした市民は38.3%で、種目については「野球」「サッカー」が多くなっている。

【支えるスポーツ】

- 市民のスポーツに関する認知度について、「名古屋グランパス」など全国的に活躍をするスポーツチームは比較的高く、「あいち地域クラブ活動人材バンク」など新たな取組は低い傾向がみられる。
- この1年間にスポーツを支える活動をしたことがある市民は6.8%である。また、学校以外でのスポーツ指導を行っている教員は9.2%である。

【スポーツ振興に向けて】

- スポーツ情報で不足している内容としては、「不便に思ったことはない」が最も多く、次いで「施設の場所」「施設の内容」が多くなっている。
- 豊田市が今後力を入れていくべきこととして、「年齢層にあったスポーツの普及」「市民が参加できるスポーツイベントの開催」が多くなっている。

■教育行政について

【教育委員会による学校支援】

- 職務上の多忙感について、教員では「ほとんど毎日忙しい」が43.9%で前回とほぼ同様である。勤務時間中に自分の裁量で使える時間（授業時間や学級事務など）が1週間で「まったくない」「ほとんどない」「1～5時間」の合計は76.6%となっている。
- 学校の職場環境における「自身の成長や挑戦の機会や場が提供できている」について、教員は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計が71.0%である。
- 教育委員会による専門的な支援の充実については、教員、校長・教頭ともに「不登校・ひきこもり」「発達障がい・特別支援教育」「保護者からの理不尽な要求」が多くなっている。

【教育情報や計画の推進】

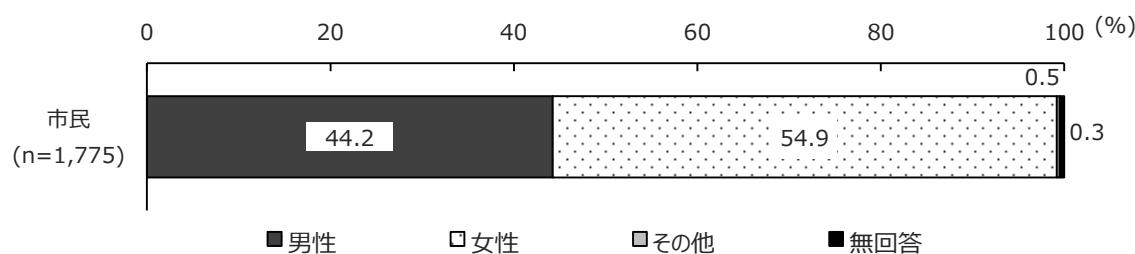
- 市内の教育行政情報の入手方法について、市民は「広報とよた」が最も多く、次いで「回覧板」となっている。より提供すべき教育行政の情報は、「地元の小・中学校の状況」「市内での文化やスポーツのイベント」が多くなっている。
- 学校の教育方針や学校での子どもの様子などの情報について、保護者は「ある程度は得られている」が最も多く、次いで「あまり得られていない」が多くなっている。
- 学校評価の課題について、保護者は「調査結果がどのように活用されているかがわからない」が最も多く、次いで「この取組 자체をよく知らない」「調査結果をもとに学校と保護者が一緒に考える機会がない」が多くなっている。

第2章 回答者の属性

1 市民

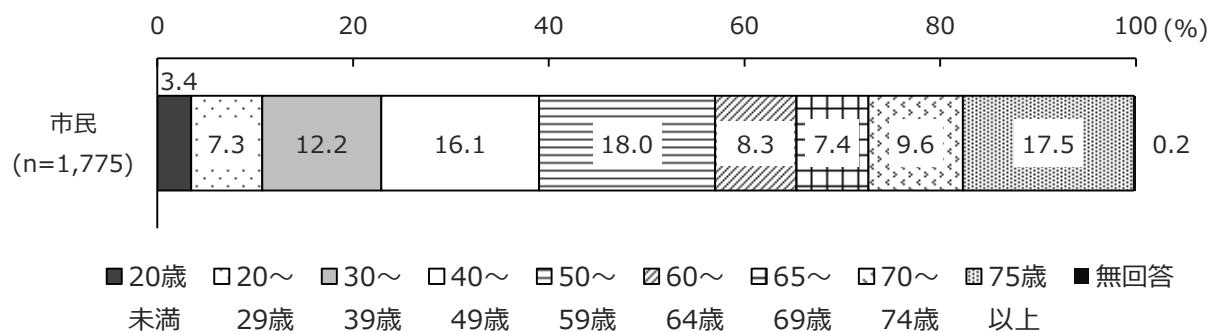
① 性別

「男性」が44.2%、「女性」が54.9%となっている。



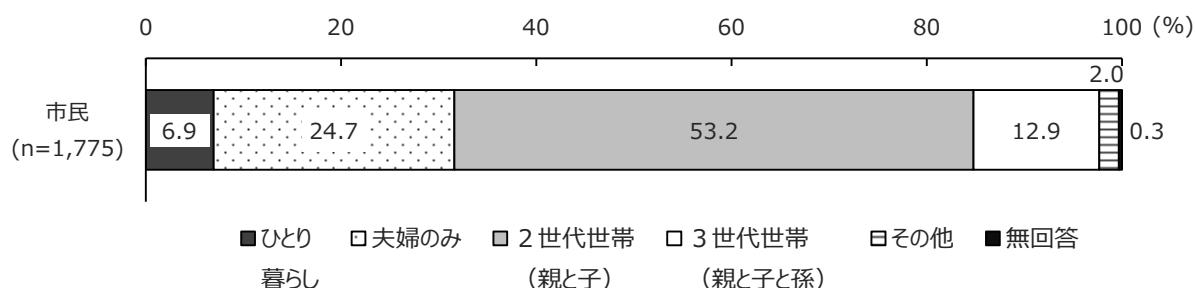
② 年齢

幅広い年代から回答が得られた。こうした中、「50~59歳」(18.0%)、「75歳以上」(17.5%)、「40~49歳」(16.1%)が比較的多い。



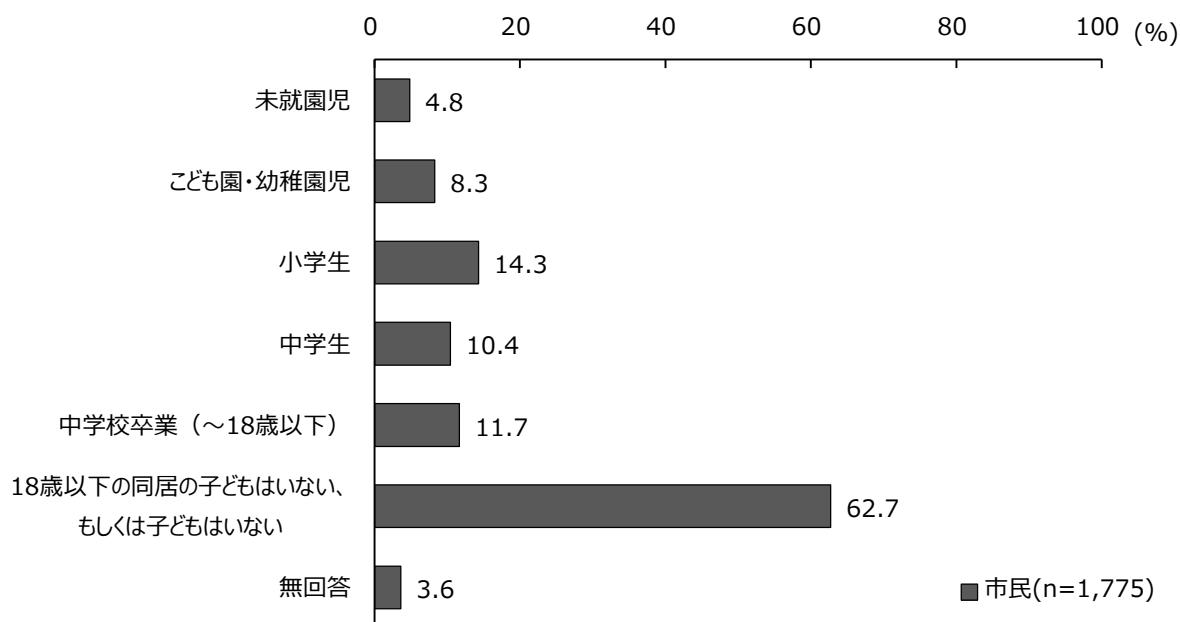
③ 世帯

「2世代世帯（親と子）」が最も多く53.2%となっている。次いで、「夫婦のみ」(24.7%)、「3世代世帯（親と子と孫）」(12.9%)が多くなっている。



④ 同居している子どもの年齢

「18歳以下の同居の子どもはいない、もしくは子どもはいない」が最も多く62.7%となっている。次いで、「小学生」(14.3%)、「中学校卒業（～18歳以下）」(11.7%)が多くなっている。



⑤ 中学校区

「逢妻」(7.0%)、「豊南」(6.9%)、「末野原」(6.6%) の順に多い。

N=1,775 (%)

逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稻武	梅坪台
7.0	0.8	5.2	1.7	3.7	1.2	0.7	3.1

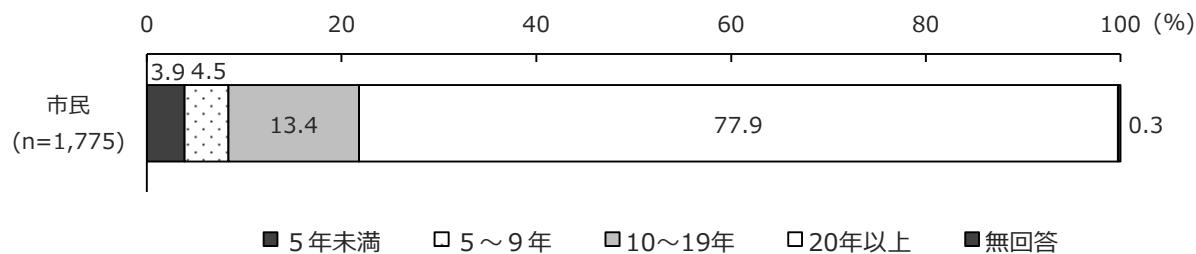
小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
1.0	5.1	2.4	3.0	1.0	3.4	6.6	5.6

高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
3.5	5.0	2.4	2.2	6.9	3.0	4.5	2.6

松平	美里	竜神	若園	わから ない	無回答
2.9	5.0	5.7	3.5	0.3	0.9

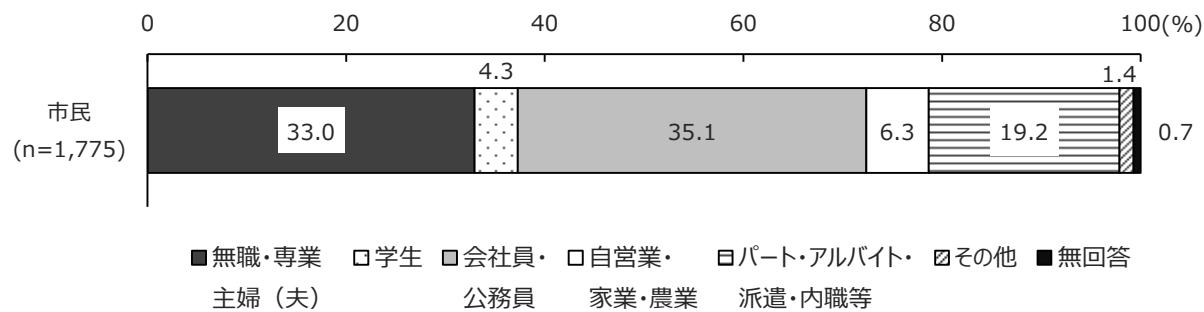
⑥ 豊田市の在住年数

「20年以上」が最も多く 77.9%となっている。次いで、「10~19年」(13.4%) が多くなっている。



⑦ 職業

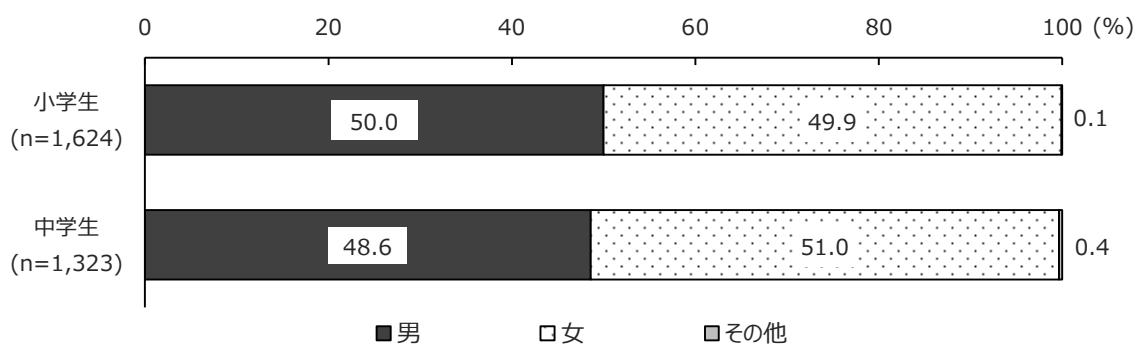
「会社員・公務員」が最も多く 35.1%となっている。次いで、「無職・専業主婦（夫）」(33.0%)、「パート・アルバイト・派遣・内職等」(19.2%) が多くなっている。



2 小学生・中学生

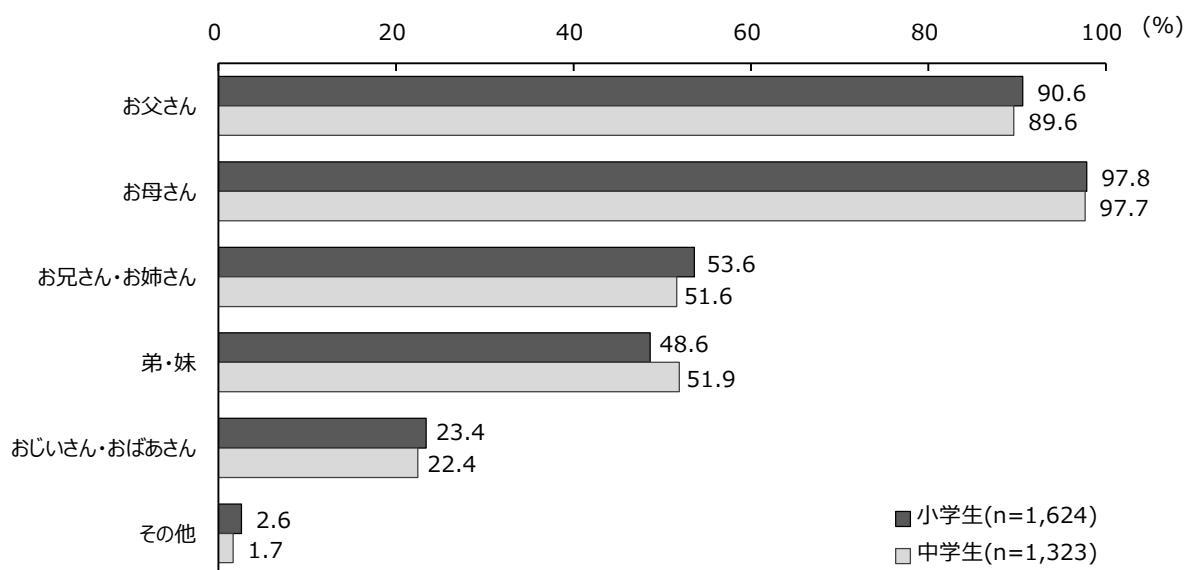
① 性別

小学生では「男」が 50.0%、「女」が 49.9% となっている。中学生では「男」が 48.6%、「女」が 51.0% となっている。



② 同居家族

「お父さん」は小学生で 90.6%、中学生で 89.6%、「お母さん」は小学生 97.8%、中学生 97.7% となっている。



③ 通っている小学校区・中学校区

小学生では、「小清水」(4.2%)、「美山」(3.7%)、「若園」(3.6%)の順に多い。

中学生では、「猿投台」(5.0%)、「浄水」(4.9%)、「梅坪台」(4.7%)、「前林」(4.7%)の順に多い。

小学生 (n=1,624)

(%)

青木	朝日	足助	飯野	石畠	市木	五ヶ丘	五ヶ丘東
3.4	1.5	1.5	2.3	1.4	1.8	1.2	1.1

稻武	井上	伊保	岩倉	畠部	梅坪	追分	大蔵
0.4	1.7	1.5	1.4	1.8	1.8	0.3	0.2

大沼	大畠	大林	小渡	小原中部	加納	上鷹見	九久平
0.4	1.3	1.8	0.2	0.3	1.4	0.6	1.6

幸海	小清水	古瀬間	駒場	挙母	衣丘	佐切	敷島
0.0	4.2	1.6	1.5	1.7	1.7	0.1	0.8

四郷	浄水	浄水北	新盛	寿恵野	高嶺	滝脇	竹村
1.0	2.2	1.8	0.3	2.2	3.1	0.3	1.8

土橋	堤	寺部	道慈	童子山	巴ヶ丘	豊松	中金
1.8	3.3	1.8	0.7	3.1	0.6	0.3	0.4

中山	西広瀬	西保見	根川	野見	則定	萩野	花山
1.8	0.9	1.2	1.5	1.2	0.2	0.3	0.5

冷田	東広瀬	東保見	東山	平井	広川台	平和	本城
0.4	1.0	0.0	0.0	1.5	1.7	1.2	0.1

前山	御蔵	御作	美山	明和	元城	矢並	山之手
3.3	0.1	0.3	3.7	0.2	1.4	0.5	3.0

若園	若林西	若林東
3.6	1.6	1.8

中学生 (n=1,323) (%)

逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稻武	梅坪台
4.6	1.1	4.5	3.6	4.2	2.2	0.5	4.7

小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
1.4	4.2	0.1	5.0	2.0	4.9	4.2	4.1

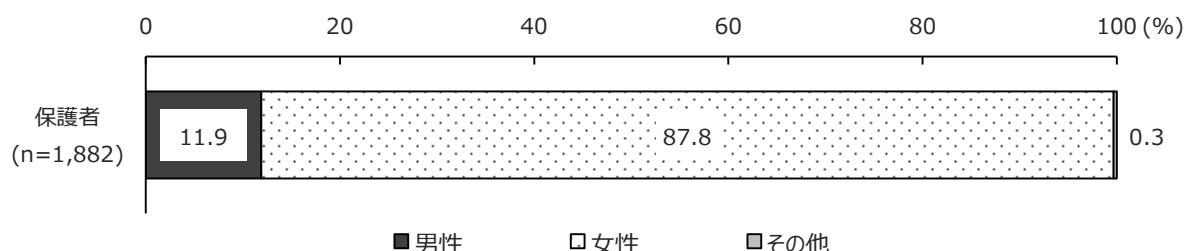
高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
3.6	2.9	3.8	4.1	4.5	3.9	4.7	4.5

松平	美里	竜神	若園
4.1	4.3	4.5	4.2

3 保護者

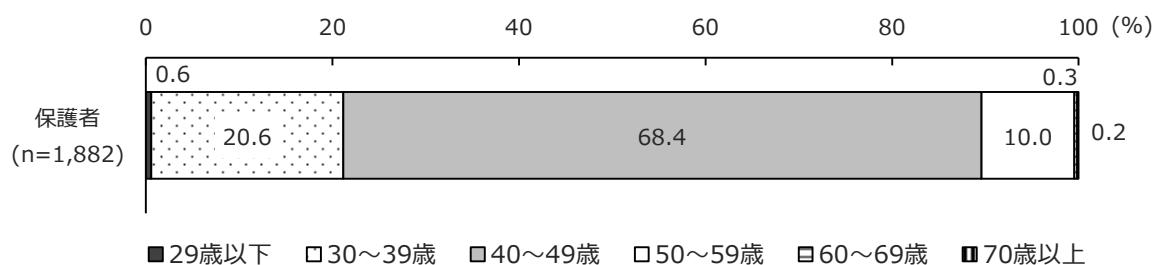
① 性別

「男性」が 11.9%、「女性」が 87.8% となっている。



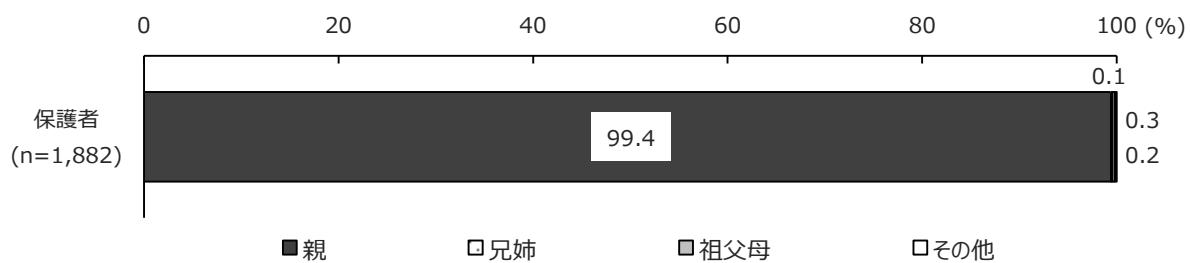
② 年齢

「40~49 歳」が最も多く 68.4% となっている。次いで、「30~39 歳」(20.6%)、「50~59 歳」(10.0%) が多くなっている。



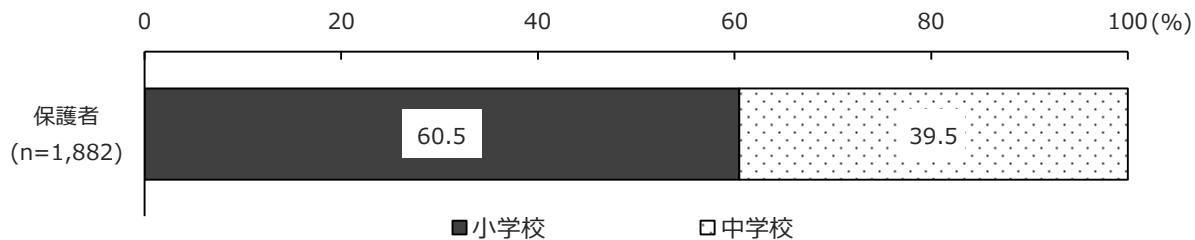
③ 子どもとの続柄

「親」が 99.4% となっている。



④ 子どもの通学先

「小学校」が 60.5%、「中学校」が 39.5%となっている。



⑤ 小学校区・中学校区

小学校区では、「若園」(3.9%)、「小清水」(3.6%)、「堤」(3.5%) の順に多い。

中学校区では、「井郷」(6.7%)、「保見」(5.9%)、「梅坪台」(5.8%) の順に多い。

小学校区 (n=1,138) (%)

青木	朝日	足助	飯野	石畠	市木	五ヶ丘	五ヶ丘東
2.9	1.8	0.9	2.5	1.2	1.3	1.1	0.5

稻武	井上	伊保	岩倉	畠部	梅坪	追分	大蔵
0.4	1.1	1.6	1.5	1.8	1.7	0.4	0.2

大沼	大畑	大林	小渡	小原中部	加納	上鷹見	九久平
0.2	1.3	1.6	0.2	0.4	1.1	0.6	1.1

幸海	小清水	古瀬間	駒場	拳母	衣丘	佐切	敷島
0.8	3.6	1.2	1.6	0.8	2.9	0.0	0.5

四郷	浄水	浄水北	新盛	寿恵野	高嶺	滝脇	竹村
1.5	2.5	1.2	0.4	2.1	3.0	0.3	2.0

土橋	堤	寺部	道慈	童子山	巴ヶ丘	豊松	中金
1.8	3.5	1.2	0.8	3.4	0.7	0.2	0.4

中山	西広瀬	西保見	根川	野見	則定	萩野	花山
1.9	1.0	0.5	1.1	1.1	0.2	0.2	0.7

冷田	東広瀬	東保見	東山	平井	広川台	平和	本城
0.3	1.1	1.4	1.8	1.8	2.8	1.1	0.2

前山	御蔵	御作	美山	明和	元城	矢並	山之手
3.3	0.1	0.2	2.5	0.3	1.2	0.7	3.1

若園	若林西	若林東
3.9	1.8	1.8

中学校区 (n=744) (%)

逢妻	旭	朝日丘	足助	井郷	石野	稻武	梅坪台
3.6	1.1	3.9	3.9	6.7	3.0	0.4	5.8

小原	上郷	猿投	猿投台	下山	浄水	末野原	崇化館
2.0	5.1	1.3	4.6	2.4	5.1	3.1	2.4

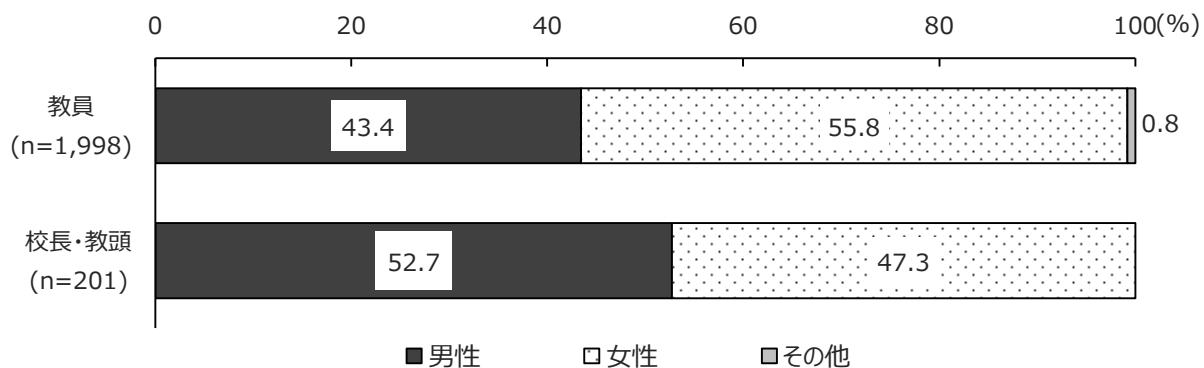
高岡	高橋	藤岡	藤岡南	豊南	保見	前林	益富
5.6	2.8	1.5	4.4	2.6	5.9	3.9	4.3

松平	美里	竜神	若園
3.6	2.8	3.9	4.2

4 教員、校長・教頭

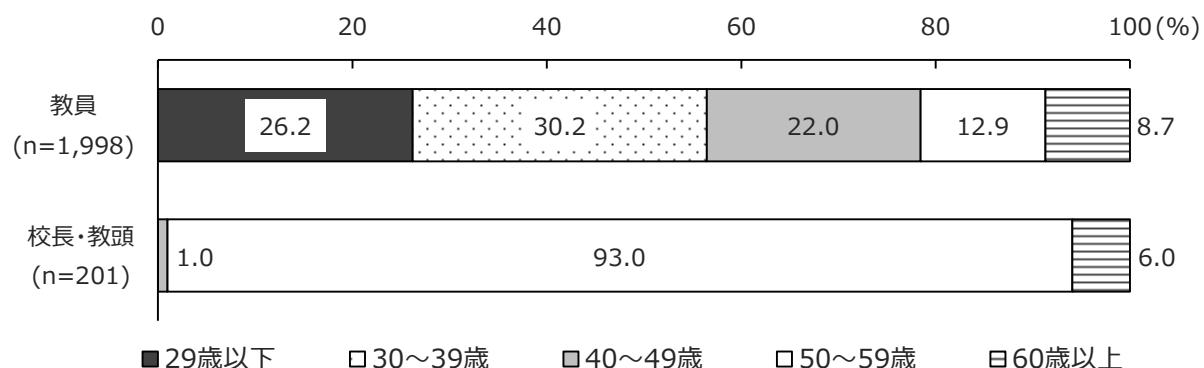
① 性別

教員では「男性」が43.4%、「女性」が55.8%となっている。校長・教頭では「男性」が52.7%、「女性」が47.3%となっている。



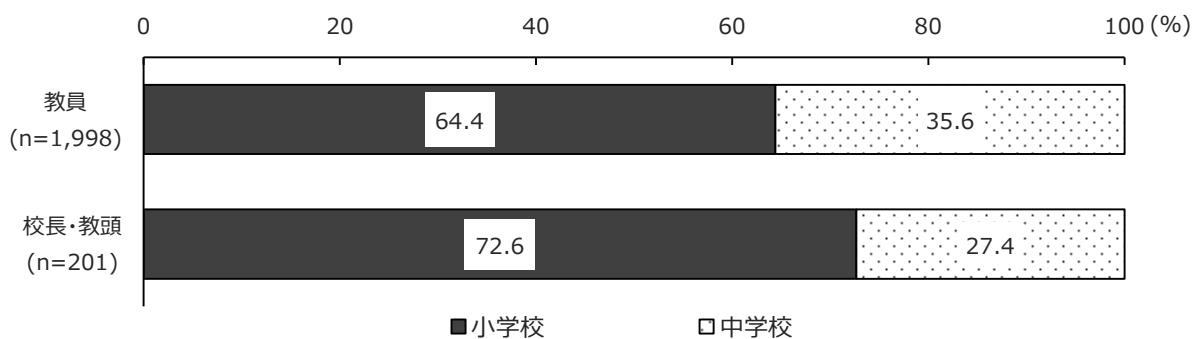
② 年齢

教員では幅広い年代から回答が得られた。校長・教頭では「50~59歳」が93.0%となっている。



③ 勤務先

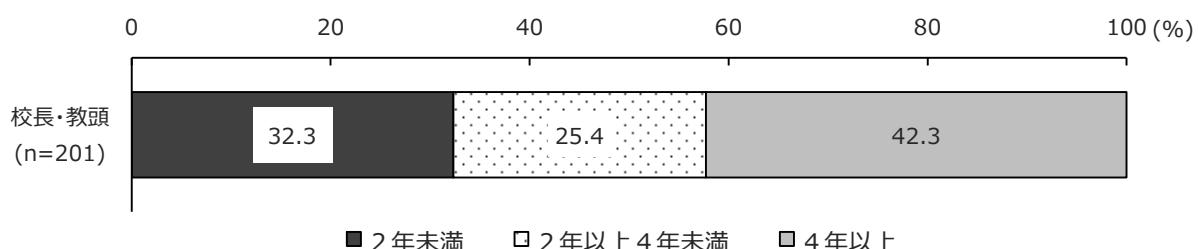
教員では「小学校」が64.4%、「中学校」が35.6%となっている。校長・教頭では「小学校」が72.6%、「中学校」が27.4%となっている。



④ 通算の教職・職位期間

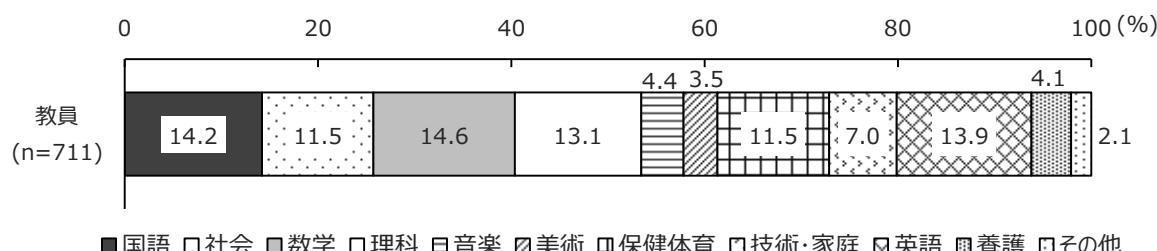
教員について、「10年以上20年未満」が最も多く32.3%となっている。次いで、「5年以上10年未満」(22.5%)、「5年未満」(19.5%) が多くなっている。

校長・教頭については、「4年以上」が最も多く42.3%となっている。次いで、「2年未満」(32.3%)、「2年以上4年未満」(25.4%) となっている。



⑤ 担当教科

中学校教員の担当教科について、「数学」が最も多く14.6%となっている。次いで、「国語（14.2%）」「英語（13.9%）」が多くなっている。

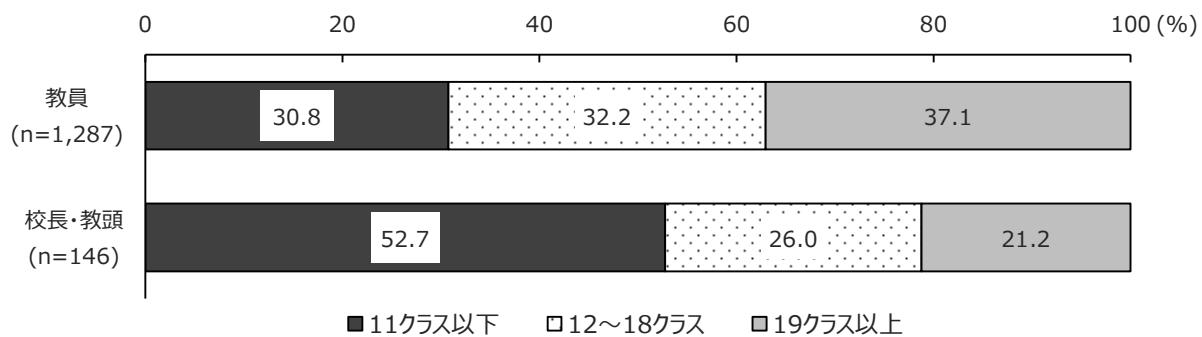


⑥ 勤務先の学校規模

【小学校】

教員では「19 クラス以上」が最も多く 37.1%となっている。

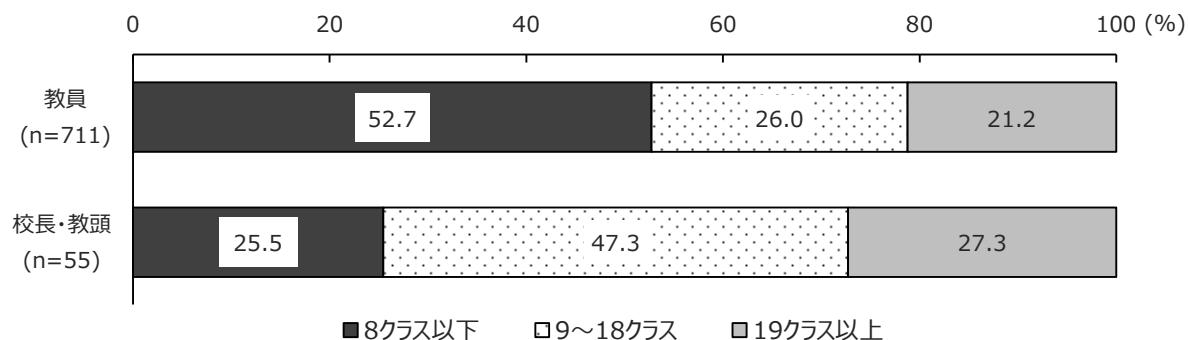
校長・教頭では「11 クラス以下」が最も多く 52.7%となっている。



【中学校】

教員では「8 クラス以下」が最も多く 52.7%となっている。

校長・教頭では「9～18 クラス」が最も多く 47.3%となっている。



第3章 学校教育について

1 学校全般

① 学校生活の満足度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問1	問1	問1		

【小学生、中学生】

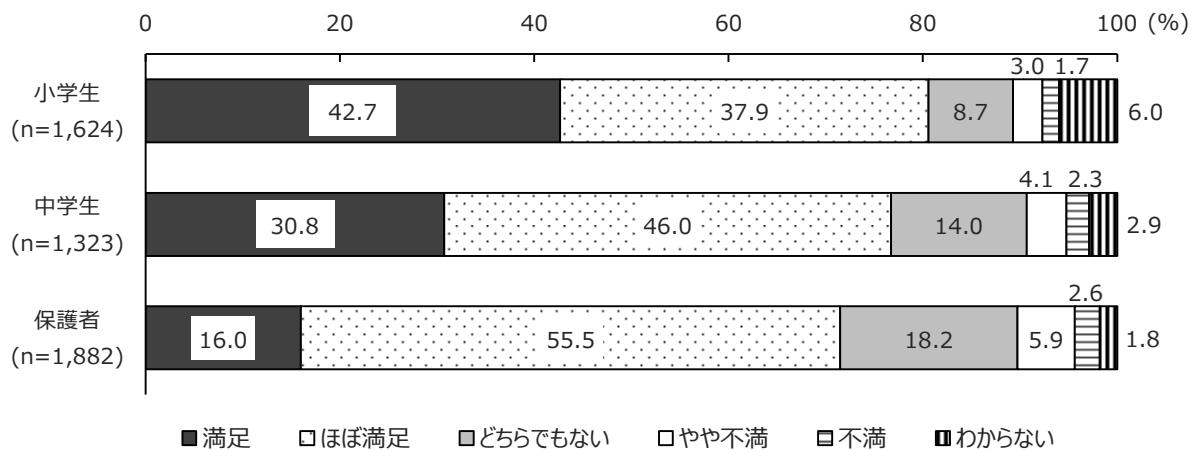
問. あなたは、今の学校生活に満足していますか。(1つ)

【保護者】

問. あなたの子ども（この調査票を持ち帰った子ども）は、今の学校生活に満足していると思いますか。(1つ)

「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生が最も多く80.6%となっている。次いで、中学生（76.8%）、保護者（71.5%）となっている。

前回と比べると、中学生・保護者は「満足」「やや不満」の割合が減少し、「ほぼ満足」の割合がやや増加している。



%	小学生		中学生		小学生保護者		中学生保護者	
	今回 (n=1,624)	前回 (n=1,638)	今回 (n=1,323)	前回 (n=1,424)	今回 (n=1,138)	前回 (n=1,570)	今回 (n=744)	前回 (n=1,358)
満足	42.7	42.0	30.8	33.3	18.7	22.0	11.8	13.5
ほぼ満足	37.9	41.7	46.0	42.3	57.1	53.3	53.1	47.9
どちらでもない	8.7	7.9	14.0	14.0	16.6	11.8	20.7	17.7
やや不満	3.0	4.2	4.1	5.7	5.1	8.3	7.1	11.3
不満	1.7	1.5	2.3	1.8	1.3	2.2	4.4	3.9
わからない	6.0	2.6	2.9	2.4	1.1	2.0	2.8	5.0
無回答	0.0	0.1	0.0	0.6	0.0	0.3	0.0	0.6

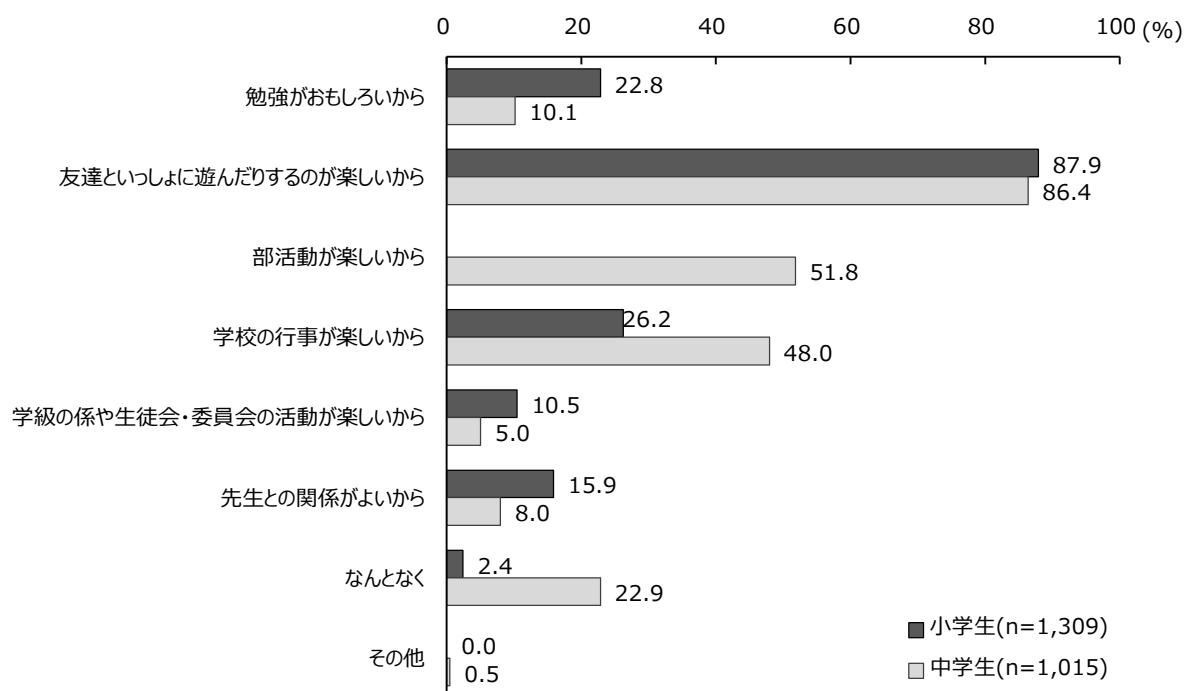
② 学校生活に満足している理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 2	問 2			

※学校生活の満足度で「満足」「やや満足」の回答者

問. 満足している理由は何ですか。(3つまで)

小・中学生ともに「友達といっしょに遊んだりするのが楽しいから」(小学生 87.9%、中学生 86.4%)が最も多くなっている。次いで、小学生では「学校の行事が楽しいから」(26.2%)、「勉強がおもしろいから」(22.8%)が多くなっている。中学生では「部活動が楽しいから」(51.8%)、「学校の行事が楽しいから」(48.0%)が多くなっている。



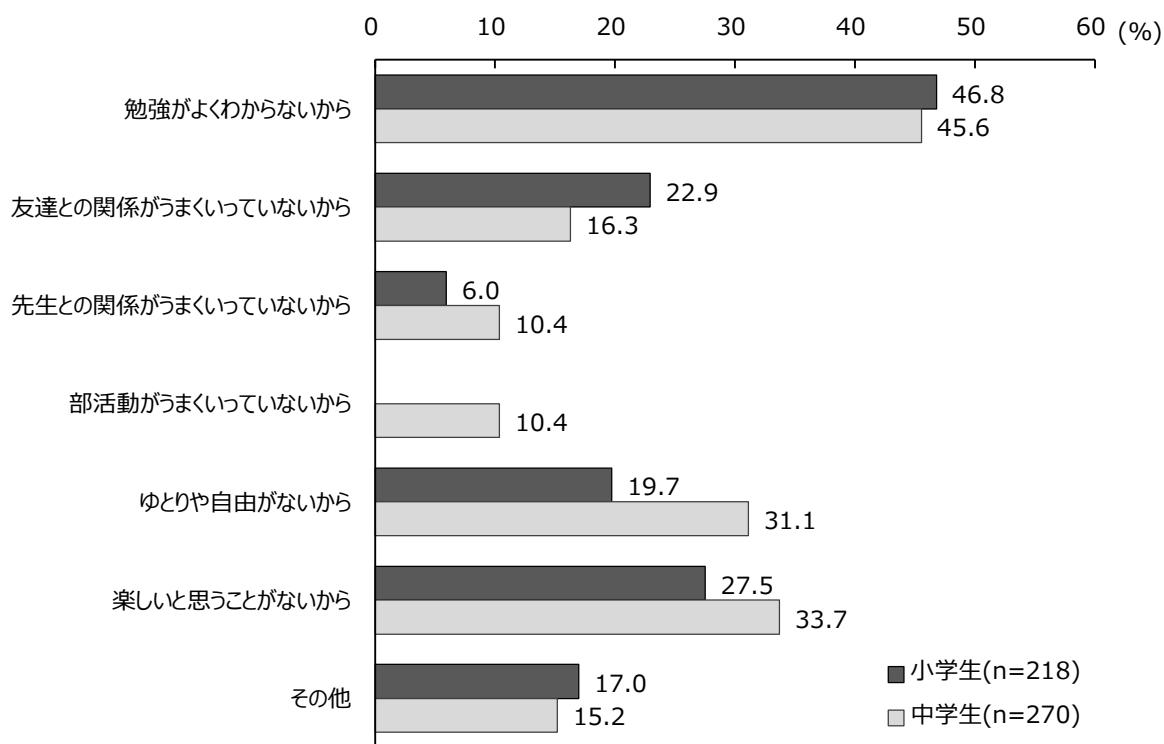
③ 学校生活に満足していない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 3	問 3			

※学校生活の満足度で「どちらでもない」「やや不満」「不満」の回答者

問. 満足していない理由は何ですか。(3つまで)

小・中学生ともに「勉強がよくわからないから」(小学生 46.8%、中学生 45.6%) が最も多く、次いで「楽しいと思うことがないから」(小学生 27.5%、中学生 33.7%) が多くなっている。中学生では「ゆとりや自由がないから」(31.1%) も多くなっている。



○その他の回答

【小学生】

- ・楽しいと思うことが少ないから
- ・勉強が好きじゃないから
- ・周りがうるさくて、勉強に集中できない
- ・行事が少ない

【中学生】

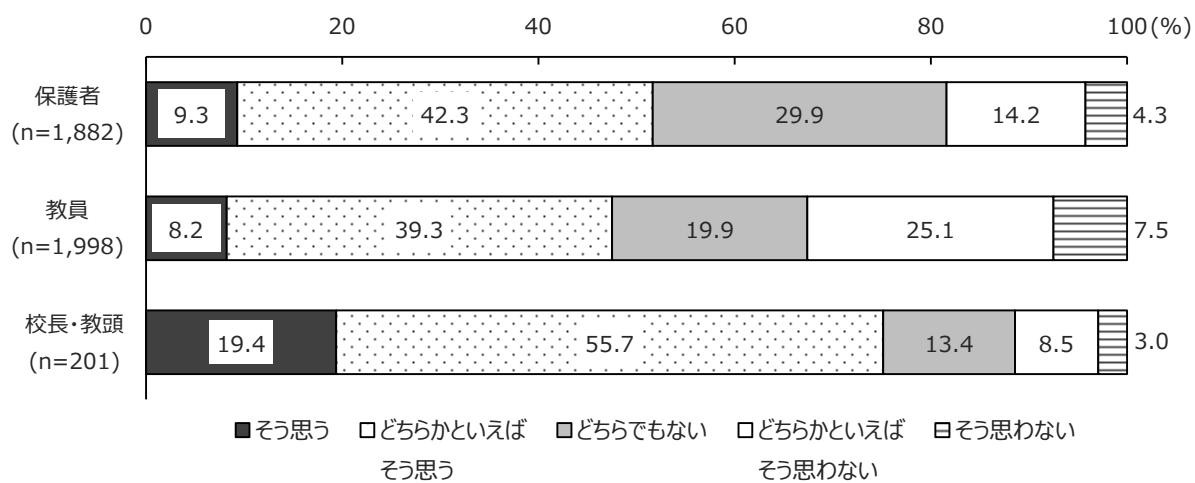
- ・苦手な先生がいるから
- ・周りとうまく関われないから
- ・部活の数が少なく、やりたい部活がない

④ 児童生徒の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問3～6	問2～5	問2～5

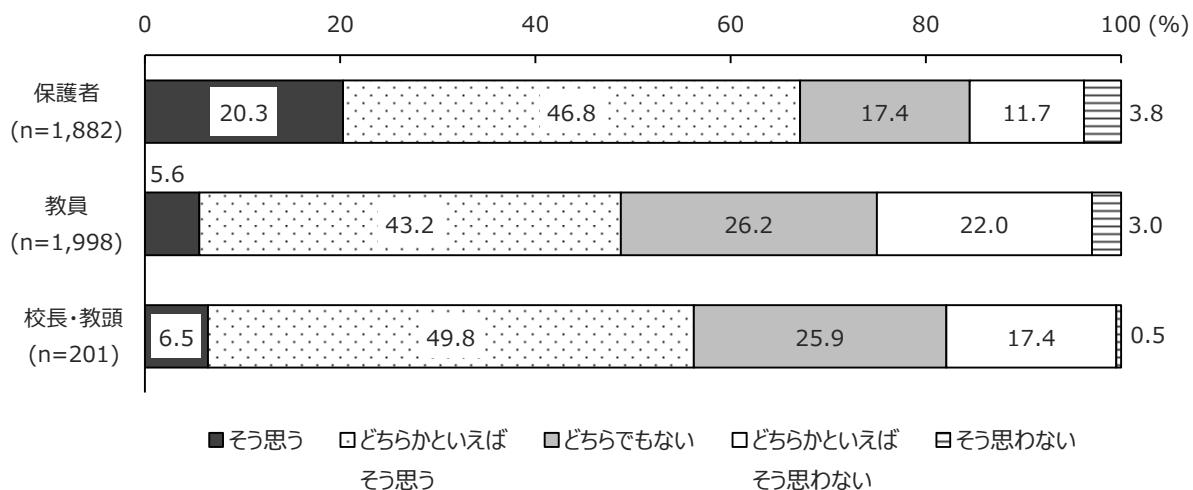
問. 学校生活において、児童生徒一人ひとりに目が行き届いていると思いますか。（1つ）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、校長・教頭が最も多く 75.1% となっている。次いで、保護者（51.6%）、教員（47.5%）となっている。



問. 学校生活において、児童生徒が多くの異なる友人と関係を築けていると思いますか。（1つ）

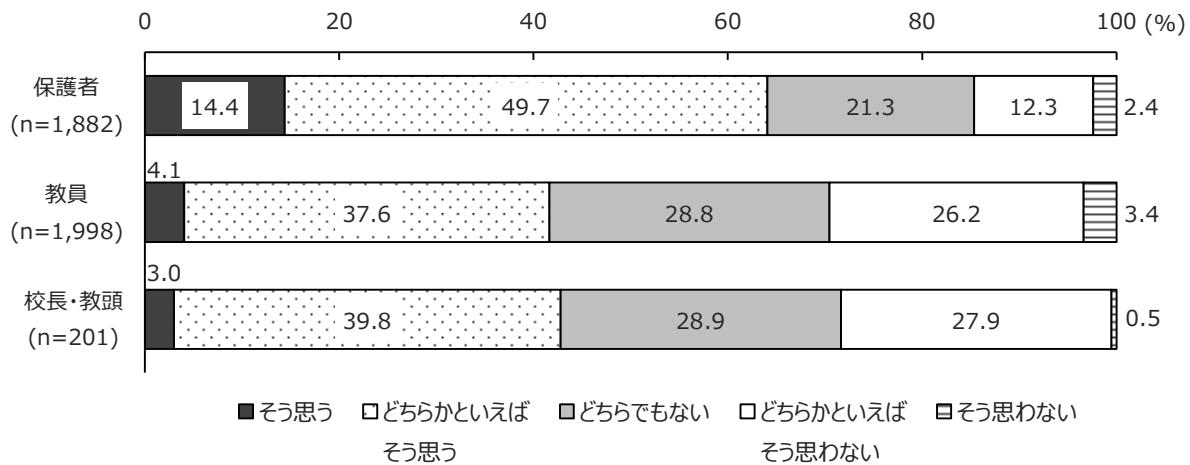
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、保護者が最も多く 67.1% となっている。次いで、校長・教頭（56.3%）、教員（48.8%）となっている。



問. 学校生活において、児童生徒が相手との関係を考えて関わる力（コミュニケーション能力）を十分に養えていると思いますか。（1つ）

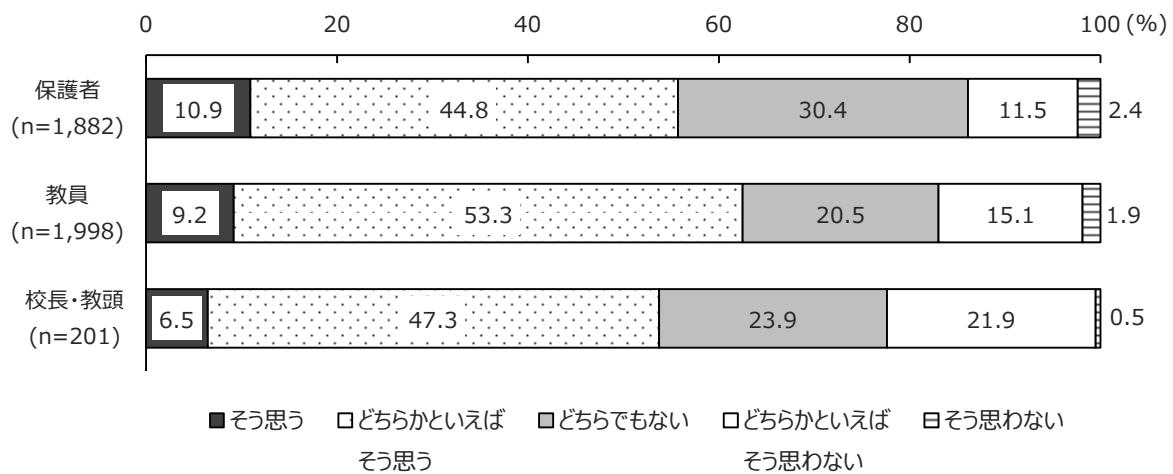
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、保護者が最も多く 64.1%となっている。次いで、校長・教頭が（42.8%）、教員が（41.7%）となっている。

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計は、教員（29.6%）と校長・教頭（28.4%）が、保護者（14.7%）と比べて多くなっている。



問. 学校生活の中において、児童生徒が多様な意見や考え方に対する機会が十分にあると思いますか。（1つ）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、教員が最も多く 62.5%となっている。次いで、保護者（55.7%）、校長・教頭（53.8%）となっている。



⑤ 学校が一層力を入れるべきこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 1	問 6	問 6	問 2	問 1	問 1

【市民、保護者、教員、校長・教頭】

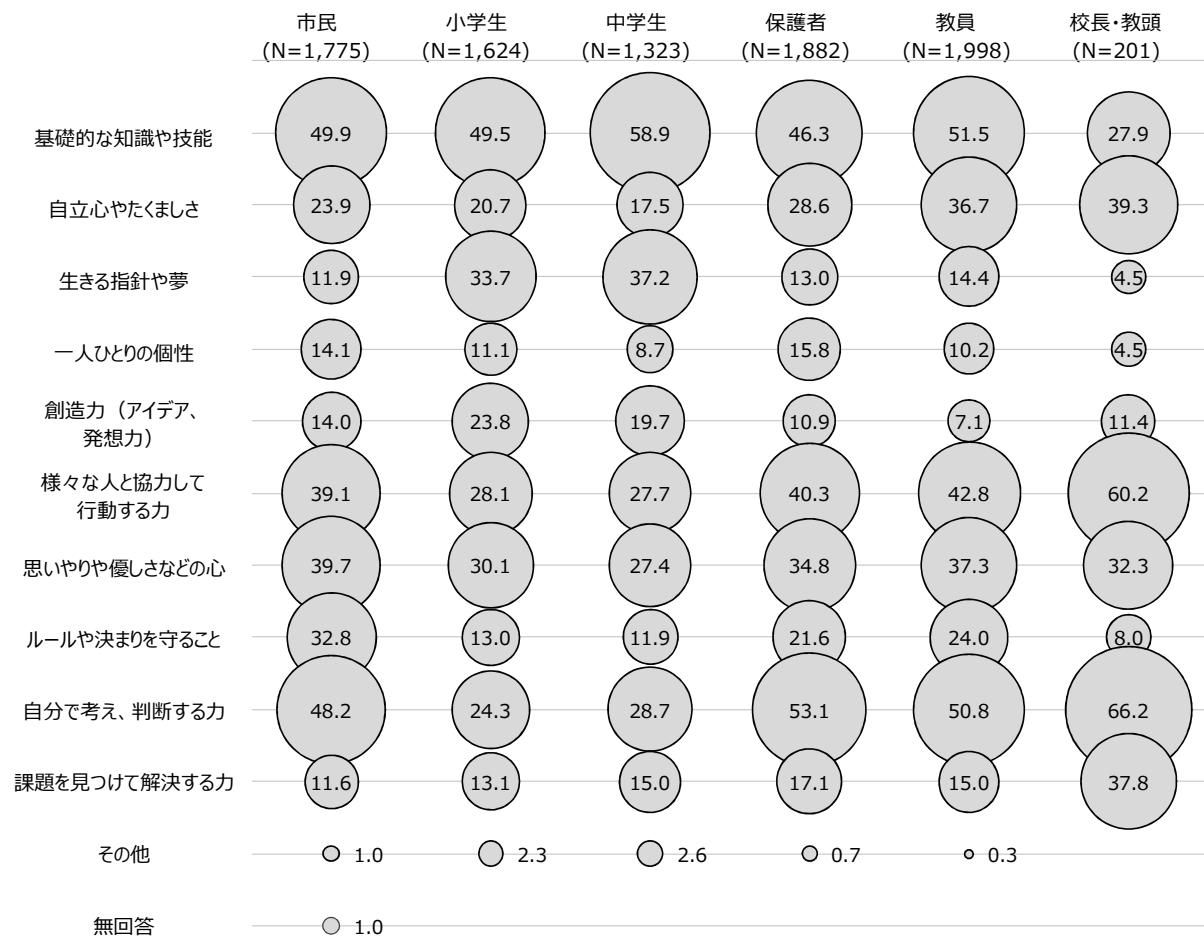
問. あなたは、学校が、児童生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。(3つまで)

【小学生、中学生】

問. あなたは、学校でどのようなことを伸ばしていきたい、または身につけたいと思いませんか。(3つまで)

市民、小学生、中学生、教員においては、「基礎的な知識や技能」(市民 49.9%、小学生 49.5%、中学生 58.9%、教員 51.5%) が最も多く、保護者、校長・教頭においては「自分で考え、判断する力」(保護者 53.1%、校長・教頭 66.2%) が最も多い。

また、小・中学生では「生きる指針や夢」(小学生 33.7%、中学生 37.2%)、校長・教頭では「様々な人と協力して行動する力」(60.2%) が多くなっている。



年齢別にみると、「基礎的な知識や技能」「自分で考え、判断する力」の割合が総じて高い。

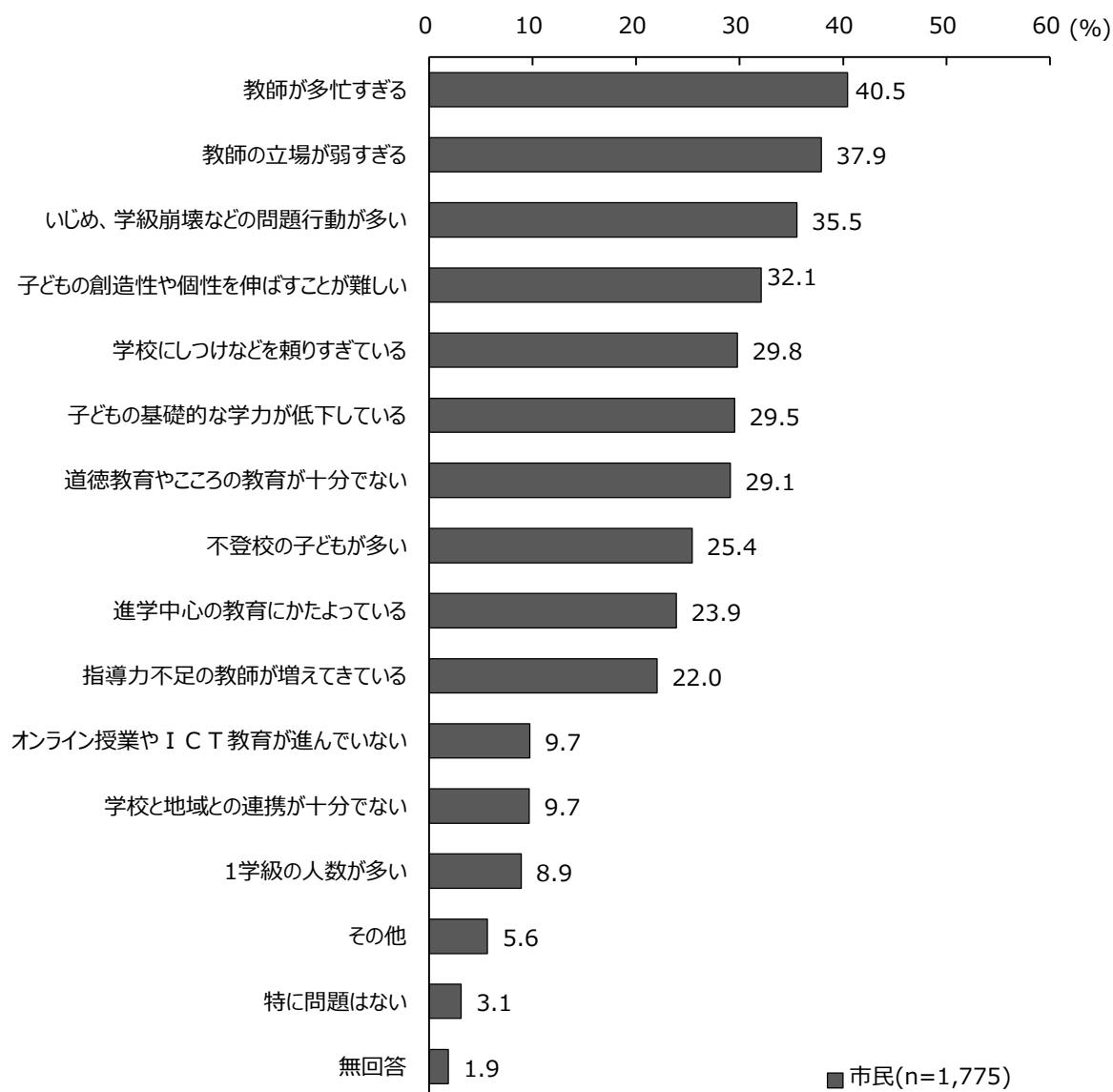
		技 基 能 積 的 な 知 識 や	し 自 立 心 や た く ま	生 き る 指 針 や 夢	性 一 人 ひ と り の 個	ア 創 造 発 力 想 (カ ア) イ デ	し 様 て 々 行 な 動 人 す と る 協 力 力	さ 思 な い ど や の り 心 や 優 し	を ル ー ル 守 る こ や と 決 ま り	断 自 す 分 で 考 え ' 、 判	解 課 決 す を る 見 力 つ け て	そ の 他	無 回 答
		%											
市民	20歳未満	47.5	24.6	18.0	21.3	14.8	21.3	26.2	44.3	44.3	13.1	0.0	0.0
	20~29歳	50.4	18.6	10.1	17.1	17.8	29.5	48.1	36.4	41.9	12.4	1.6	0.0
	30~39歳	50.9	25.9	12.5	16.7	10.6	38.4	36.6	29.2	52.3	14.8	0.9	0.5
	40~49歳	46.9	26.6	17.1	14.0	15.7	37.4	40.2	26.9	50.0	13.6	0.0	0.7
	50~59歳	45.6	21.9	13.8	9.4	12.2	43.1	39.7	34.1	52.8	13.1	1.6	0.9
	60~64歳	53.7	22.4	8.8	17.0	16.3	38.1	36.7	33.3	44.2	12.2	2.0	0.0
	65~69歳	54.2	23.7	9.2	16.8	14.5	42.0	46.6	31.3	45.8	9.9	0.0	0.0
	70~74歳	56.1	20.5	9.9	15.2	11.7	42.1	38.6	39.2	48.0	7.6	0.6	1.2
	75歳以上	50.0	27.1	8.4	11.9	14.2	41.6	40.3	32.9	45.5	8.1	1.0	2.9
保護者	小学校	45.3	27.9	12.0	15.0	12.7	40.3	38.3	24.1	51.1	16.6	0.7	0.0
	中学校	47.8	29.8	14.5	17.1	8.3	40.2	29.3	17.9	56.0	17.9	0.8	0.0
教員	29歳以下	40.6	35.1	12.4	17.9	5.2	41.8	41.4	24.8	50.0	13.7	0.0	0.0
	30~39歳	50.7	37.7	18.4	9.6	7.5	40.2	38.7	22.5	49.5	14.9	0.0	0.0
	40~49歳	55.4	40.3	14.1	5.9	6.4	44.9	33.7	24.8	50.3	16.2	0.5	0.0
	50~59歳	58.8	31.5	9.3	5.1	9.3	47.5	35.0	25.3	56.4	16.3	1.2	0.0
	60歳以上	66.7	36.2	14.9	7.5	9.8	42.5	32.8	23.0	50.6	14.4	0.0	0.0
	小学校	53.8	32.9	12.4	11.1	6.8	43.6	38.8	24.4	50.3	16.0	0.4	0.0
	中学校	47.4	43.6	18.0	8.6	7.6	41.4	34.7	23.3	51.6	13.2	0.0	0.0

⑥ 現在の学校教育の問題点

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 2					

問. 現在の学校教育について、どのような問題があると思いますか。（5つまで）

「教師が多忙すぎる」(40.5%)、「教師の立場が弱すぎる」(37.9%)、「いじめ、学級崩壊などの問題行動が多い」(35.5%)、「子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい」(32.1%)が多くなっている。



年齢別にみると、59歳以下では「教師が多忙すぎる」、60歳代では「教師の立場が弱すぎる」(37.9%)、70歳以上では「道徳教育やこころの教育が十分でない」の割合が最も高い。

		教 師 が 多 忙 す ぎ る	教 師 の 立 場 が 弱 す	多 な い ど じ の め 問 題 学 行 級 動 崩 が 壊	個 子 難 性 ど し を も い 伸 の ば 創 す 造 こ 性 と や	学 校 頼 り に す し ぎ つ て け い な る ど	学 子 力 ど が も 低 の 下 基 し 础 的 い な	道 徳 教 育 教 育 が 育 十 や 分 こ で こ な ら	不 登 校 の 子 ど も が	進 学 よ 中 心 て の い 教 育 に	指 導 え 力 不 足 の い 教 る 師
		%									
市民	20歳未満	41.0	23.0	24.6	27.9	16.4	27.9	9.8	39.3	24.6	14.8
	20~29歳	59.7	39.5	41.1	40.3	24.0	25.6	14.0	24.8	22.5	14.7
	30~39歳	44.0	38.4	38.9	29.6	22.2	32.9	19.0	20.8	13.0	25.0
	40~49歳	38.8	33.6	33.6	31.1	22.7	27.3	25.2	28.0	16.8	21.3
	50~59歳	40.9	38.1	35.6	26.6	32.8	33.8	26.6	32.8	21.6	24.1
	60~64歳	38.1	40.1	38.1	39.5	34.7	27.9	32.0	24.5	21.8	19.0
	65~69歳	38.9	45.0	45.0	32.1	43.5	23.7	35.1	21.4	33.6	27.5
	70~74歳	36.3	37.4	32.7	35.1	27.5	29.8	42.7	26.9	30.4	25.7
	75歳以上	34.8	40.3	31.6	32.9	36.8	30.0	41.6	17.4	34.2	20.3

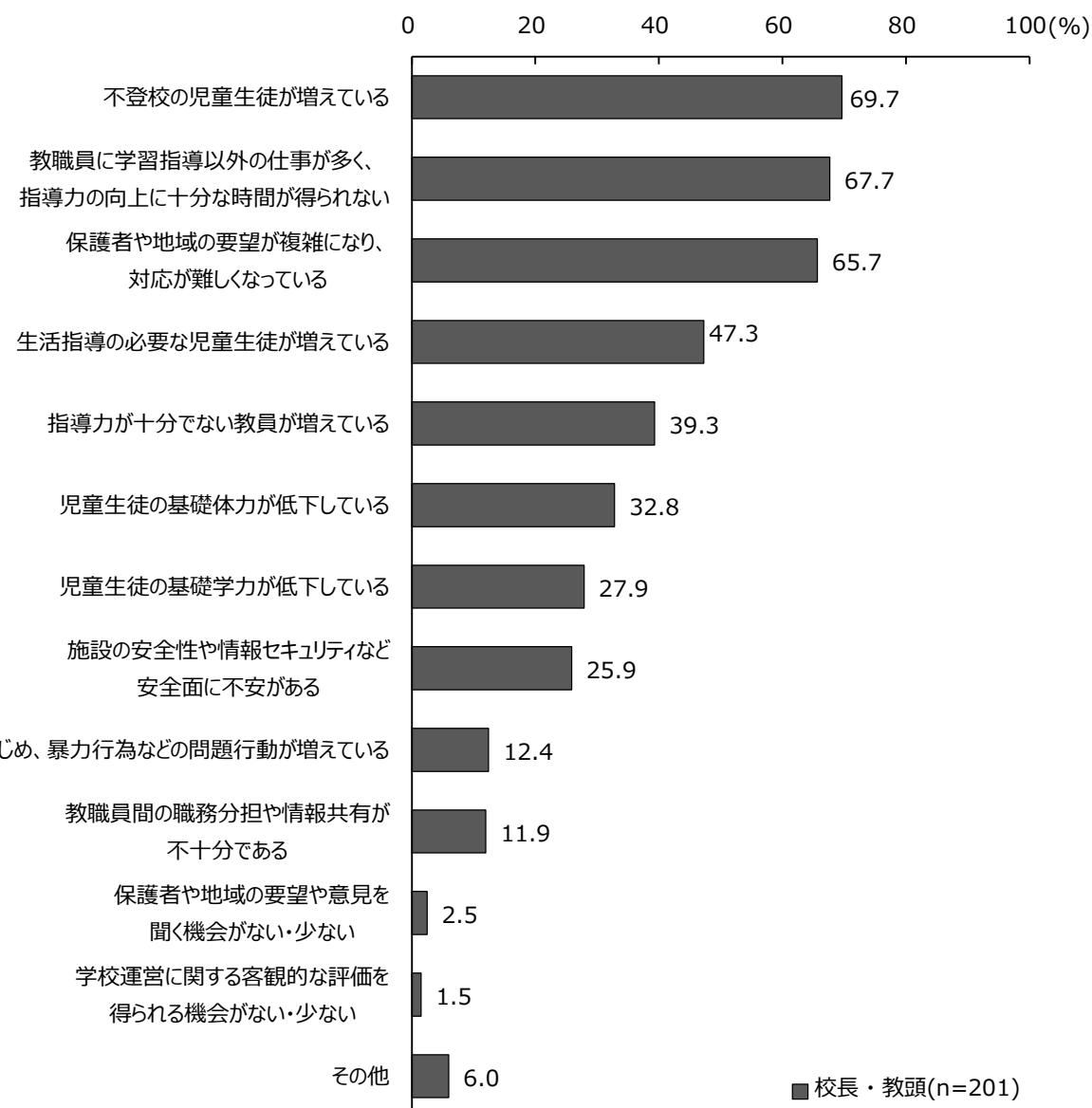
		で い C な T い 教 イ 育 ン が 授 進 業 ん や	オ ン ラ イ ン な い 教 育 が 授 進 業 ん や	携 学 校 十 分 地 域 な と い の 連	い 1 学 級 の 人 数 が 多	そ の 他	特 に 問 題 は な い	無 回 答
		%						
市民	20歳未満	21.3	1.6	4.9	3.3	8.2	0.0	
	20~29歳	14.0	5.4	6.2	0.8	1.6	0.8	
	30~39歳	8.3	8.8	10.2	7.4	4.2	0.0	
	40~49歳	16.4	10.1	12.6	9.4	6.3	0.3	
	50~59歳	8.4	6.6	8.4	7.2	1.9	1.3	
	60~64歳	6.8	8.2	8.8	5.4	0.7	0.7	
	65~69歳	6.1	4.6	9.2	3.8	1.5	0.8	
	70~74歳	4.7	14.6	8.8	5.8	4.1	4.7	
	75歳以上	7.7	16.5	7.1	2.3	1.6	5.2	

⑦ 学校運営での課題

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
					問 17

問. 学校運営について、どのようなことに特に課題を感じていますか。(5つまで)

「不登校の児童生徒が増えている」(69.7%)、「教職員に学習指導以外の仕事が多く、指導力の向上に十分な時間が得られない」(67.7%)、「保護者や地域の要望が複雑になり、対応が難しくなっている」(65.7%)が多くなっている。



2 授業

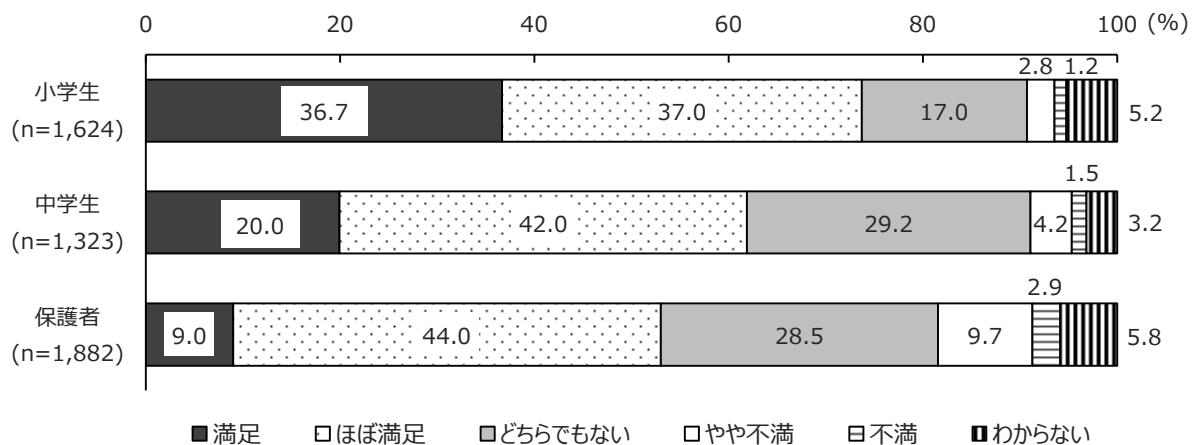
① 授業の満足度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問4	問4	問7		

問. あなたは、学校の授業に満足していますか。(1つ)

「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生が最も多く73.7%となっている。次いで、中学生(62.0%)、保護者(53.0%)となっている。

前回と比べると、小・中学生ともに「満足」「ほぼ満足」の割合が若干減少している。



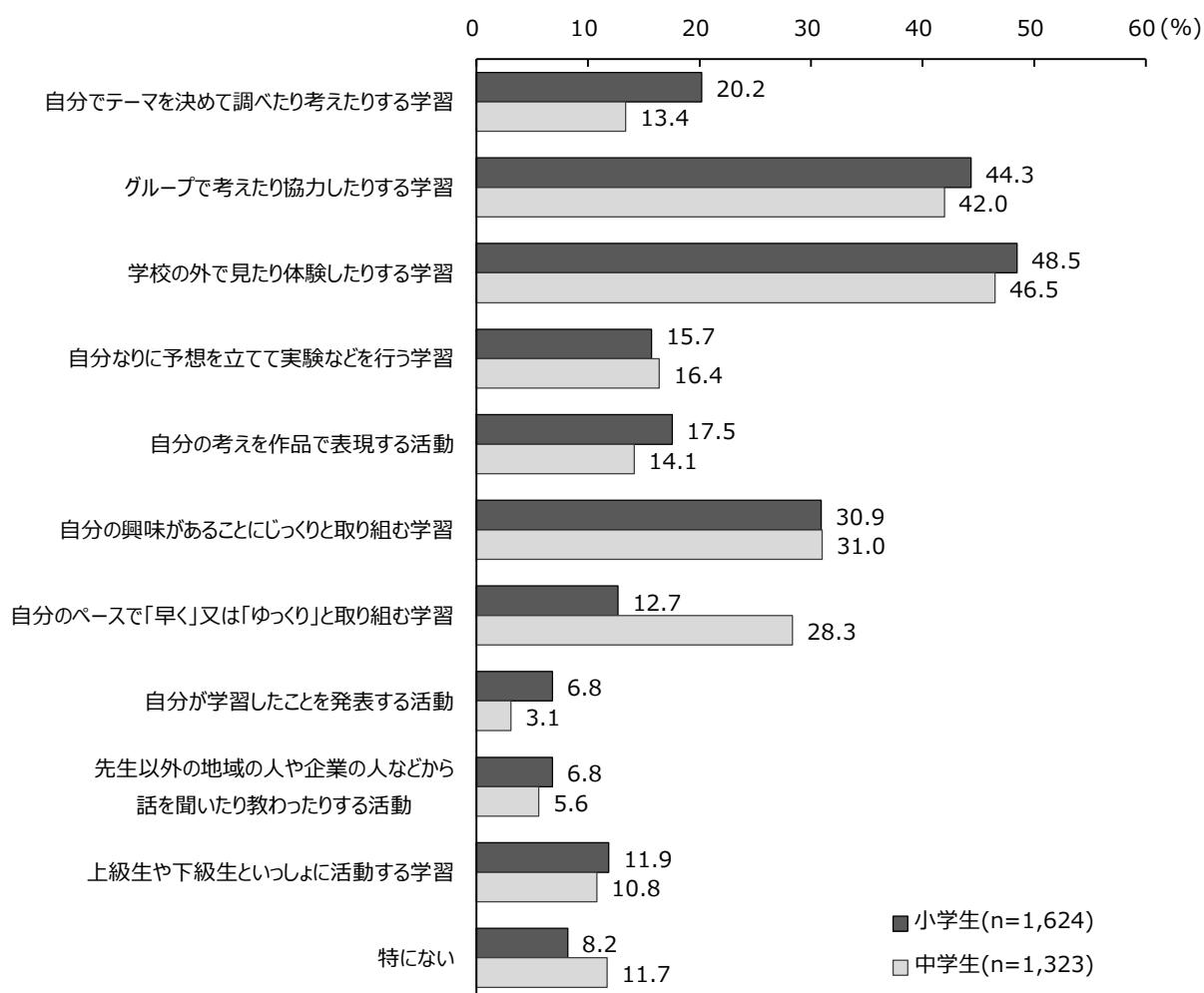
回答	小学生		中学生		小学生保護者		中学生保護者	
	今回 (n=1,624)	前回 (n=1,638)	今回 (n=1,323)	前回 (n=1,424)	今回 (n=1,138)	前回 (n=1,570)	今回 (n=744)	前回 (n=1,358)
満足	36.7	38.2	20.0	22.3	12.0	16.4	4.4	9.6
ほぼ満足	37.0	37.9	42.0	42.5	49.0	45.1	36.4	36.5
どちらでもない	17.0	13.0	29.2	22.7	25.5	20.5	33.2	26.0
やや不満	2.8	4.3	4.2	6.0	8.1	7.5	12.2	12.7
不満	1.2	1.5	1.5	1.6	1.7	2.6	4.7	3.5
わからない	5.2	3.8	3.2	4.1	3.8	6.9	9.0	11.4
無回答	0.0	1.2	0.0	0.8	0.0	0.9	0.0	0.4

② 好きな授業・学習内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 5	問 5			

問. 学校でどのような授業や学習が好きですか。(3つまで)

小・中学生ともに「学校の外で見たり体験したりする学習」(小学生 48.5%、中学生 46.5%)、「グループで考えたり協力したりする学習」(小学生 44.3%、中学生 42.0%)が多くなっている。



③ 授業に対する子どもの理解度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 6	

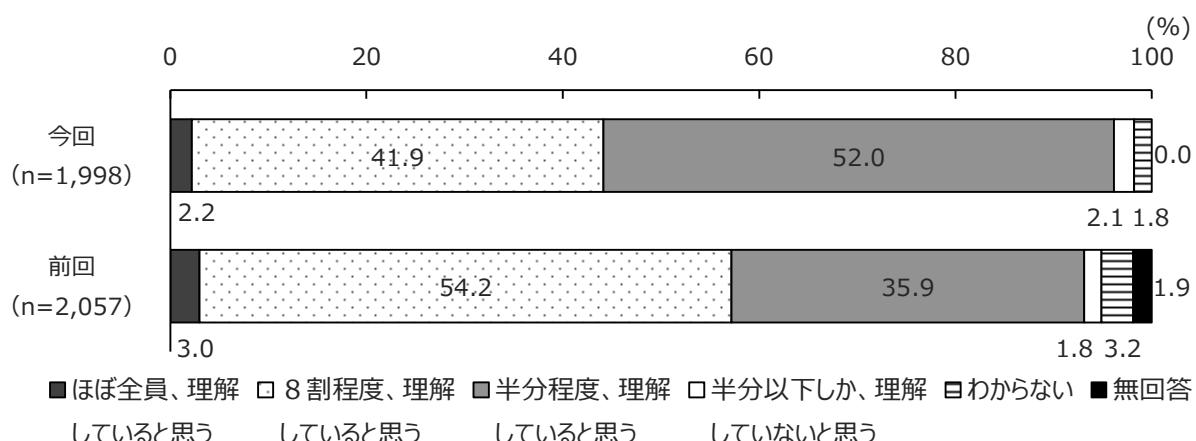
問. ご自身の授業に対して、児童生徒の理解度はどの程度だと思いますか。(1つ)

※小学校では担当教科を平均してください。

「半分程度、理解していると思う」が最も多く 52.0% となっている。次いで、「8割程度、理解していると思う」(41.9%) が多くなっている。

前回と比べると、「8割程度、理解していると思う」の割合が減少し、「半分程度、理解していると思う」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、年齢の若い教員や中学校の教員で「半分程度、理解していると思う」の割合が高くなっている。



		いほ るば と全 思員 う、 理 解 し て	い8 る割 と程 思度 う、 理 解 し て	い半 る分 と程 思度 う、 理 解 し て	し半 て分 と程 思度 う、 理 解 し て	わ か ら な い	無 回 答
		%					
教員	29歳以下	2.3	35.5	59.0	1.5	1.7	0.0
	30~39歳	2.0	39.4	53.5	2.8	2.3	0.0
	40~49歳	2.1	43.3	51.9	1.4	1.4	0.0
	50~59歳	2.3	52.9	40.5	2.3	1.9	0.0
	60歳以上	2.9	50.6	43.1	2.3	1.1	0.0
	小学校	2.3	46.4	47.9	1.9	1.6	0.0
	中学校	2.0	33.9	59.5	2.4	2.3	0.0

3 小中一貫教育・小中連携

① 中学に進学する（した）ときの不安

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 8~10	問 9~11			

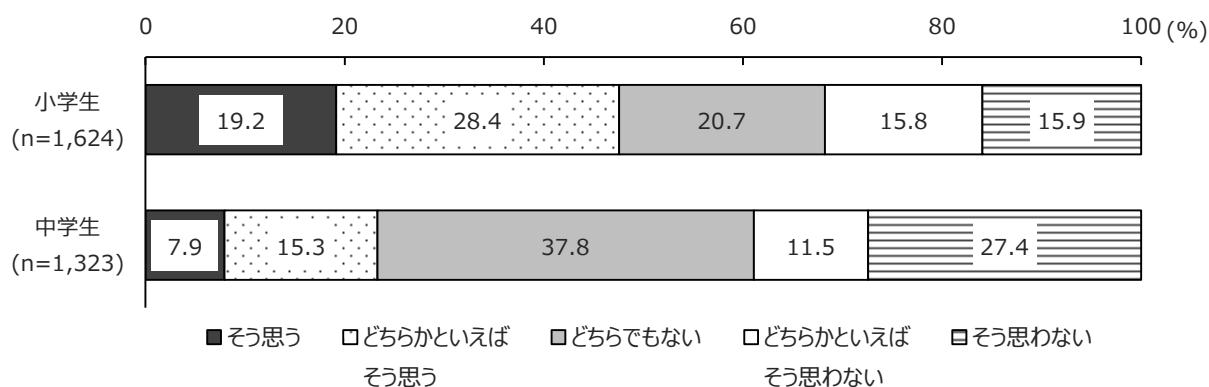
【小学生】

問. 中学校に進学するときに、先生に気軽に相談できるか不安に思いますか。（1つ）

【中学生】

問. 中学校に進学したときに、先生に気軽に相談しづらくなかったと思いましたか（1つ）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、小学生が 47.6%、中学生が 23.2% となっている。



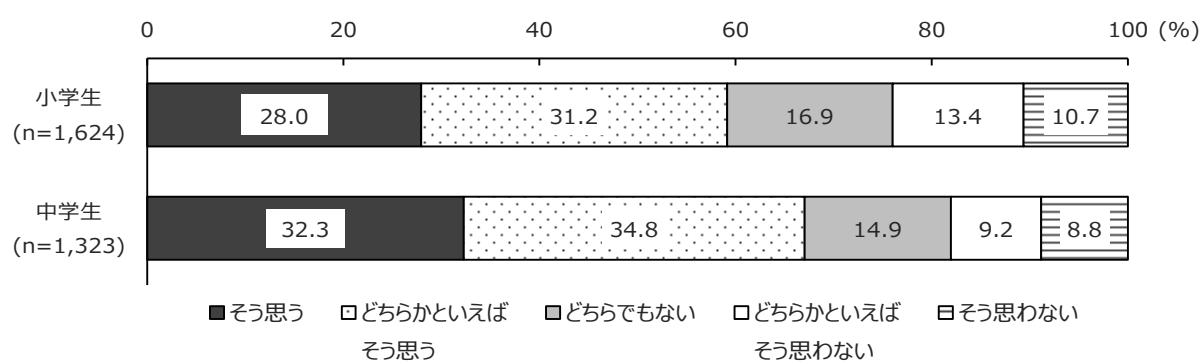
【小学生】

問. 中学校に進学するときに、授業についていけるか不安に思いますか。（1つ）

【中学生】

問. 中学校に進学したときに、授業が急に難しくなって大変だと思いましたか。（1つ）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、小学生が 59.2%、中学生が 67.1% となっている。



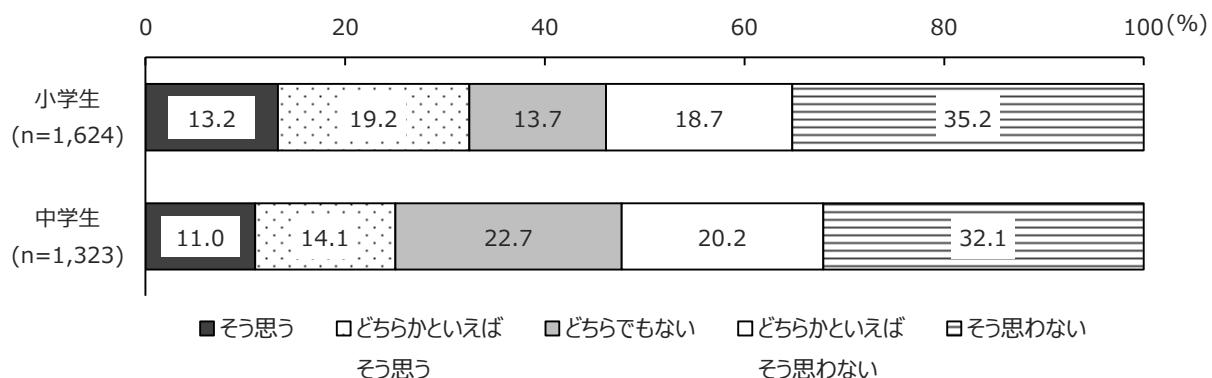
【小学生】

問. 中学校に進学するときに、他の学校出身の子と仲良くなれるか不安に思いますか。
(1つ)

【中学生】

問. 中学校に進学したときに、他の学校出身の子と仲良くなることに苦労しましたか。
(1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、小学生が 32.4%、中学生が 25.1% となっている。

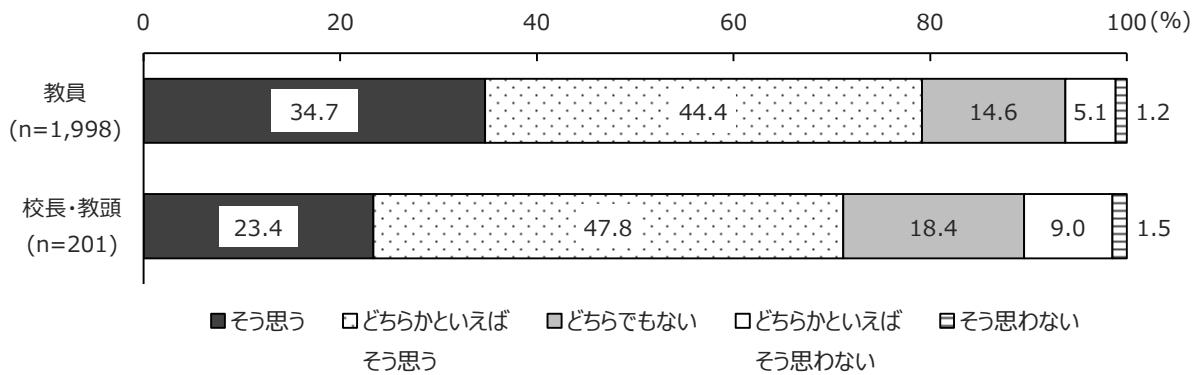


② 中1ギャップの状況

	市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
					問 11	問 10

問. 「中1ギャップ」を抱えている生徒がいると思いますか。(1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、教員が 79.1%、校長・教頭が 71.2% となっている。

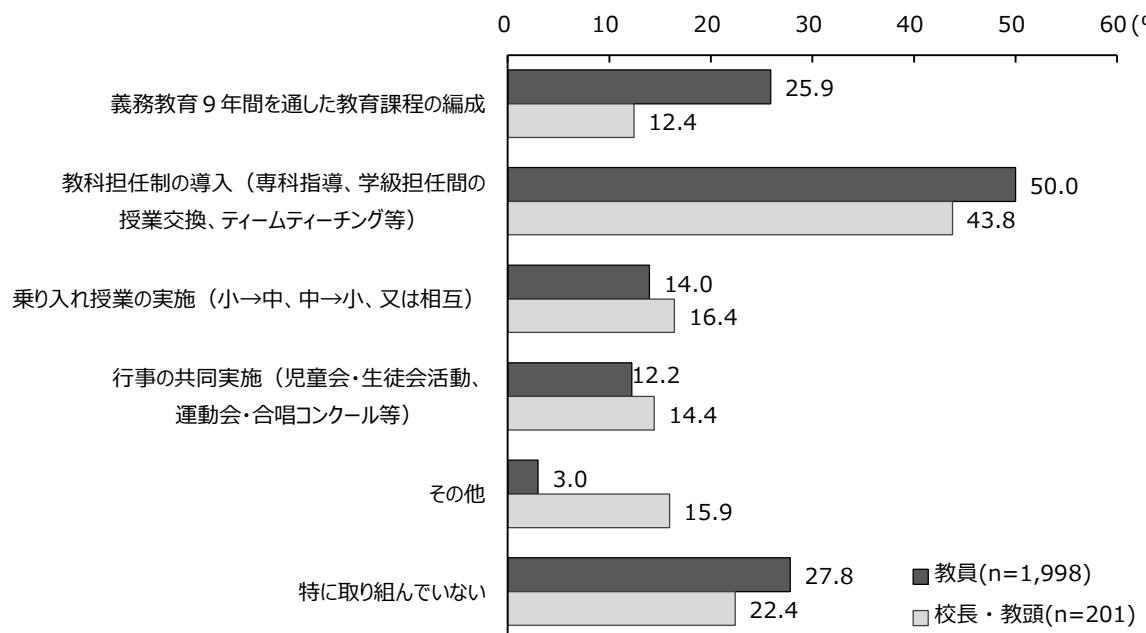


③ 小中一貫教育や小中連携の手法

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 12	問 11

問. 小中連携や小中一貫教育として、どのようなことに取り組んでいますか。
(あてはまるものすべて)

教員、校長・教頭ともに「教科担任制の導入（専科指導、学級担任間の授業交換、チームティーチング等）」（教員 50.0%、校長・教頭 43.8%）が最も多くなっている。次いで、「特に取り組んでいない」（教員 27.8%、校長・教頭 22.4%）が多く、教員では「義務教育 9 年間を通した教育課程の編成」（25.9%）も多くなっている。



4 教育環境

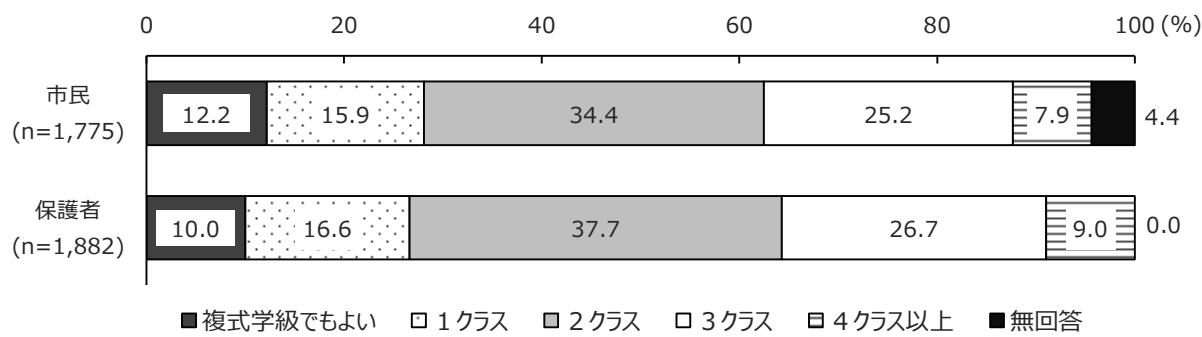
① (小学校) 1学年あたりの最低でも必要なクラス数

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 7			問 11	問 13	問 12

問. 少子化で児童生徒数が減少しています。子どもたちにとって適切な教育環境を保つためには、1学年あたり最低でも何クラス必要だと思いますか。(1つ)

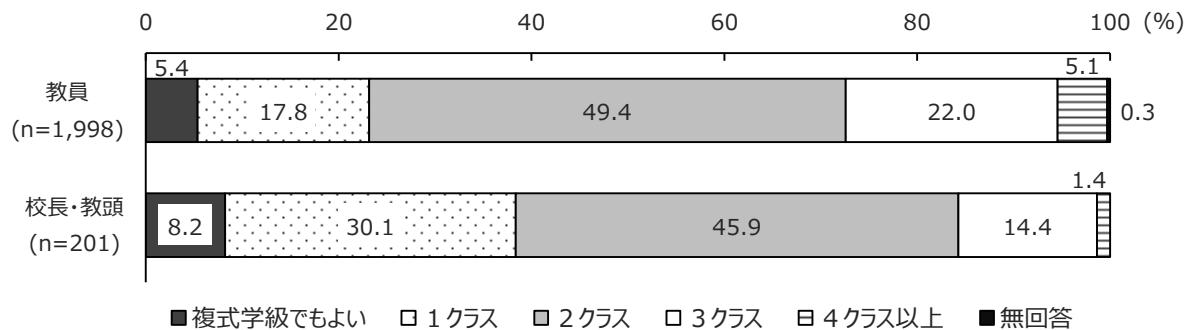
【適切な教育環境を保つため】

市民、保護者ともに「2クラス」(市民 34.4%、保護者 37.7%) が最も多くなっている。次いで、「3クラス」(市民 25.2%、保護者 26.7%) が多くなっている。



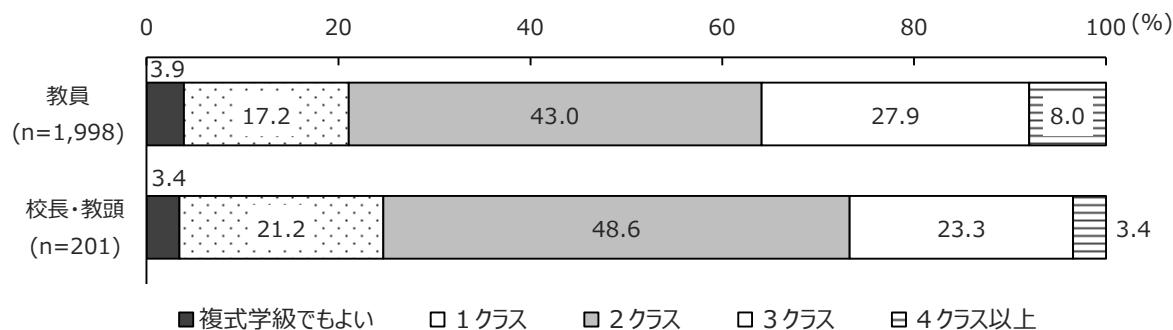
【児童生徒の学習環境や人間関係の構築の側面から】

教員、校長・教頭ともに「2クラス」(教員 49.4%、校長・教頭 45.9%) が最も多くなっている。次いで、教員では「3クラス」(22.0%) が、校長・教頭では「1クラス」(30.1%) が多くなっている。



【教員の学年運営の側面から】

教員、校長・教頭ともに「2クラス」(教員 43.0%、校長・教頭 48.6%) が最も多くなっている。次いで、「3クラス」(教員 27.9%、校長・教頭 23.3%) が多くなっている。



② (中学校) 1学年あたりの最低でも必要なクラス数

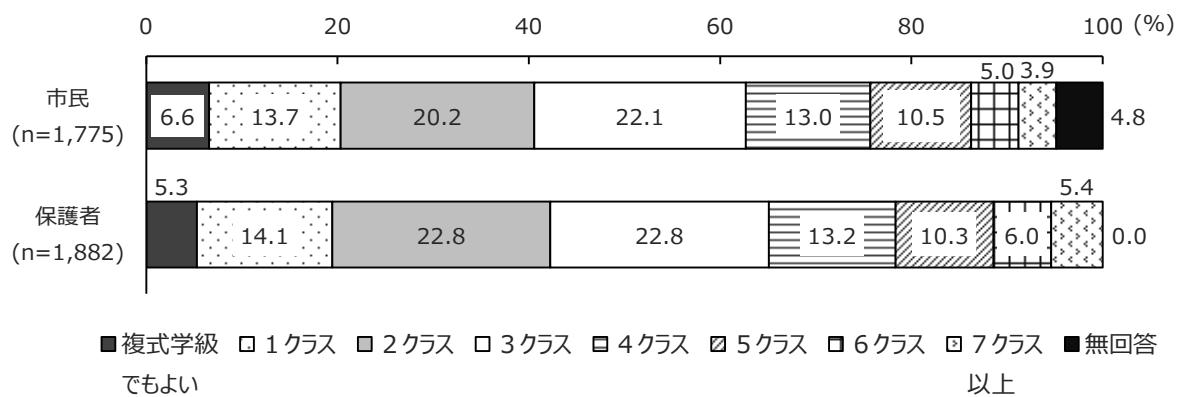
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 7			問 11	問 14	問 13

問. 少子化で児童生徒数が減少しています。子どもたちにとって適切な教育環境を保つためには、1学年あたり最低でも何クラス必要だと思いますか。(1つ)

【適切な教育環境を保つため】

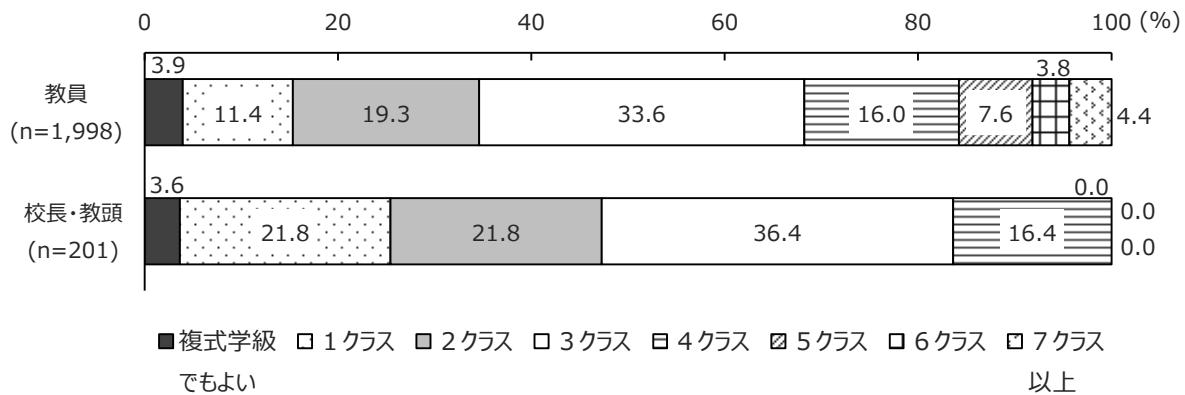
市民では「3クラス」が最も多く22.1%となっている。次いで「2クラス」(20.2%)、「1クラス」(13.7%)が多くなっている。

保護者では「2クラス」「3クラス」がともに22.8%と最も多くなっている。次いで「1クラス」(14.1%)が多くなっている。



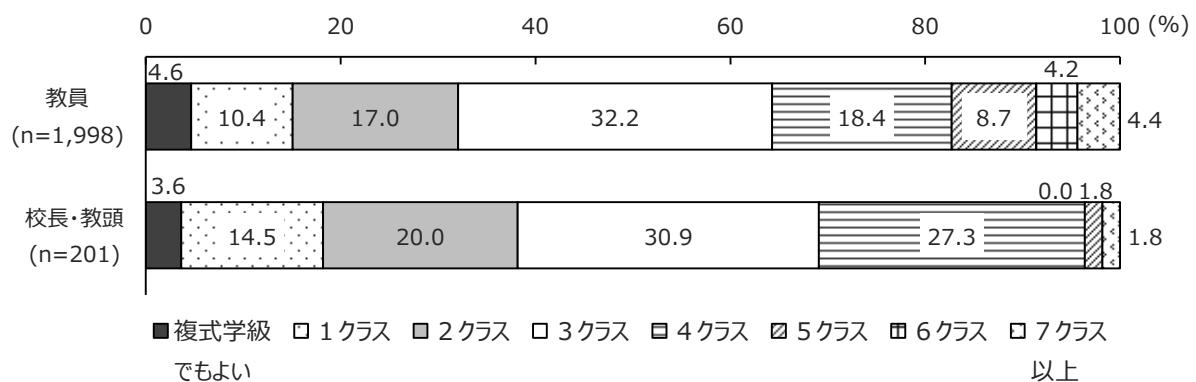
【児童生徒の学習環境や人間関係の構築の側面から】

教員、校長・教頭ともに「3クラス」(教員 33.6%、校長・教頭 36.4%) が最も多く、次いで「2クラス」(教員 19.3%、校長・教頭 21.8%) が多くなっている。



【教員の学年運営の側面から】

教員、校長・教頭ともに「3クラス」(教員 32.2%、校長・教頭 30.9%) が最も多くなっている。次いで「4クラス」(教員 18.4%、校長・教頭 27.3%) が多くなっている。

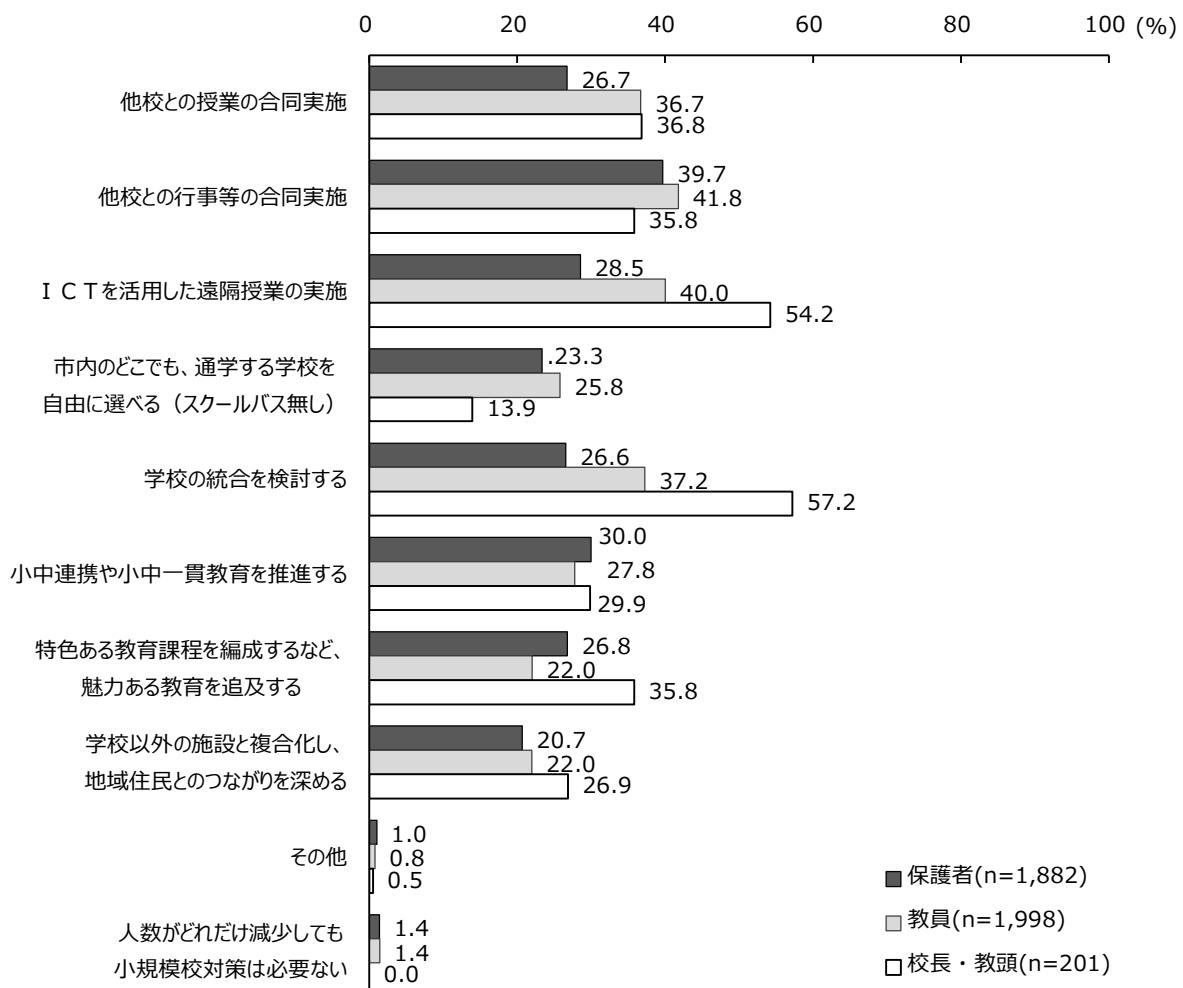


③ 小規模校の対策の方法

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 12	問 15	問 14

問. 今後、少子化で児童生徒数がさらに減少していく場合、小規模校の対策の方法として、どのような取組を期待しますか。(あてはまるものすべて)

保護者、教員では「他校との行事等の合同実施」(保護者 39.7%、教員 41.8%) が最も多くなっている。保護者では、次いで「小中連携や小中一貫教育を推進する」(30.0%) が多く、教員では「ＩＣＴを活用した遠隔授業の実施」(40.0%) が多くなっている。校長・教頭では「学校の統合を検討する」が最も多く 57.2% となっている。次いで、「ＩＣＴを活用した遠隔授業の実施」(54.2%) が多くなっている。



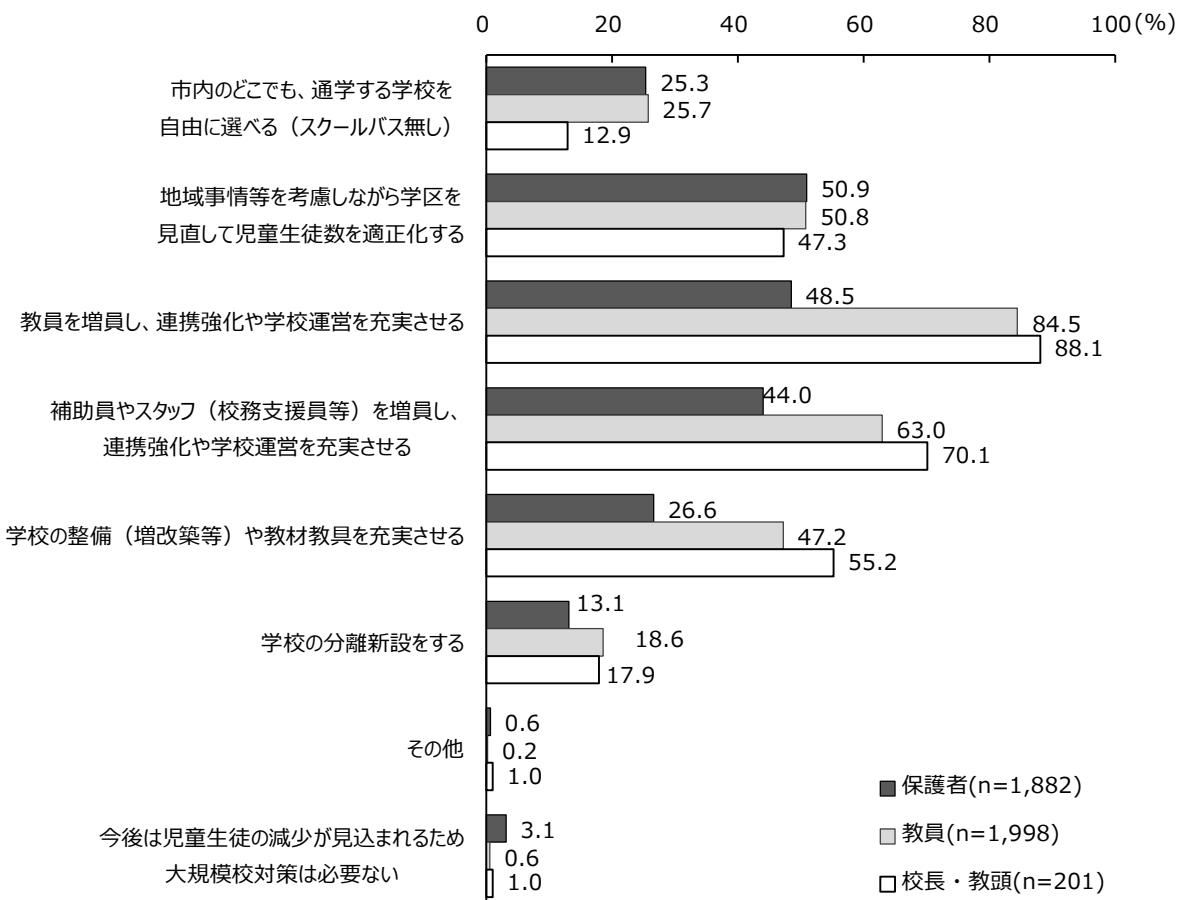
④ 大規模校の対策の方法

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 13	問 16	問 15

問. 今後、児童生徒数が増加していく場合、大規模校の対策の方法として、どのような取組を期待しますか。(あてはまるものすべて)

教員、校長・教頭では「教員を増員し、連携強化や学校運営を充実させる」(教員 84.5%、校長・教頭 88.1%) が最も多く、次いで「補助員やスタッフ(校務支援員等)を増員し、連携強化や学校運営を充実させる」(教員 63.0%、校長・教頭 70.1%) が多くなっている。

保護者では「地域事情等を考慮しながら学区を見直して児童生徒数を適正化する」(50.9%)、「教員を増員し、連携強化や学校運営を充実させる」(48.5%)、「補助員やスタッフ(校務支援員等)を増員し、連携強化や学校運営を充実させる」(44.0%) が多くなっている。

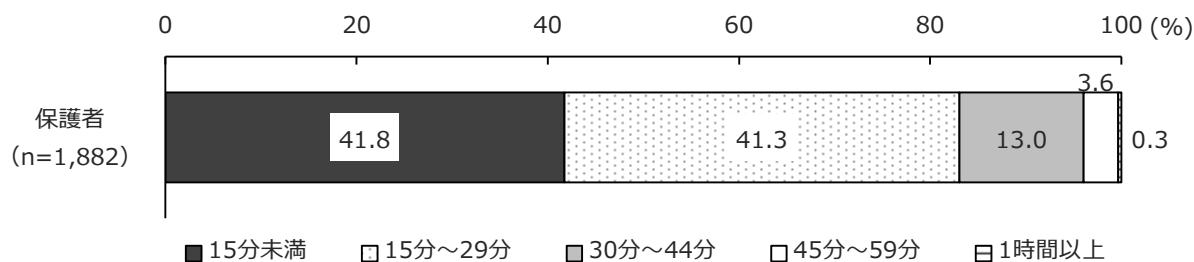


⑤ 通学時間

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 14		

問. お子さんの片道の通学時間はどのくらいですか。(1つ)

「15分未満」が41.8%、「15分～29分」が41.3%が多い。なお、「1時間以上」が0.3%、「45分～59分」が3.6%となっている。



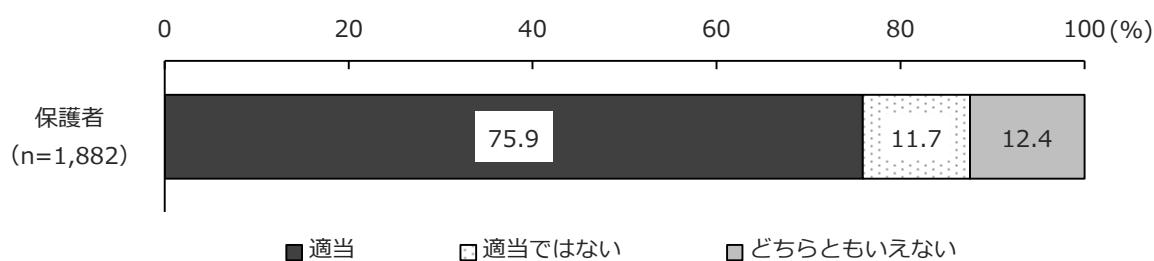
⑥ 通学時間の妥当性

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 15		

問. お子さんの片道の通学時間についてどのように感じますか。(1つ)

「適當」が75.9%、「適當ではない」が11.7%、「どちらともいえない」が12.4%となっている。

通学時間別でみると、30分以上で「適當ではない」の割合が高くなっている。



		適當	適當ではない	どちらともいえない	無回答
		%			
通学時間	15分未満	95.0	1.0	3.9	0.0
	15分～29分	78.6	7.7	13.6	0.0
	30分～44分	26.1	42.0	31.8	0.0
	45分～59分	7.4	66.2	26.5	0.0
	1時間以上	16.7	66.7	16.7	0.0

5 特色ある教育

① 特色のある教育として重要なこと・学びたいこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 3	問 7	問 7	問 9	問 8	問 7

【市民、保護者、教員、校長・教頭】

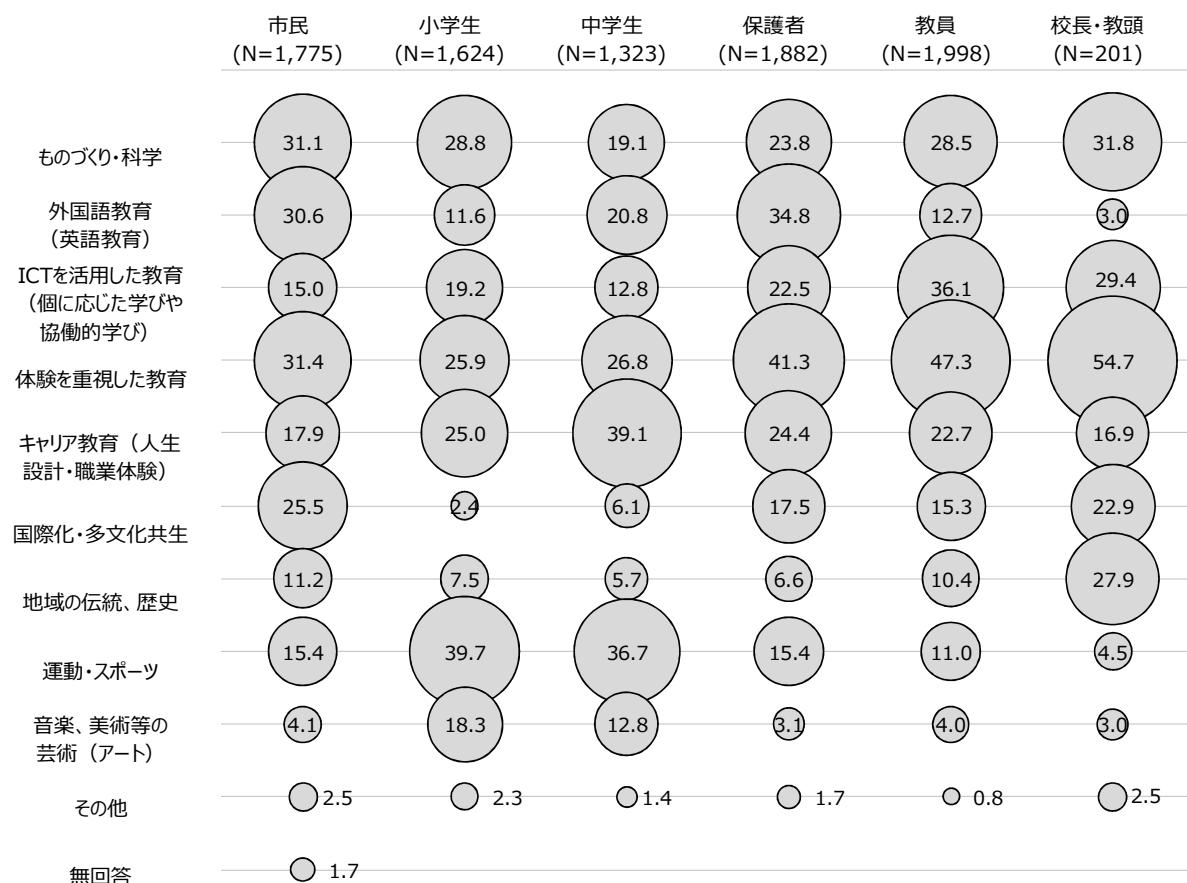
問. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思いま
すか。(2つまで)

【小学生、中学生】

問. あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか。(2つまで)

市民、保護者、教員、校長・教頭では、「体験を重視した教育」(市民 31.4%、保護者 41.3%、教員 47.3%、校長・教頭 54.7%) が最も多くなっている。

「運動・スポーツ」は小学生 (39.7%) で最も多く、中学生 (36.7%) で2番目に多
い。「キャリア教育 (人生設計・職業体験)」は中学生 (39.1%) が最も多くなっている。



市民の年齢別にみると、64歳以下は「ものづくり・科学」「体験を重視した教育」、65歳以上は「外国語教育」「国際化・多文化共生」の割合が高い。保護者・教員ともに、小学校で「体験を重視した教育」の割合が特に高い。

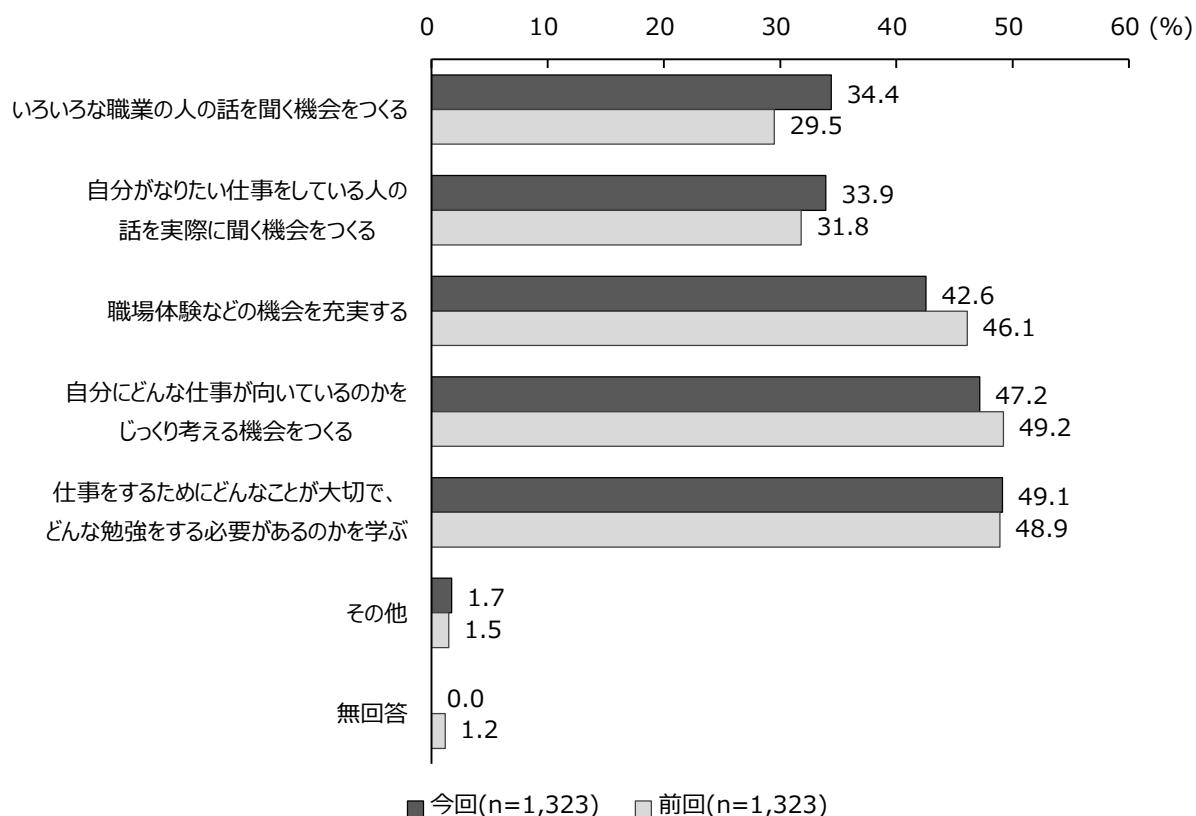
		ものづくり・科学	育外語教育(英語教)	や育協(CT)的(びじ)に(たし)て(たび)を(び)用(用)い(た)	体験を重視した教育	設計(リ)職業教(育)体験(人生)	国際化・多文化共生	地域の伝統、歴史	運動・スポーツ	(音ア楽ー、ト美術等の芸術)	その他	無回答
		%										
市民	20歳未満	23.0	29.5	9.8	32.8	24.6	13.1	6.6	14.8	11.5	1.6	0.0
	20~29歳	34.9	24.8	17.1	31.0	25.6	17.1	5.4	17.1	6.2	0.8	0.0
	30~39歳	38.0	28.7	9.7	38.9	18.1	21.8	9.7	19.0	3.2	1.4	0.5
	40~49歳	30.8	30.8	12.6	36.7	28.3	22.4	8.4	12.2	3.8	3.1	1.0
	50~59歳	33.4	28.8	18.8	30.6	17.5	27.2	7.8	14.4	5.6	3.8	1.3
	60~64歳	34.7	25.9	17.0	37.4	12.2	23.1	10.9	13.6	2.7	2.0	1.4
	65~69歳	25.2	37.4	15.3	28.2	17.6	29.0	14.5	19.1	1.5	2.3	0.8
	70~74歳	29.2	32.2	16.4	22.2	13.5	32.7	17.0	14.0	3.5	2.9	2.9
	75歳以上	26.1	34.5	15.8	25.8	9.4	30.6	17.1	16.5	3.2	1.9	4.8
保護者	小学校	26.0	33.2	19.1	45.2	20.9	17.8	7.2	17.0	3.1	1.9	0.0
	中学校	20.3	37.1	27.8	35.3	29.7	17.1	5.8	12.9	3.1	1.3	0.0
教員	小学校	29.1	11.3	37.5	50.6	18.7	14.8	11.1	11.0	4.4	1.0	0.0
	中学校	27.4	15.0	33.6	41.4	29.8	16.0	9.1	11.0	3.4	0.4	0.0

② 将来の職業を考えるために必要なこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
		問 8			

問. 将来の職業を考えるために、学校でどのようなことがあればよいと思いますか。（3つまで）

「仕事をするためにどんなことが大切で、どんな勉強をする必要があるのかを学ぶ」が最も多く 49.1% となっている。次いで、「自分にどんな仕事が向いているのかをじっくり考える機会をつくる」(47.2%)、「職場体験などの機会を充実する」(42.6%) が多くなっている。



③ インクルーシブ教育システムの推進に必要なこと

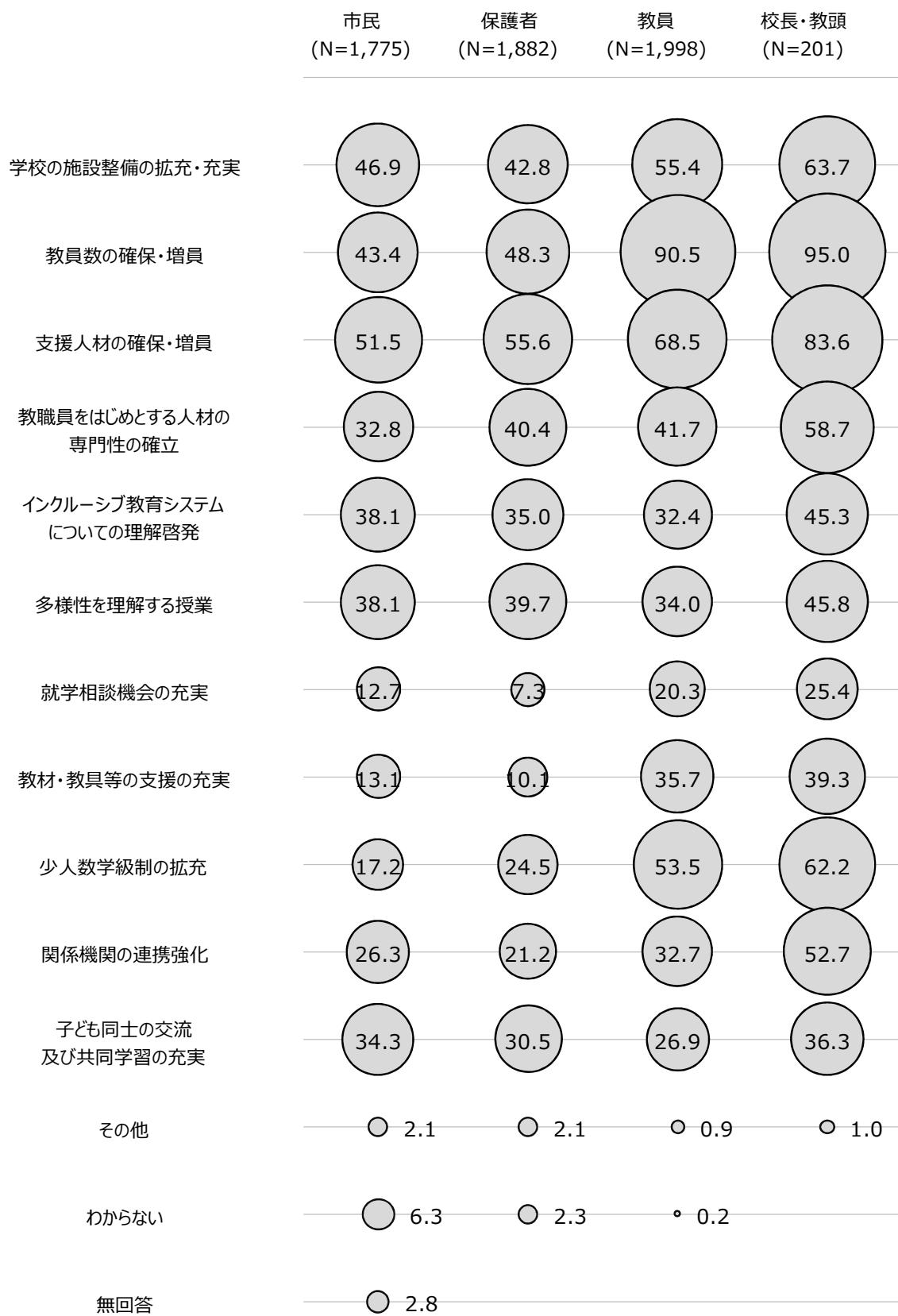
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 4			問 10	問 9	問 8

問. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム※を推進するために、どういったことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて）

※インクルーシブ教育システム：障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場所を提供できる仕組み

市民、保護者では「支援人材の確保・増員」（市民 51.5%、保護者 55.6%）、教員、校長・教頭では「教員数の確保・増員」（教員 90.5%、校長・教頭 95.0%）が最も多くなっている。

この他、「学校の施設整備の拡充・充実」「教職員をはじめとする人材の専門性の確立」「少人数学級の拡充」など多様な項目で必要との回答がみられる。



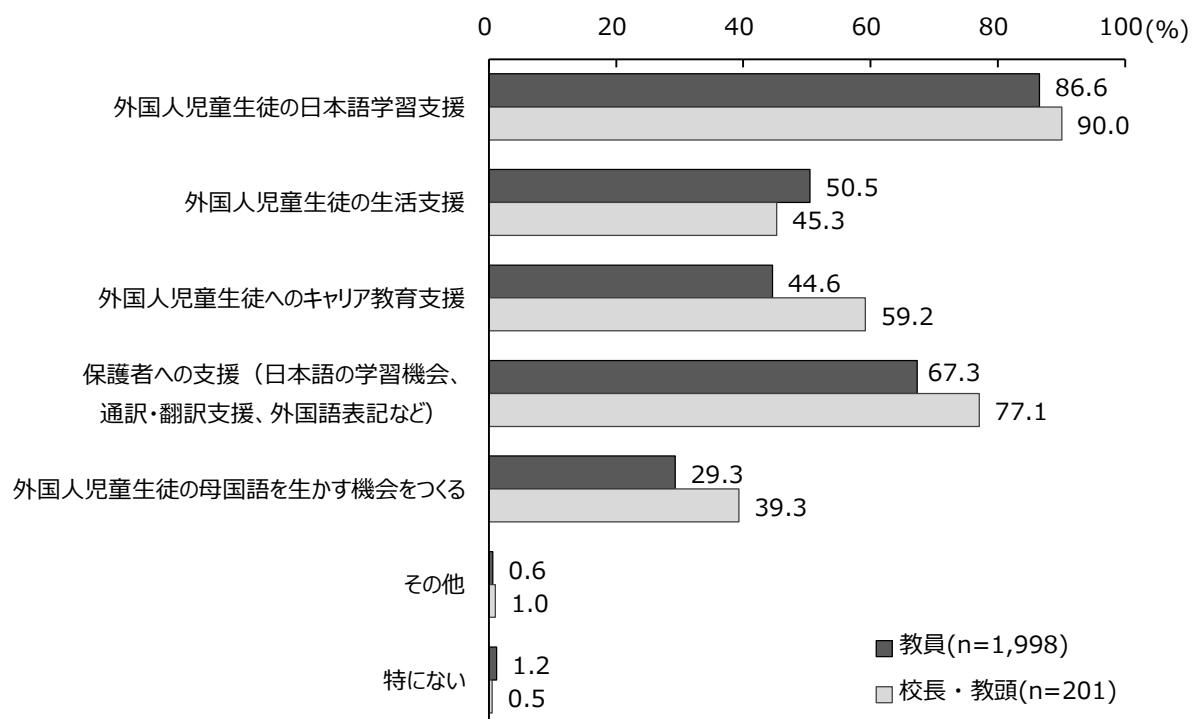
④ 外国人児童生徒への支援

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 10	問 9

問. 市内の外国人児童生徒への支援について、学校はどのようなことに、力を入れたらよいと思いますか。(あてはまるものすべて)

教員、校長・教頭ともに「外国人児童生徒の日本語学習支援」(教員 86.6%、校長・教頭 90.0%) が最も多く、次いで「保護者への支援（日本語の学習機会、通訳・翻訳支援、外国語表記など）」(教員 67.3%、校長・教頭 77.1%) が多くなっている。

校長・教頭では「外国人児童生徒へのキャリア教育支援」(59.2%) も多くなっている。



6 教師

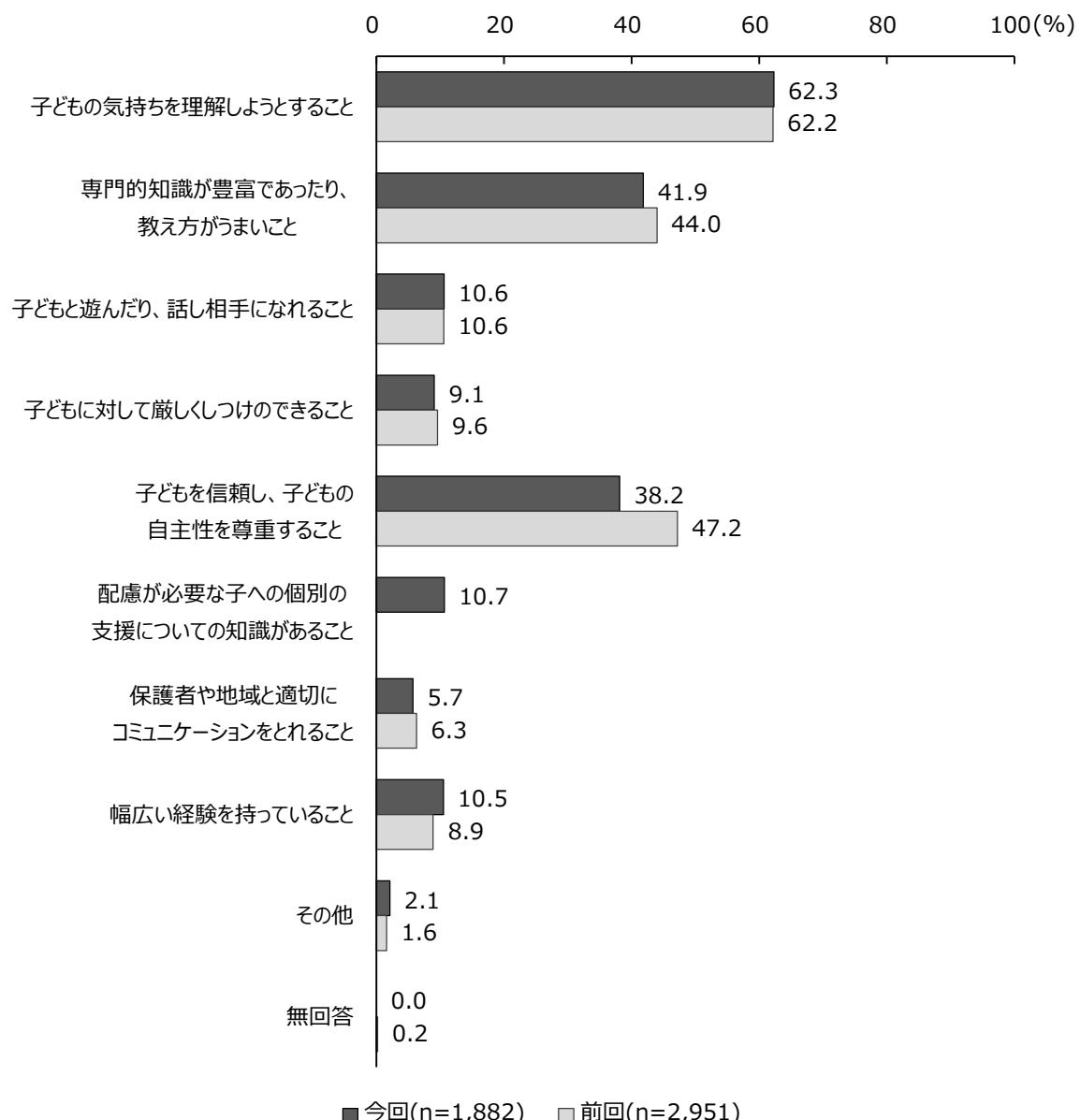
① 教師に期待すること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 8		

問. 学校の教師にどのようなことを期待しますか。(2つまで)

「子どもの気持ちを理解しようとする」とが最も多く 62.3%となっている。次いで、「専門的知識が豊富であったり、教え方がうまいこと」(41.9%)、「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」(38.2%) が多くなっている。

前回と比べると、「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」の割合が減少している。



* 「配慮が必要な子への個別の支援についての知識があること」は今回から選択肢に追加

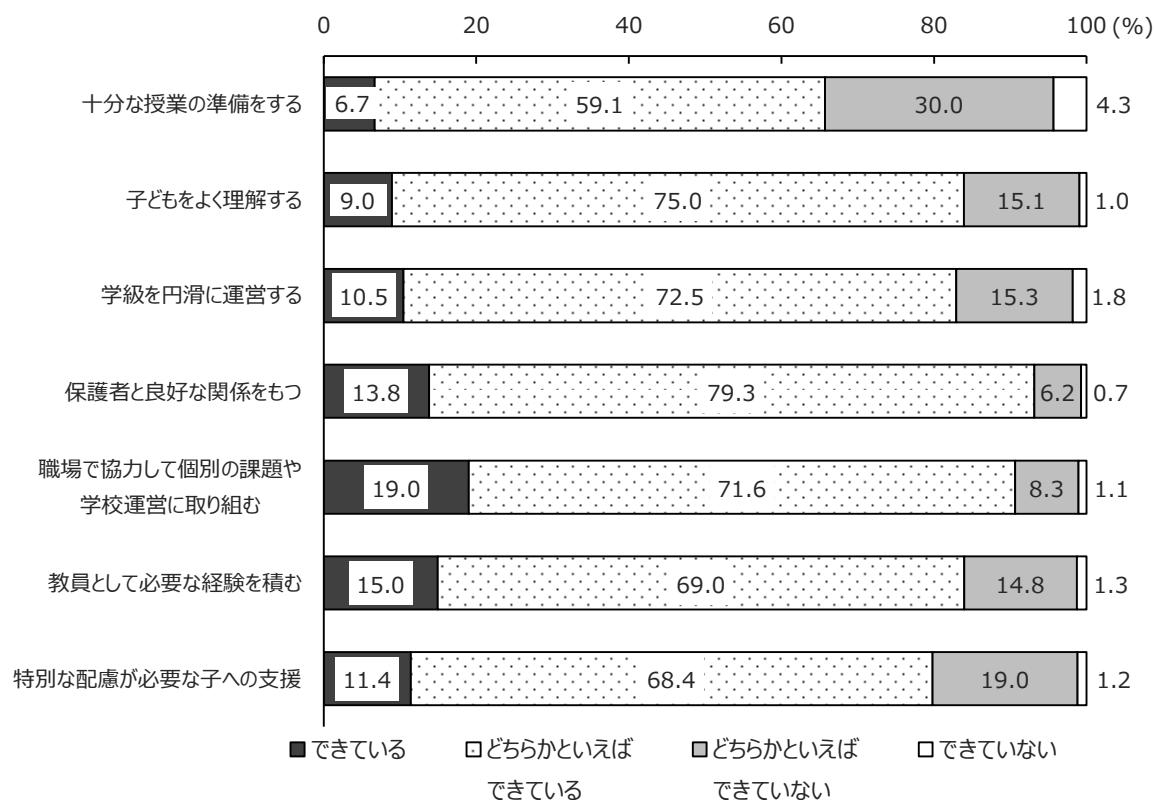
② 教師の教育活動の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 7	問 6

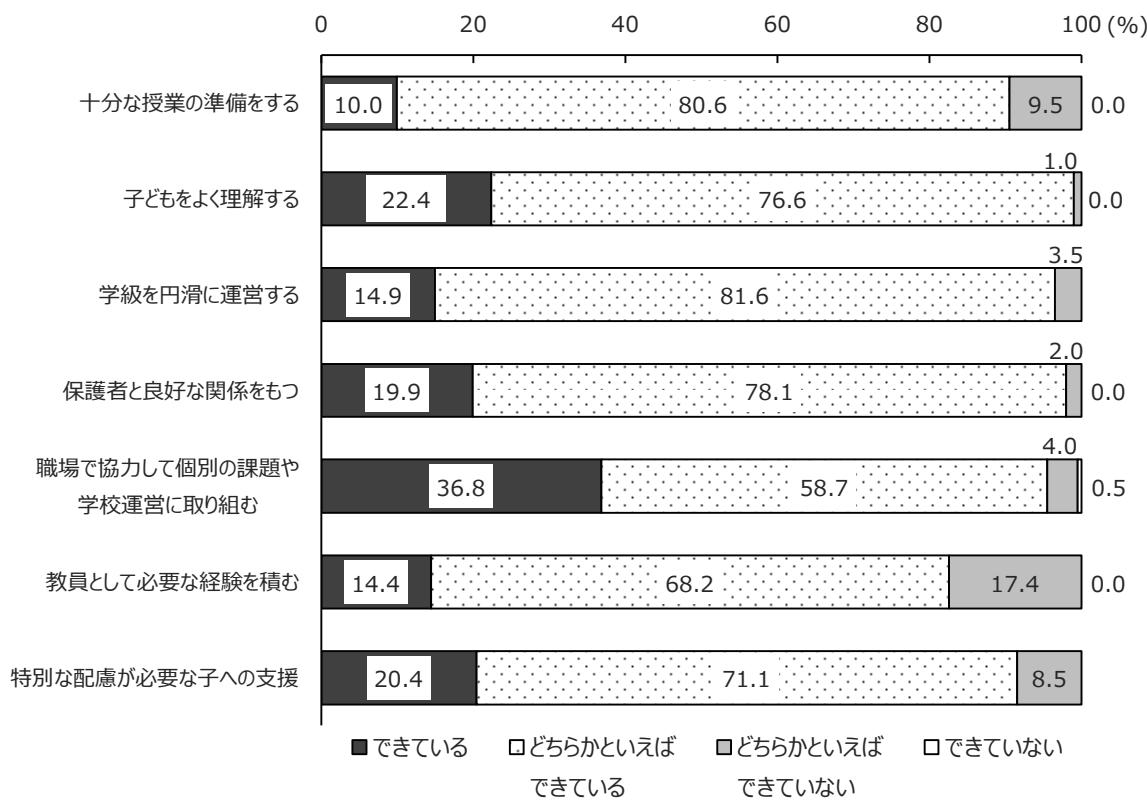
問. あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。(それぞれ 1 つ)

教員、校長・教頭ともに、「どちらかといえばできている」が、いずれの項目においても最も多くなっている。「できていない」「どちらかといえばできていない」の合計は、教員では「十分な授業の準備をする」(34.3%)、校長・教頭では「教員として必要な経験を積む」(17.4%)について、他の項目よりも多くなっている。

【教員】(n=1,998)



【校長・教頭】(n=201)



「どちらかといえばできていない」「できていない」の割合の合計をみると、49歳以下で「十分な授業の準備をする」で高くなっている。また、年齢が若い教員では、「学級を円滑に運営する」「特別な配慮が必要な子への支援」の割合が他の年代と比べて高い傾向がみられる。

・「どちらかといえばできていない」「できていない」の割合の合計

		する 子ど もを よ く 理 解 す	る 学 級 を 円 滑 に 運 営 す	を保 も護 つ者 と良 好な 関 係	取 り課 場組 題で むや 協 学 校 し運 て營 個 に別	驗 教 員 を員 積 と むし て必 要 な 經	子 特 別 の な 支 援 が 必 要 な	
		%						
教員	29歳以下	34.2	16.8	25.6	8.0	9.5	17.4	25.4
	30~39歳	43.5	21.2	17.2	8.4	11.3	20.9	26.2
	40~49歳	36.2	13.4	13.2	5.2	8.4	14.6	15.3
	50~59歳	20.6	9.3	10.5	4.3	5.4	8.2	10.1
	60歳以上	17.8	12.6	10.3	5.7	10.3	10.3	10.9
	小学校	36.6	13.7	14.5	6.2	8.5	16.1	20.1
	中学校	30.1	20.4	21.7	8.0	10.8	15.9	20.3

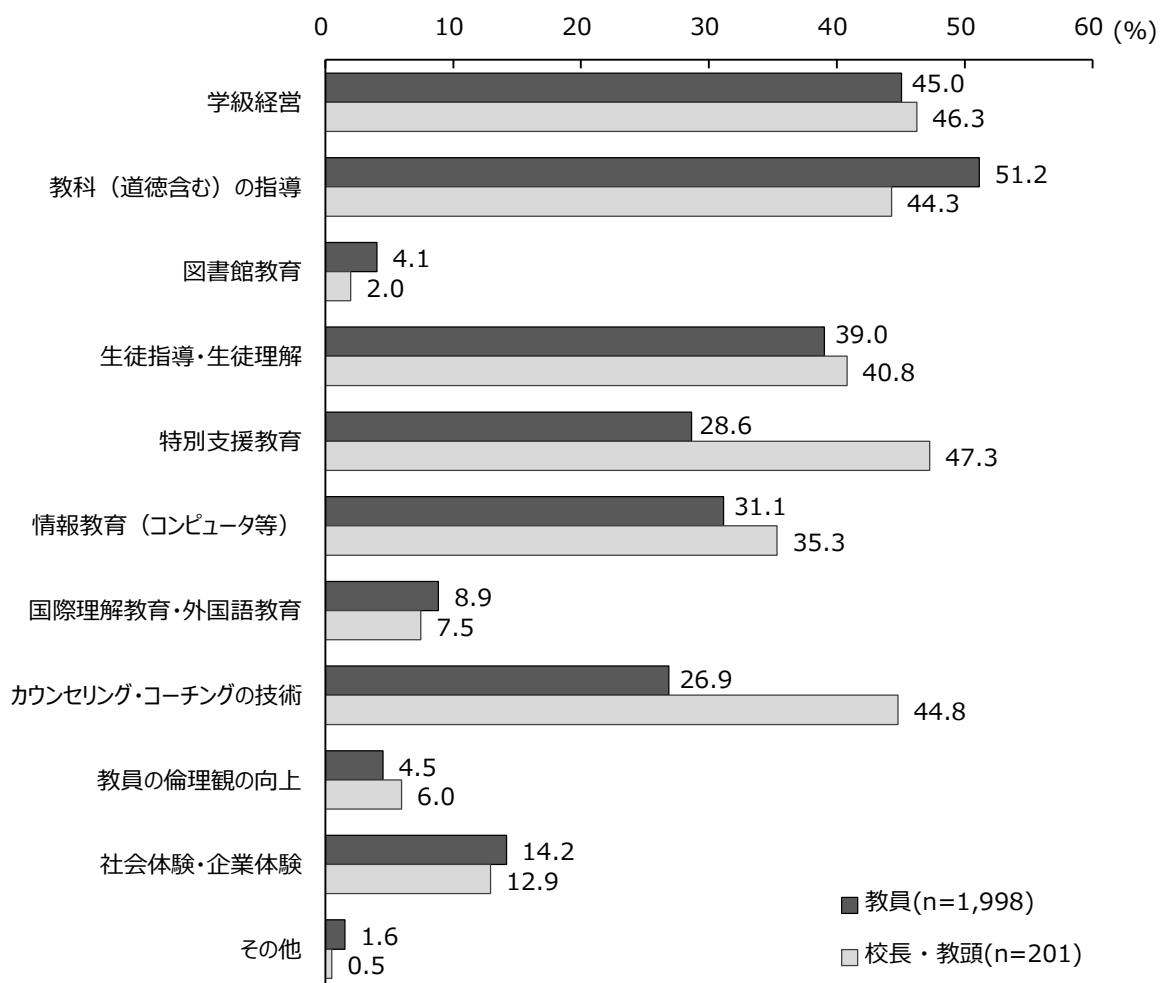
③ 今後充実を希望する研修内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 17	問 16

問. 今後、どのような研修の充実を希望しますか。(3つまで)

教員では「教科（道徳含む）の指導」が最も多く51.2%となっている。次いで、「学級経営」(45.0%)、「生徒指導・生徒理解」(39.0%)が多くなっている。

校長・教頭では「特別支援教育」(47.3%)、「学級経営」(46.3%)、「カウンセリング・コーチングの技術」(44.8%)、「教科（道徳含む）の指導」(44.3%)が多くなっている。



教員の年齢別にみると、総じて「教科（道徳含む）の指導」の割合が高くなっている。また、39歳以下で「学級経営」「生徒指導・生徒理解」、40歳以上で「情報教育（コンピュータ等）」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

校長・教頭は、小学校で「特別支援教育」、中学校で「カウンセリング・コーチングの技術」の割合が最も高くなっている。

		学級 経営	む教 科の（ 指道 導徳 含）	図書館 教育	理生 解徒 指導	特別 支援 教育	ビ情 ユ報 ー教 タ育 等（ ）コ ン	外國 国際 語理 教解 育教 育・	のグ カ技 ・ウ 術コン セチ リング	向教 上員 の倫 理觀 の	体社 驗会 体驗 ・企 業	その 他	無回答
		%											
教員	29歳以下	66.2	56.7	3.6	51.1	22.9	16.8	6.9	15.5	2.7	8.4	1.5	0.0
	30～39歳	45.0	50.0	5.1	42.4	21.5	28.6	7.3	24.7	5.6	17.7	1.5	0.0
	40～49歳	35.3	49.7	1.6	32.3	35.5	38.0	9.6	31.0	5.9	16.9	2.1	0.0
	50～59歳	26.5	46.3	6.2	26.1	40.9	43.6	13.6	38.5	3.1	14.4	1.2	0.0
	60歳以上	33.3	49.4	4.6	27.0	35.1	47.1	11.5	41.4	4.6	12.1	1.1	0.0
	小学校	45.3	51.0	4.7	36.3	33.9	33.5	9.0	28.1	3.7	12.7	1.4	0.0
	中学校	44.6	51.3	3.0	44.0	19.1	26.9	8.6	24.6	6.0	16.7	1.8	0.0
校長・ 教頭	小学校	46.6	45.2	2.7	37.0	53.4	39.0	7.5	41.8	6.8	11.0	0.7	0.0
	中学校	45.5	41.8	0.0	50.9	30.9	25.5	7.3	52.7	3.6	18.2	0.0	0.0

7 給食

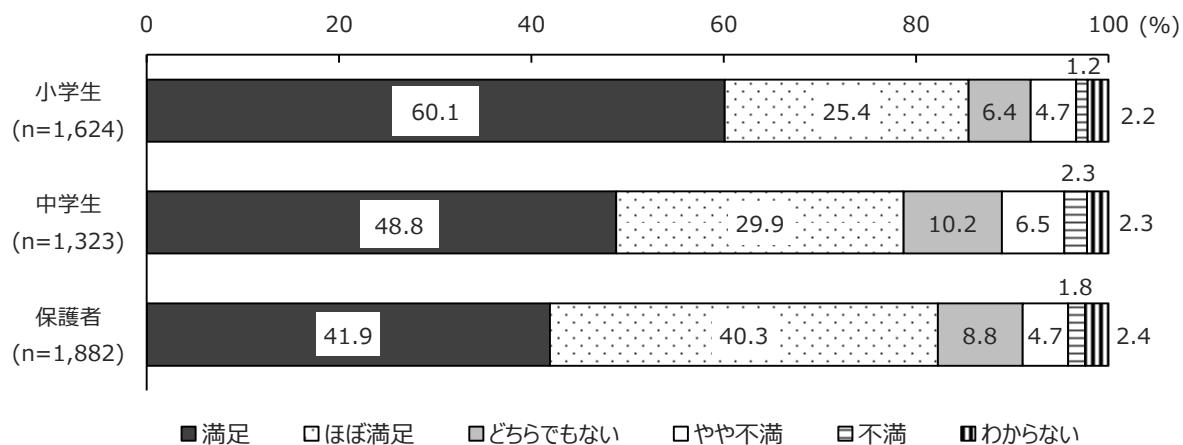
① 給食の満足度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 11	問 12	問 16		

問. 学校の給食に満足していますか。(1つ)

「満足」「ほぼ満足」の合計は、小学生が最も多く 85.5% となっている。次いで、保護者 (82.2%)、中学生 (78.7%) となっている。

前回と比べて、小学生で「満足」の割合が増加している。



回答	小学生		中学生		小学生保護者		中学生保護者	
	今回 (n=1,624)	前回 (n=1,638)	今回 (n=1,323)	前回 (n=1,424)	今回 (n=1,138)	前回 (n=1,570)	今回 (n=744)	前回 (n=1,358)
満足	60.1	55.4	48.8	47.1	44.1	45.9	38.6	37.0
ほぼ満足	25.4	25.4	29.9	27.0	39.6	38.9	41.4	41.2
どちらでもない	6.4	8.1	10.2	14.2	7.6	5.4	10.6	8.5
やや不満	4.7	5.6	6.5	5.8	4.0	4.3	5.8	5.6
不満	1.2	3.1	2.3	2.9	2.2	1.5	1.1	2.3
わからない	2.2	1.8	2.3	2.2	2.4	1.8	2.6	3.5
無回答	0.0	0.6	0.0	0.8	0.0	2.2	0.0	1.9

② 給食に満足している理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 12	問 13	問 17		

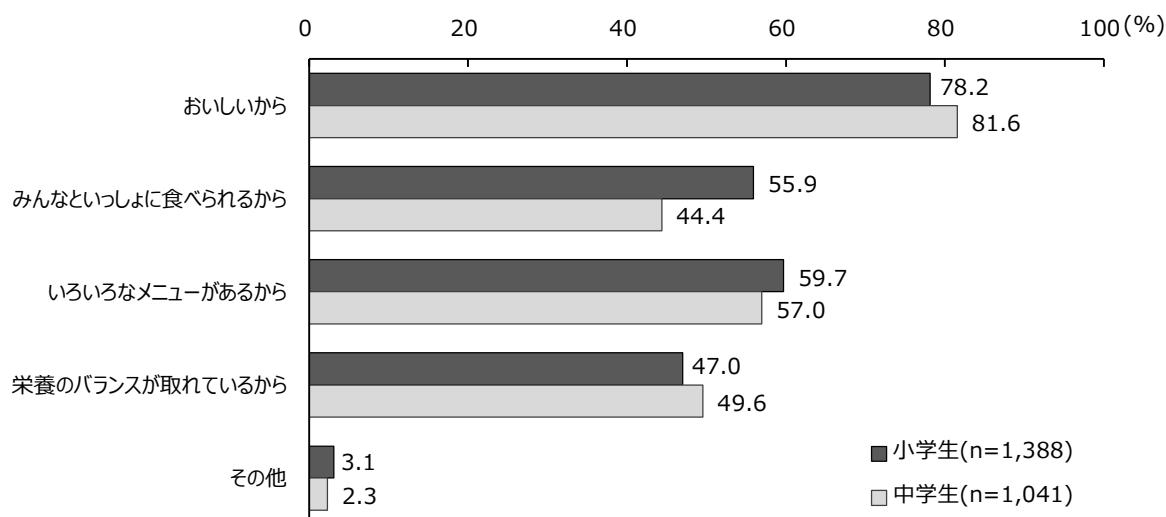
※給食の満足度で「満足」「やや満足」の回答者

問. 学校の給食のどのようなことに満足していますか。(あてはまるものすべて)

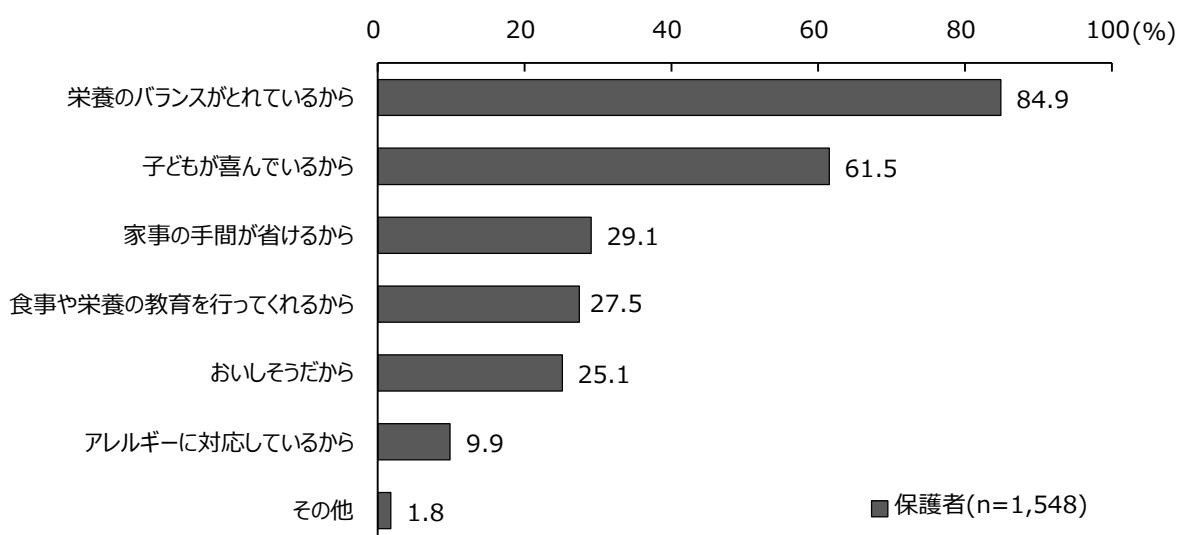
小・中学生ともに「おいしいから」(小学生 78.2%、中学生 81.6%) が最も多く、次いで「いろいろなメニューがあるから」(小学生 59.7%、中学生 57.0%) が多くなっている。小学生では「みんなといっしょに食べられるから」(55.9%) も多くなっている。

保護者では「栄養のバランスがとれているから」が最も多く 84.9%となっている。次いで、「子どもが喜んでいるから」(61.5%) が多くなっている。

【小学生、中学生】



【保護者】



③ 給食に満足していない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 13	問 14	問 18		

※給食の満足度で「どちらでもない」「やや不満」「不満」の回答者

問. 学校の給食のどのようなことが不満ですか。(あてはまるものすべて)

小・中学生ともに「食べられなかつたり、嫌いなものばかりになる日があるから」(小学生 67.7%、中学生 57.5%) が最も多くなっている。次いで、「みんな量が同じで、一人ひとりの状況にあっていない(量が多い、少ない)から」(小学生 29.9%、中学生 36.9%)、「時間が短いから」(小学生 28.9%、中学生 32.5%) が多くなっている。

保護者では「みんな量が同じで、一人ひとりの状況にあっていない(量が多い、少ない)から」が最も多く 43.1% となっている。

○その他回答

【小学生】

- ・嫌いなのがあるから
- ・味付けが嫌い
- ・牛乳が嫌いだから

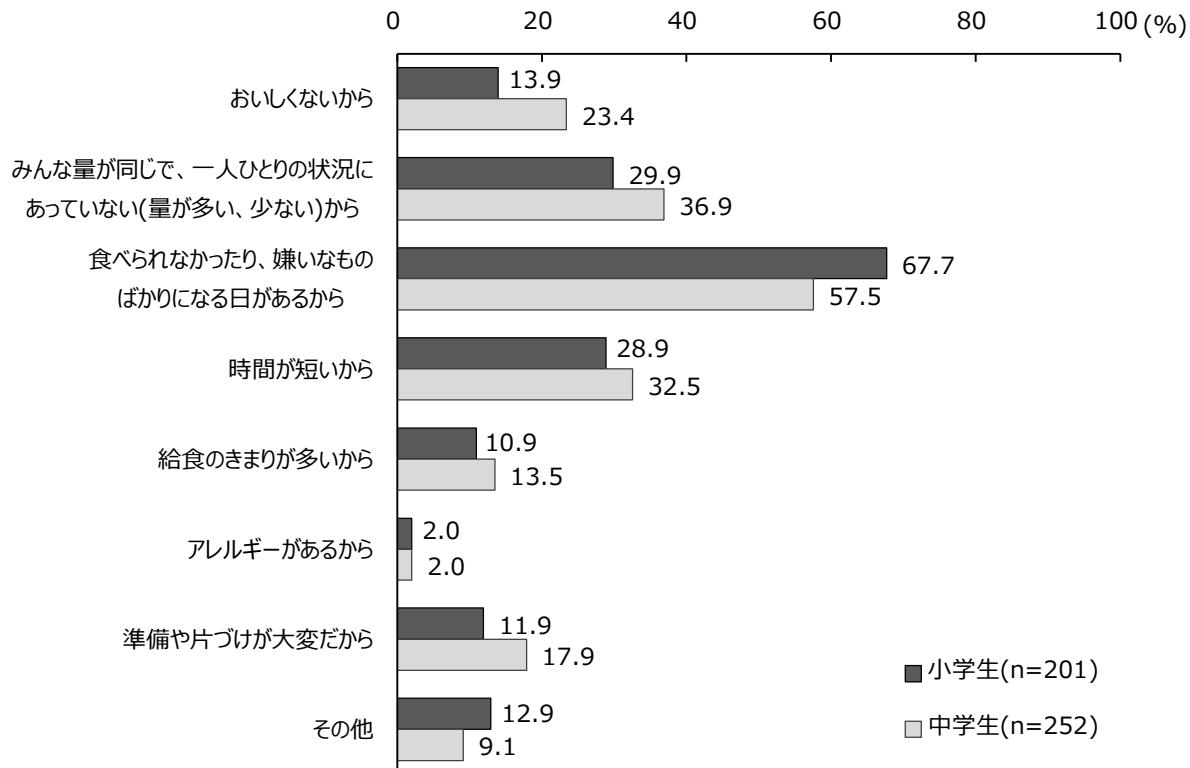
【中学生】

- ・苦手なものが多いため
- ・味が薄いのが多い
- ・量が足りない

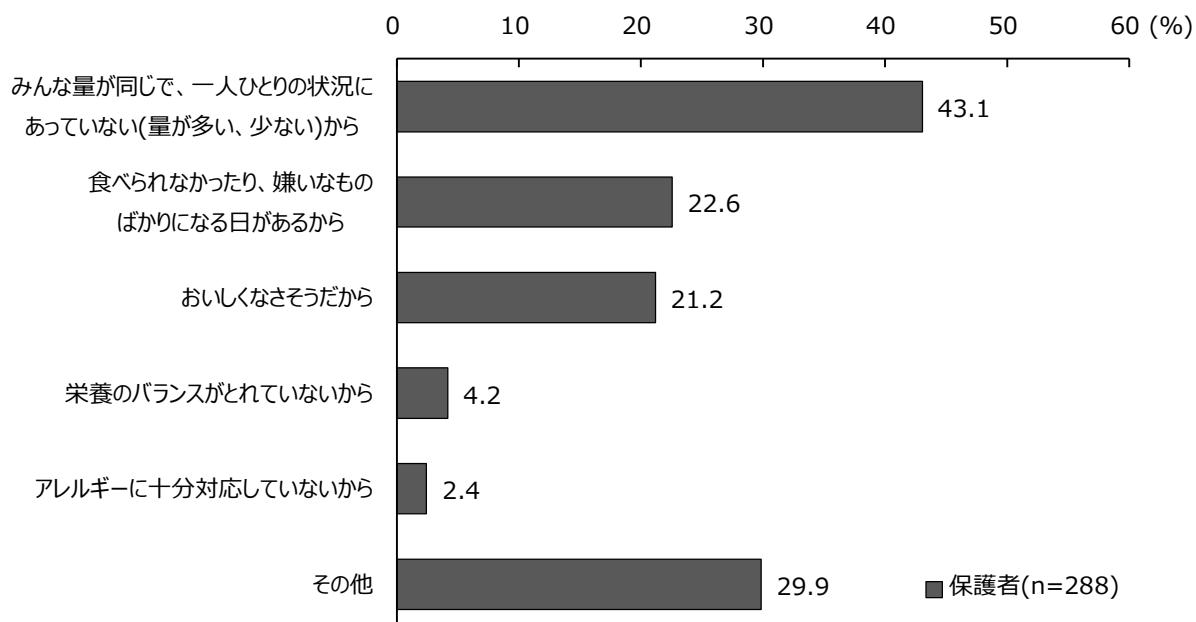
【保護者】

- ・残食が多いのが不満
- ・品数や量が少ない
- ・添加物や産地にも配慮してほしい
- ・食べる時間が短すぎる

【小学生、中学生】



【保護者】



第4章 家庭や地域と連携した教育について

1 家庭、学校、地域の役割

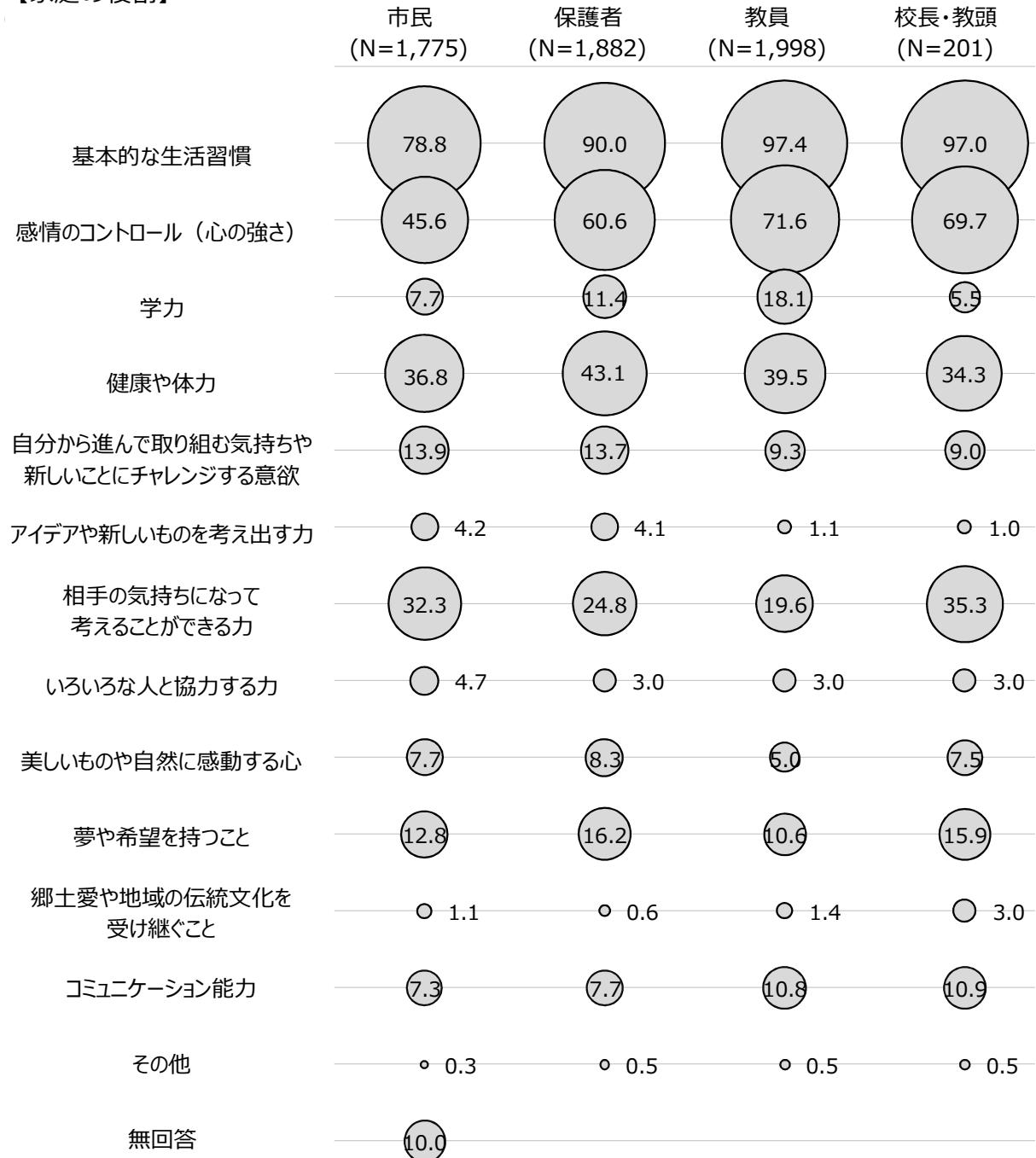
① 家庭、学校、地域それぞれの役割

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 10			問 24	問 18	問 18

問. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで)

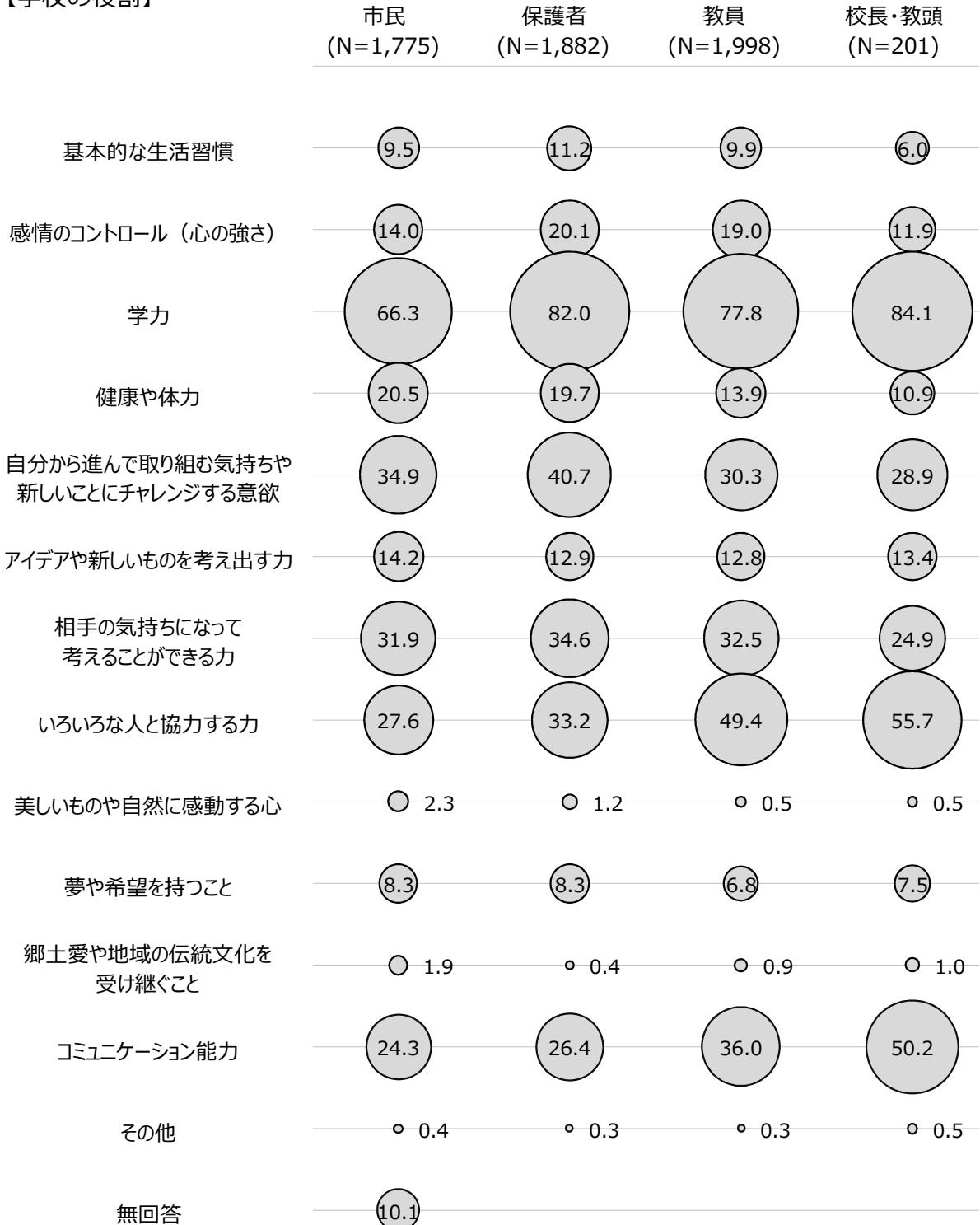
家庭に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭ともに、「基本的な生活習慣」(市民 78.8%、保護者 90.0%、教員 97.4%、校長・教頭 97.0%)が最も多くなっている。次いで、「感情のコントロール(心の強さ)」(市民 45.6%、保護者 60.6%、教員 71.6%、校長・教頭 69.7%)が多く、「健康や体力」(市民 36.8%、保護者 43.1%、教員 39.5%、校長・教頭 34.3%)と「相手の気持ちになって考えることができる力」(市民 32.3%、保護者 24.8%、教員 19.6%、校長・教頭 35.3%)も比較的多い。

【家庭の役割】



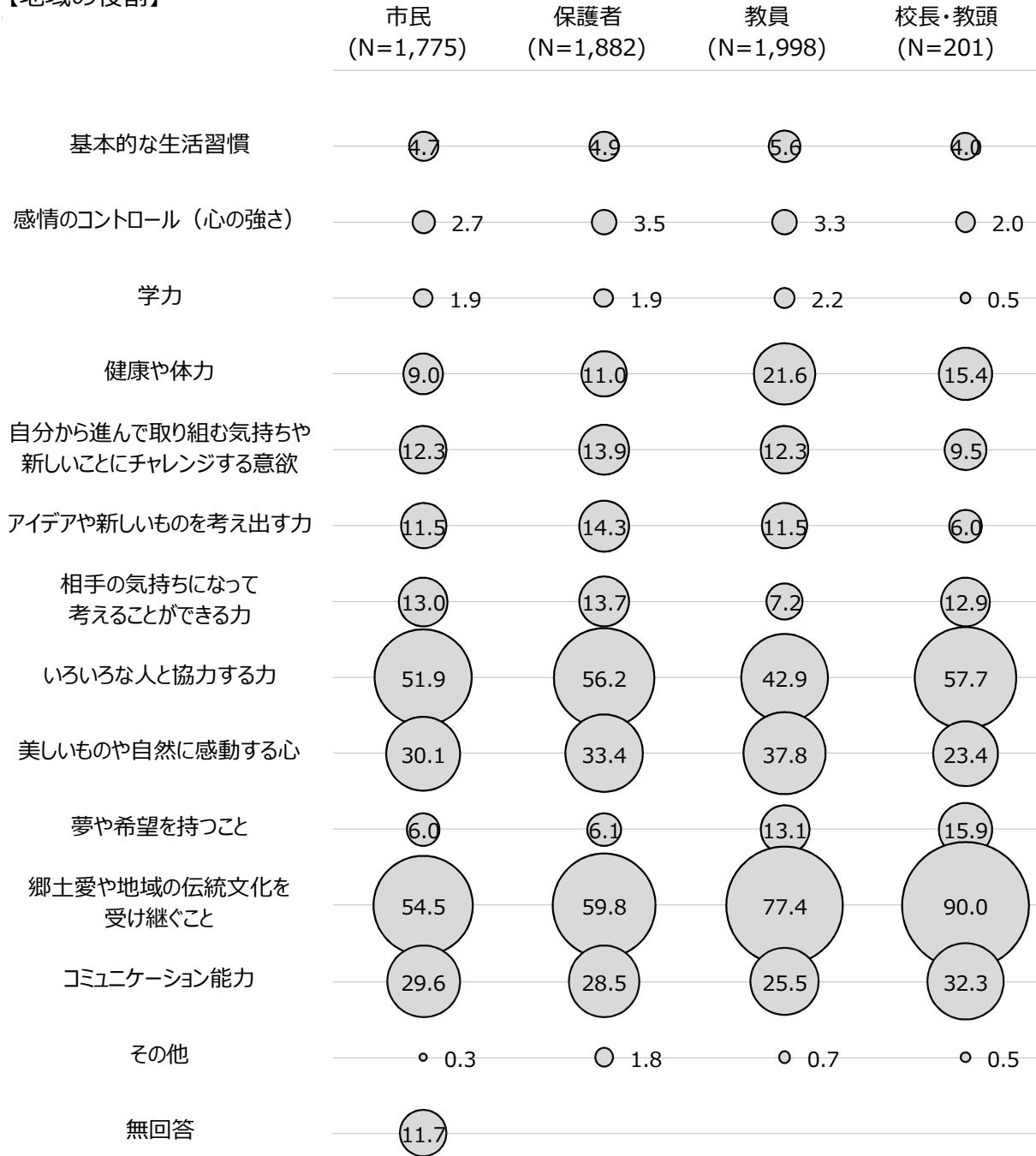
学校に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭ともに、「学力」(市民 66.3%、保護者 82.0%、教員 77.8%、校長・教頭 84.1%) が最も多くなっている。次いで、市民、保護者では、「自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲」(市民 34.9%、保護者 40.7%)、教員、校長・教頭では、「いろいろな人と協力する力」(教員 49.4%、校長・教頭 55.7%) が多くなっている。この他、校長・教頭では、「コミュニケーション能力」(50.2%) も多くなっている。

【学校の役割】



地域に求める役割について、市民、保護者、教員、校長・教頭ともに、「郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと」(市民 54.5%、保護者 59.8%、教員 77.4%、校長・教頭 90.0%) が最も多くなっている。次いで「いろいろな人と協力する力」(市民 51.9%、保護者 56.2%、教員 42.9%、校長・教頭 57.7%) が多く、「美しいものや自然に感動する心」(市民 30.1%、保護者 33.4%、教員 37.8%、校長・教頭 23.4%) と「コミュニケーション能力」(市民 29.6%、保護者 28.5%、教員 25.5%、校長・教頭 32.3%) も比較的多い。

【地域の役割】



2 子どもの生活

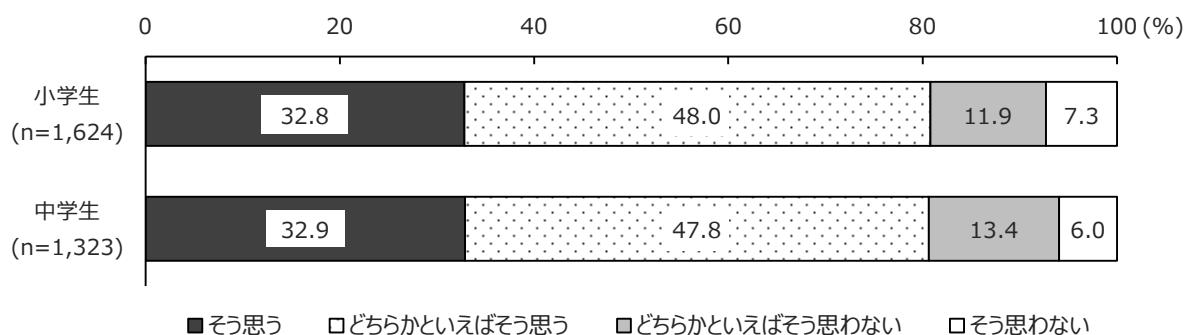
① 自分のよいところ

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 14	問 15			

問. 自分には良いところがあると思いますか。(1つ)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、小学生が 80.8%、中学生が 80.7% となっている。

「そう思う」の回答者は、学校生活の満足度、学校の授業の満足度が高くなっている。また、家族とよく会話をする、地域の大人との見守りを感じるの回答が多い。



【小学生】

自分には良いところがあると思うか %	学校生活 「満足」	学校の授業 「満足」	家族との会話* 「よく会話 する」	地域の大人の 見守り 「感じる」
そう思う	59.5	52.2	55.0	64.4
どちらかといえばそう思う	37.0	31.3	37.6	44.5
どちらかといえばそう思わない	31.1	22.8	30.1	37.8
そう思わない	23.5	25.2	24.4	26.9
小学生全体	42.7	36.7	41.4	49.0

【中学生】

自分には良いところがあると思うか %	学校生活 「満足」	学校の授業 「満足」	家族との会話* 「よく会話 する」	地域の大人の 見守り 「感じる」
そう思う	49.7	32.4	47.8	42.5
どちらかといえばそう思う	23.9	14.2	30.2	25.3
どちらかといえばそう思わない	16.9	13.6	23.7	16.4
そう思わない	12.7	11.4	16.5	16.5
中学生全体	30.8	20.0	34.3	29.3

* 家族と、学校のことや勉強のことについて、どのくらい会話しますか

② 学習塾・習い事の状況

市民	小学生 問 16・17	中学生 問 17・18	保護者	教員	校長・教頭

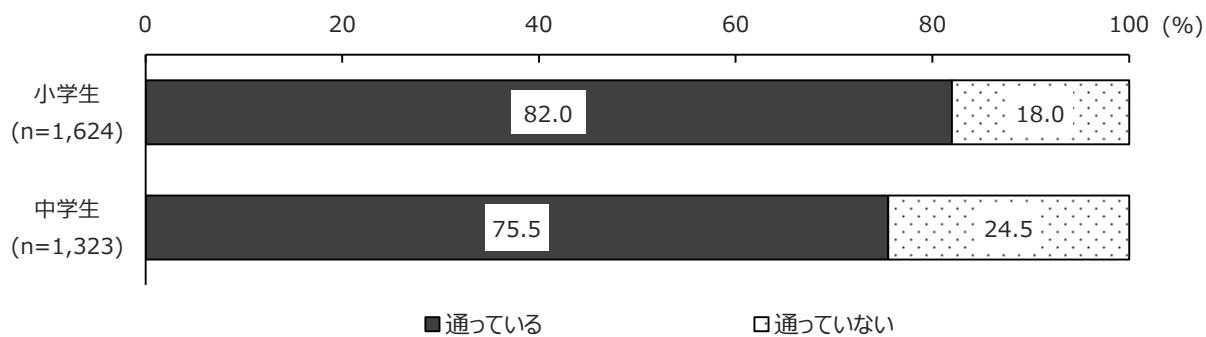
問. 学習塾や習い事（ピアノ、英会話、書道、サッカー、水泳など）に通っていますか。

（1つ）

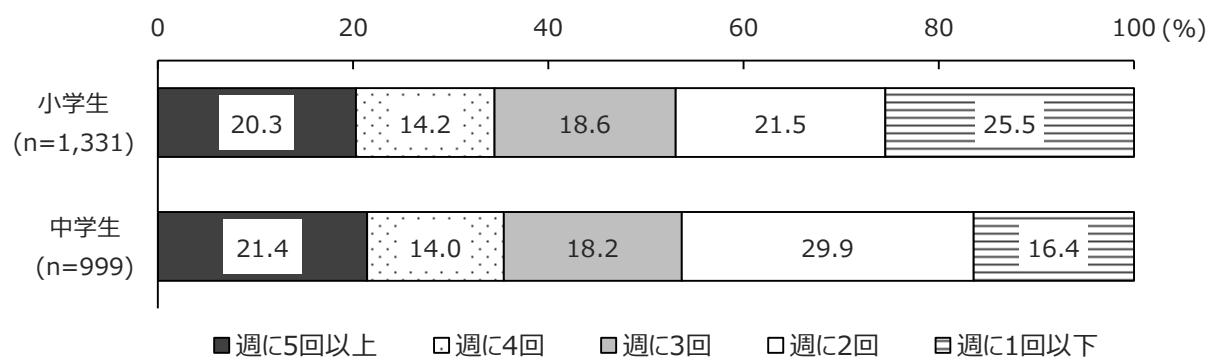
問. 週に何回通っていますか。（1つ）

「通っている」は、小学生が 82.0%、中学生が 75.5% となっている。

「通っている」と回答した人のうち学習塾や習い事の日数は、「週に 5 回以上」（小学生 20.3%、中学生 21.4%）から「週に 1 回以下」（小学生 25.5%、中学生 16.4%）まで分散している。



【「通っている」と回答した人のうち学習塾や習い事の日数】



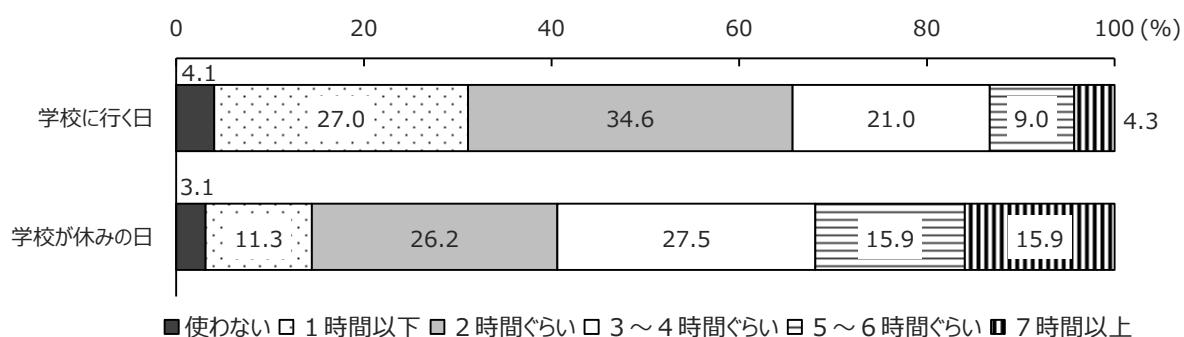
③ 電子メディアの閲覧頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 18	問 19			

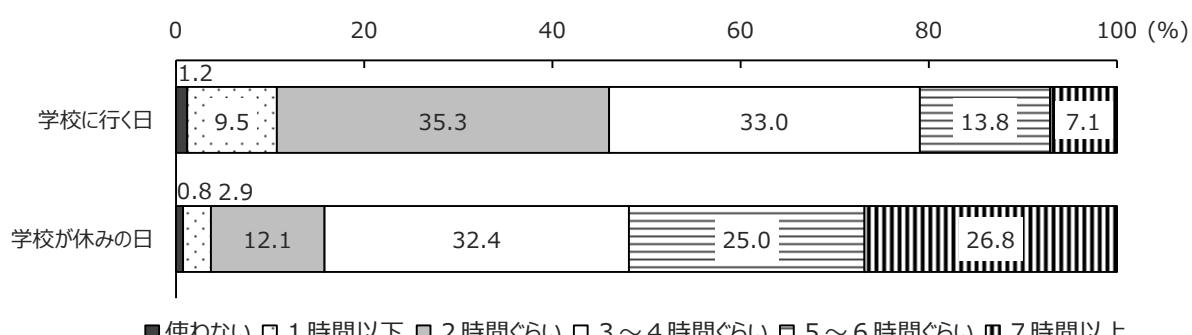
問. あなたは、学校以外で、1日にどのくらいスマートフォンやタブレット、パソコンを見ていますか。(1つ)

小・中学生ともに、学校に行く日では「2時間ぐらい」(小学生 34.6%、中学生 35.3%)、学校が休みの日では「3~4時間ぐらい」(小学生 27.5%、中学生 32.4%) が最も多くなっている。中学生では、学校が休みの日に「5~6時間ぐらい」「7時間以上」の合計が 51.8%となっている。

【小学生】(n=1,624)



【中学生】(n=1,323)



前回と比べると、小・中学生ともに「3時間ぐらい・3時間以上」の割合が増加している。

%	小学生				中学生			
	学校に行く日		学校が休みの日		学校に行く日		学校が休みの日	
	今回 (n=1,624)	前回 (n=1,638)	今回 (n=1,624)	前回 (n=1,638)	今回 (n=1,323)	前回 (n=1,424)	今回 (n=1,323)	前回 (n=1,424)
使わない	4.1	15.6	3.1	6.9	1.2	5.1	0.8	2.7
1時間以下	27.0	34.3	11.3	20.3	9.5	17.1	2.9	4.9
2時間ぐらい	34.6	25.4	26.2	23.0	35.3	30.8	12.1	12.6
3時間ぐらい ・3時間以上	34.3	20.0	59.4	45.1	54.0	42.2	84.2	74.5
無回答	0.0	4.8	0.0	4.7	0.0	4.9	0.0	5.3

3 家庭の状況

① 学校や勉強についての会話

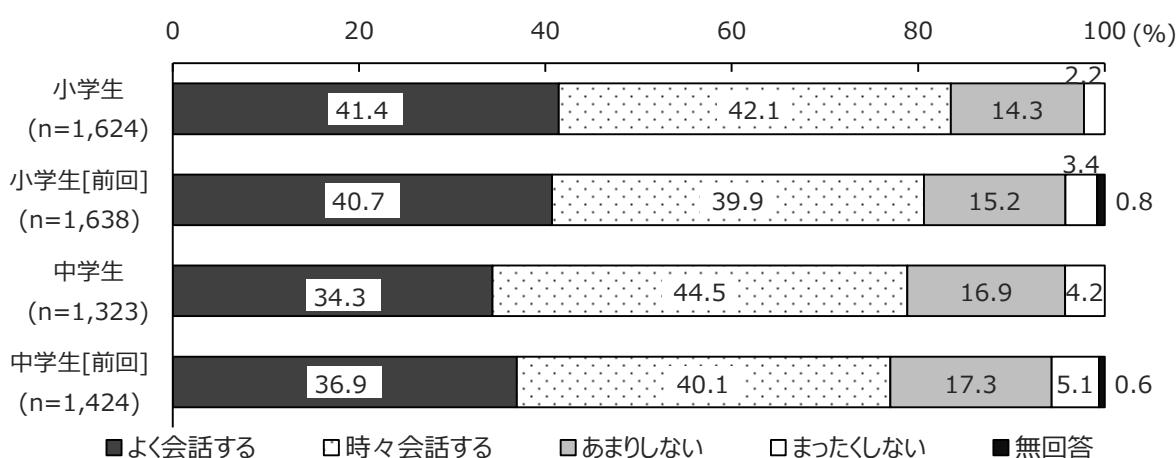
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 15	問 16	問 19		

【小学生、中学生】

問. あなたは家族と、学校のことや勉強のことについて、どのくらい会話しますか。(1つ)

小・中学生ともに「よく会話する」(小学生 41.4%、中学生 34.3%)、「時々会話する」(小学生 42.1%、中学生 44.5%) が多くなっている。一方、「あまりしない」「まったくしない」の合計は、小学生で 16.5%、中学生で 21.1% となっている。

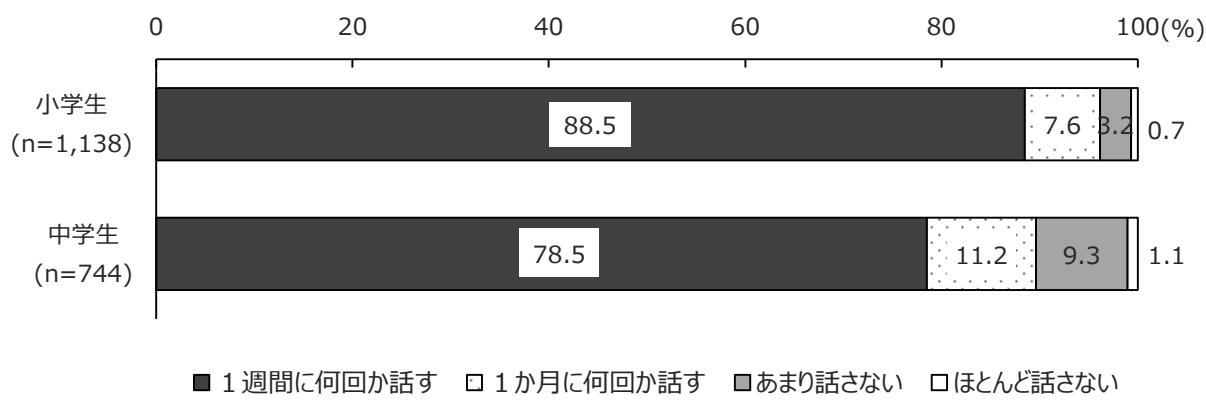
前回と比べると、中学生で「時々会話する」の割合が増加している。



【保護者】

問. あなたは、お子さんと、学校での生活や学習の状況について話しますか。(1つ)

保護者では「1週間に何回か話す」が最も多く、小学生で 88.5%、中学生で 78.5% となっている。一方、「あまり話さない」「ほとんど話さない」の合計は、小学生で 3.9%、中学生で 10.4% となっている。

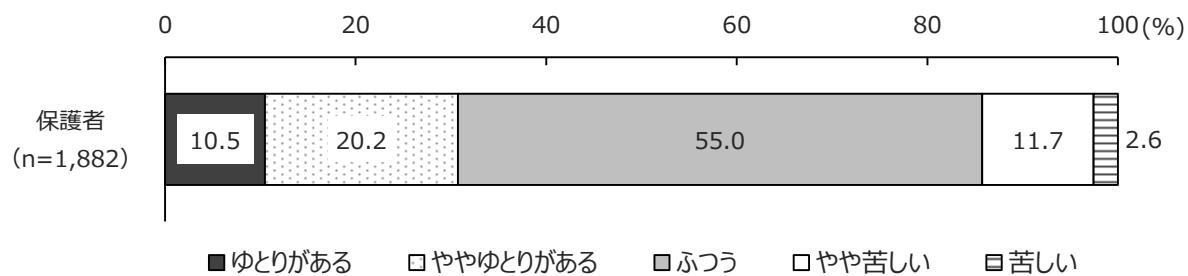


② 現在の暮らしぶき

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 20		

問. 現在の暮らしぶきについて、どのように感じていますか。(1つ)

「ゆとりがある」「ややゆとりがある」の合計は 30.7%、「ふつう」は 55.0%、「苦しい」「やや苦しい」の合計は 14.3%となっている。

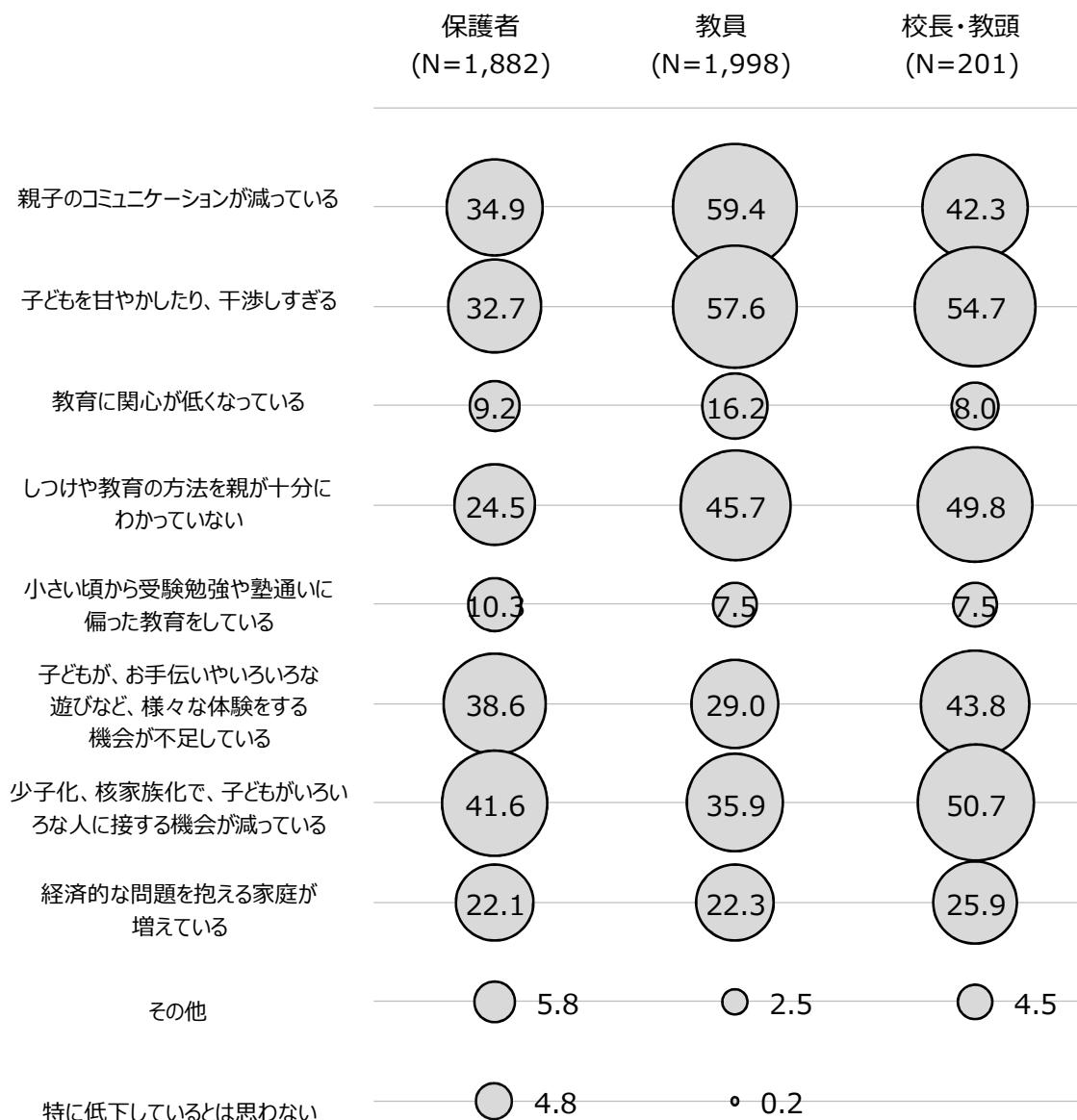


③ 家庭の教育力が低下している原因

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 21	問 19	問 19

問. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、何が原因だと思いますか。
(3つまで)

保護者では「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」(41.6%)、「子どもが、お手伝いやいろいろ遊びなど、様々な体験をする機会が不足している」(38.6%)、教員では「親子のコミュニケーションが減っている」(59.4%)、「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる」(57.6%)、校長・教頭では「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる」(54.7%)、「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」(50.7%)の順に多くなっている。



前回と比べると、保護者、教員、校長・教頭ともに「親子のコミュニケーションが減っている」の割合が高くなっている。

%	保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (n=1,882)	前回 (n=2,951)	今回 (n=1,998)	前回 (n=2,057)	今回 (n=201)	前回 (n=204)
親子のコミュニケーションが減っている	34.9	30.3	59.4	54.3	42.3	32.8
子どもを甘やかしたり、干渉しそぎる	32.7	33.3	57.6	53.9	54.7	53.4
教育に関心が低くなっている	9.2	8.1	16.2	14.0	8.0	4.4
しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない	24.5	29.9	45.7	47.1	49.8	58.8
小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている	10.3	8.5	7.5	8.1	7.5	4.9
子どもが、お手伝いやいろいろな遊びなど、様々な体験をする機会が不足している	38.6	37.6	29.0	34.1	43.8	43.6
少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている	41.6	39.8	35.9	41.4	50.7	49.0
経済的な問題を抱える家庭が増えている	22.1	16.3	22.3	17.3	25.9	28.4
その他	5.8	6.4	2.5	3.1	4.5	6.4
特に低下しているとは思わない	4.8	6.8	0.2	0.5	0.0	0.5
無回答	0.0	0.9	0.0	1.0	0.0	0.0

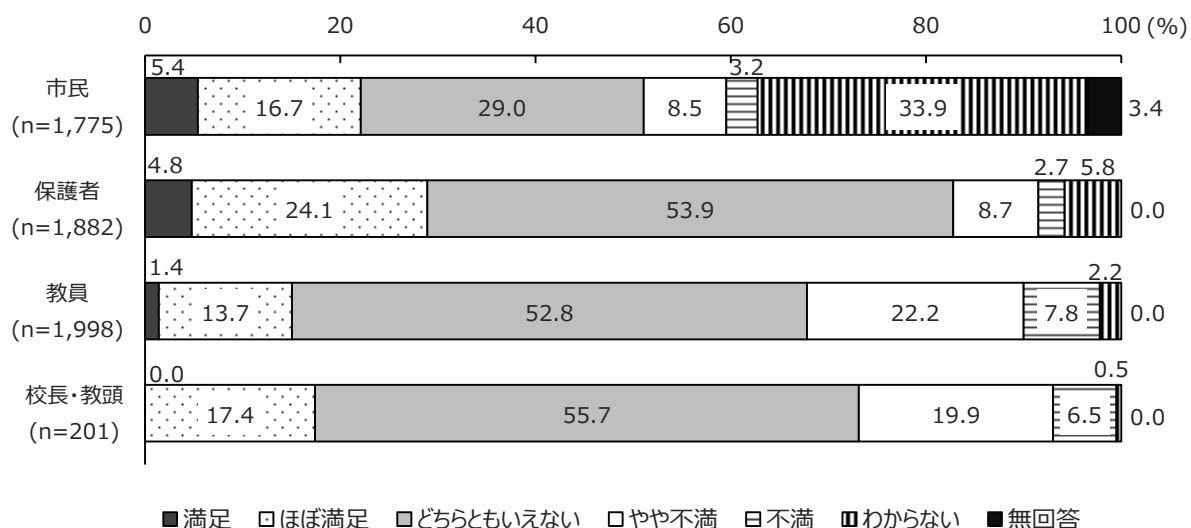
④ 家庭教育への評価

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 9			問 23	問 21	問 21

問. 家庭の教育について、どのように評価しますか。(1つ)

「どちらともいえない」が保護者(53.9%)、教員(52.8%)、校長・教頭(55.7%)で最も多い。市民は「わからない」が最も多く33.9%となっている。

「やや不満」「不満」の合計は、教員(30.0%)と校長・教頭(26.4%)が、市民(11.7%)と保護者(11.4%)と比べて多くなっている。



4 地域の教育力

① 近所の子どもとの会話

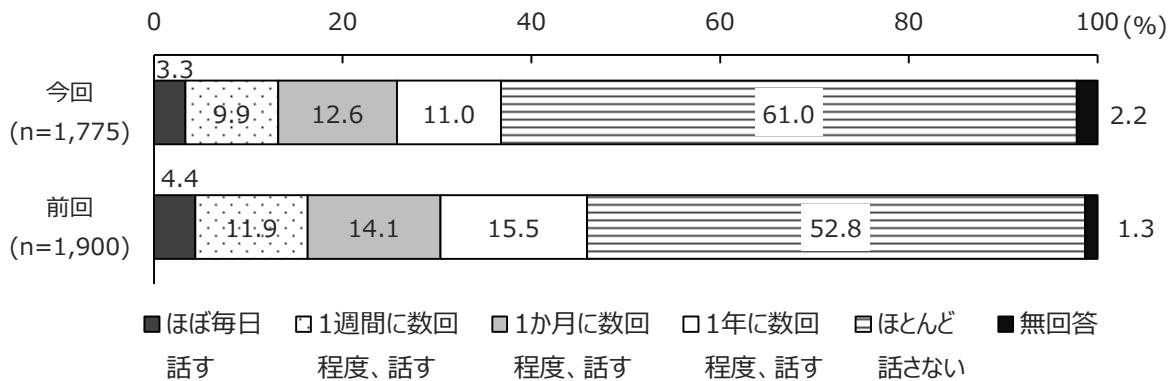
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 8					

問. あなたは、どのくらい近所の子どもと会話をしますか。(1つ)

「ほとんど話さない」が最も多く 61.0%となっている。「ほぼ毎日話す」は 3.3%、「1週間に数回程度、話す」は 9.9%、「1か月に数回程度、話す」は 12.6%となっている。

前回と比べると、「ほとんど話さない」の割合が増加している。

年齢別にみると、20~29 歳、50 歳代で「ほとんど話さない」の割合が特に高くなっている。



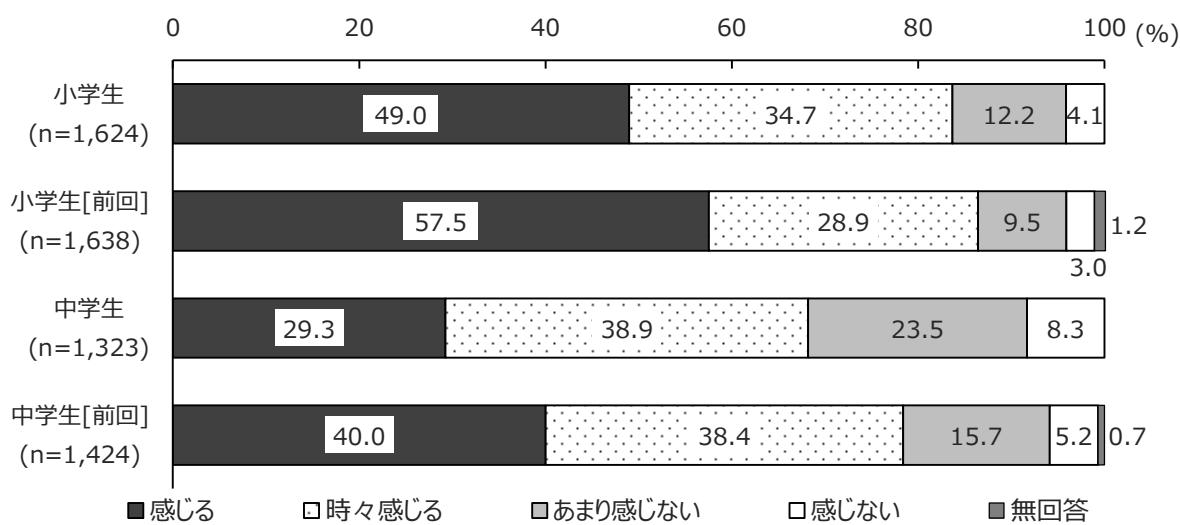
		ほぼ毎日話す	1週間に数回程度、話す	1か月に数回程度、話す	1年に数回程度、話す	ほとんど話さない	無回答
		%					
市民	20歳未満	1.6	6.6	13.1	3.3	75.4	0.0
	20~29歳	1.6	2.3	4.7	3.1	87.6	0.8
	30~39歳	8.3	17.1	15.3	8.3	50.9	0.0
	40~49歳	3.8	16.1	17.1	10.1	51.0	1.7
	50~59歳	1.9	5.9	10.3	10.3	70.9	0.6
	60~64歳	1.4	6.1	6.1	16.3	68.7	1.4
	65~69歳	3.1	8.4	11.5	11.5	63.4	2.3
	70~74歳	2.9	11.7	15.8	17.0	50.9	1.8
	75歳以上	3.2	8.1	13.5	13.5	54.5	7.1

② 地域の大人との関わり

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 21	問 22			

問. あなたの住んでいる地域では、地域の大人が勉強やスポーツを教えてくれたり、自分たちを見守ってくれたりしていると感じますか。（1つ）

「感じる」「時々感じる」の合計は、小学生が 83.7%、中学生が 68.2%となっている。前回と比べると、小学生・中学生ともに「感じる」の割合が減少している。



*前回の問は「あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。」

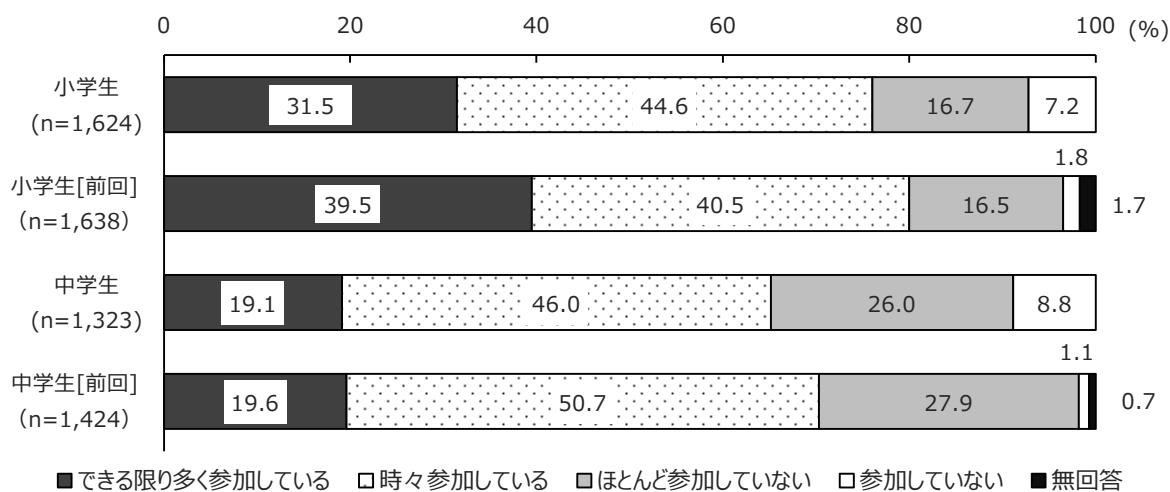
③ 地域の行事や活動への参加状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 19	問 20			

問. 地域の行事や活動にどの程度参加していますか。(1つ)

「できる限り多く参加している」「時々参加している」の合計は、小学生が 76.1%、中学生が 65.1% となっている。

前回と比べると、小学生で「できる限り多く参加している」の割合が減少している。また、小・中学生ともに「参加していない」の割合が増加している。



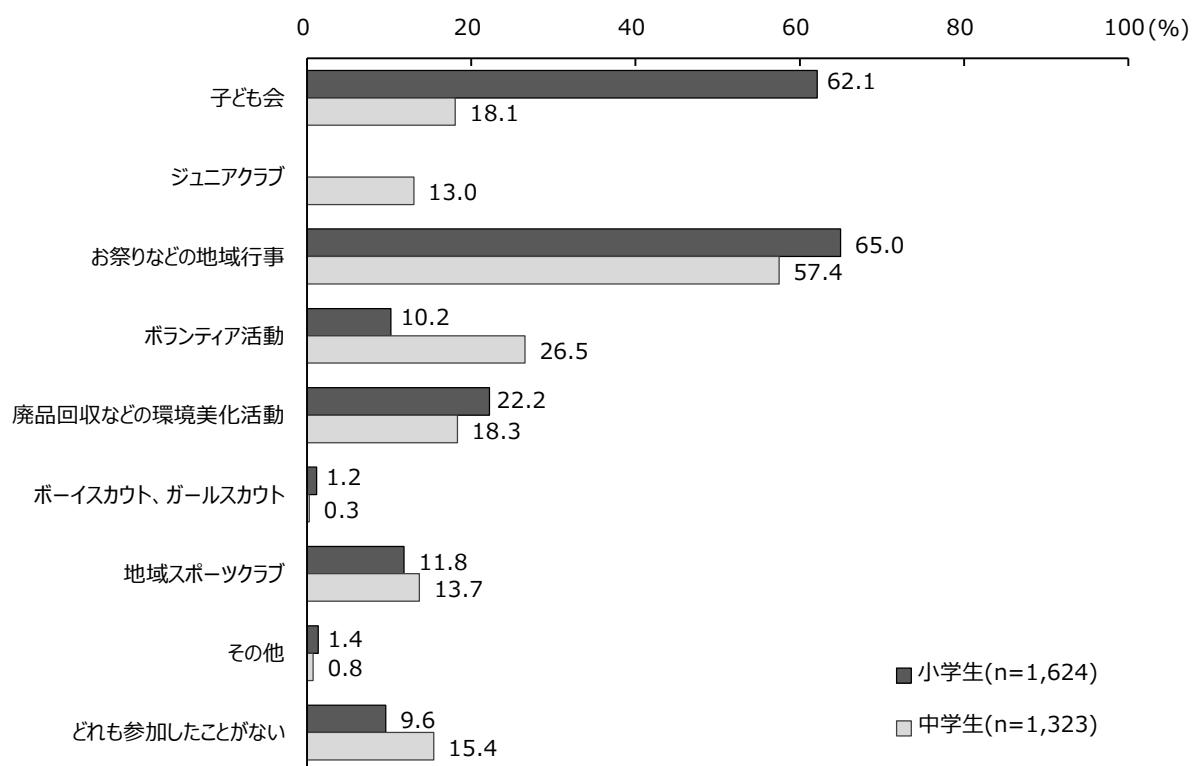
④ 参加している地域活動の内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 20	問 21			

問. 次のような地域の行事や活動などに参加していますか。(あてはまるものすべて)

小・中学生ともに「お祭りなどの地域行事」(小学生 65.0%、中学生 57.4%) が最も多くなっている。小学生では、「子ども会」も 62.1%と多い。

「どれも参加したことがない」が小学生で 9.6%、中学生で 15.4%となっている。



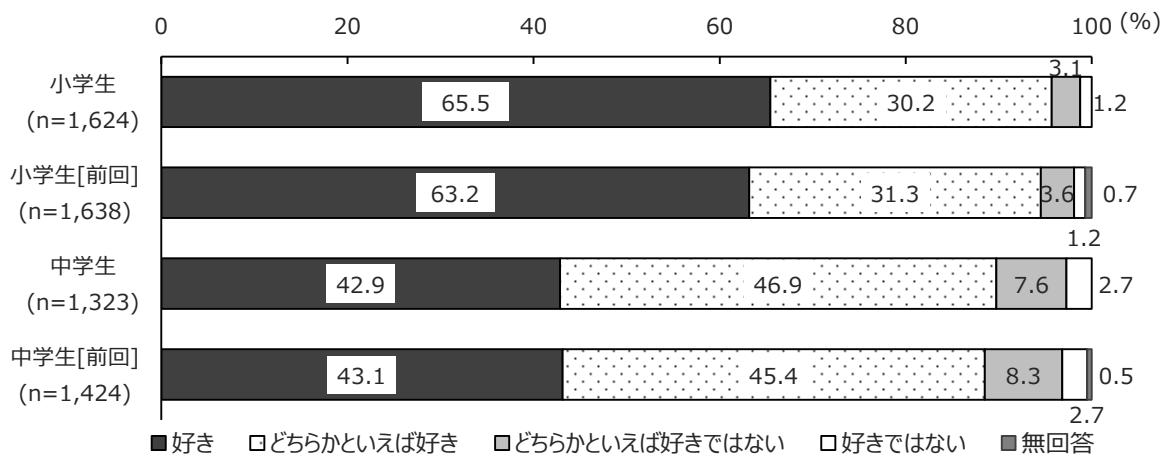
⑤ 住んでいる地域への愛着

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 31	問 32			

問. あなたは、自分の住んでいる地域が好きですか。(1つ)

「好き」は、小学生が 65.5%、中学生が 42.9% となっている。一方、「好きではない」「どちらかといえば好きではない」の合計は、小学生で 4.3%、中学生で 10.3% となっている。

前回と比べると、小学生で「好き」の割合がやや増加している。



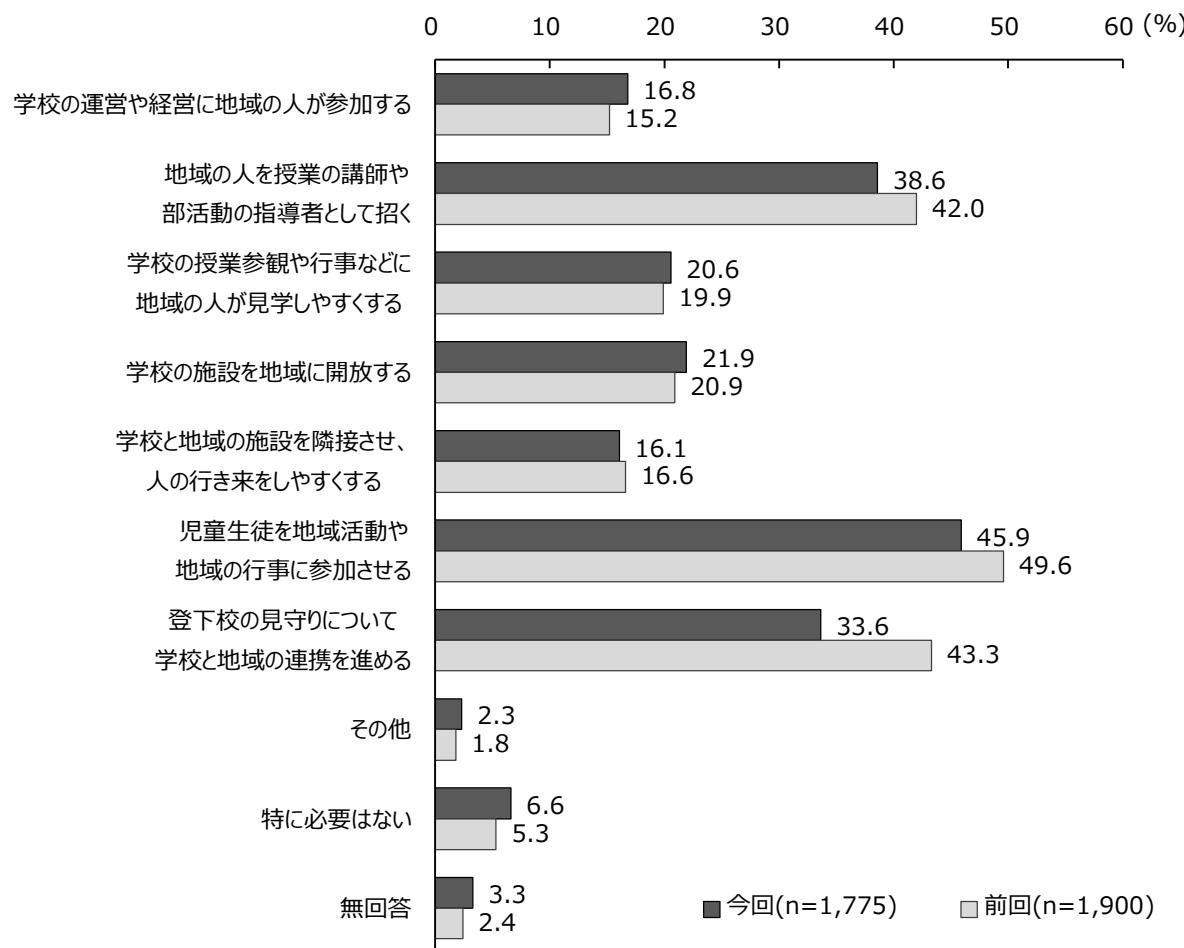
⑥ 学校と地域の連携で重要なこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 5					

問. 学校と地域の連携について、どのような考え方方が重要だと思いますか。(3つまで)

「児童生徒を地域活動や地域の行事に参加させる」が最も多く45.9%となっている。

次いで、「地域の人を授業の講師や部活動の指導者として招く」(38.6%)、「登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める」(33.6%)が多くなっている。



⑦ 保護者・住民の学校への協力・参加

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 6			問 25	問 22	問 22

【市民、保護者】

問. 次の行事・活動の中で、今後、あなたが学校等と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものにはありますか。(あてはまるものすべて)

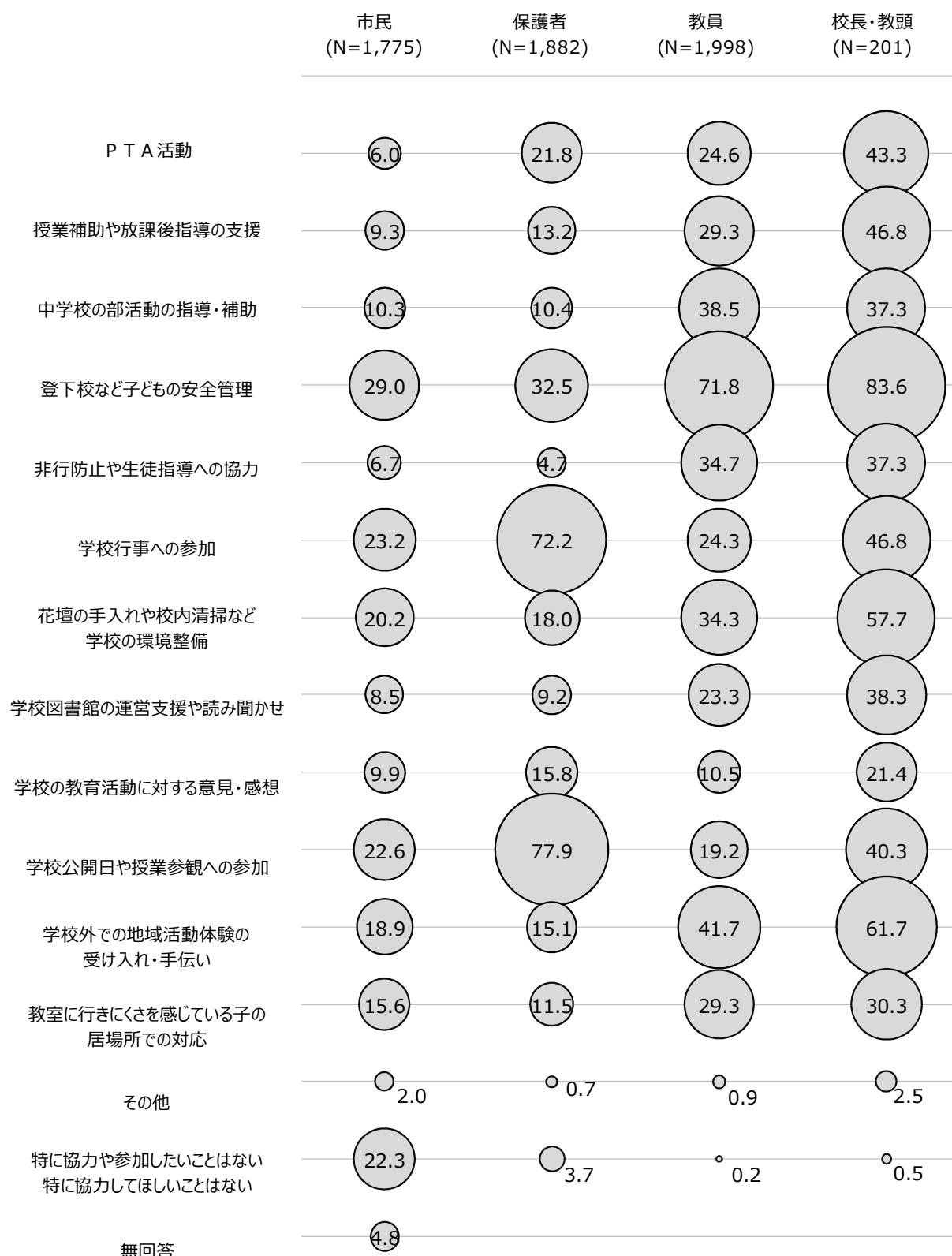
【教員、校長・教頭】

問. 学校の教育について、保護者・地域住民にどのようなことを協力してほしいですか。
(あてはまるものすべて)

市民は「登下校など子どもの安全管理」(29.0%)、「学校行事への参加」(23.2%)など回答が分散する傾向がみられる。

保護者では、「学校公開日や授業参観への参加」(77.9%)、「学校行事への参加」(72.2%)が特に多くなっている。

教員、校長・教頭は、「登下校など子どもの安全管理」(教員 71.8%、校長・教頭 83.6%)、「学校外での地域活動体験の受け入れ・手伝い」(教員 41.7%、校長・教頭 61.7%)をはじめ多様な行事・活動についての回答割合が高くなっている。



市民の年齢別にみると、60歳以上は「登下校など子どもの安全管理」の割合が最も高い。なお、20～29歳、50～69歳は「特に協力や参加したいことはない」が約3割と他の年代と比べて高くなっている。教員は、中学校で「部活動の指導・補助」の割合が高い。

		P T A 活 動	指 導 業 の 補 助 支 援 や 放 課 後	授 業 の 補 助 活 動 の 指 導 ・ 補	助 部 活 動 の 指 導 ・ 補	の 登 安 下 全 校 管 理 な ど 子 ど も	導 非 へ 行 の 防 協 止 力 や 生 徒 指	学 校 行 事 へ の 参 加	環 境 整 掃 の 備 な 手 ど 入 学 れ 校 や の 校	花 壇 や 図 書 館 の 運 営	支 援 校 や 図 書 館 の 運 営	对 学 校 す る の 意 見 教 育 ・ 活 感 動 想 に	参 学 観 校 へ 公 の 開 參 日 加 や 授 業
		%											
市民	20歳未満	4.9	11.5	24.6	13.1	4.9	41.0	21.3	13.1	3.3	13.1		
	20～29歳	7.0	10.9	19.4	20.9	6.2	17.1	10.9	7.8	6.2	18.6		
	30～39歳	9.3	11.6	13.0	28.2	6.9	42.6	13.0	10.6	18.1	44.0		
	40～49歳	9.1	9.1	8.7	24.8	4.2	43.0	19.2	6.6	16.1	45.8		
	50～59歳	6.6	14.4	10.3	21.9	7.2	18.4	20.6	11.9	11.6	21.3		
	60～64歳	2.0	4.8	6.8	35.4	4.1	8.2	21.8	8.2	6.1	5.4		
	65～69歳	2.3	9.2	9.2	36.6	3.1	12.2	23.7	9.2	4.6	12.2		
	70～74歳	2.3	6.4	6.4	41.5	9.4	15.8	25.1	7.6	6.4	11.7		
	75歳以上	5.8	5.5	7.7	33.9	10.0	11.3	24.2	5.2	5.5	10.0		
保護者	小学校	20.7	14.9	9.9	38.0	5.0	72.8	18.4	10.2	15.9	79.7		
	中学校	23.4	10.8	11.2	23.9	4.3	71.2	17.3	7.8	15.6	75.3		
教員	小学校	26.5	32.7	25.3	80.1	34.0	26.8	39.6	28.2	11.1	22.1		
	中学校	21.1	23.1	62.4	56.7	36.0	19.7	24.8	14.3	9.4	13.9		

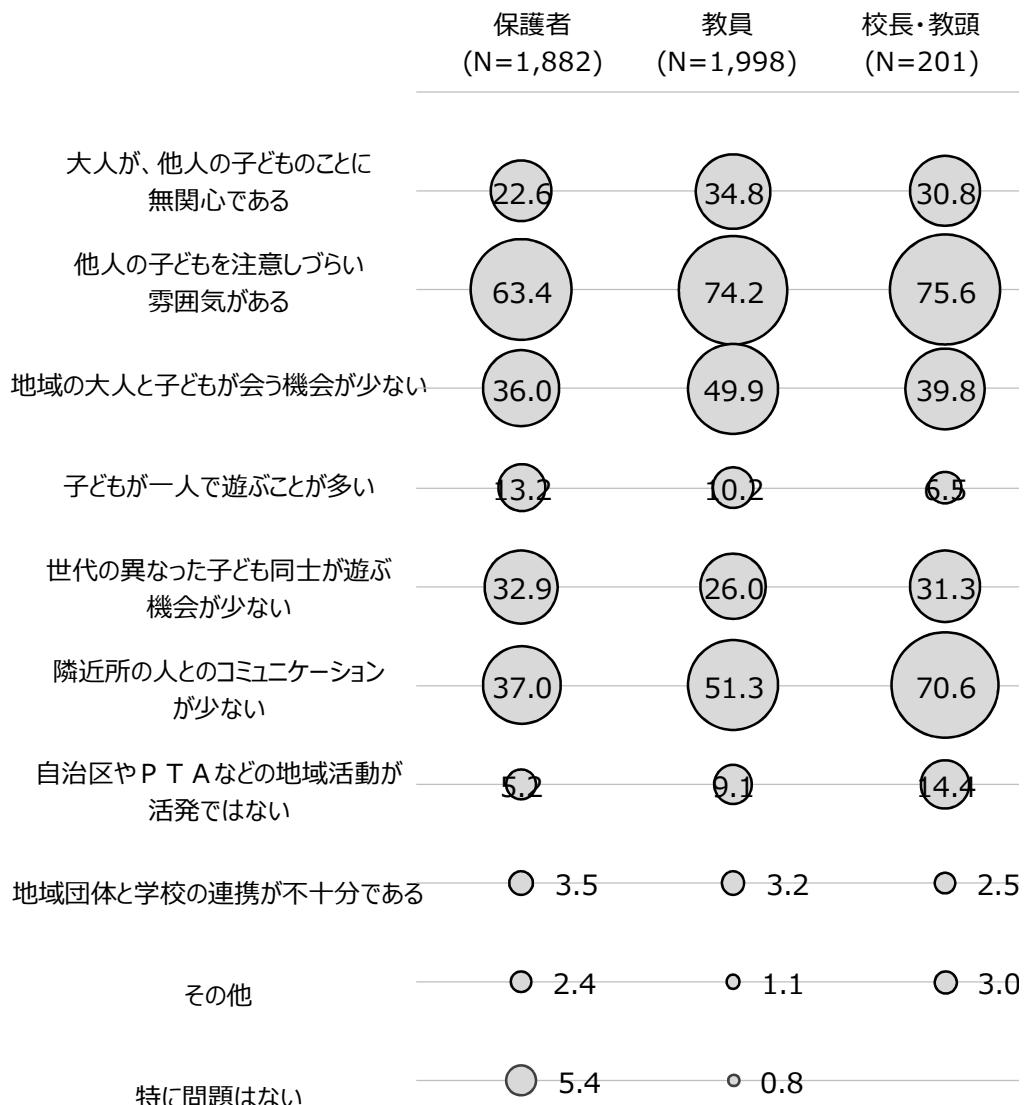
		れ 動 学 ・ 体 校 手 驗 外 伝 の で い 受 の け 地 入 域 活	居 を 教 場 感 室 所 じ に で て 行 の い き 対 る に 応 子 く の さ	そ の 他	た 特 い に こ 協 と 力 は や な 参 い 加 し	無 回 答
		%				
市民	20歳未満	6.6	19.7	0.0	16.4	0.0
	20～29歳	20.2	19.4	0.0	30.2	1.6
	30～39歳	14.4	14.8	0.5	13.9	1.4
	40～49歳	15.0	16.4	2.1	14.0	2.1
	50～59歳	17.2	18.8	2.5	26.9	1.6
	60～64歳	25.2	14.3	2.7	27.9	4.8
	65～69歳	22.1	12.2	0.8	31.3	4.6
	70～74歳	22.8	10.5	2.3	21.1	11.1
	75歳以上	22.9	14.8	3.2	23.5	12.3
保護者	小学校	16.2	11.7	1.1	2.6	0.0
	中学校	13.4	11.3	0.3	5.4	0.0
教員	小学校	41.7	29.9	0.7	0.1	0.0
	中学校	41.6	28.1	1.3	0.3	0.0

⑧ 地域の教育力の課題

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 22	問 20	問 20

問. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。(3つまで)

保護者、教員、校長・教頭ともに、「他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある」(保護者 63.4%、教員 74.2%、校長・教頭 75.6%) が最も多くなっている。次いで、「隣近所の人とのコミュニケーションが少ない」(保護者 37.0%、教員 51.3%、校長・教頭 70.6%)、「地域の大人と子どもが会う機会が少ない」(保護者 36.0%、教員 49.9%、校長・教頭 39.8%) が多くなっている。



前回と比べると、保護者で「地域の大人と子どもが会う機会が少ない」「世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない」の割合が増加している。

%	保護者		教員		校長・教頭	
	今回 (n=1,882)	前回 (n=2,951)	今回 (n=1,998)	前回 (n=2,057)	今回 (n=201)	前回 (n=204)
大人が、他人の子どものことに無関心である	22.6	21.0	34.8	34.4	30.8	26.5
他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある	63.4	63.7	74.2	73.9	75.6	72.5
地域の大人と子どもが会う機会が少ない	36.0	29.8	49.9	44.2	39.8	44.6
子どもが一人で遊ぶことが多い	13.2	12.2	10.2	9.9	6.5	9.3
世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない	32.9	27.0	26.0	26.3	31.3	32.8
隣近所の人とのコミュニケーションが少ない	37.0	32.7	51.3	51.9	70.6	66.7
自治区や P T A などの地域活動が活発ではない	5.2	3.0	9.1	6.0	14.4	5.4
地域団体と学校の連携が不十分である	3.5	3.6	3.2	3.6	2.5	2.9
その他	2.4	3.4	1.1	1.5	3.0	1.5
特に問題はない	5.4	8.9	0.8	2.0	0.0	1.0
無回答	0.0	0.9	0.0	0.8	0.0	0.0

第5章 生涯学習について

1 学習や活動

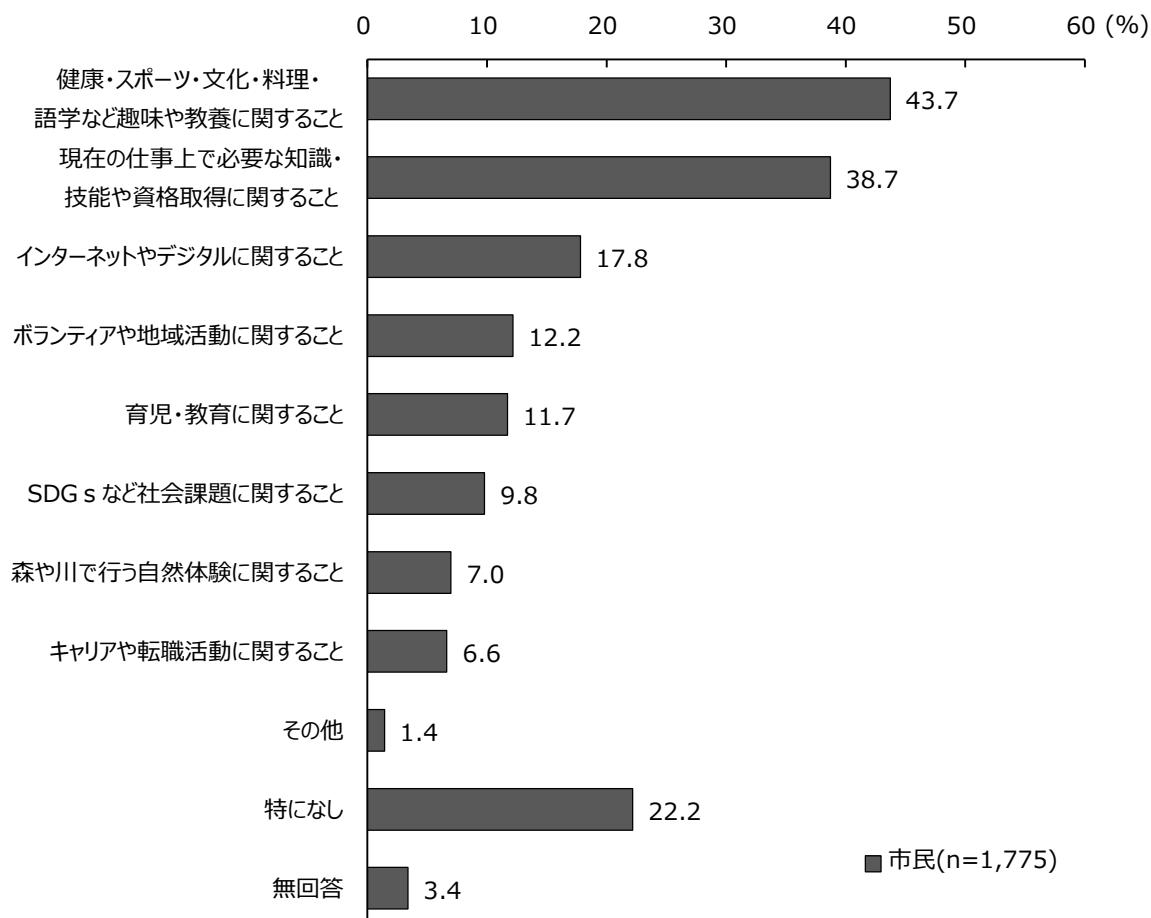
① 自主的な学習や活動の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 11					

問. あなたが自主的に学んでいることは何ですか。(あてはまるものすべて)

「健康・スポーツ・文化・料理・語学など趣味や教養に関すること」(43.7%)、「現在の仕事上で必要な知識・技能や資格取得に関すること」(38.7%)が多い。

自主的に学んでいることがある(全体から「特になし」と「無回答」を除いた割合)市民は、74.4%となっている。



年齢別にみると、「現在の仕事上で必要な知識・技能や資格取得に関するここと」は20～59歳、「健康・スポーツ・文化・料理・語学など趣味や教養に関するここと」は20歳未満で特に高くなっている。

		味化健 や・康 教料・ 養理ス に・ボ 関語一 す学ツ るな・ こど文 と趣	に知現 閑識在 す・の る技仕 こ能事 とや上 資で格 必取要 得な	タイ ルン にタ 関一 すネ るツ こト とや 地域 活	と育児 ・教育 に関 する こ	にS 関D するG ること など 社会 課題	に森 関や す川 で行 こと こう 自然 体験	関キ する こア りア とや 転職 活動 に	その 他	特 にな し	無 回 答	
		%										
市民	20歳未満	55.7	32.8	11.5	6.6	4.9	4.9	1.6	6.6	1.6	21.3	0.0
	20～29歳	38.8	64.3	23.3	5.4	16.3	7.0	6.2	16.3	0.0	12.4	0.8
	30～39歳	40.7	63.9	23.1	6.5	29.6	9.7	10.2	14.4	0.9	8.3	0.5
	40～49歳	48.3	58.4	22.0	7.3	21.0	10.8	9.1	10.5	0.3	13.3	1.4
	50～59歳	45.6	52.5	19.1	10.6	11.9	11.2	5.6	7.5	1.6	20.0	0.9
	60～64歳	44.2	34.7	10.9	12.9	5.4	6.8	4.8	2.7	2.7	31.3	0.7
	65～69歳	43.5	19.8	16.8	16.8	3.1	11.5	4.6	1.5	0.8	29.8	2.3
	70～74歳	43.3	9.4	18.1	20.5	3.5	15.2	5.8	0.6	1.8	33.3	4.1
	75歳以上	39.4	5.8	11.6	19.0	1.3	7.4	8.4	0.3	2.3	32.9	12.9

2 交流館

① 交流館の利用状況

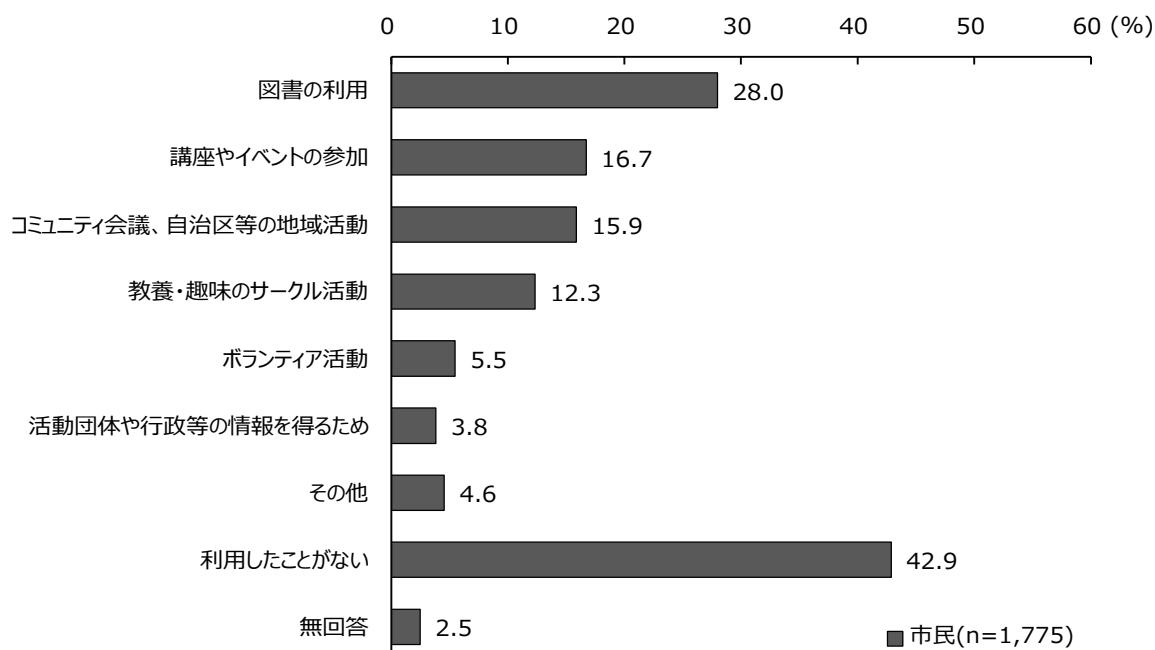
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 12					

問. ここ3年間で、交流館をどのような目的で利用しましたか。（3つまで）

利用目的について、「図書の利用」(28.0%) が最も多く、次いで「講座やイベントの参加」(16.7%)、「コミュニティ会議、自治区等の地域活動」(15.9%) が多い。

交流館を3年以内に利用したことがある市民（全体から「利用したことがない」と「無回答」を除いた割合）は、54.6%となっている。

年齢別にみると、「図書の利用」は20歳未満と30~49歳、70歳以上は「教養・趣味のサークル活動」「講座やイベントの参加」の割合が他の年代と比べて高い。



		図書の利用	の講 座参 加や イベ ント	地 域、 ミ ニ シ テ 等 の 会	サ ー 教 養 ク ・ 自 治 区 テ 等 の 会	教 育 ボ ラ ン チ ・ 自 由 活 動 の 会	ボ ラ ン チ ・ 自 由 活 動 の 会	た め の 動 情 回 報 体 を や 得 行 る 政 府	そ の 他	な い 利 用 し た こ と が	無 回 答
		%									
市民	20歳未満	36.1	8.2	4.9	9.8	3.3	3.3	19.7	31.1	1.6	
	20~29歳	24.8	7.0	3.9	7.0	4.7	3.9	9.3	53.5	0.8	
	30~39歳	39.4	19.4	8.8	11.6	2.3	2.8	6.0	39.4	0.5	
	40~49歳	40.9	18.2	21.7	12.2	4.2	2.8	4.5	35.0	1.4	
	50~59歳	24.4	12.8	18.8	9.1	5.6	2.5	4.1	48.4	0.3	
	60~64歳	27.2	13.6	19.7	8.8	4.1	4.1	0.7	44.9	1.4	
	65~69歳	20.6	12.2	17.6	9.2	5.3	4.6	6.1	50.4	0.8	
	70~74歳	22.2	23.4	18.1	17.5	8.8	7.6	0.6	45.6	2.3	
	75歳以上	18.7	22.9	16.1	18.4	8.4	4.5	2.6	39.7	9.0	

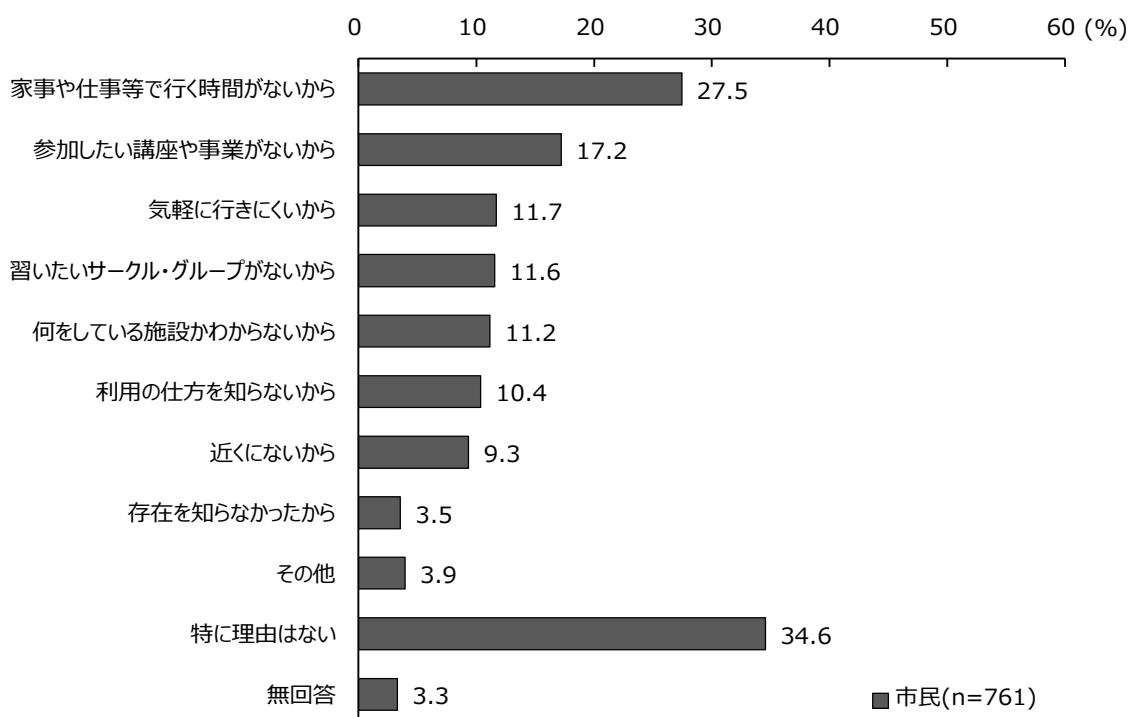
② 交流館を利用したことがない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 13					

問. 交流館を利用したことがない理由を教えてください。(3つまで)

「特に理由はない」が最も多く 34.6% となっている。次いで、「家事や仕事等で行く時間がないから」(27.5%)、「参加したい講座や事業がないから」(17.2%) が多くなっている。

年齢別にみると、20~59 歳は「家事や仕事等で行く時間がないから」、20 歳未満と 60 歳以上で「特に理由はない」の割合が最も高い。



		時 間 事 業 参 加 が や な 仕 事 か 等 ら で 行 く	家 事 事 業 参 加 が や な 仕 事 か 等 ら で 行 く	業 参 加 が や な 仕 事 か 等 ら で 行 く	ら 気 軽 に 行 き に く い か	習 軽 に 行 き に く い か	グ ル 一 行 き に く い か	習 一 行 き に く い か	わ か 行 が に く い か ら	何 ら な い か る ら	か ら し て い い か ら ら	利 用 の 仕 方 を 知 ら な	利 用 の 仕 方 を 知 ら な	近 く に な い か ら	存 在 を 知 ら な か つ た	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
		%																
市民	20歳未満	10.5	10.5	10.5	5.3	21.1	10.5	21.1	0.0	10.5	36.8	0.0						
	20~29歳	34.8	17.4	8.7	14.5	15.9	14.5	5.8	11.6	0.0	30.4	1.4						
	30~39歳	35.3	14.1	10.6	3.5	17.6	15.3	7.1	8.2	0.0	27.1	3.5						
	40~49歳	35.0	17.0	14.0	8.0	14.0	20.0	8.0	3.0	5.0	26.0	1.0						
	50~59歳	36.1	20.6	9.7	14.8	7.7	9.7	8.4	3.9	3.2	29.7	2.6						
	60~64歳	28.8	24.2	13.6	22.7	4.5	1.5	6.1	1.5	4.5	37.9	7.6						
	65~69歳	24.2	16.7	22.7	12.1	12.1	10.6	7.6	1.5	0.0	39.4	0.0						
	70~74歳	21.8	19.2	11.5	12.8	9.0	3.8	9.0	0.0	6.4	42.3	5.1						
	75歳以上	8.1	11.4	8.1	8.1	8.9	6.5	16.3	0.8	8.1	45.5	5.7						

3 中央図書館

① 中央図書館の利用状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 14					

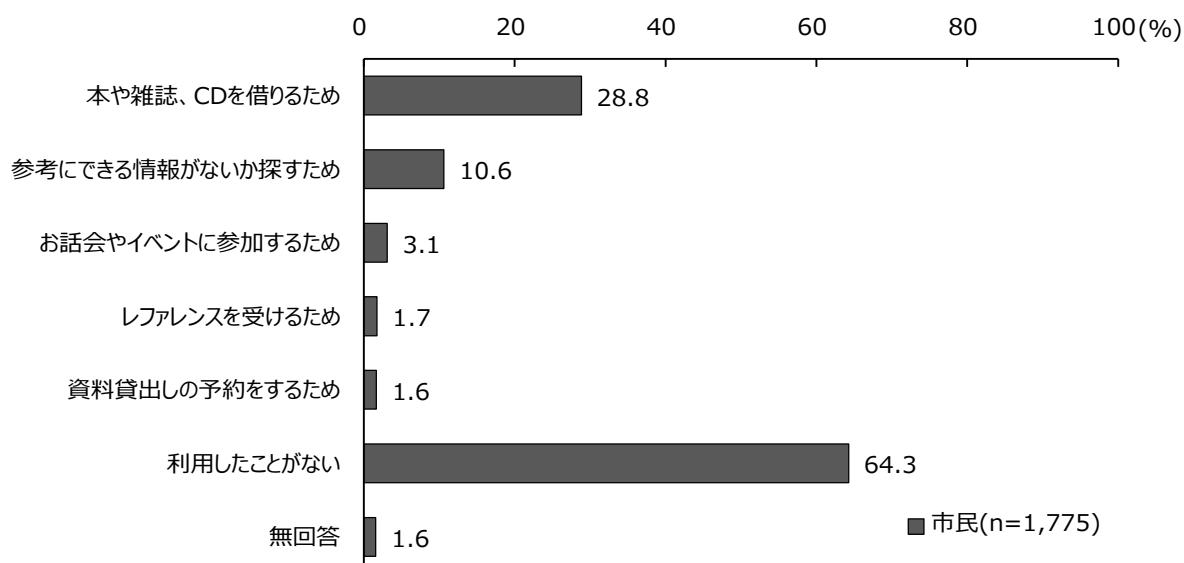
問. ここ3年間で、中央図書館をどのような目的で利用しましたか。（3つまで）

利用目的として、「本や雑誌、CDを借りるため」が最も多く28.8%となっている。

次いで、「参考にできる情報がないか探すため」(10.6%)が多くなっている。

中央図書館を3年以内に利用したことがある市民（全体から「利用したことがない」と「無回答」を除いた割合）は、34.1%となっている。

年齢別にみると、「本や雑誌、CDを借りるため」で49歳以下の割合が他の年代と比べて高い。



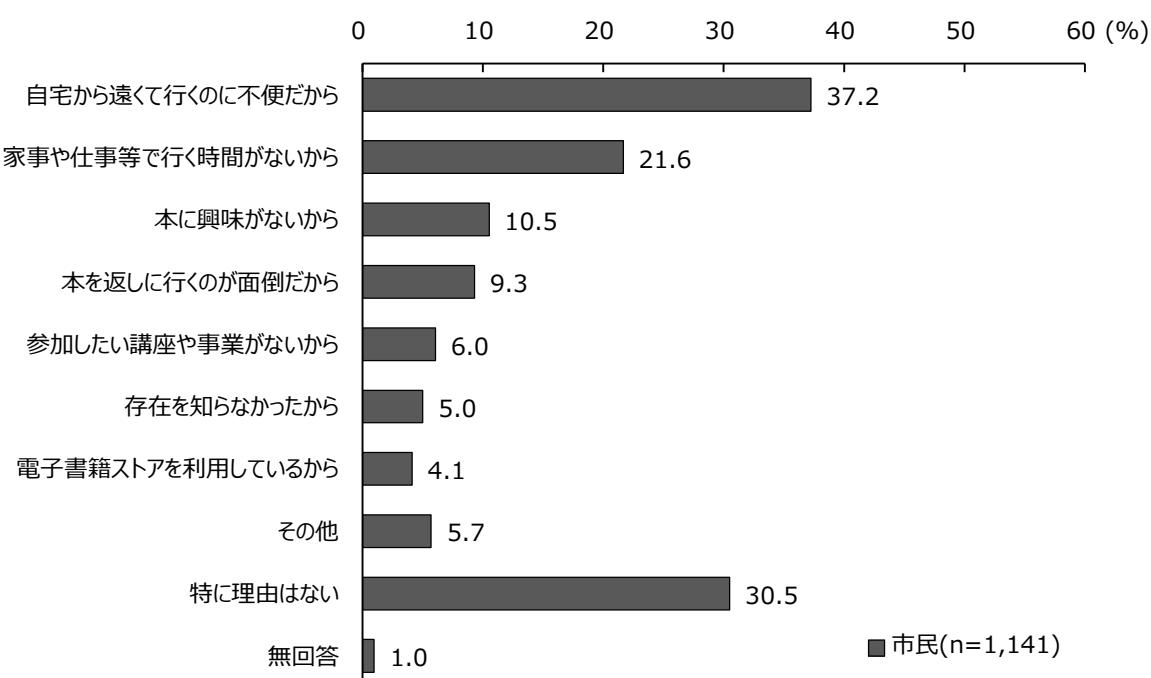
		り本 るや た雑 め誌 、 C D を 借	な参 い考 かに 探で すき たる め情 報 が	參 加 す 会 る や た イ め ベ ン ト に	お 話 す 会 る や た イ め ベ ン ト に	を た け る や た イ め ベ ン ト に	レ 情 ア る 報 レ め ハ ン め ス 案 (内 知) り	す る 料 た 貸 め 出 し の 予 約 を	利 用 し た こ と が な い	無 回 答
		%								
市民	20歳未満	37.7	19.7	3.3	1.6	1.6	42.6	4.9		
	20～29歳	34.1	11.6	4.7	0.8	5.4	60.5	0.0		
	30～39歳	44.0	11.6	5.6	1.4	0.9	51.4	0.5		
	40～49歳	40.2	13.6	3.8	1.4	1.7	53.5	0.7		
	50～59歳	25.9	10.0	1.6	1.3	2.2	69.1	0.3		
	60～64歳	23.8	9.5	3.4	0.7	0.7	70.1	0.0		
	65～69歳	20.6	8.4	1.5	1.5	1.5	75.6	0.8		
	70～74歳	20.5	11.1	4.7	1.8	1.2	70.8	1.8		
	75歳以上	17.7	6.8	1.3	3.9	0.6	72.9	5.5		

② 中央図書館を利用したことのない理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 15					

問. 中央図書館を利用したことのない理由を教えてください。(3つまで)

「自宅から遠くて行くのに不便だから」が最も多く 37.2%となっている。次いで、「特に理由はない」(30.5%)、「家事や仕事等で行く時間がないから」(21.6%)が多い。年齢別にみると、30~59 歳で「家事や仕事等で行く時間がないから」、20 歳未満と 60 歳以上で「特に理由はない」の割合が他の年代と比べて高い。



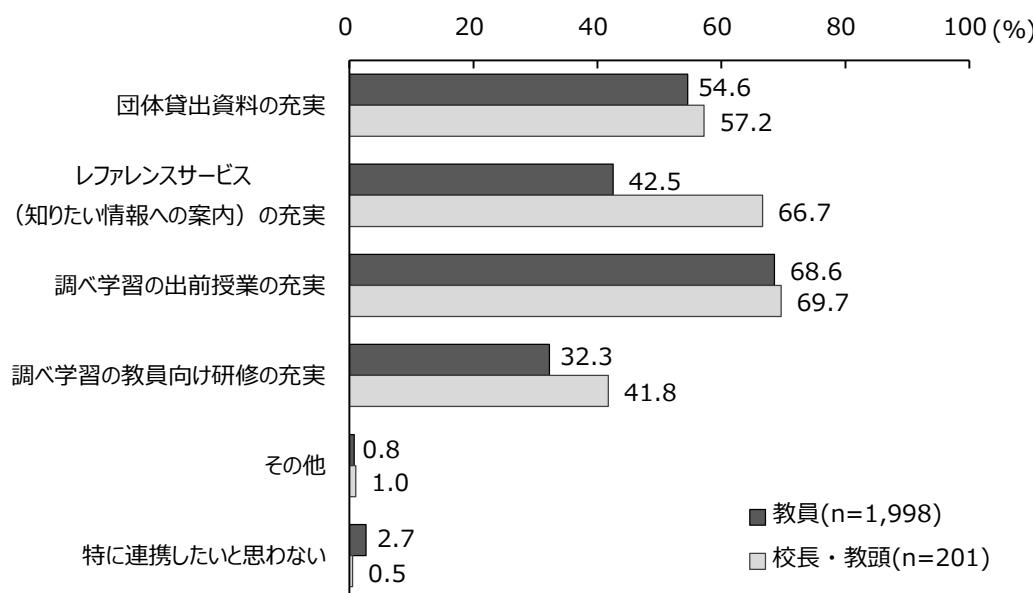
		く自 の宅 にか 不ら 便遠 だく かて ら行	く家 時事 間や が仕 な事 い等 かで ら行	ら本 に興 味が な い か	が本 面を 倒返 だし かに ら行 くの か	事參 業加 がし なた い か講 ら行 く の	た存 在が しな い か講 ら座 や	利電 子書 籍い るト カア らを	その 他	特 に理 由は な い	無 回 答
		%									
市民	20歳未満	34.6	11.5	7.7	3.8	3.8	11.5	0.0	0.0	42.3	3.8
	20~29歳	23.1	24.4	16.7	10.3	7.7	9.0	12.8	3.8	24.4	0.0
	30~39歳	43.2	36.0	5.4	14.4	3.6	8.1	6.3	2.7	21.6	0.0
	40~49歳	35.9	28.1	6.5	11.1	5.9	4.6	7.2	7.2	26.1	0.7
	50~59歳	37.6	30.3	6.8	10.9	5.9	4.5	4.1	5.9	25.8	0.0
	60~64歳	30.1	26.2	16.5	7.8	5.8	3.9	3.9	9.7	34.0	0.0
	65~69歳	38.4	14.1	13.1	11.1	8.1	6.1	2.0	5.1	34.3	1.0
	70~74歳	36.4	16.5	14.9	9.1	6.6	1.7	1.7	4.1	39.7	1.7
	75歳以上	43.4	6.2	11.5	4.4	6.2	4.0	0.9	6.2	35.0	2.7

③ 図書館に求めるもの・学校との連携

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 23	問 23

問. 学校との連携に向けて、中央図書館がどのようなことに一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべて)

教員、校長・教頭ともに、「調べ学習の出前授業の充実」(教員 68.6%、校長・教頭 69.7%) が最も多く、「団体貸出資料の充実」(教員 54.6%、校長・教頭 57.2%) も多くなっている。校長・教頭では「レファレンスサービス（知りたい情報への案内）の充実」(66.7%) も多くなっている。



4 読書

① 学校以外での読書頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 22	問 23			

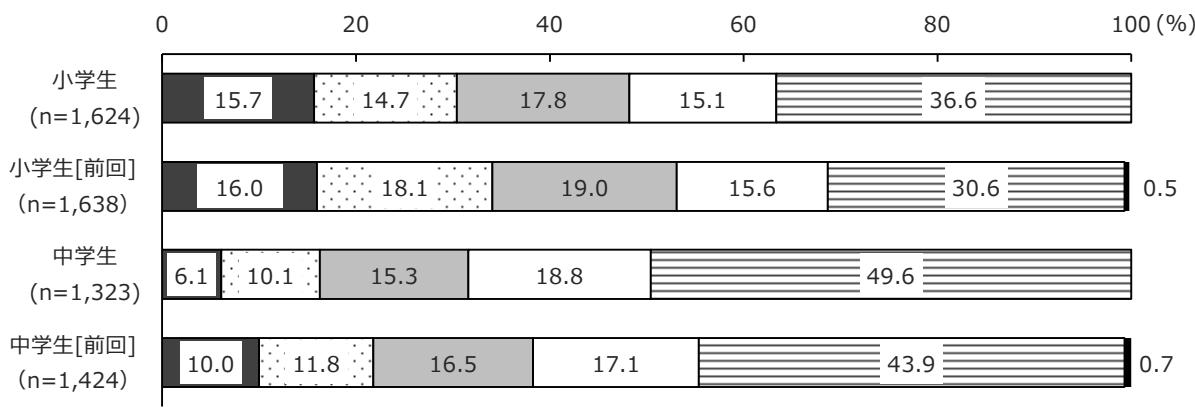
問. 学校以外で、どのくらい読書をしていますか。(1つ)

※教科書や参考書、まんがや雑誌は除きます。

小・中学生ともに、「ほとんど読んでいない」(小学生 36.6%、中学生 49.6%)が最も多くなっている。

読書頻度が週に1日以上(「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1日ぐらい」の合計)である割合は、小学生で 48.2%、中学生で 31.5% となっている。

前回と比べると、小・中学生ともに「ほとんど読んでいない」の割合が高くなっている。



■ほぼ毎日 □週に3日以上 □週に1日ぐらい □月に1～2日 □ほとんど読んでない ■無回答

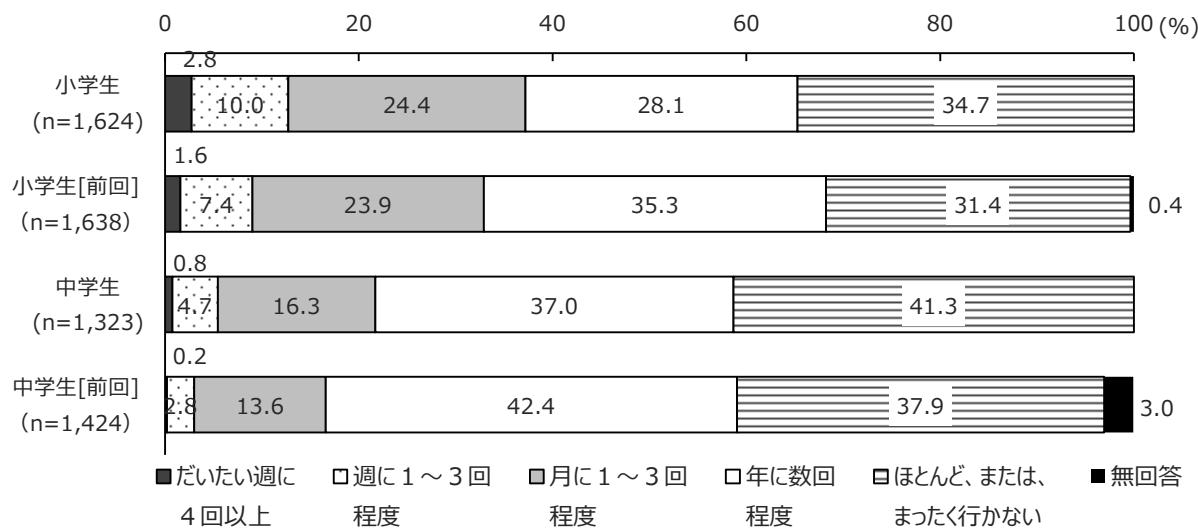
② 図書コーナーの利用頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 23	問 24			

問. 中央図書館や交流館・コミュニティセンターの図書コーナーを 1 年間にどのくらい利用しますか。 (1 つ)

小・中学生ともに「ほとんど、または、まったく行かない」(小学生 34.7%、中学生 41.3%) が最も多くなっている。図書コーナーの利用が、月に 1 回以上（「だいたい週に 4 回以上」「週に 1 ~ 3 回程度」「月に 1 ~ 3 回程度」の合計）と回答した人の割合は、小学生で 37.2%、中学生で 21.8% となっている。

前回と比べると、小・中学生ともに、「月に 1 回以上」の割合も「ほとんど、または、まったく行かない」の割合も高くなっている。個人差が広がっている。



第6章 文化・芸術について

1 文化・芸術への関心や活動状況

① 文化・芸術等に関する興味

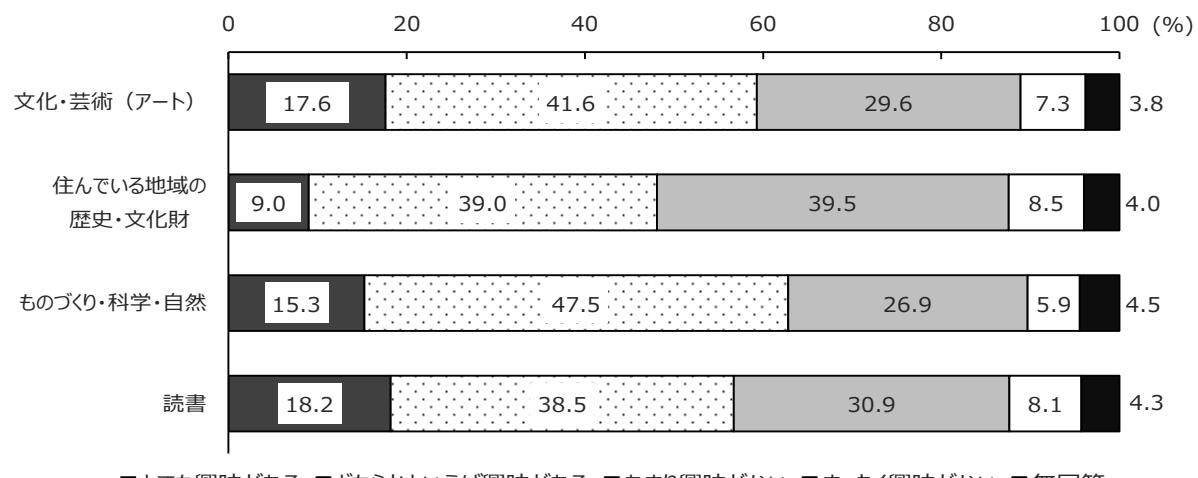
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 16	問 24	問 25			

問. あなたは、次のことについて、興味がありますか。(それぞれ1つ)

「とても興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計について、市民では、「ものづくり・科学・自然」が最も多く62.8%となっている。次いで、「文化・芸術（アート）」(59.2%)、「読書」(56.7%)、「住んでいる地域の歴史・文化財」(48.0%)となっている。

「とても興味がある」の割合を年齢別にみると、20歳未満は「文化・芸術（アート）」、30～39歳は「ものづくり・科学・自然」の割合が他の年代と比べてやや高い。

【市民】(n=1,775)

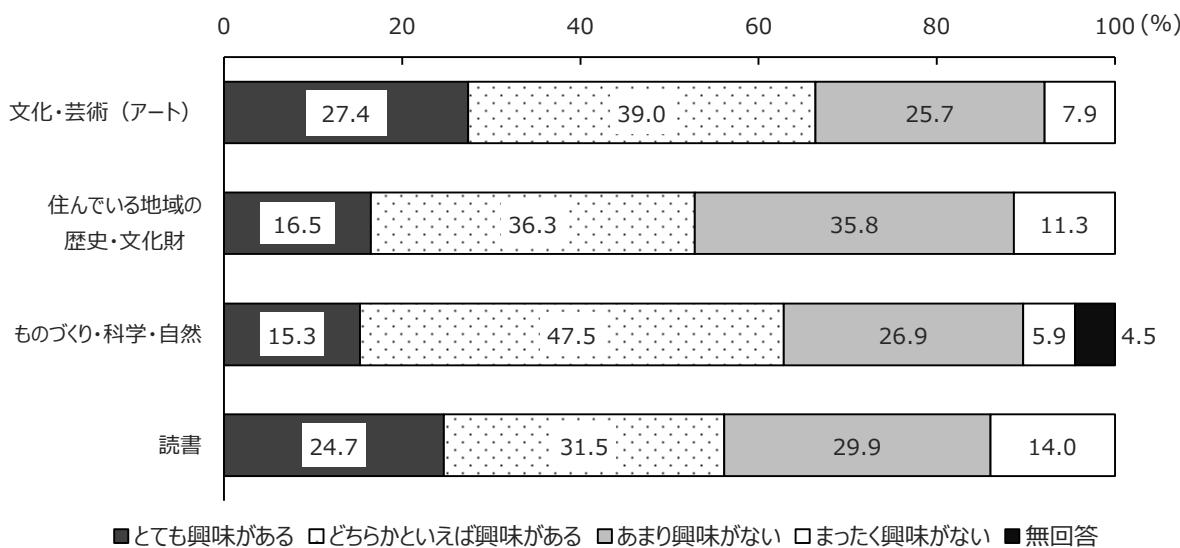


・「とても興味がある」の割合

		(文 ア化 一・ ト芸)術	化 域 財 の ん 歴 で 史 い ・ る 文 地	住 の ん 歴 で 史 い ・ る 文 地	科 も 学 の ・ づ 自 く 然 り ・	読 書
		%				
市民	20歳未満	24.6	6.6	16.4	21.3	
	20～29歳	20.9	8.5	19.4	17.1	
	30～39歳	19.4	6.9	23.1	20.8	
	40～49歳	19.9	8.0	20.6	20.3	
	50～59歳	19.7	8.4	15.9	19.1	
	60～64歳	17.7	9.5	12.9	17.0	
	65～69歳	11.5	4.6	10.7	17.6	
	70～74歳	14.6	12.3	12.3	15.2	
	75歳以上	13.9	12.3	7.1	16.1	

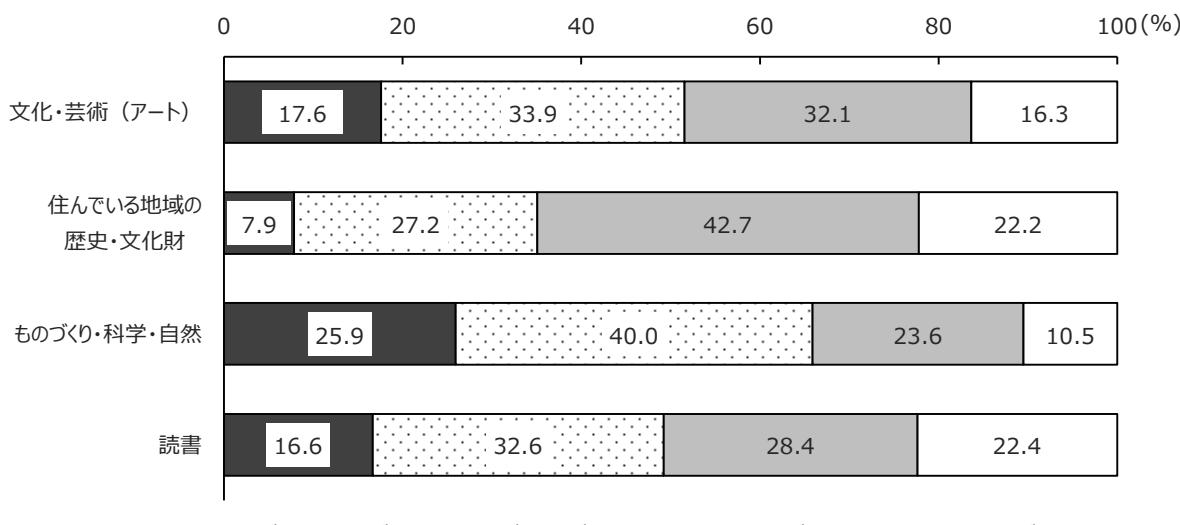
「とても興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計について、小学生では、「文化・芸術（アート）」が最も多く66.4%となっている。次いで、「ものづくり・科学・自然」(62.8%)、「読書」(56.2%)、「住んでいる地域の歴史・文化財」(52.8%)となっている。

【小学生】(n=1,624)



「とても興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計について、中学生では、「ものづくり・科学・自然」が最も多く65.9%となっている。次いで、「文化・芸術（アート）」(51.5%)、「読書」(49.2%)、「住んでいる地域の歴史・文化財」(35.1%)となっている。

【中学生】(n=1,323)



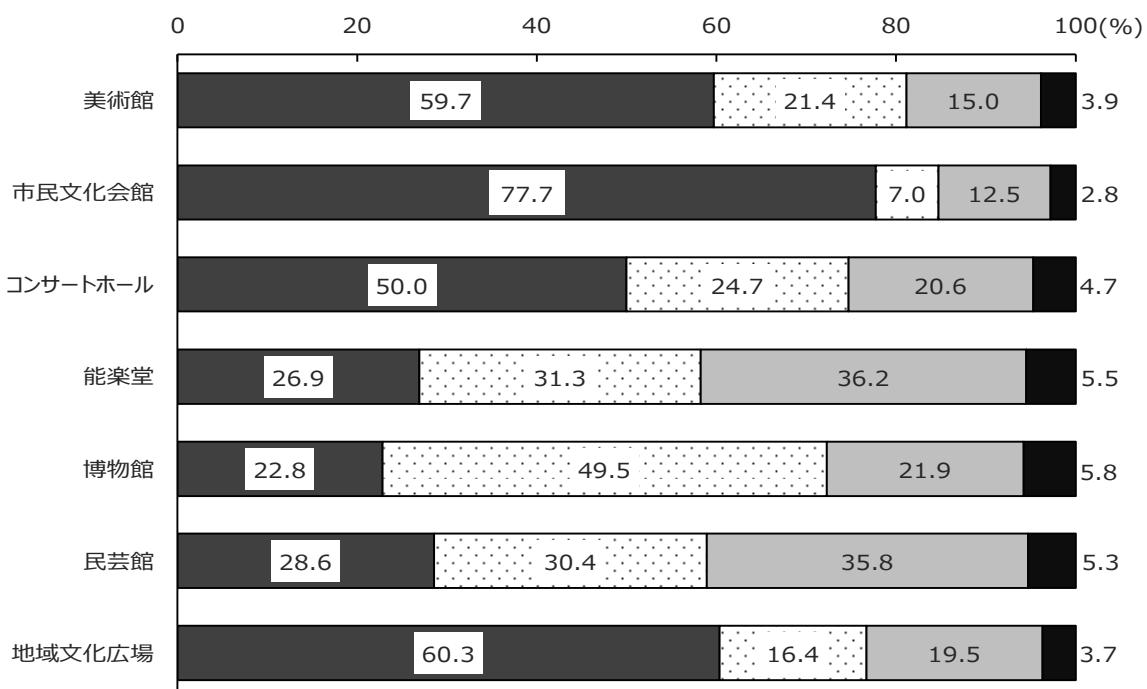
② 市内の文化施設の利用状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 17					

問. あなたは、豊田市の次の文化施設に、これまで行ったことがありますか。
(それぞれ 1 つ)

「行ったことがある」は市民文化会館(77.7%)、地域文化広場(60.3%)、美術館(59.7%)、「コンサートホール」(50.0%)が多くなっている。一方で、「行ったことはないが関心がある」は博物館(49.5%)、「関心がなく、行ったこともない」は能楽堂(36.2%)、民芸館(35.8%)が多くなっている。

「行ったことがある」の割合をみると、「コンサートホール」は 29 歳未満、「能楽堂」は 20~29 歳、「民芸館」は 70 歳以上で他の年代と比べて高くなっている。



■ 行ったことがある □ 行ったことはないが関心がある □ 関心がなく、行ったこともない ■ 無回答

市民 (n=1,775)

・「行ったことがある」の割合

		美術館	市民文化会館	コンサートホール	能楽堂	博物館	民芸館	地域文化広場
%								
市民	20歳未満	49.2	75.4	62.3	23.0	18.0	19.7	52.5
	20~29歳	62.0	72.1	62.0	56.6	29.5	25.6	41.9
	30~39歳	58.8	63.0	40.7	32.4	29.2	17.1	59.7
	40~49歳	60.8	80.8	43.0	14.7	24.8	23.4	68.9
	50~59歳	63.4	81.3	54.4	23.7	25.0	28.7	65.9
	60~64歳	64.6	87.8	51.7	25.9	19.7	29.3	72.8
	65~69歳	59.5	85.5	49.6	21.4	19.1	32.1	64.9
	70~74歳	58.5	82.5	50.9	24.6	18.7	40.4	57.9
	75歳以上	55.8	73.9	50.0	30.3	17.7	35.8	50.3

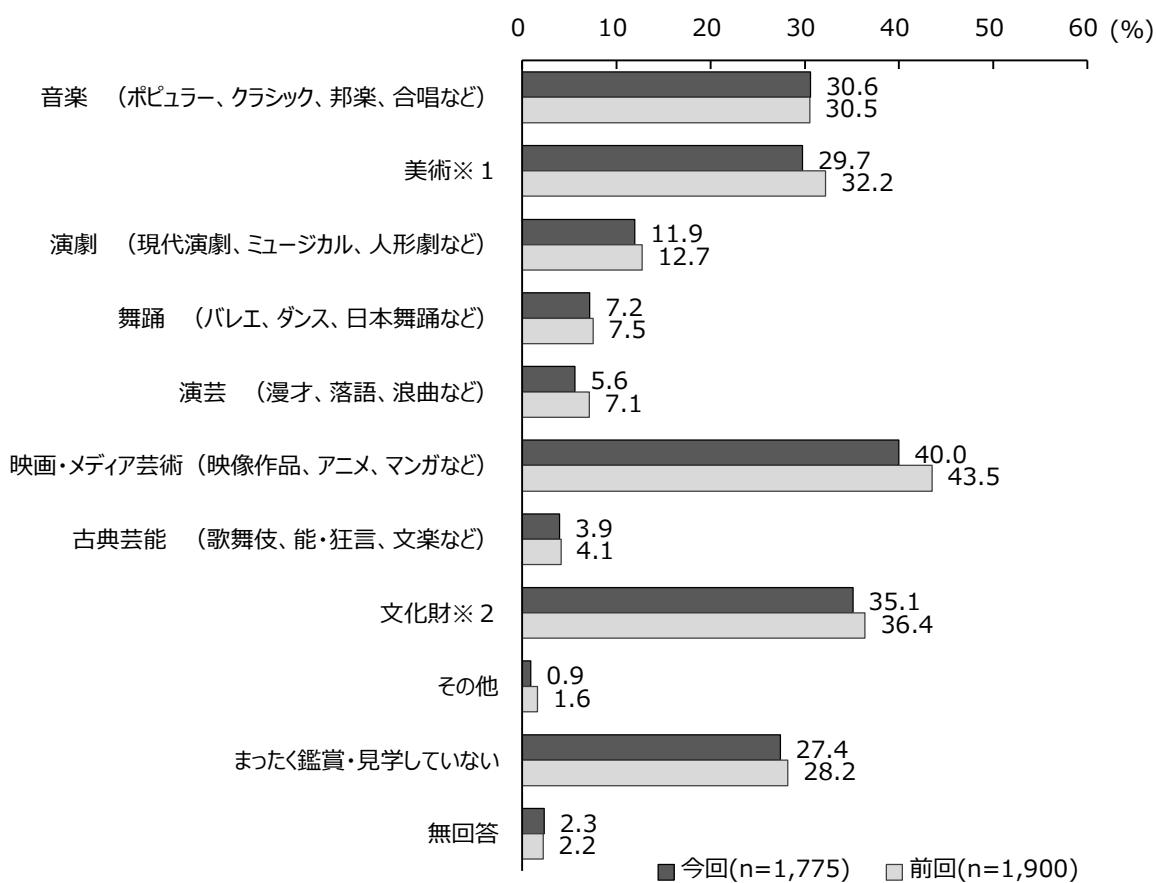
③ 鑑賞・見学した分野

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 18					

問. あなたは、この1年間に次のような催し物や場所に出かけて行って、「鑑賞・見学」(豊田市外も含む)をしたことがありますか。(あてはまるものすべて)
※ホール・劇場・美術館・博物館・映画館・祭り・旅行等で直接鑑賞すること

「映画・メディア芸術(映像作品、アニメ、マンガなど)」が最も多く40.0%となっている。次いで、「文化財」(35.1%)、「音楽(ポピュラー、クラシック、邦楽、合唱など)」(30.6%)、「美術」(29.7%)が多くなっている。

この1年間に直接鑑賞や見学をした(全体から「まったく鑑賞・見学していない」と「無回答」を除いた割合)市民は、70.3%となっている。



※1 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真、デザイン、現代アート、民芸など)

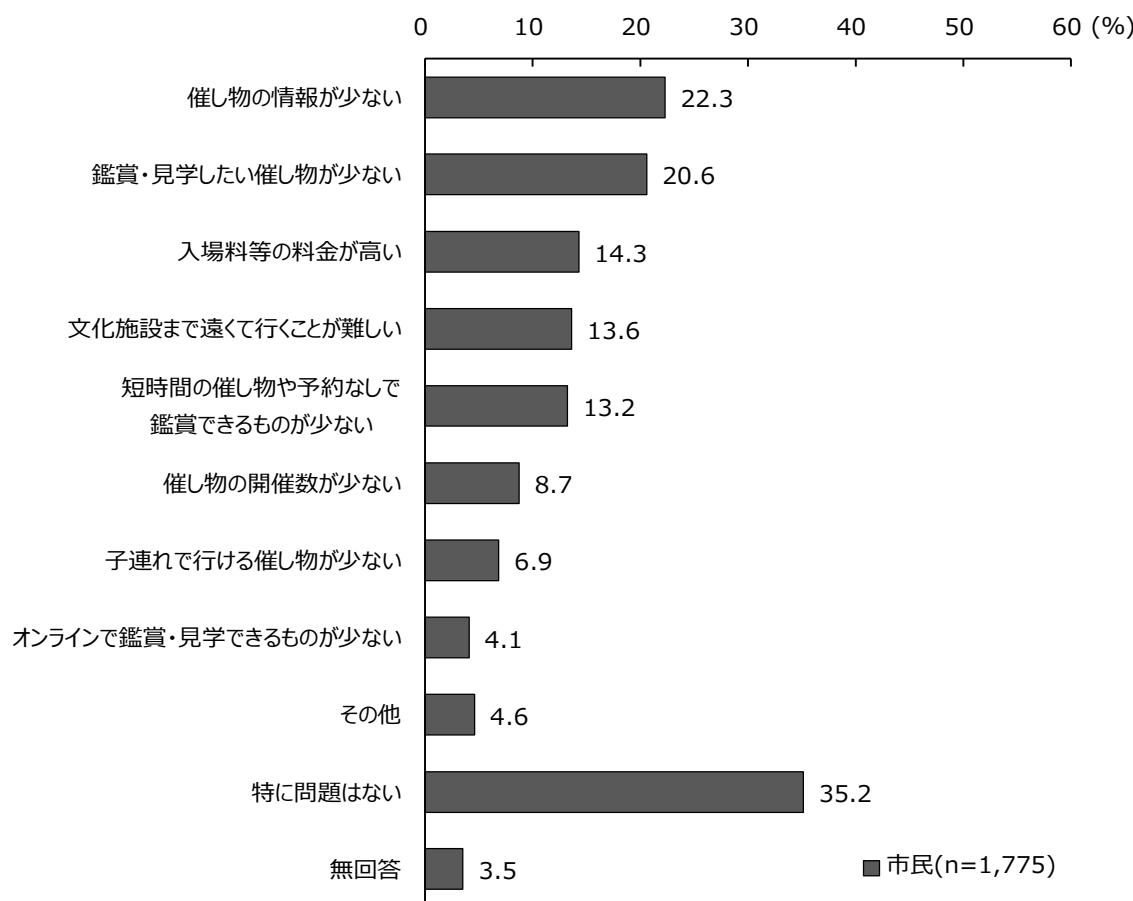
※2 文化財(古い寺社、まちなみ、棒の手、山車祭、農村歌舞伎、遺跡、天然記念物、近代産業遺産、仏像、出土品など)

④ 鑑賞・見学する上で困ること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 19					

問. あなたが「鑑賞・見学」する上で、お困りのことありますか。(3つまで)

「特に問題はない」が最も多く35.2%となっている。次いで、「催し物の情報が少ない」(22.3%)、「鑑賞・見学したい催し物が少ない」(20.6%)が多くなっている。



年齢別にみると、20歳未満と75歳以上で「文化施設まで遠くて行くことが難しい」、30～39歳で「子連れで行ける催し物が少ない」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

		な 催 いし 物 の 情 報 が 少 い た い %	催 鑑 し賞 物・ が見 少学 なし い金 が	高 入 い場 料等 の料 金が	い て文 化行 く施 設と がで 難遠 しく	き 予 約時 もな のし がで 少鑑 し難 な賞 物い いで や	少 催 な い物 の 開 催 数 が	し 子 物連 がれ 少 で な行 いけ る催 数が	の 賞 オ が・ ン少 見ラ な学 イで ンき でる 鑑 も	そ の 他	特 に 問 題 は な い	無 回 答
市民	20歳未満	14.8	19.7	13.1	24.6	4.9	6.6	1.6	8.2	1.6	39.3	0.0
	20～29歳	23.3	27.1	16.3	16.3	9.3	10.9	7.0	7.0	2.3	31.8	0.0
	30～39歳	19.0	24.5	16.7	8.3	10.6	10.6	29.6	3.7	1.9	30.6	0.9
	40～49歳	24.1	23.4	18.2	9.8	15.0	10.8	13.6	4.2	4.5	30.8	1.7
	50～59歳	24.7	23.4	17.5	9.1	12.5	8.7	1.3	3.1	5.9	38.4	0.3
	60～64歳	23.8	26.5	14.3	6.8	14.3	10.2	0.7	6.1	6.8	37.4	1.4
	65～69歳	23.7	21.4	10.7	16.0	19.1	6.9	0.0	4.6	2.3	41.2	1.5
	70～74歳	25.1	15.2	8.2	11.7	15.8	8.8	1.8	3.5	7.0	38.0	7.0
	75歳以上	19.0	10.0	10.0	25.8	13.2	4.8	0.3	2.6	5.2	34.2	12.6

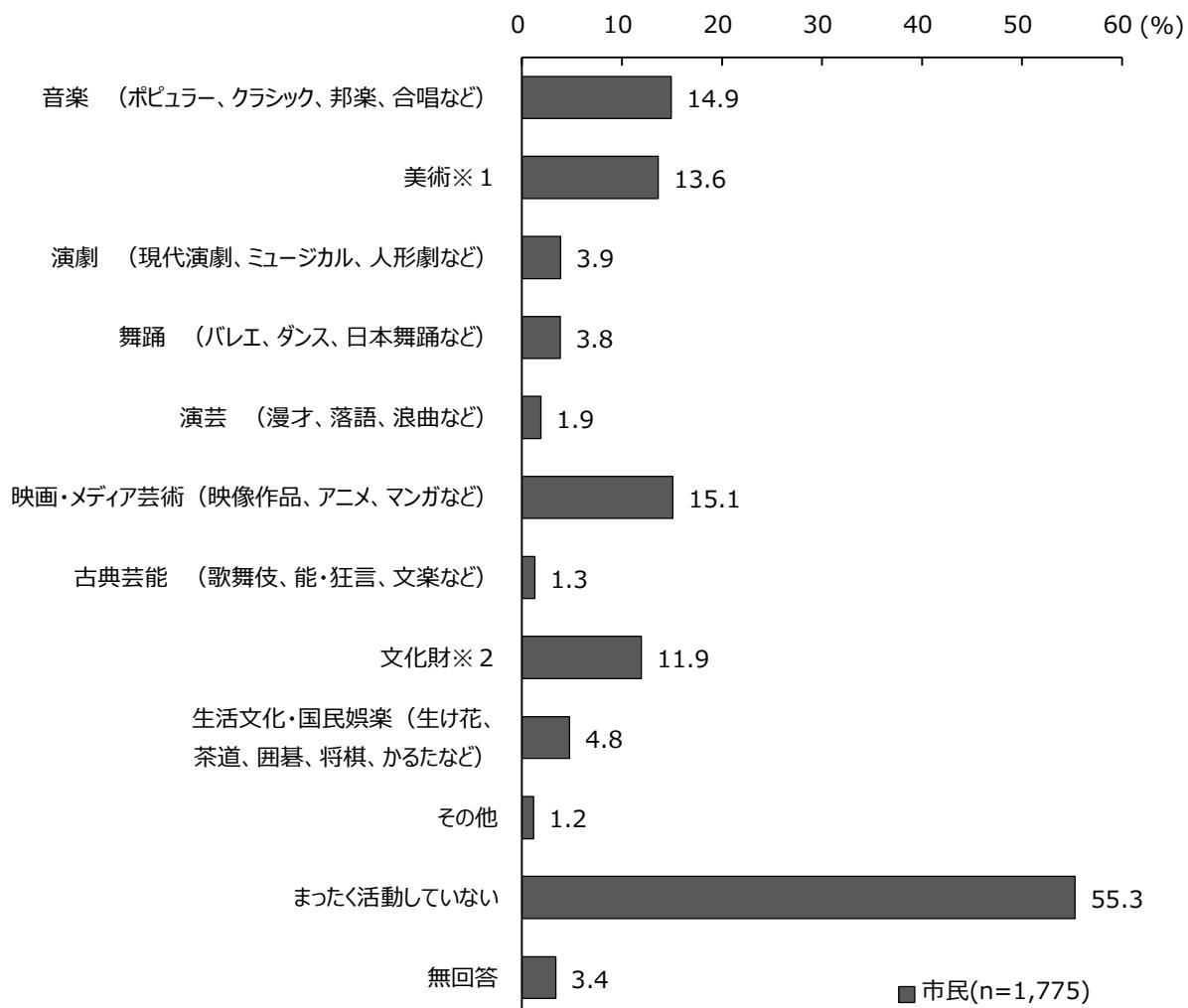
⑤ 日頃行っている文化・芸術活動の分野

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 20					

問. あなたは、この1年間に次のような「文化・芸術活動」(鑑賞・見学を除く)を行ったことがありますか。(あてはまるものすべて)
※作品の制作・練習・習い事など

「まったく活動していない」が最も多く55.3%となっている。次いで、「映画・メディア芸術(映像作品、アニメ、マンガなど)」(15.1%)、「音楽(ポピュラー、クラシック、邦楽、合唱など)」(14.9%)、「美術」(13.6%)が多くなっている。

この1年間に文化活動をしたことがある(全体から「まったく活動していない」と「無回答」を除いた割合)市民は、41.3%となっている。



※1 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真、デザイン、現代アート、民芸など)

※2 文化財(古い寺社、まちなみ、棒の手、山車祭、農村歌舞伎、遺跡、天然記念物、近代産業遺産、仏像、出土品など)

⑥ 文化・芸術活動をする上で困ること

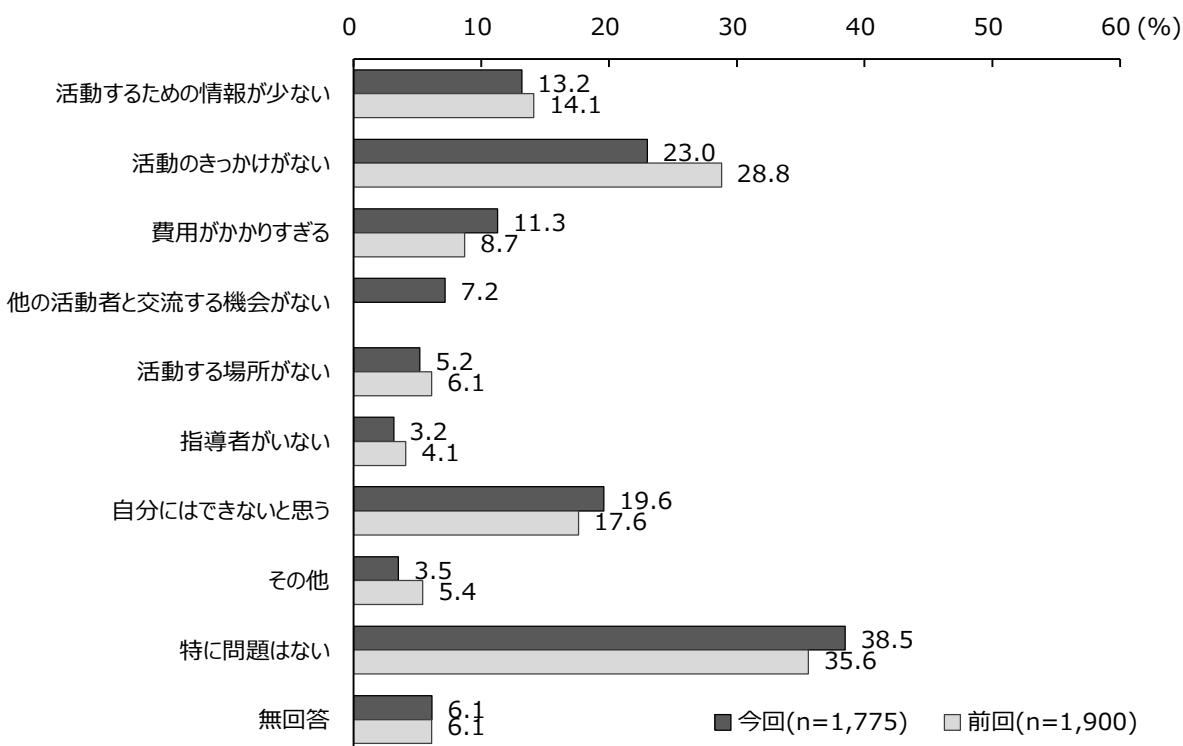
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 21					

問. あなたが「文化・芸術活動」をする上で、お困りのことはありますか。(3つまで)

「特に問題はない」が最も多く38.5%となっている。次いで、「活動のきっかけがない」(23.0%)、「自分にはできないと思う」(19.6%)が多くなっている。

前回と比べると、「特に問題はない」の割合がやや増加し、「活動のきっかけがない」が減少している。

年齢別にみると、すべての年代で「特に問題はない」の割合が最も高くなっている。



		情 活 報 動 が す 少 る な た い め の %	が 活 な 動 い の き つ か け	ぎ 費 用 が か か き か り す	い 流 行 機 动 会 者 が と な 交	他 の 活 动 す る 活 动 が と な 交	な 活 动 す る 场 所 が	指 導 者 が い な い	い 自 と 分 思 に う は き な	そ の 他	特 に 問 題 は な い	無 回 答
市民	20歳未満	9.8	21.3	9.8	3.3	9.8	4.9	18.0	0.0	45.9	1.6	
	20~29歳	14.7	31.0	16.3	7.0	10.1	7.0	20.2	0.8	37.2	0.8	
	30~39歳	13.0	25.0	12.5	10.2	6.5	2.3	16.2	3.2	42.1	1.4	
	40~49歳	14.7	25.5	16.8	5.9	4.2	3.8	19.9	2.4	38.1	3.1	
	50~59歳	15.9	25.0	14.7	5.0	6.6	2.2	20.6	4.4	37.2	1.3	
	60~64歳	15.0	24.5	8.2	7.5	4.1	1.4	16.3	2.7	40.1	6.1	
	65~69歳	11.5	27.5	8.4	8.4	3.1	1.5	19.1	1.5	42.0	3.8	
	70~74歳	11.1	19.3	8.2	8.8	2.3	4.7	21.6	4.1	37.4	9.9	
	75歳以上	10.3	13.9	4.5	7.7	3.5	2.9	21.6	5.8	35.2	19.0	

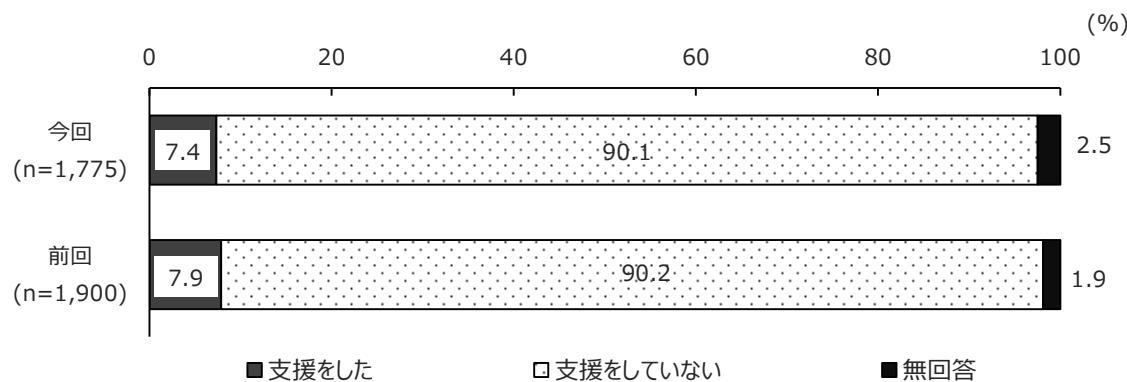
⑦ 文化・芸術活動への支援状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 22					

問. あなたは、この1年間に、文化・芸術活動の支援等をしたことありますか。（1つ）
※芸術祭や文化施設等でのボランティア活動、子どもの文化体験講座等の手伝い、文化イベントの運営費を寄附など

「支援をした」が7.4%、「支援をしていない」が90.1%となっている。

前回と比べて、大きな変化はみられない。



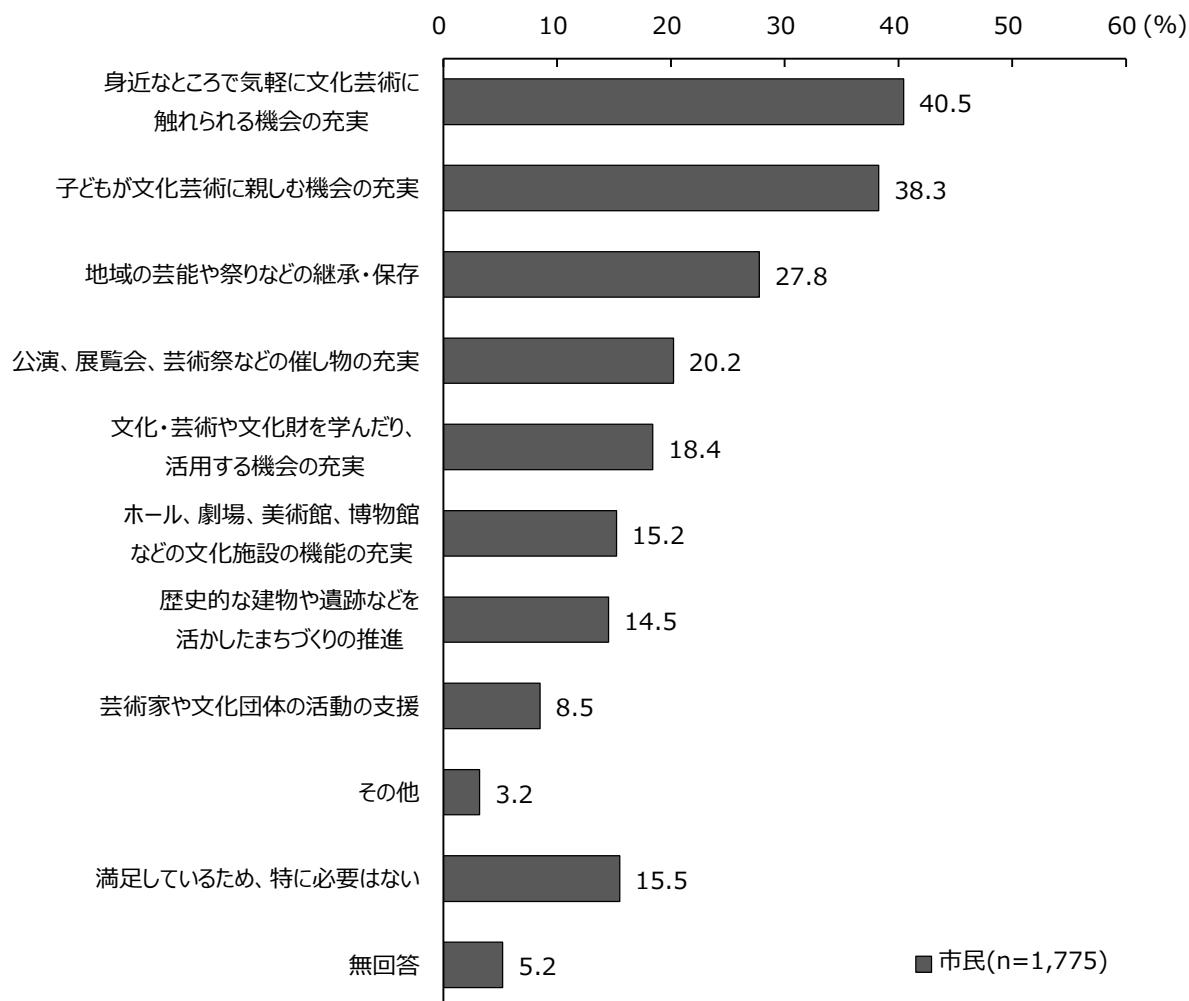
2 文化・芸術振興、文化財保護

① 地域の文化的環境の充実に向けて

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 23					

問. あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするため、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべて)

「身近なところで気軽に文化芸術に触れられる機会の充実」(40.5%)、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」(38.3%)が多くなっている。

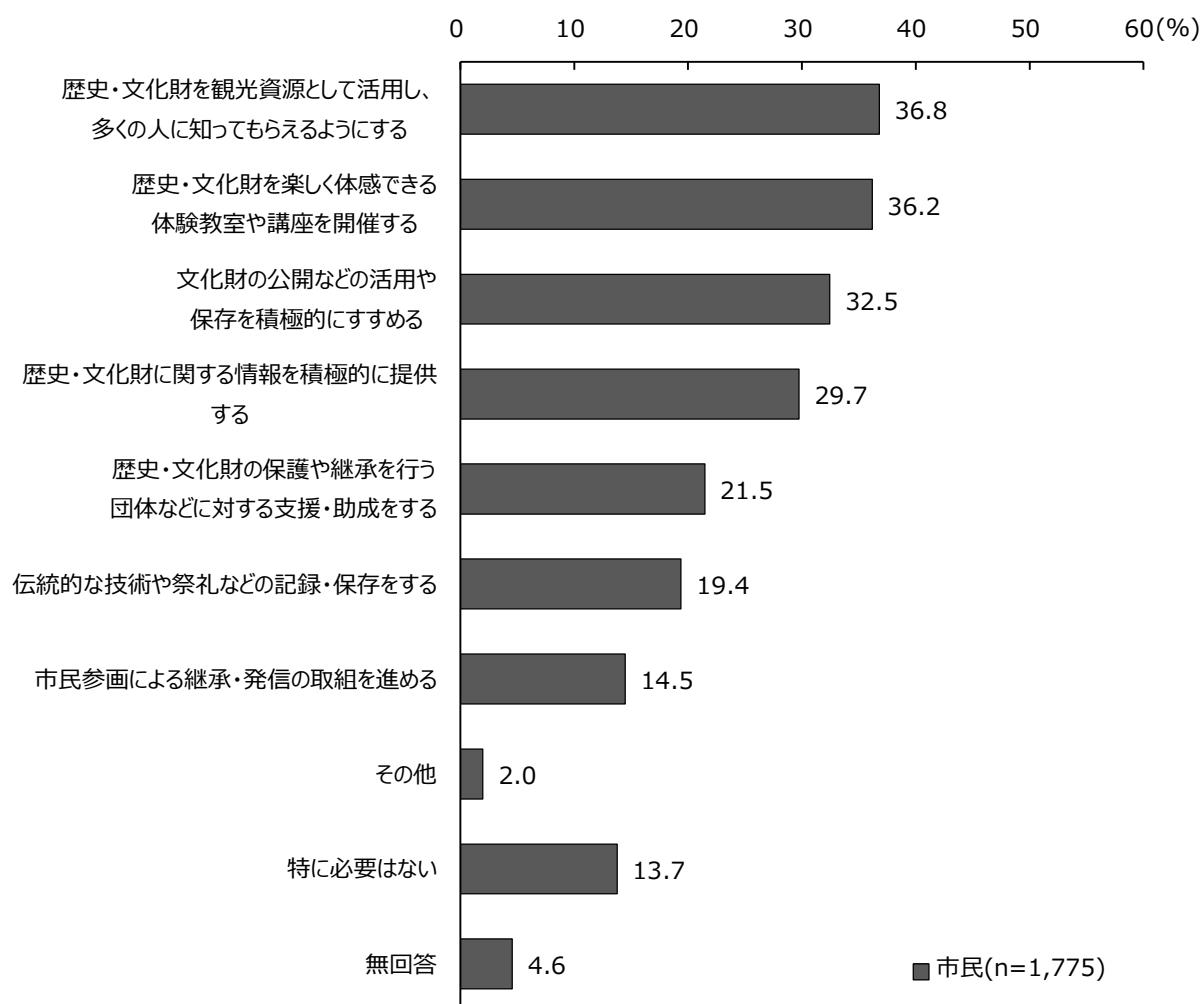


② 市の歴史・文化財の継承、魅力発信

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 24					

問. 豊田市の歴史や文化財を継承し、その魅力を発信していくためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべて)

「歴史・文化財を観光資源として活用し、多くの人に知ってもらえるようにする」が最も多く 36.8% となっている。次いで、「歴史・文化財を楽しく体感できる体験教室や講座を開催する」(36.2%)、「文化財の公開などの活用や保存を積極的にすすめる」(32.5%) が多くなっている。

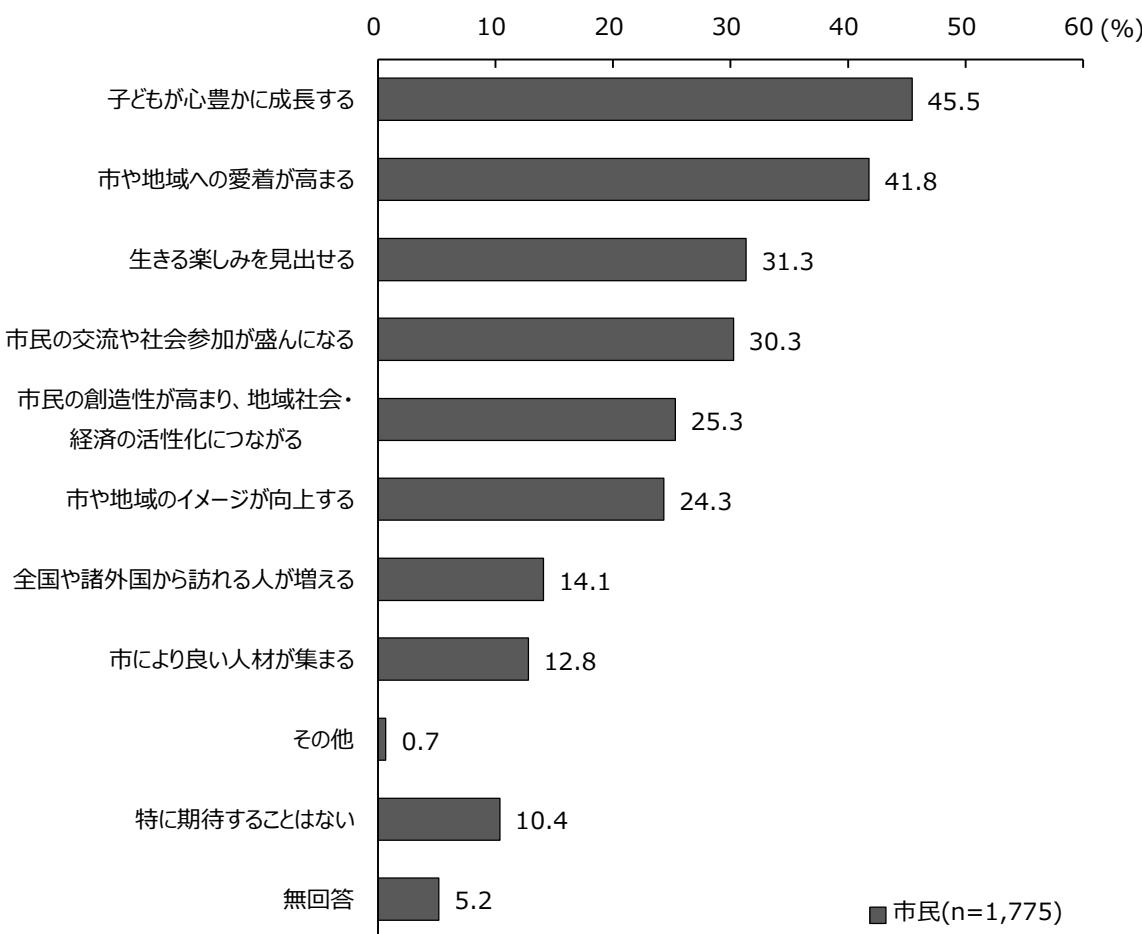


③ 地域の文化的環境が充実する効果

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 25					

問. 地域の文化的環境が充実することにより、あなたが期待する効果は何ですか。
(あてはまるものすべて)

「子どもが心豊かに成長する」(45.5%)、「市や地域への愛着が高まる」(41.8%)が多くなっている。



3 子どもと文化・芸術

① 子どもと利用したい文化・スポーツ施設

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 26	問 24	問 24

【保護者】

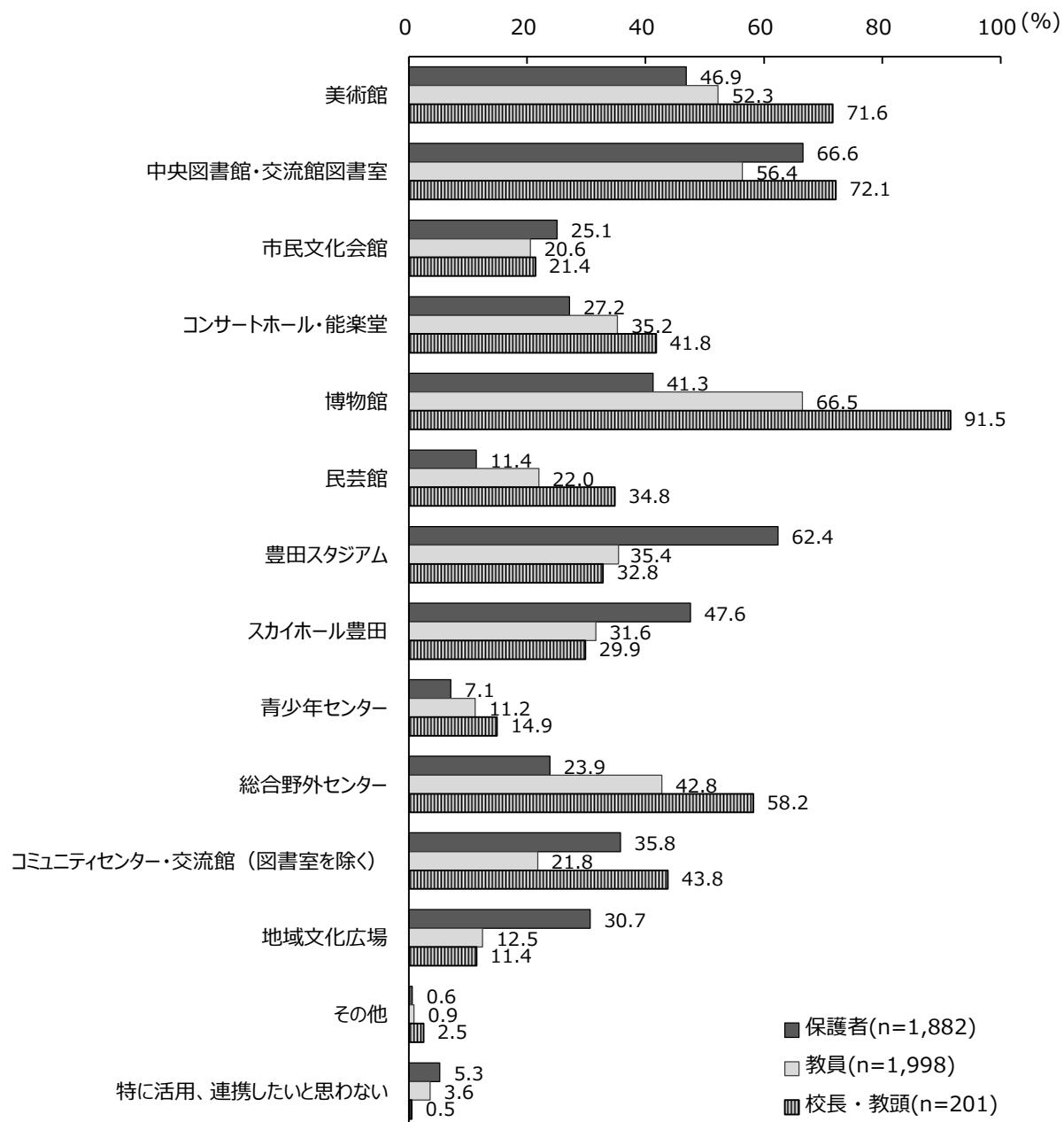
問. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について、お子さんと一緒に利用したいと思いますか。(あてはまるものすべて)

【教員、校長・教頭】

問. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について授業等で活用したい、連携したいと思いますか。(あてはまるものすべて)

保護者が子どもと一緒に利用したい施設では「中央図書館・交流館図書室」(66.6%)、「豊田スタジアム」(62.4%) が多くなっている。

教員、校長・教頭が授業等で活用したい、連携したい施設では「博物館」(教員 66.5%、校長・教頭 91.5%) が最も多くなっている。次いで、「中央図書館・交流館図書室」(教員 56.4%、校長・教頭 72.1%)、「美術館」(教員 52.3%、校長・教頭 71.6%) が多くなっている。



		美術館	図書室	中央図書館・交流館	市民文化会館	能楽堂	コンサートホール	博物館	民芸館	豊田スタジアム	スカイホール	青少年センター	総合野外センター	タウン交流館	コミュニティセンター(セントラル図書)	地域文化広場	その他	特別な利用したいと思	無回答
		%																	
保護者	小学校	46.9	68.9	26.0	25.5	43.1	11.2	64.0	46.7	6.7	27.2	36.9	35.5	0.4	4.1	0.0			
	中学校	46.9	63.2	23.7	29.7	38.4	11.8	59.9	49.1	7.8	18.7	34.0	23.3	0.9	7.0	0.0			
教員	小学校	59.4	65.7	20.2	38.5	75.3	26.1	35.4	30.5	11.9	51.2	24.7	14.4	0.8	1.8	0.0			
	中学校	39.2	39.5	21.2	29.3	50.6	14.5	35.4	33.6	10.0	27.6	16.5	9.0	1.1	6.9	0.0			

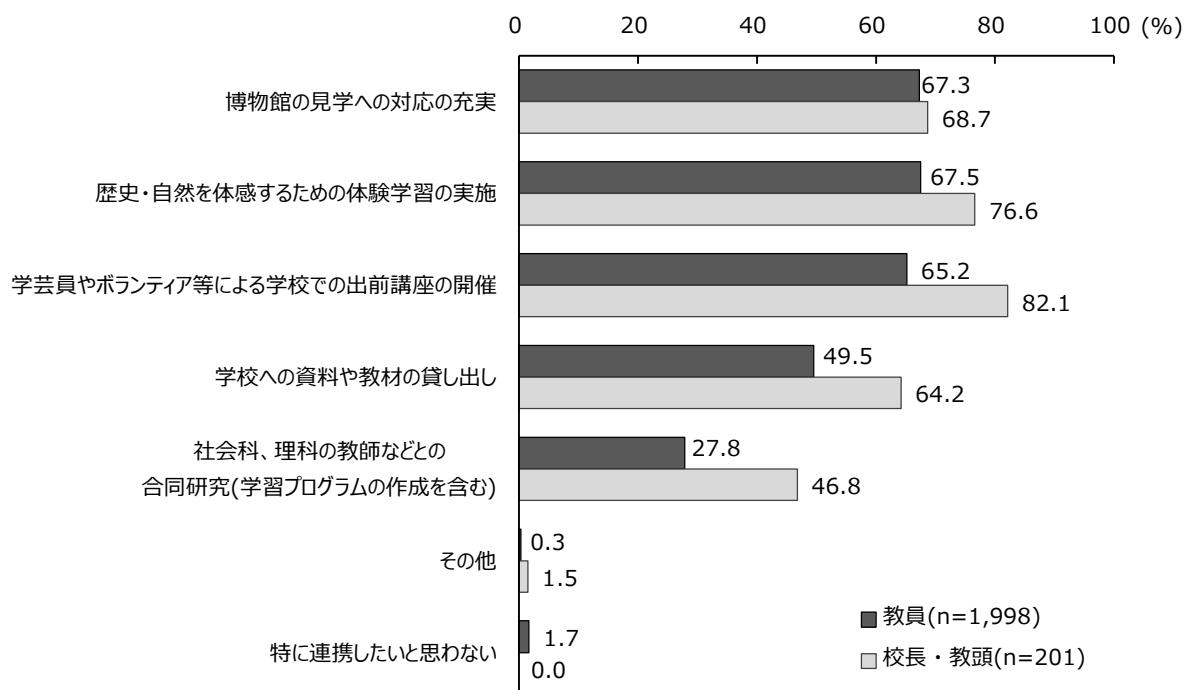
② 博物館と学校の連携

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 25	問 25

問. 博物館が学校と連携して、どのようなことに一層力をいれて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべて)

教員、校長・教頭ともに「博物館の見学への対応の充実」(教員 67.3%、校長・教頭 68.7%)、「歴史・自然を体感するための体験学習の実施」(教員 67.5%、校長・教頭 76.6%)、「学芸員やボランティア等による学校での出前講座の開催」(教員 65.2%、校長・教頭 82.1%)が多くなっている。

校長・教頭では「学校への資料や教材の貸し出し」(64.2%)も多い。



③ 鑑賞・見学した回数

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 25	問 26			

問. コンサートや文化財など、出かけて行って文化・芸術（アート）の「鑑賞・見学」（豊田市外も含む）を、1年間に何回ぐらいしますか。（1つ）

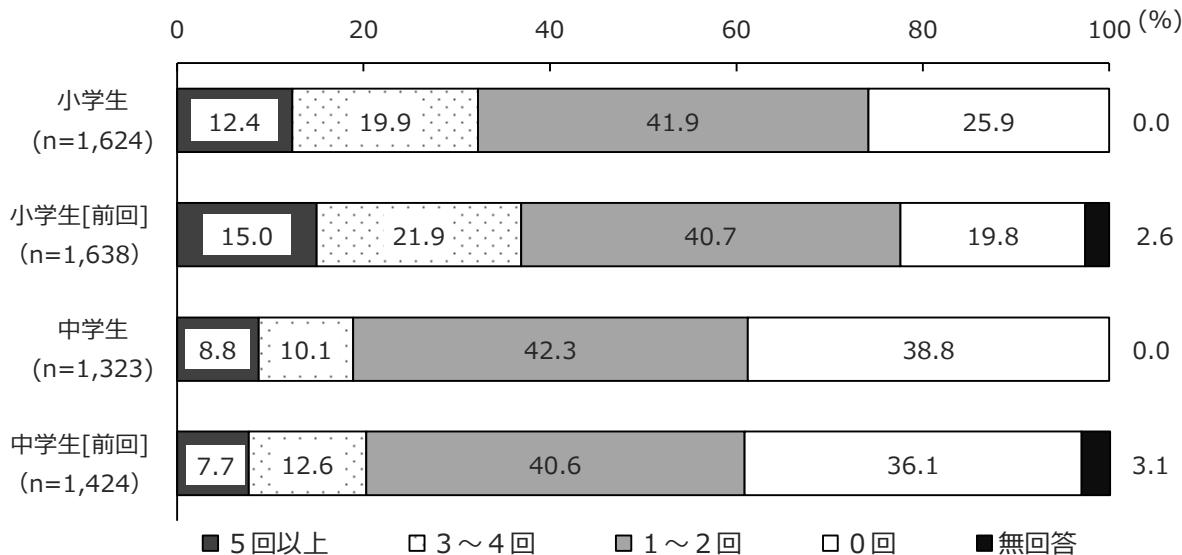
※文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

ホール・劇場・美術館・博物館・映画館・旅行などで直接鑑賞することが対象です。
学校の授業や遠足などは含みません。

小・中学生ともに「1～2回」（小学生 41.9%、中学生 42.3%）が最も多くなっている。次いで、「0回」（小学生 25.9%、中学生 38.8%）、「3～4回」（小学生 19.9%、中学生 10.1%）となっている。

この1年間で鑑賞・見学した（全体から「0回」を除いた）割合は、小学生で 74.1%、中学生で 61.2% となっている。

前回と比べると、小学生で「5回以上」「3～4回」の割合がやや減少している。



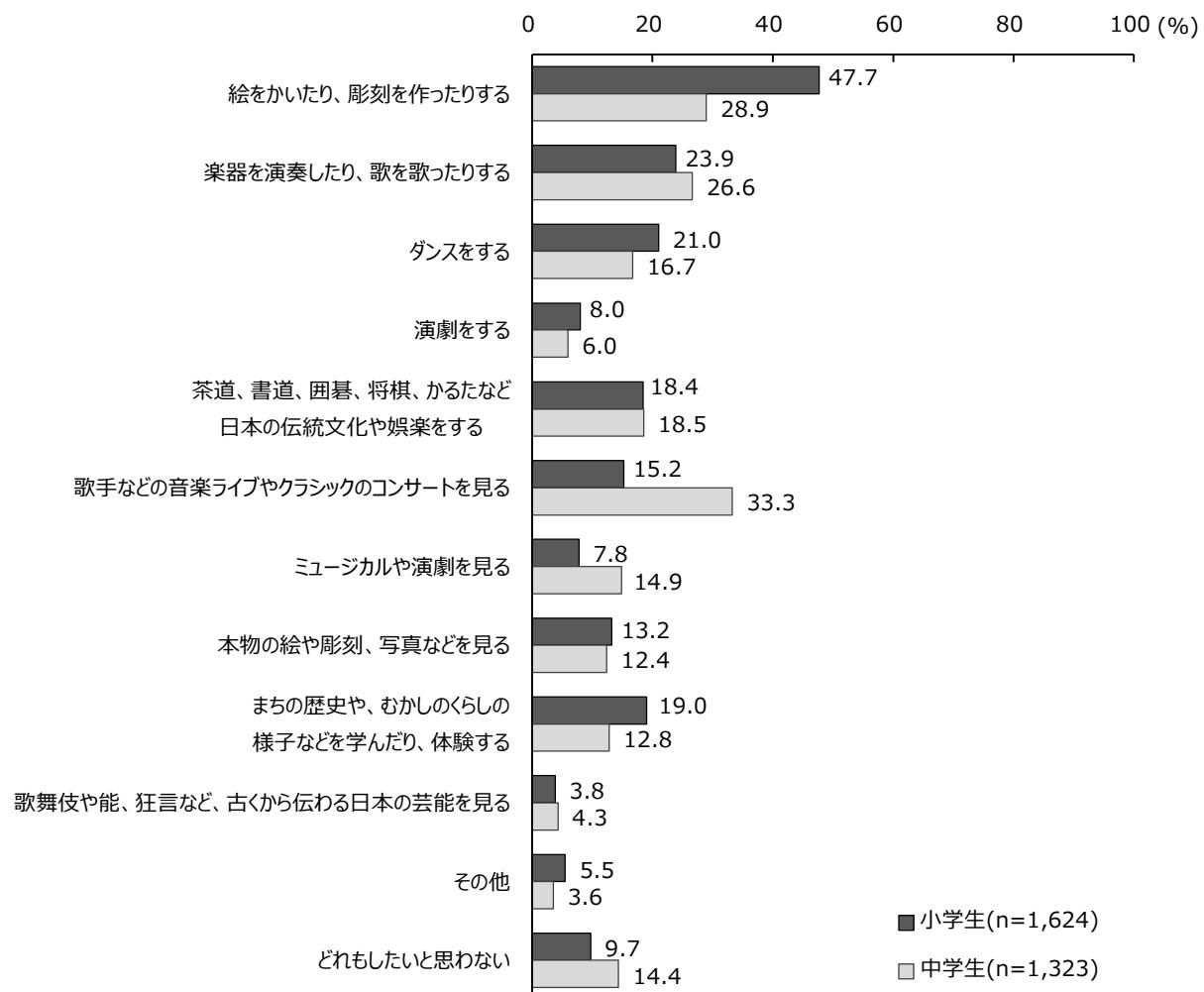
④ 文化鑑賞や文化活動の意向と内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 26	問 27			

問. あなたは、次のどのようなことをしたいと思いますか。(3つまで)

小学生では「絵をかいたり、彫刻を作ったりする」が最も多く47.7%となっている。次いで、「楽器を演奏したり、歌を歌つたりする」(23.9%)、「ダンスをする」(21.0%)が多くなっている。

中学生では「歌手などの音楽ライブやクラシックのコンサートを見る」が最も多く33.3%となっている。次いで、「絵をかいたり、彫刻を作ったりする」(28.9%)、「楽器を演奏したり、歌を歌つたりする」(26.6%)が多くなっている。

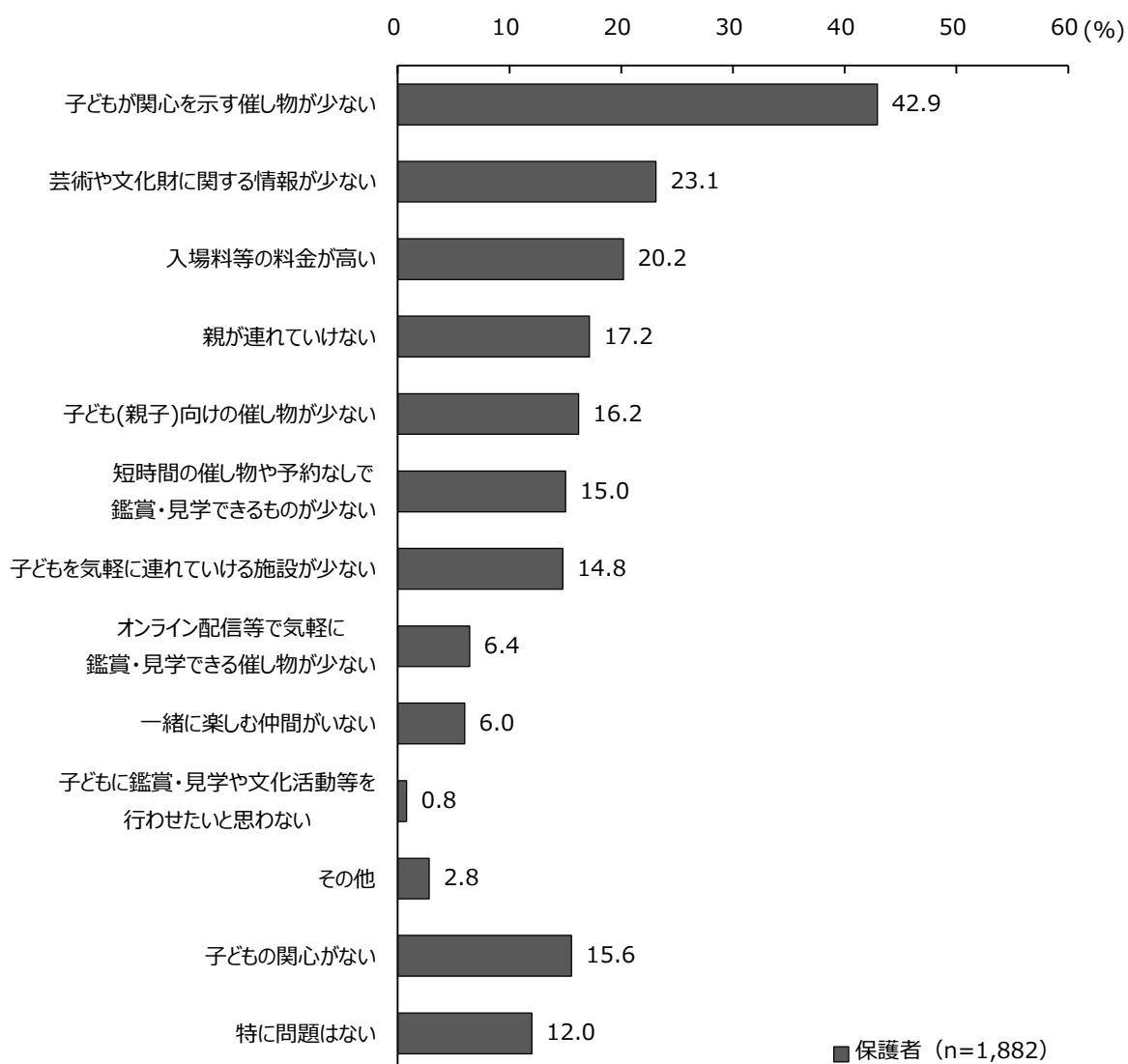


⑤ 子どもの文化鑑賞・活動などで困ること

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 27		

問. お子さんに、芸術や文化財の鑑賞や見学をさせたり、文化活動（習い事やお稽古事を含む）を行わせたいと思ったときに、お困りのことはありますか。（3つまで）

「子どもが関心を示す催し物が少ない」が最も多く 42.9%となっている。次いで、「芸術や文化財に関する情報が少ない」（23.1%）、「入場料等の料金が多い」（20.2%）が多くなっている。

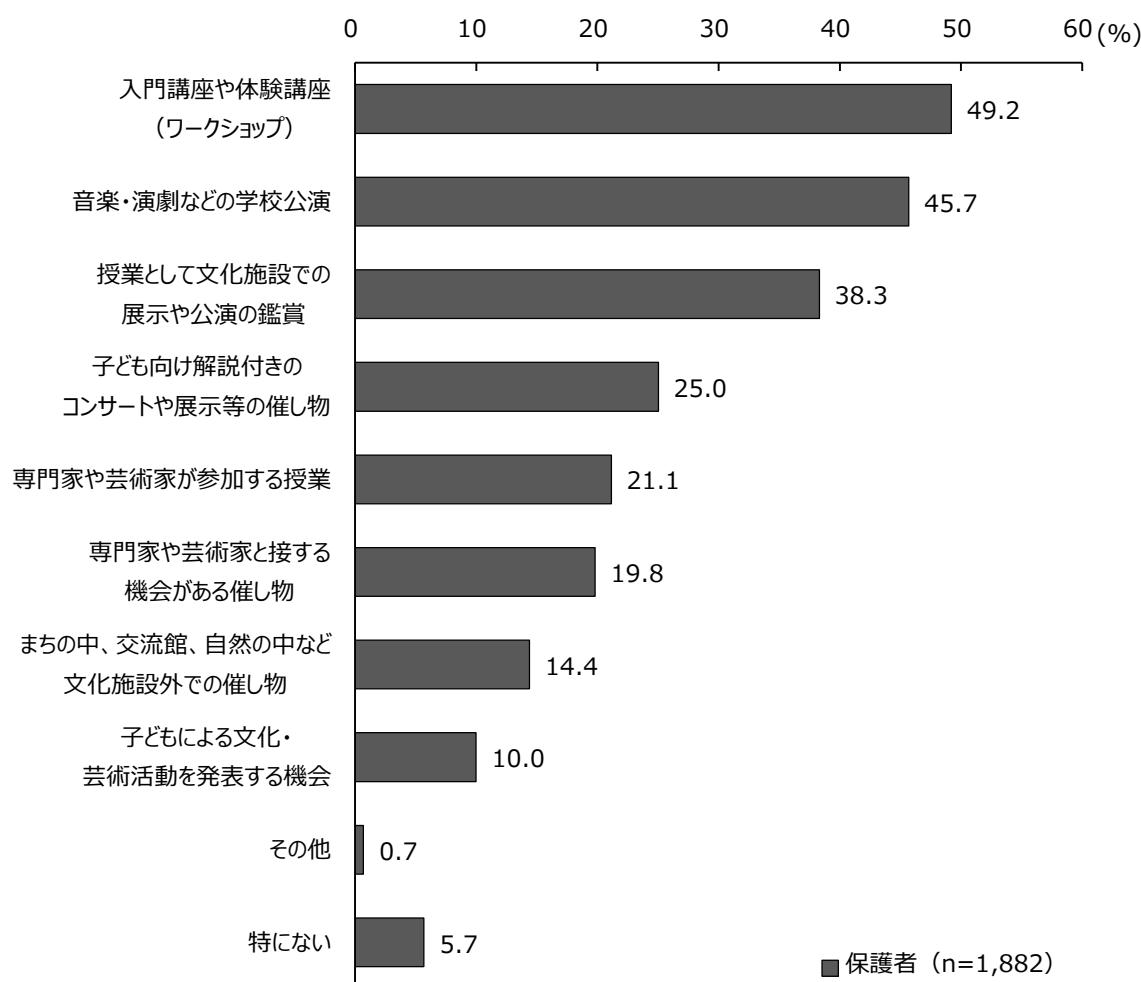


⑥ 充実していくとよい催しものや取組

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 28		

問. お子さんが参加しやすい芸術や文化財の催し物や取組として、今後、充実していくとよいと思うものは何ですか。（3つまで）

「入門講座や体験講座（ワークショップ）」が最も多く49.2%となっている。次いで、「音楽・演劇などの学校公演」(45.7%)、「授業として文化施設での展示や公演の鑑賞」(38.3%) が多くなっている。



第7章 スポーツについて

1 するスポーツ

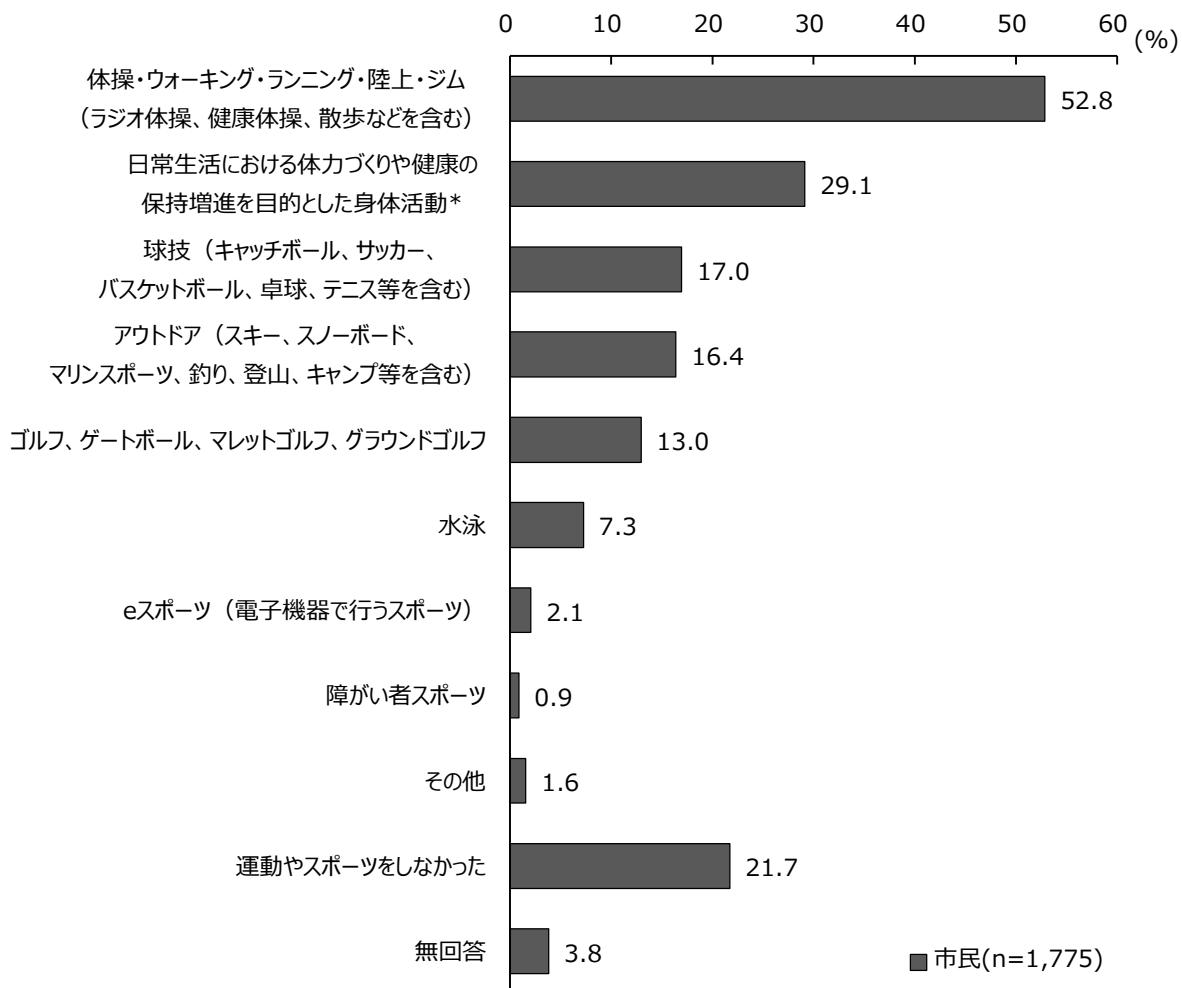
① 運動・スポーツの実施状況と内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 26					

問. あなたは、この1年間にどのような運動やスポーツをしましたか。
(あてはまるものすべて)

「体操・ウォーキング・ランニング・陸上・ジム（ラジオ体操、健康体操、散歩などを含む）」が最も多く52.8%となっている。次いで、「日常生活における体力づくりや健康の保持増進を目的とした身体活動（徒歩や自転車による買い物・通勤通学など）」（29.1%）、「運動やスポーツをしなかった」（21.7%）が多くなっている。

この1年間に運動やスポーツをした市民(全体から「運動やスポーツをしなかった」と「無回答」を除いた割合)は74.5%となっている。



*徒歩や自転車による買い物・通勤通学など

年齢別にみると、20歳未満で「球技」「日常生活における体力づくりや健康の保持増進を目的とした身体活動」、40~49歳で「水泳」、20~49歳で「アウトドア」、70歳以上で「ゴルフ、ゲートボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

		ン 体 ニ 操 ン・ グ ウ ・ オ 陸 一 上 キ ・ シ ジ グ ム・ ラ	目く日 的り常 とや生 し健活 た康に 身のお 体保け 活持る 動増体 進力 をづ	球 技	ア ウ ト ド ア	ン マ ゴ ド レ ル ゴ ッ フ ル ト、 フ ゴ ゲ ル ー フ ト、 ボ グ ー ラ ル ウ、	水 泳	e ス ポ ー ツ	障 が い 者 ス ポ ー ツ	そ の 他	か 運 動 つ た や ス ポ ー ツ を し な	無 回 答
		%										
市民	20歳未満	57.4	45.9	65.6	16.4	4.9	6.6	3.3	1.6	3.3	9.8	0.0
	20~29歳	53.5	36.4	29.5	24.8	8.5	6.2	12.4	0.8	2.3	16.3	0.0
	30~39歳	55.1	30.1	21.3	22.7	4.6	11.6	4.2	0.5	2.8	21.3	1.4
	40~49歳	54.9	30.1	21.3	26.2	10.5	17.1	1.0	1.4	1.7	19.6	1.0
	50~59歳	51.6	29.1	15.9	18.8	11.9	5.6	1.3	0.9	1.3	23.7	2.8
	60~64歳	52.4	28.6	11.6	16.3	15.0	4.1	0.7	0.7	0.7	23.1	2.0
	65~69歳	58.0	28.2	8.4	10.7	16.8	3.8	0.8	0.0	0.8	21.4	4.6
	70~74歳	56.7	28.1	11.1	7.0	19.9	2.9	0.0	1.8	1.2	19.9	5.3
	75歳以上	45.8	22.3	5.5	4.8	19.4	2.9	0.3	0.3	1.3	27.4	11.0

② 運動・スポーツの実施頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 27					

※運動・スポーツ実施状況と内容で、運動やスポーツをしたと回答した方

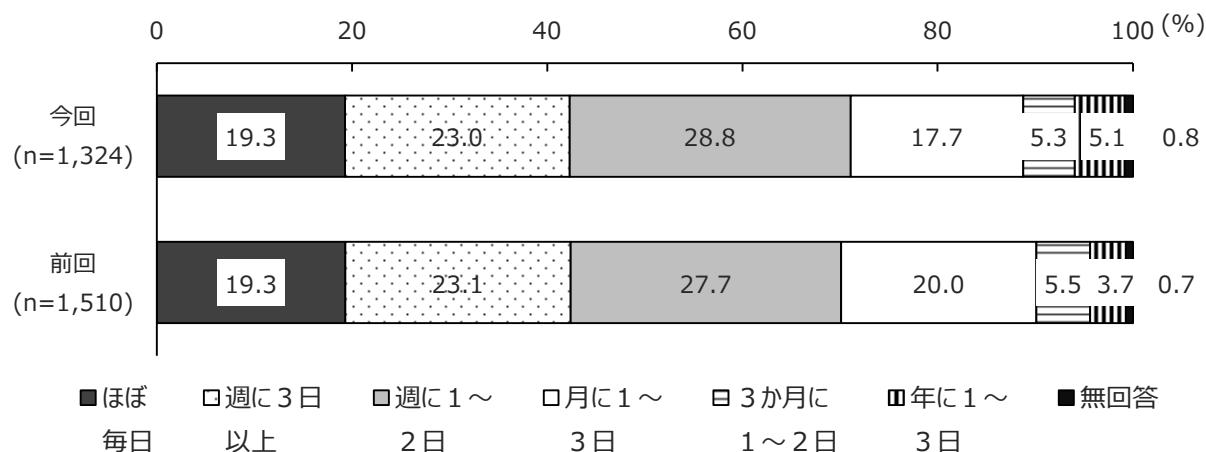
問. 運動やスポーツをした日数を全部合わせると、どのくらいの頻度になりますか。(1つ)

「週に 1~2 日」が最も多く 28.8% となっている。次いで、「週に 3 日以上」(23.0%)、「ほぼ毎日」(19.3%) が多くなっている。

週に 1 日以上運動・スポーツをしている市民の割合は、「ほぼ毎日」「週に 3 日以上」「週に 1~2 日」の合計 71.1% に、この 1 年間に運動やスポーツをした市民の割合 74.5% を乗じた 53.0% となっている。

前回と比べても、大きな変化はみられない。

年齢別にみると、29 歳以下と 70 歳以上で「ほぼ毎日」の割合が他の年代と比べて高い。



		ほぼ毎日	週に3日以上	週に1~2日	月に1~3日	3か月に1~2日	年に1~3日	無回答
		%						
市民	20歳未満	29.1	20.0	30.9	7.3	5.5	5.5	1.8
	20~29歳	23.1	19.4	23.1	16.7	8.3	7.4	1.9
	30~39歳	17.4	24.0	27.5	17.4	6.6	7.2	0.0
	40~49歳	13.7	13.2	32.6	23.3	8.4	7.9	0.9
	50~59歳	13.6	24.6	34.7	17.8	2.5	6.8	0.0
	60~64歳	14.5	30.0	20.9	21.8	10.0	1.8	0.9
	65~69歳	19.6	30.9	29.9	13.4	4.1	2.1	0.0
	70~74歳	26.2	30.8	26.9	12.3	2.3	0.8	0.8
	75歳以上	27.7	22.0	25.1	17.8	2.1	3.1	2.1

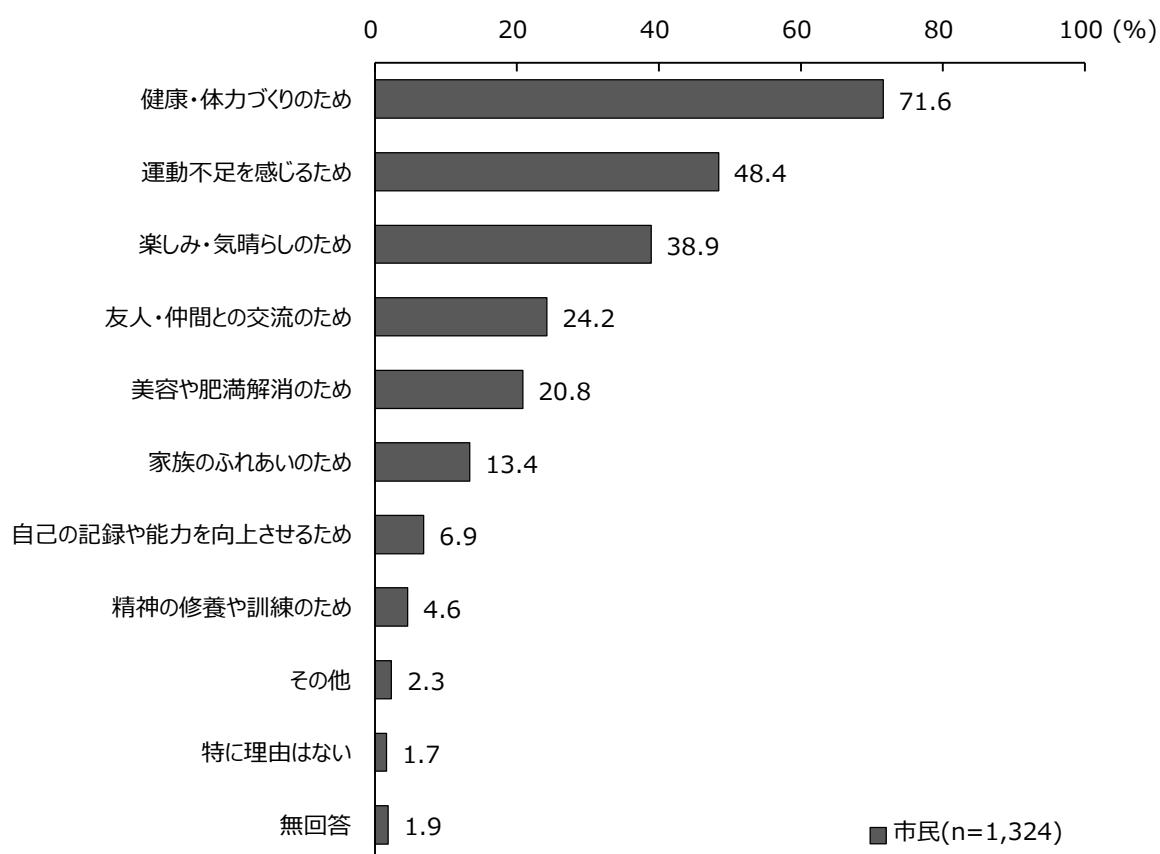
③ 運動・スポーツをする理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 28					

※運動・スポーツ実施状況と内容で、運動やスポーツをしたと回答した方

問. 運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべて)

「健康・体力づくりのため」が最も多く 71.6% となっている。次いで、「運動不足を感じるため」(48.4%)、「楽しみ・気晴らしのため」(38.9%) が多くなっている。



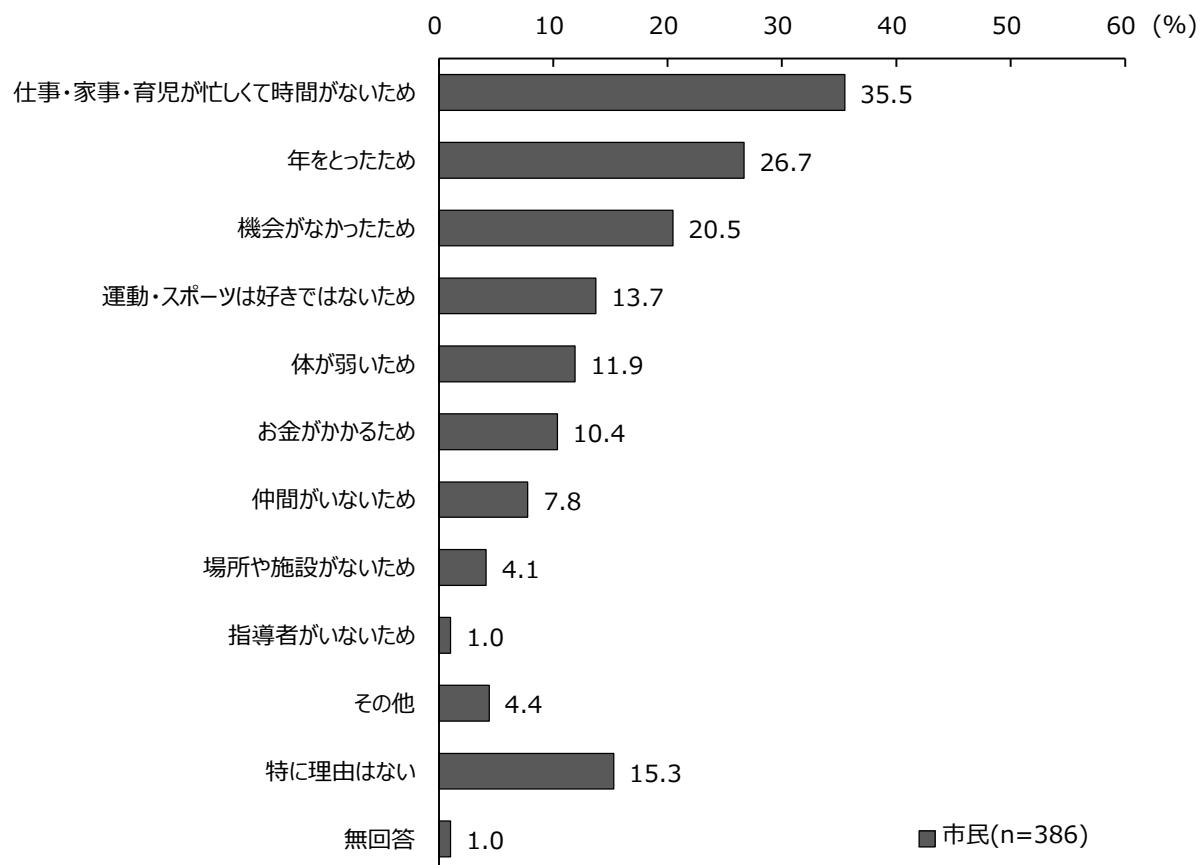
④ 運動・スポーツをしなかった理由

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 29					

※運動・スポーツ実施状況と内容で、運動やスポーツをしていないと回答した方

問. 運動やスポーツをしなかったのはどのような理由からですか。
(あてはまるものすべて)

「仕事・家事・育児が忙しくて時間がないため」が最も多く35.5%となっている。次いで、「年をとったため」(26.7%)、「機会がなかったため」(20.5%)が多くなっている。



年齢別にみると、20歳未満は「特に理由はない」、20~64歳は「仕事・家事・育児が忙しくて時間がないため」、65歳以上は「年をとったため」の割合が最も高い。

		し 仕 く 事 て ・ 時 間 事 が ・ な 育 い 児 た が め 忙	年 を と つ た た め	機 会 が な か つ た た め	で 運 は 動 な ・ い ス た ボ め 一 ツ は 好 き	体 が 弱 い た め	お 金 が か か る た め	仲 間 が い な い た め	場 所 や 施 設 が な い た め	指 導 者 が い な い た め	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答	
		%												
市民		20歳未満	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	
		20~29歳	52.4	4.8	19.0	19.0	4.8	4.8	9.5	4.8	0.0	4.8	19.0	0.0
		30~39歳	65.2	0.0	21.7	15.2	0.0	2.2	2.2	4.3	0.0	4.3	15.2	2.2
		40~49歳	60.7	8.9	25.0	19.6	7.1	25.0	10.7	5.4	1.8	1.8	10.7	0.0
		50~59歳	46.1	10.5	32.9	17.1	2.6	17.1	11.8	5.3	2.6	3.9	10.5	0.0
		60~64歳	38.2	20.6	11.8	11.8	17.6	11.8	2.9	0.0	0.0	2.9	29.4	0.0
		65~69歳	17.9	35.7	21.4	21.4	10.7	10.7	7.1	10.7	0.0	0.0	21.4	0.0
		70~74歳	14.7	55.9	17.6	5.9	35.3	2.9	8.8	2.9	2.9	2.9	14.7	0.0
		75歳以上	4.7	62.4	11.8	5.9	20.0	2.4	7.1	2.4	0.0	8.2	12.9	3.5

⑤ 子どもの学校以外での運動・スポーツの実施頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 27	問 28			

問. あなたは、この1年間にどのくらい運動やスポーツをしましたか。(1つ)

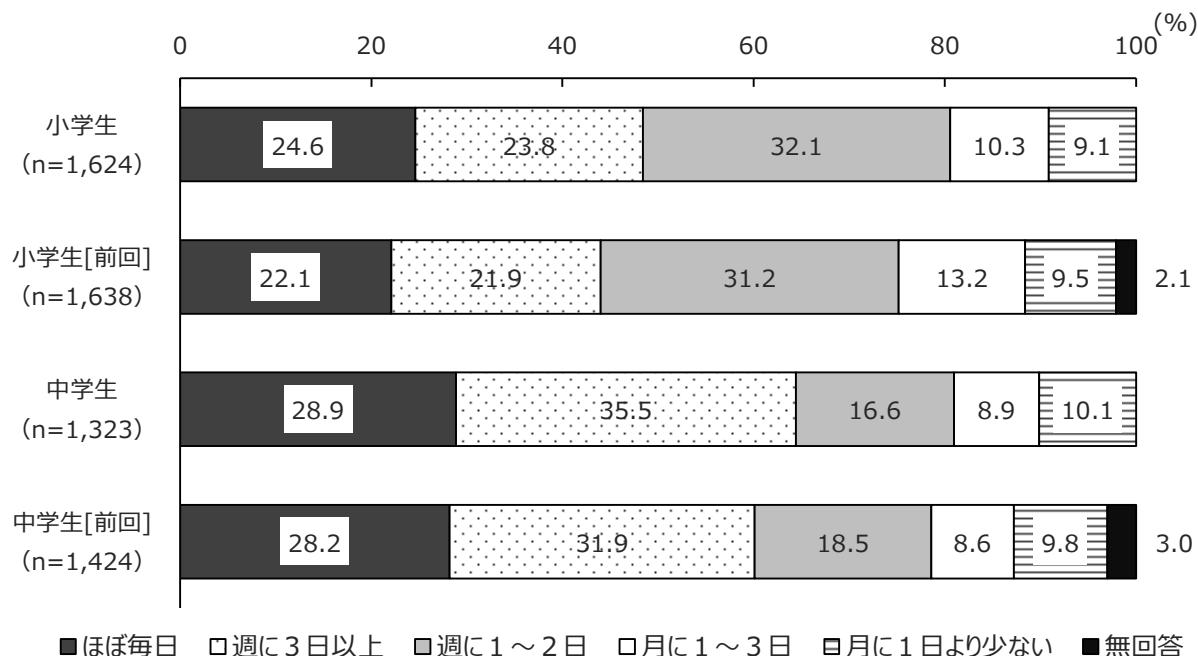
※学校の体育の授業や行事は除きますが、地域でのクラブ活動は含みます。

※体操、ランニング、陸上、水泳、球技、武道、スキー、キャンプ、ダンスなどを含みます。

小学生では「週に1～2日」が最も多く32.1%、中学生では「週に3日以上」が最も多く35.5%となっている。

週に1日以上運動・スポーツをしている(「ほぼ毎日」「週に3日以上」「週に1～2日」の合計)小学生は80.5%、中学生は81.0%となっている。

前回と比べると、小・中学生ともに「ほぼ毎日」「週に3日以上」の割合がやや増加している。



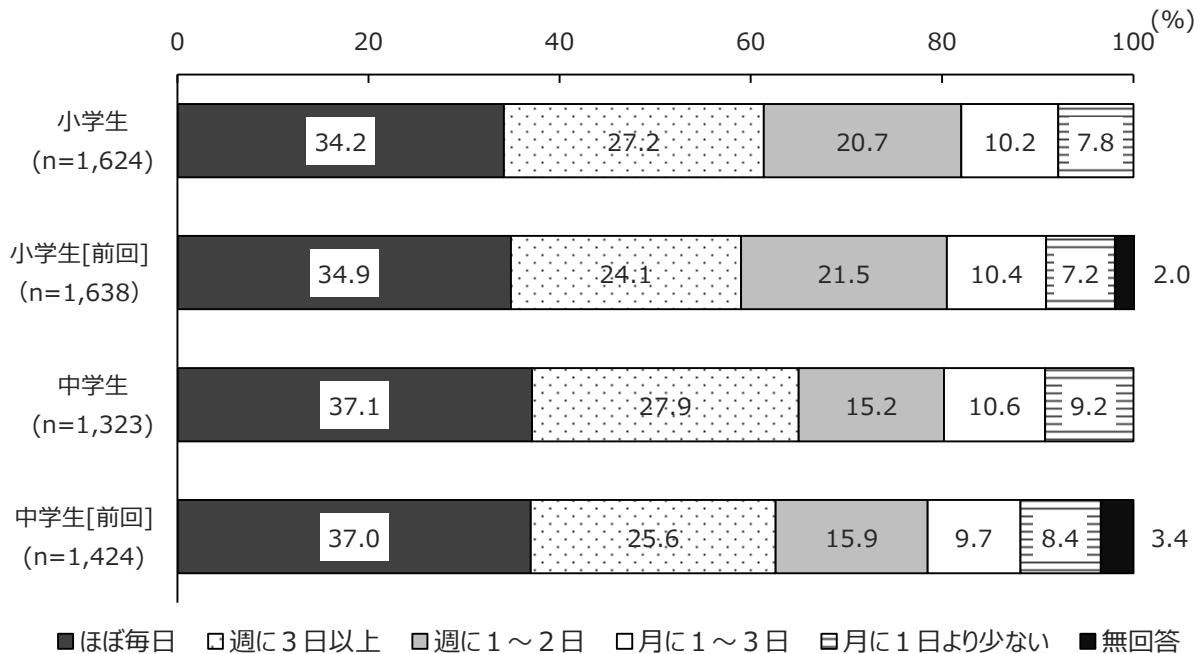
⑥ 子どもの軽い運動を加えたスポーツの実施頻度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 28	問 29			

問. 前問の運動やスポーツに公園での遊びなど軽い運動を加えると、どのくらいになりますか。(1つ)

小・中学生ともに「ほぼ毎日」(小学生 34.2%、中学生 37.1%) が最も多くなっている。次いで、「週に3日以上」(小学生 27.2%、中学生 27.9%)、「週に1～2日」(小学生 20.7%、中学生 15.2%) が多くなっている。

前回と比べると、小・中学生ともに、「週に3日以上」の割合がやや高くなっている。



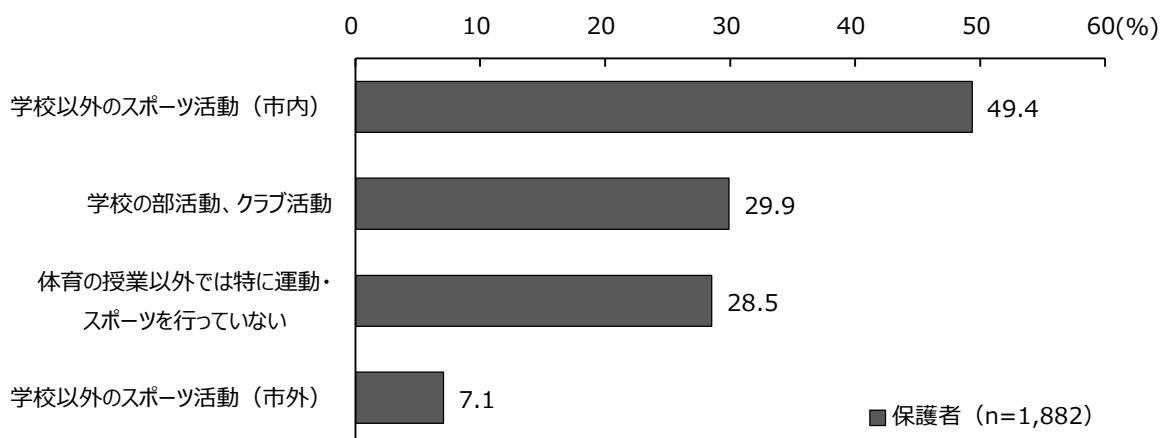
⑦ 子どもの学校以外での運動・スポーツの実施状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 29		

問. あなたのお子さんは、この1年間に運動・スポーツを学校での体育の授業以外で、どのようなところで取り組んでいますか。(あてはまるものすべて)

「学校以外のスポーツ活動（市内）」が最も多く49.4%となっている。次いで、「学校の部活動、クラブ活動」（29.9%）、「体育の授業以外では特に運動・スポーツを行っていない」（28.5%）が多くなっている。

学校種別では、小学校は「学校以外のスポーツ活動（市内）」、中学校は「学校の部活動、クラブ活動」の割合が最も高くなっている。



		活 動 校 (以 市 外 内 の) ス ポ ー ツ	活 動 校 (以 市 外 内 の) ス ポ ー ツ	を 特 体 行 に 育 つ 運 の て 動 授 い ・ 業 な ス 以 い ポ 外 一 で ツ は ツ	活 動 校 (以 市 外 内 の) ス ポ ー ツ
保護者	小学校	60.8	12.0	30.7	6.2
	中学校	31.9	57.3	25.3	8.5

2 みるスポーツ

① 子どものスポーツ観戦の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
	問 29・30	問 30・31			

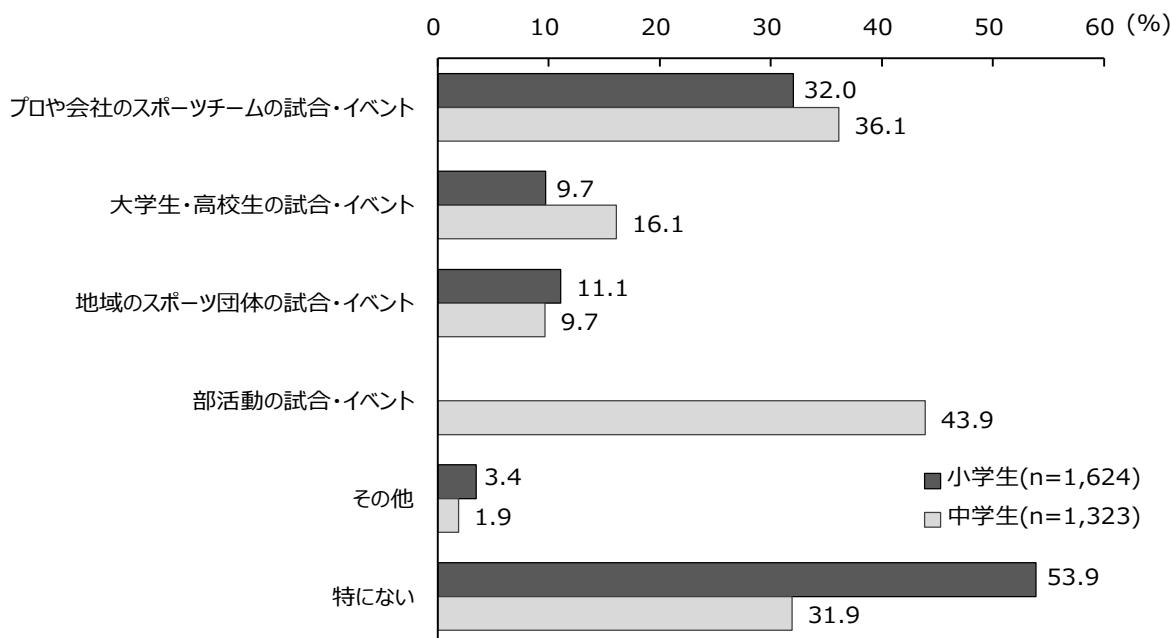
問. この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見たことがありますか。(あてはまるもののすべて)

※体操、陸上、水泳、球技、武道、格闘技、ウィンタースポーツ、ダンスなどを含みます。

観戦の内容として、小学生では「プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」が最も多く32.0%となっている。中学生では「部活動の試合・イベント」が最も多く43.9%となっている。次いで、「プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」(36.1%)が多くなっている。

スポーツ観戦をした割合は(全体から「特にない」を除いた割合)は小学生で46.1%、中学生で68.1%となっている。

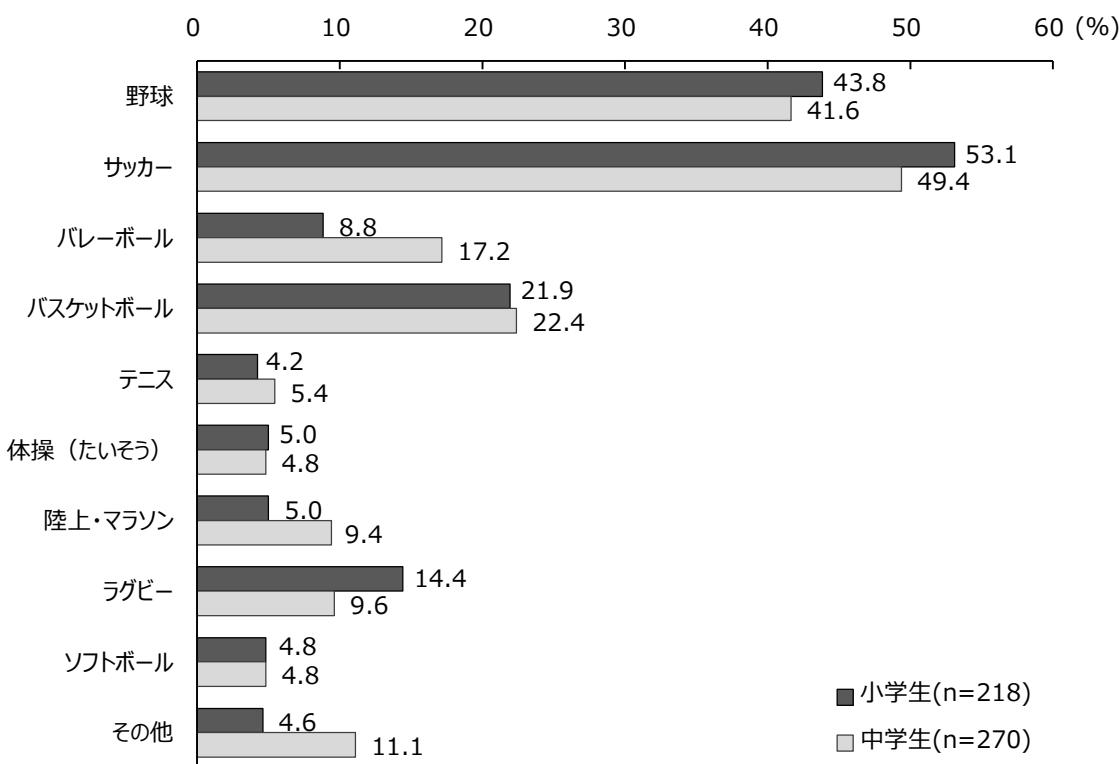
前回と比べると、小・中学生ともに「プロや会社のスポーツチームの試合・イベント」などスポーツ観戦のそれぞれの項目で総じて割合が高くなっている。



観戦内容	小学生		中学生	
	今回 (n=1,624)	前回 (n=1,638)	今回 (n=1,323)	前回 (n=1,424)
プロや会社のスポーツチームの試合・イベント	32.0	30.5	36.1	29.4
大学生・高校生の試合・イベント	9.7	5.8	16.1	12.9
地域のスポーツ団体の試合・イベント	11.1	8.0	9.7	6.1
部活動の試合・イベント	-	12.5	43.9	39.5
その他	3.4	4.5	1.9	1.2
特にない	53.9	52.4	31.9	37.9
無回答	0.0	1.8	0.0	3.6

※スポーツの観戦状況で、プロや実業団のスポーツの試合・イベントを見たことがあると回答した方
問. 試合・イベントで観たのは何のスポーツですか。(あてはまるものすべて)

小・中学生ともに「サッカー」(小学生 53.1%、中学生 49.4%) が最も多くなっている。次いで、「野球」(小学生 43.8%、中学生 41.6%) が多くなっている。



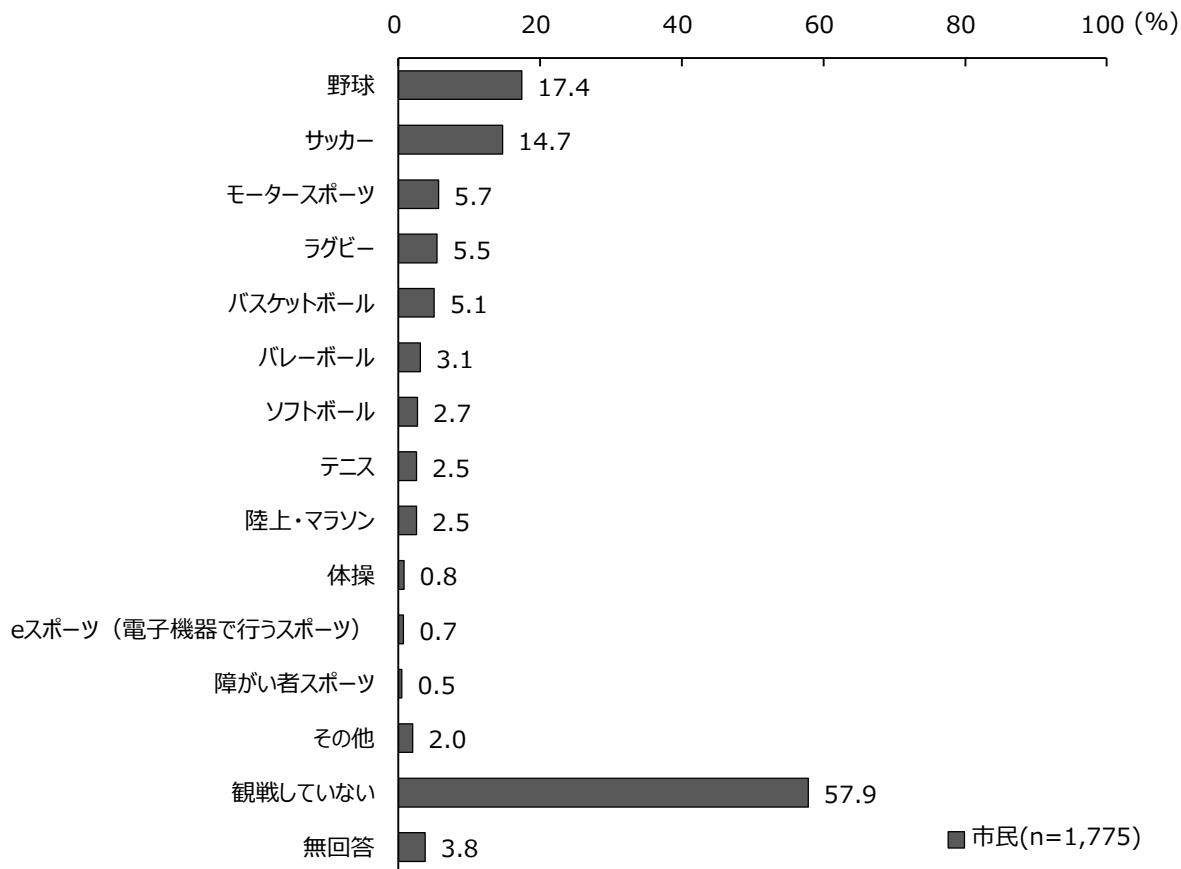
② スポーツ観戦した種目

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 31					

問. あなたは1年間で、どのようなスポーツを直接現地で観戦しましたか。(あてはまるものすべて)

観戦した種目について、「野球」(17.4%)、「サッカー」(14.7%)が多くなっている。

この1年間にスポーツを直接観戦した市民(全体から「観戦していない」と「無回答」を除いた割合)は38.3%となっている。



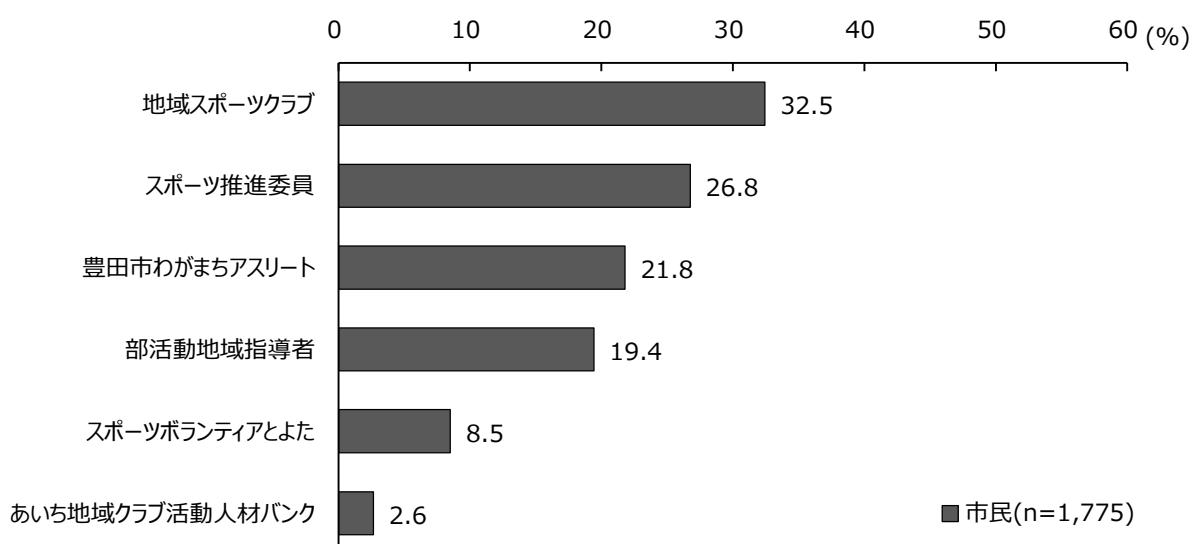
3 支えるスポーツ

① スポーツに関する取組や人材の認知度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 30					

問. あなたは、次のことをご存知ですか。(知っているものすべて)

「地域スポーツクラブ」(32.5%)、「スポーツ推進委員」(26.8%)が比較的多くなっている。「あいち地域クラブ活動人材バンク」は2.6%、「スポーツボランティアとよた」は8.5%にとどまっている。



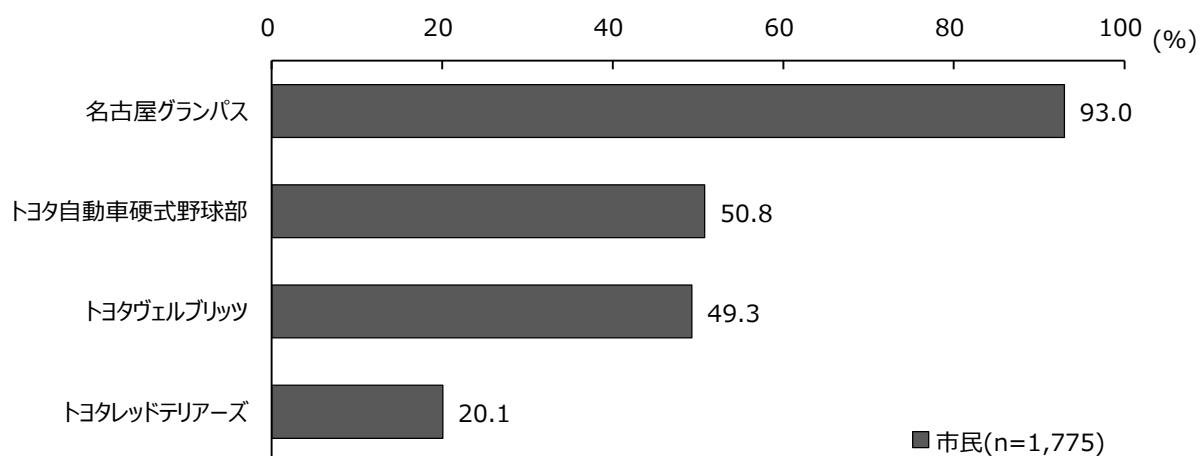
② スポーツチームの認知度

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 33					

問. あなたは、次のことをご存知ですか。(知っているものすべて)

「名古屋グランパス」が最も多く 93.0% となっている。次いで、「トヨタ自動車硬式野球部」(50.8%)、「トヨタヴェルブリッツ」(49.3%) が多くなっている。

年齢別にみると、「トヨタヴェルブリッツ」は 30~59 歳、「トヨタ自動車硬式野球部」は 60~74 歳で他の年代と比べて割合が高くなっている。



		名古屋グランパス	トヨタヴェルブリッツ	トヨタ自動車硬式野球部	トヨタレッドテリアーズ	無回答
%						
市民	20歳未満	86.9	37.7	26.2	13.1	6.6
	20~29歳	93.0	40.3	36.4	16.3	3.9
	30~39歳	94.0	56.5	44.4	22.7	5.6
	40~49歳	95.5	61.2	48.6	24.1	2.4
	50~59歳	95.6	56.6	47.2	24.4	3.8
	60~64歳	95.2	51.7	59.9	27.2	4.8
	65~69歳	95.4	52.7	63.4	19.8	4.6
	70~74歳	93.0	49.7	63.2	19.9	6.4
	75歳以上	86.5	29.7	54.8	10.0	12.9

③ スポーツ支援への参加状況

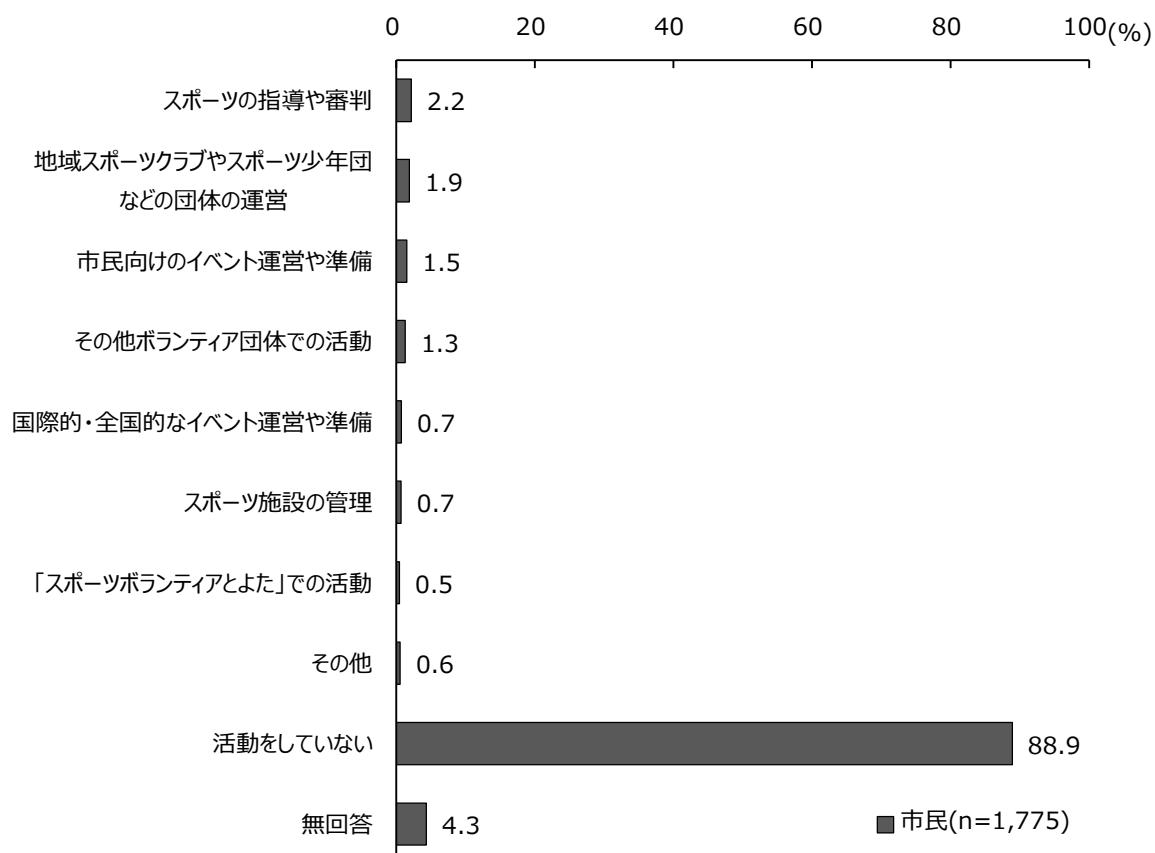
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 34					

問. この1年間で、どのようなスポーツを支える活動（有償・無償いずれも含む）に参加しましたか。（あてはまるものすべて）

※コーチ、審判、大会運営、団体運営、スポーツ施設の管理などスポーツに関わる活動（報償があるもの、ボランティア活動のもの、いずれも含みます。）

「活動をしていない」が最も多く 88.9% となっている。活動内容をみると、「スポーツの指導や審判」が 2.2%、「地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの団体の運営」が 1.9% などとなっている。

この1年間にスポーツを支える活動に参加した市民(全体から「活動をしていない」と「無回答」を除いた割合)は 6.8% となっている。



④ 学校以外でのスポーツ指導の状況

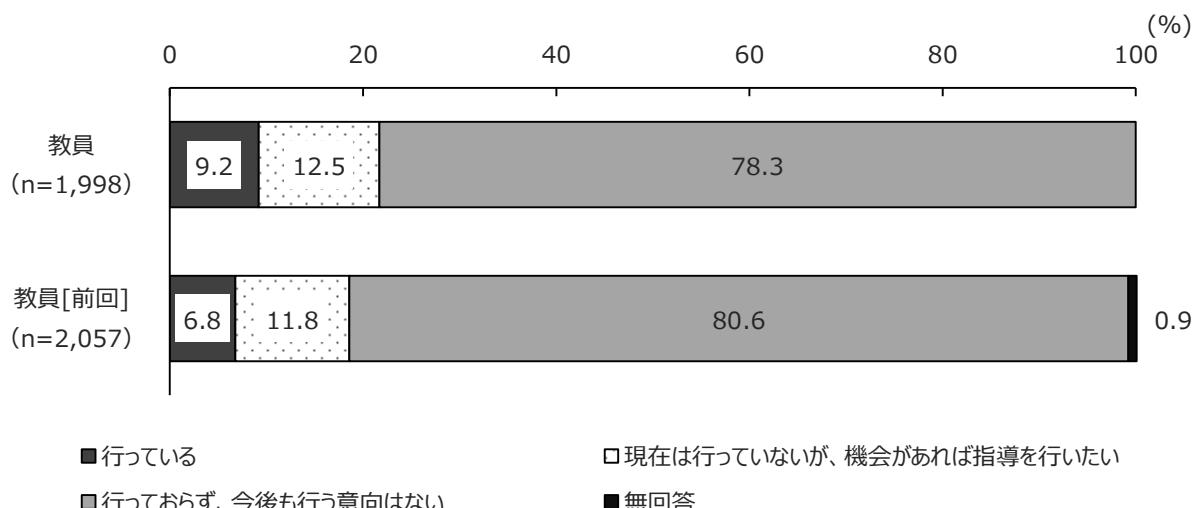
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 26	

問. 体育の授業や中学校の部活動以外で、業務時間外に地域のクラブなどでスポーツの指導（部活動地域指導含む）を行っていますか。（1つ）

「行っている」が 9.2%、「現在は行っていないが、機会があれば指導を行いたい」が 12.5%となっている。

前回と比べると「行っている」の割合がやや増加している。

「行っている」の割合は、年齢別では 39 歳以下、学校別では中学校でやや高くなっている。



		行 つ て い る	ば い 現 指 が 在 導 、 は を 機 行 行 会 い が て た あ い い れ な	い 後 も つ 行 う お 意 向 ず は 、 な 今	%
教員	29歳以下	11.8	14.1	74.0	
	30~39歳	10.9	12.6	76.5	
	40~49歳	8.4	12.1	79.5	
	50~59歳	3.9	9.3	86.8	
	60歳以上	5.2	12.6	82.2	
	小学校	7.5	11.0	81.6	
	中学校	12.4	15.2	72.4	

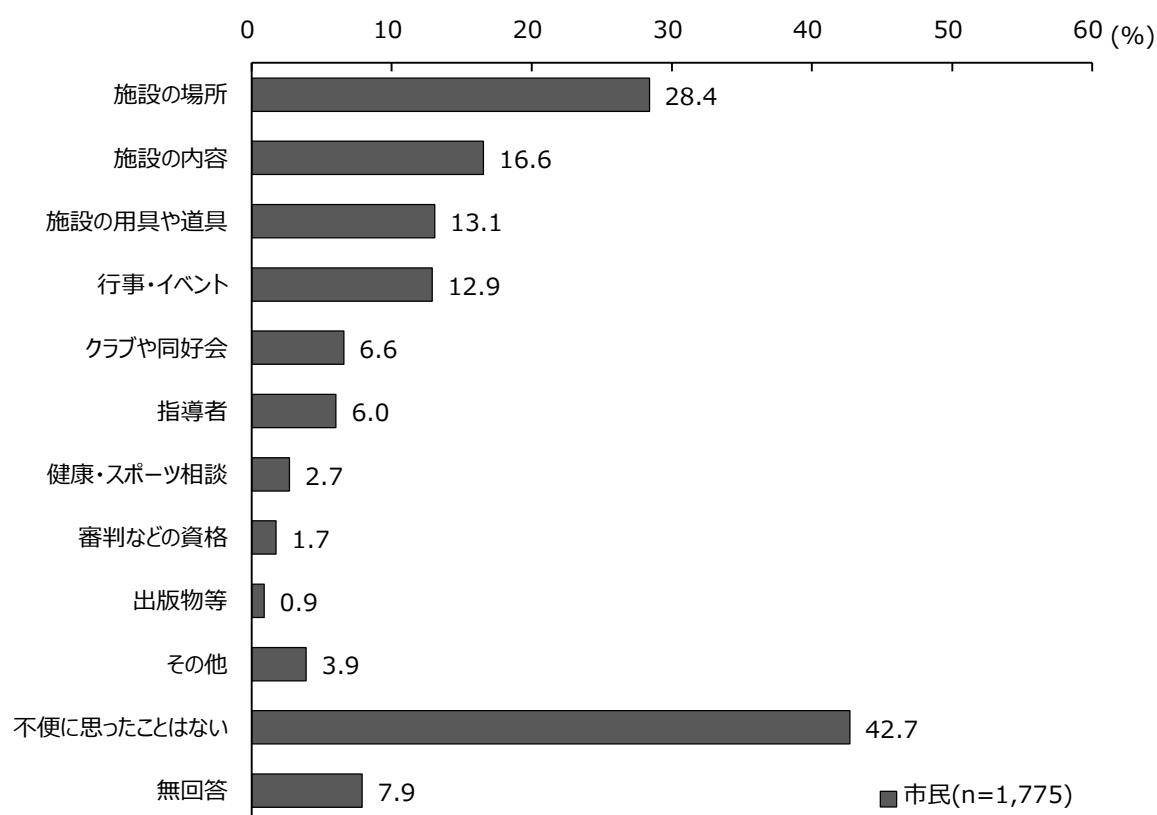
4 スポーツ振興に向けて

① スポーツ情報で不足している内容

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 35					

問. 運動やスポーツを行う上で、どのような情報が不足し、不便に思ったことがありますか。(3つまで)

「不便に思ったことはない」が最も多く 42.7% となっている。次いで、「施設の場所」(28.4%)、「施設の内容」(16.6%) が多くなっている。

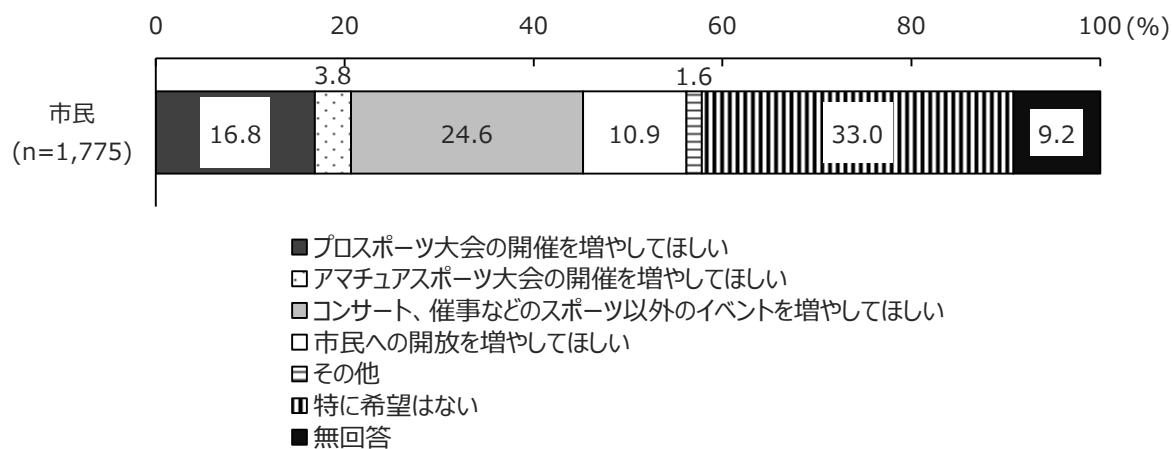


② 豊田スタジアム等の利活用

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 32					

問. 豊田スタジアム、スカイホール豊田の利活用について、どのように思いますか。(1つ)

「特に希望はない」が最も多く33.0%となっている。次いで、「コンサート、催事などのスポーツ以外のイベントを増やしてほしい」(24.6%)、「プロスポーツ大会の開催を増やしてほしい」(16.8%)が多くなっている。

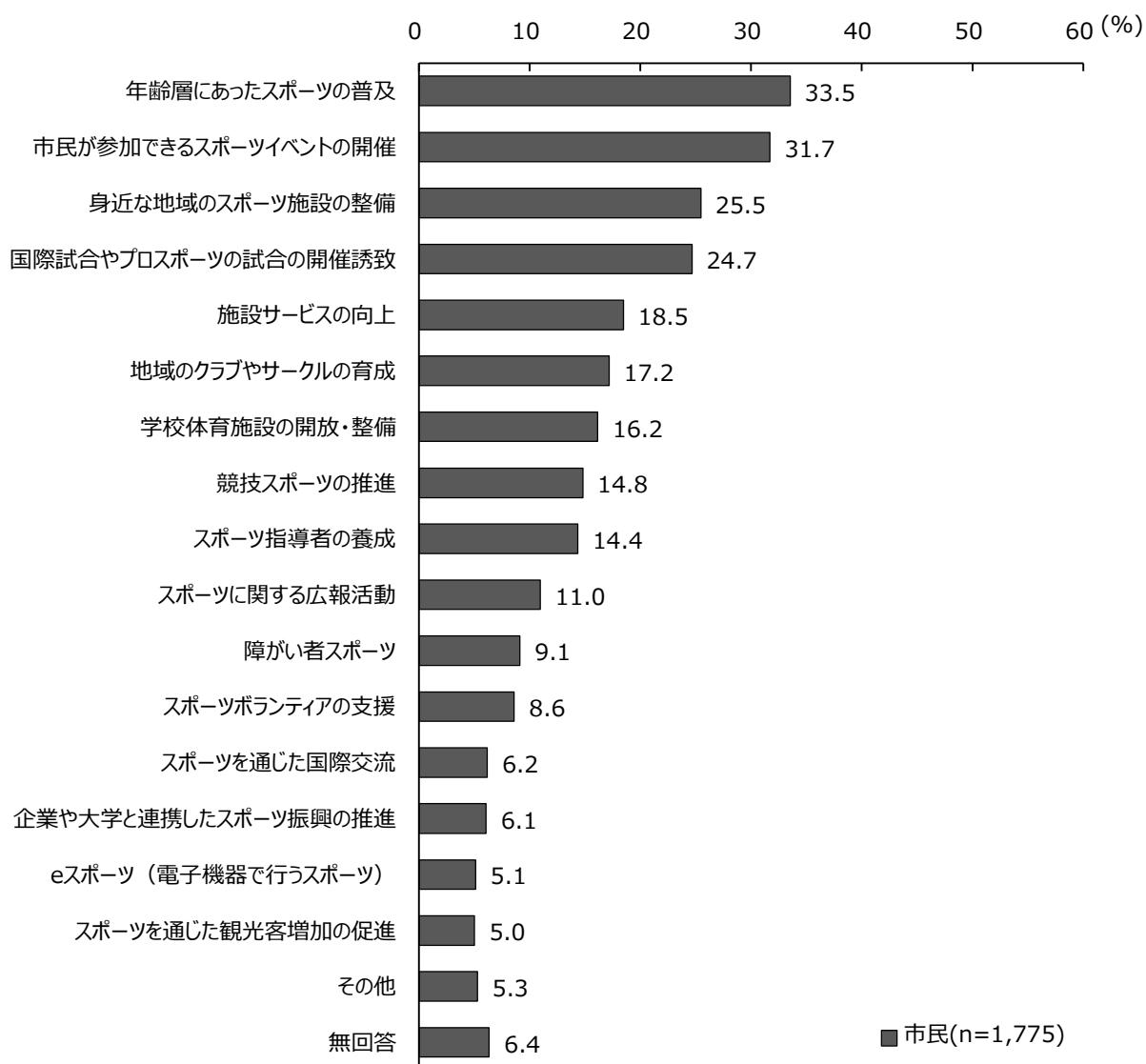


③ 市が力を入れるべきこと

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 36					

問. 運動やスポーツに関して、豊田市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(5つまで)

「年齢層にあったスポーツの普及」(33.5%)、「市民が参加できるスポーツイベントの開催」(31.7%)が多くなっている。



第8章 教育行政について

1 教育委員会による学校支援

① 職務上の多忙感

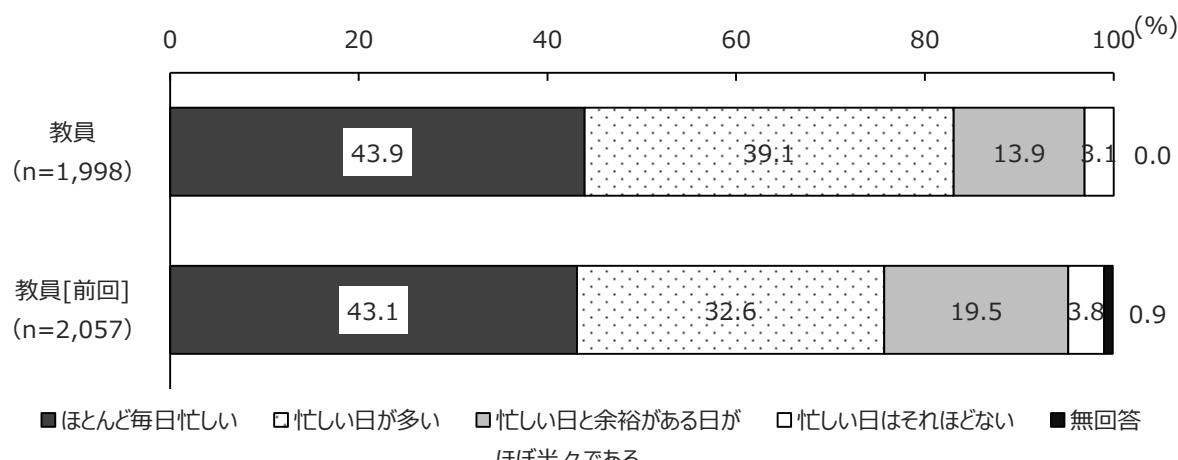
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 27	

問. あなたは、ご自身の職務について、どのくらい忙しいと感じていますか。(1つ)

「ほとんど毎日忙しい」が最も多く43.9%となっている。次いで、「忙しい日が多い」(39.1%)、「忙しい日と余裕がある日がほぼ半々となっている」(13.9%)が多くなっている。

前回と比べると、「忙しい日が多い」の割合が増加し、「忙しい日と余裕がある日がほぼ半々となっている」の割合が減少している。

年齢別にみると、30~59歳で「ほとんど毎日忙しい」の割合が最も高くなっている。学級別では小学校でやや高くなっている。



		し ほ い と ん ど 毎 日 忙	忙 し い 日 が 多 い	半 が 忙 々 あ し で る い あ 日 日 る が と ほ 余 裕	ほ 忙 ど し な い い 日 は そ れ
		%			
教員	29歳以下	37.8	45.6	13.9	2.7
	30~39歳	47.5	38.1	12.6	1.8
	40~49歳	50.8	35.8	12.3	1.1
	50~59歳	52.1	34.6	10.1	3.1
	60歳以上	20.7	37.9	28.2	13.2
	小学校	46.4	37.7	12.7	3.3
	中学校	39.5	41.6	16.2	2.7

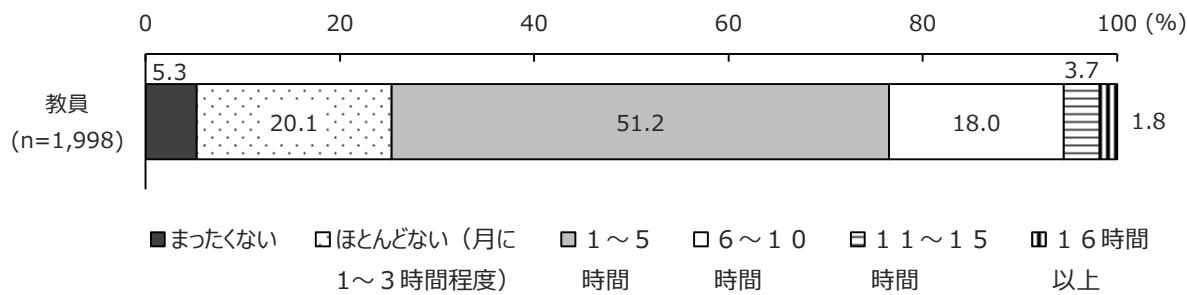
② 自分の裁量で使える時間

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 28	

問. 勤務時間中（7 時間 45 分の中）に自分の裁量で使える時間（授業準備や学級事務など）が平均で 1 週間あたりどの程度ありますか。（1 つ）

「1～5 時間」が最も多く 51.2% となっている。次いで、「ほとんどない（月に 1～3 時間程度）」(20.1%)、「6～10 時間」(18.0%) が多くなっている。「まったくない」「ほとんどない」「1～5 時間」の合計は 76.6% となっている。

年齢別にみても、総じて「1～5 時間」の割合が高い。



		まったくない	ほとんどない（月に1～3時間程度）	1～5 時間	6～10 時間	11～15 時間	16 時間以上
		%					
教員	29歳以下	3.8	16.4	54.2	20.6	3.1	1.9
	30～39歳	6.8	18.7	49.8	18.5	4.0	2.2
	40～49歳	5.2	23.2	50.6	15.0	5.2	0.7
	50～59歳	6.2	23.0	49.4	15.2	3.1	3.1
	60歳以上	2.9	23.6	51.1	19.5	1.7	1.1
	小学校	5.6	21.0	52.0	16.6	3.0	1.8
	中学校	4.6	18.4	49.8	20.4	4.9	1.8

③ 学校の職場環境

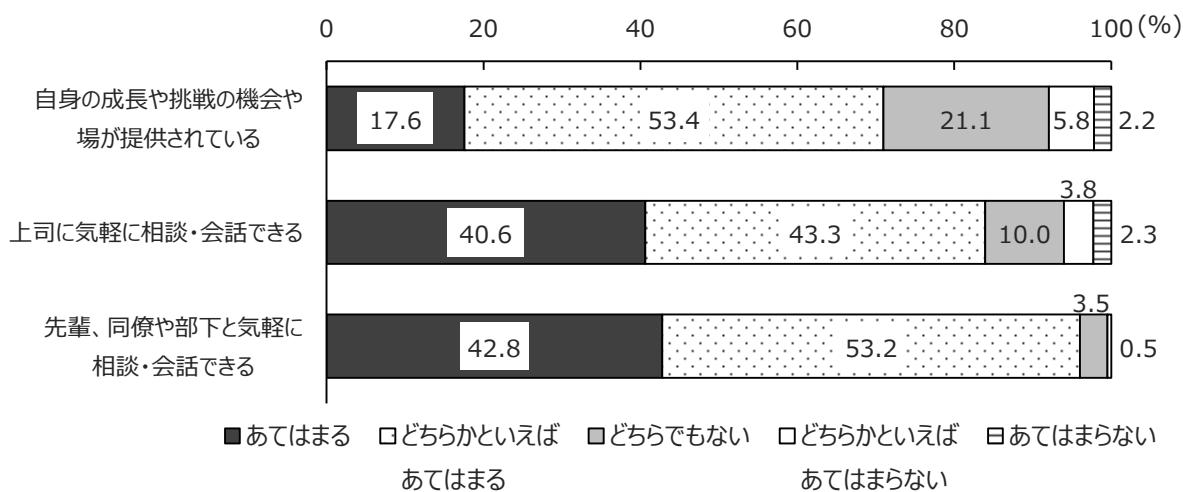
市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 29	問 26

問. あなたの学校の職場環境として、どの程度あてはまりますか。(それぞれ1つ)

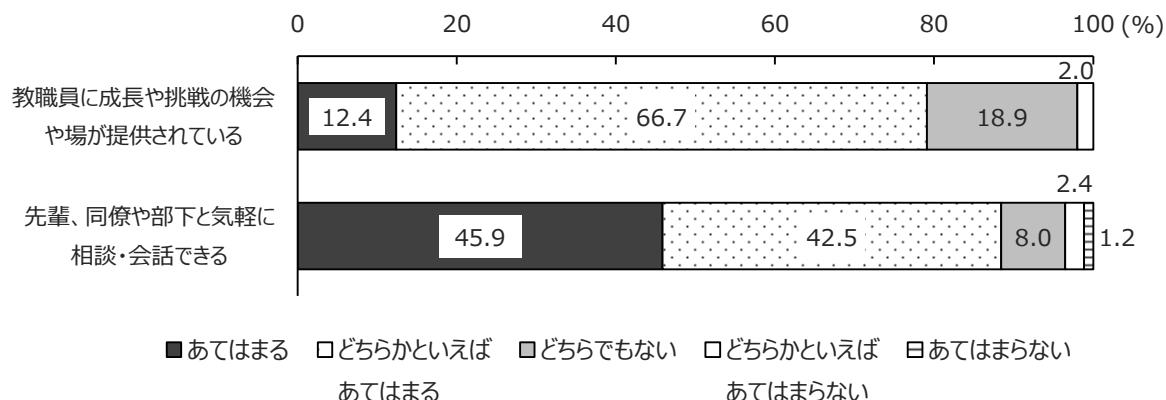
「自身の成長や挑戦の機会や場が提供できている」は、教員、校長・教頭ともに「どちらかといえばあてはまる」が最も多くなっている。

「上司に気軽に相談・会話できる」「先輩、同僚や部下と気軽に相談・会話できる」は「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」が多く、その合計は8割を超えてい。

【教員】(n=1,998)



【校長・教頭】(n=201)



年齢別にみると、29歳以下は「あてはまる」の割合が他の年代と比べて高い。

・「あてはまる」の割合

		提 戦 自 供 の 身 さ 機 の れ 会 成 て や 長 い 場 や る が 挑	談 上 ・ 司 会 に 話 気 で 軽 き に る 相	談 下 先 ・ と 輩 会 気 、 話 軽 同 で に 僚 き 相 や る 部
%				
教員	29歳以下	28.1	51.0	57.4
	30~39歳	16.4	37.7	46.2
	40~49歳	14.6	40.8	42.6
	50~59歳	8.6	32.7	33.1
	60歳以上	11.5	31.0	37.4
	小学校	18.4	41.3	46.9
	中学校	16.2	39.4	44.0

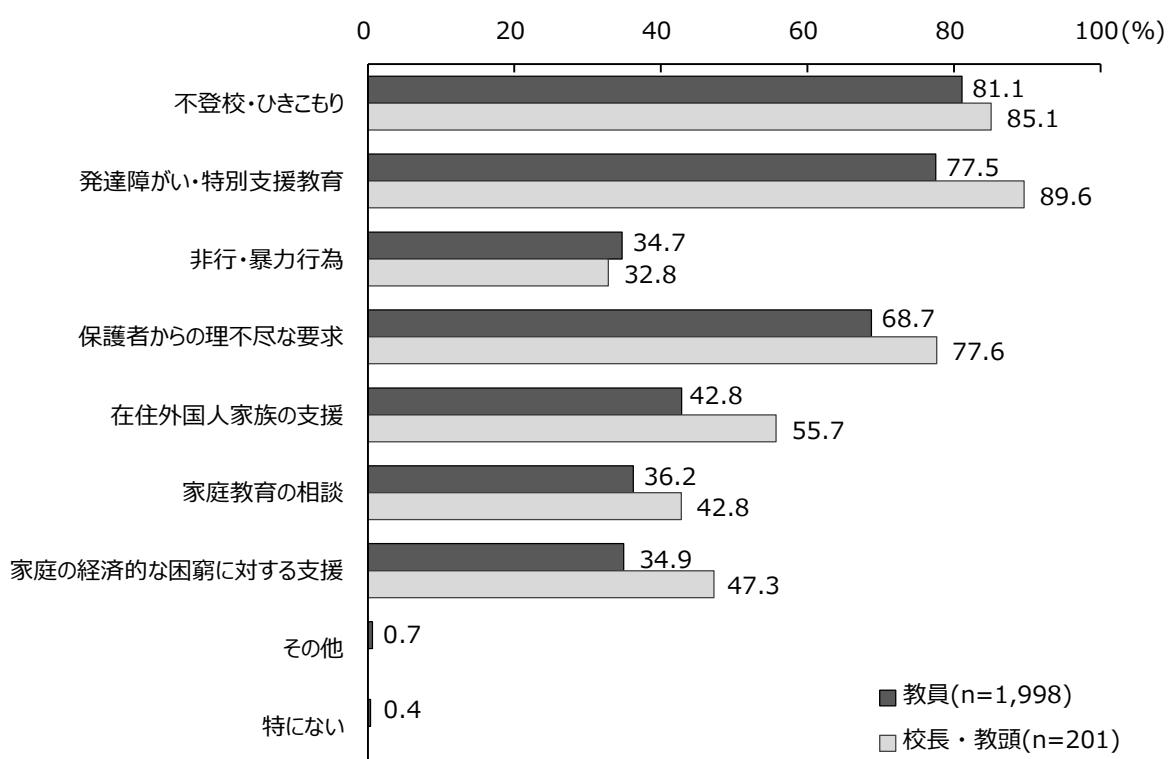
④ 教育委員会の専門的な支援

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 30	問 27

問. 教育委員会による、学校や教員への「子どもや保護者に対する専門的な支援」について、どのような内容の充実を望みますか。(あてはまるものすべて)

教員、校長・教頭ともに「不登校・ひきこもり」(教員 81.1%、校長・教頭 85.1%)、「発達障がい・特別支援教育」(教員 77.5%、校長・教頭 89.6%)、「保護者からの理不尽な要求」(教員 68.7%、校長・教頭 77.6%)が多くなっている。

学校種別でみても、「不登校・ひきこもり」「発達障がい・特別支援教育」「保護者からの理不尽な要求」が多い。この他、中学校の校長・教頭で「在住外国人家族の支援」「家庭の経済的な困窮に対する支援」の割合が他と比べて高くなっている。



		不登校・ひきこもり	発達障がい・特別支援教育	非行・暴力行為	保護者からの理不尽な要求	在住外国人家族の支援	家庭教育の相談	家庭の経済的な困窮に対する支援	その他	特になし
教員	小学校	80.6	81.2	35.7	71.1	44.7	39.1	34.7	0.5	0.2
	中学校	82.0	70.7	32.9	64.4	39.5	31.1	35.3	0.8	0.6
校長・教頭	小学校	83.6	93.2	32.2	78.8	54.1	43.2	45.2	0.0	0.7
	中学校	89.1	80.0	34.5	74.5	60.0	41.8	52.7	3.6	1.8

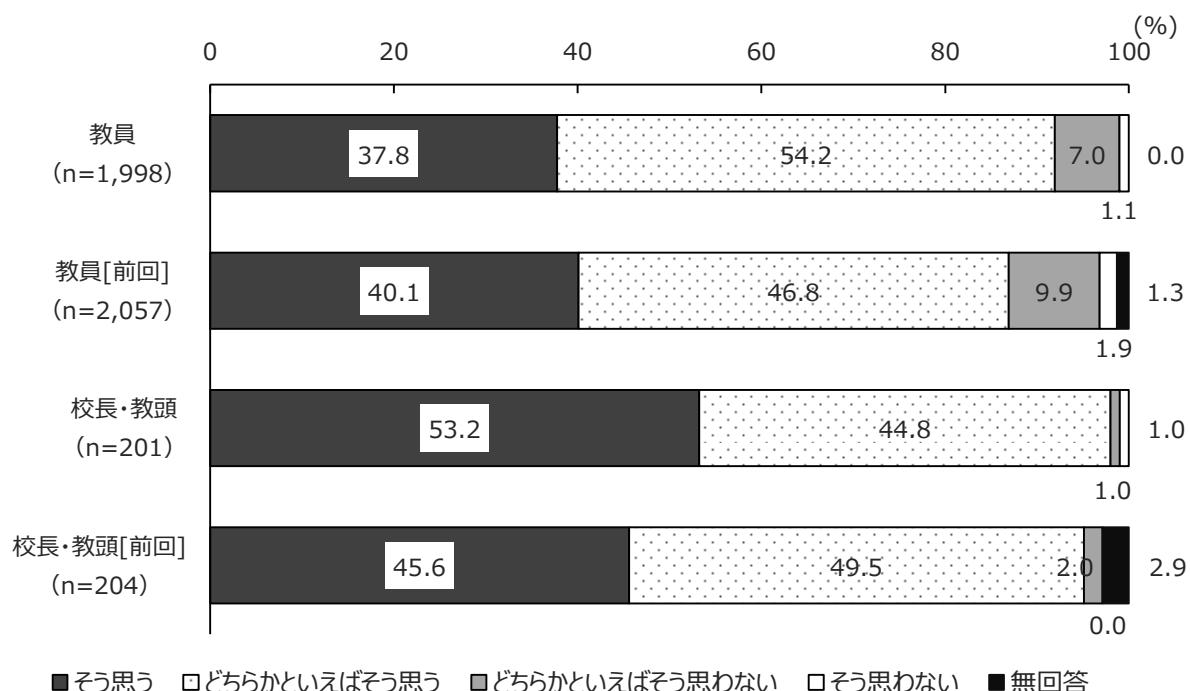
⑤ 学校の組織的な対応

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
				問 31	問 28

問. あなたの学校では、問題や課題に対して組織的な対応を行っていると思いますか。
(1つ)

「そう思う」が教員で37.8%、校長・教頭で53.2%となっている。

前回と「そう思う」の割合を比べると、校長・教頭は増加する一方、教員はやや減少している。



2 教育情報や計画の推進

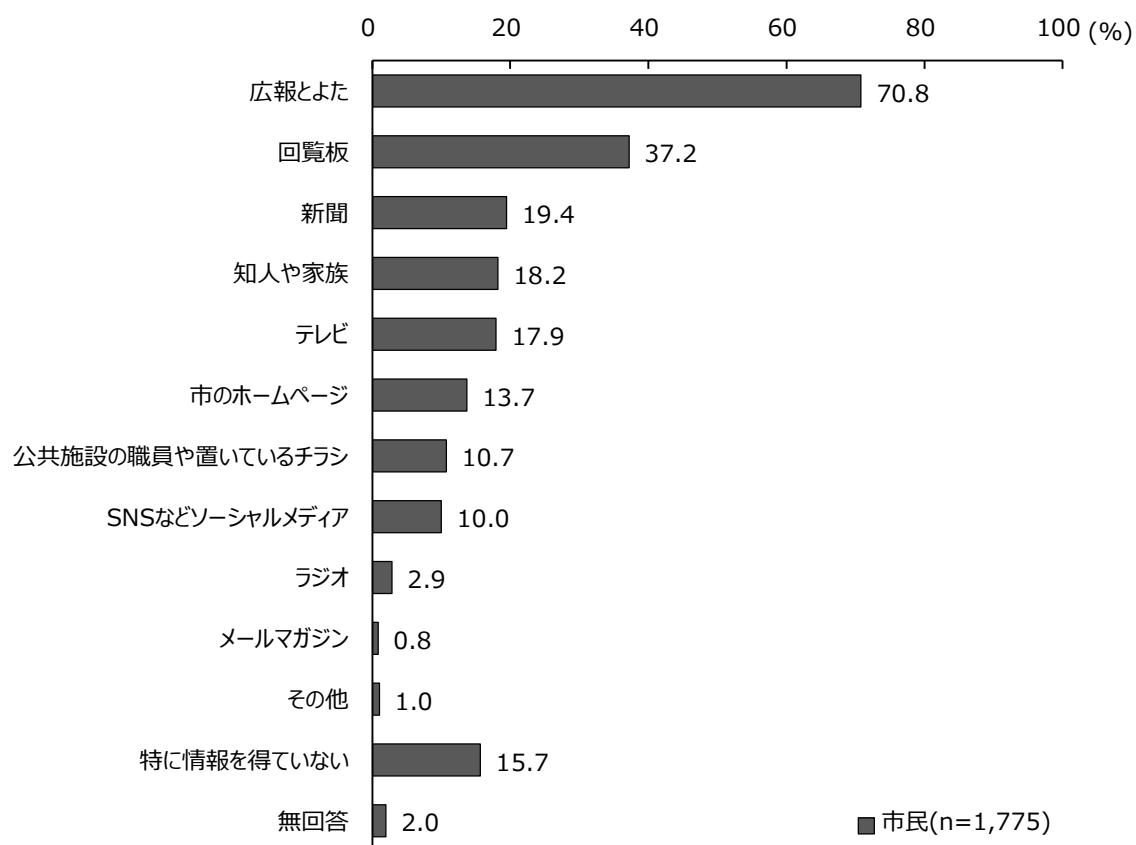
① 市内の教育行政情報の入手方法

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 37					

問. あなたは、ここ3年間で、市内の教育行政の情報について、どのような手段で得ていますか。(あてはまるものすべて)

※学校教育、家庭教育、文化、スポーツなどが対象

「広報とよた」が最も多く 70.8%となっている。次いで、「回覧板」(37.2%)、「新聞」(19.4%) が多くなっている。



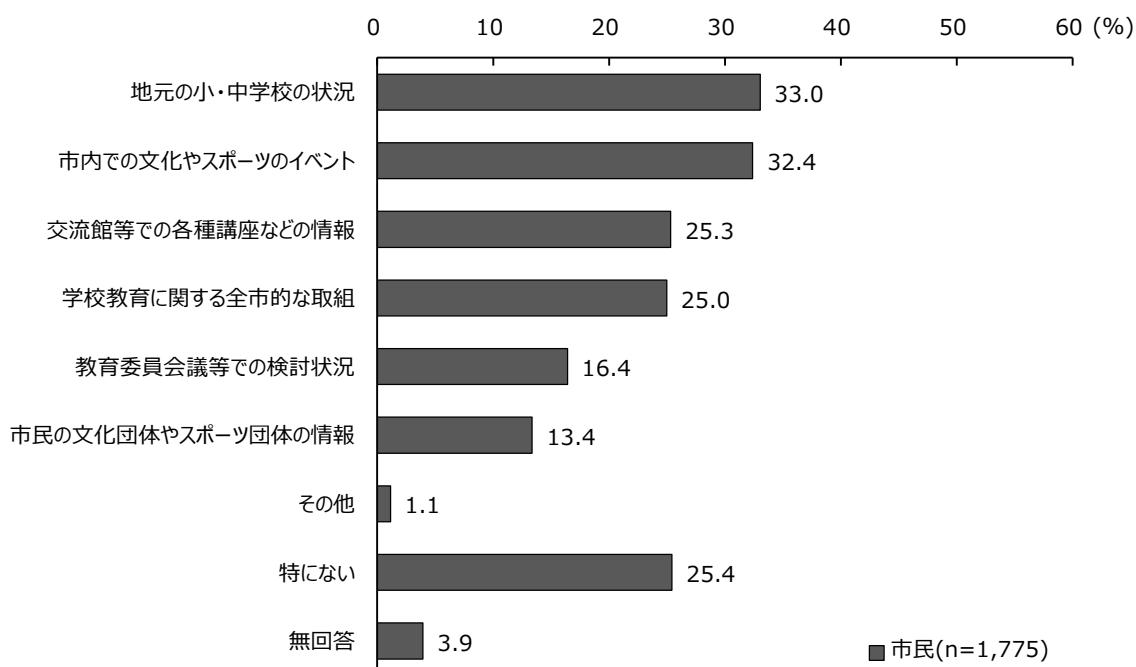
* ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)、動画共有サイトなど、利用者が情報を発信し、形成していくメディア（エックス、フェイスブック、ラインを含みます）

② 今後提供すべき教育行政の情報

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
問 38					

問. 今後、教育行政に関するどのような内容の情報をもっと提供すべきだと思いますか。
(3つまで)

「地元の小・中学校の状況」が最も多く 33.0% となっている。次いで、「市内での文化やスポーツのイベント」(32.4%) が多くなっている。



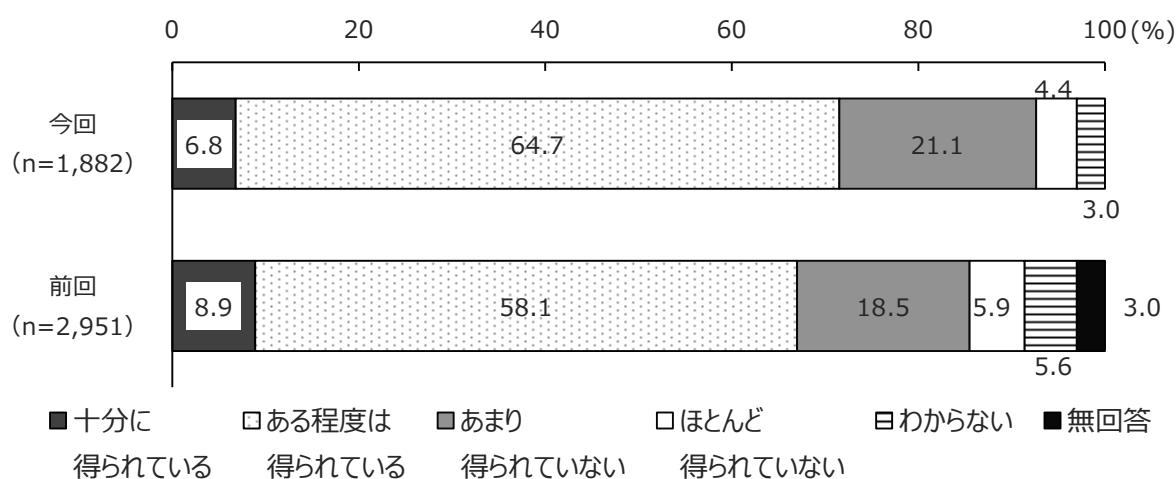
③ 学校からの情報提供の状況

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 30		

問. あなたは、学校の教育方針や学校でのお子さんの様子などの情報を十分に得られていると思いますか。（1つ）

「ある程度は得られている」が 64.7%と最も多く、次いで「あまり得られていない」（21.1%）が多くなっている。

前回と比べると、「ある程度は得られている」「あまり得られていない」の割合がやや高くなっている。

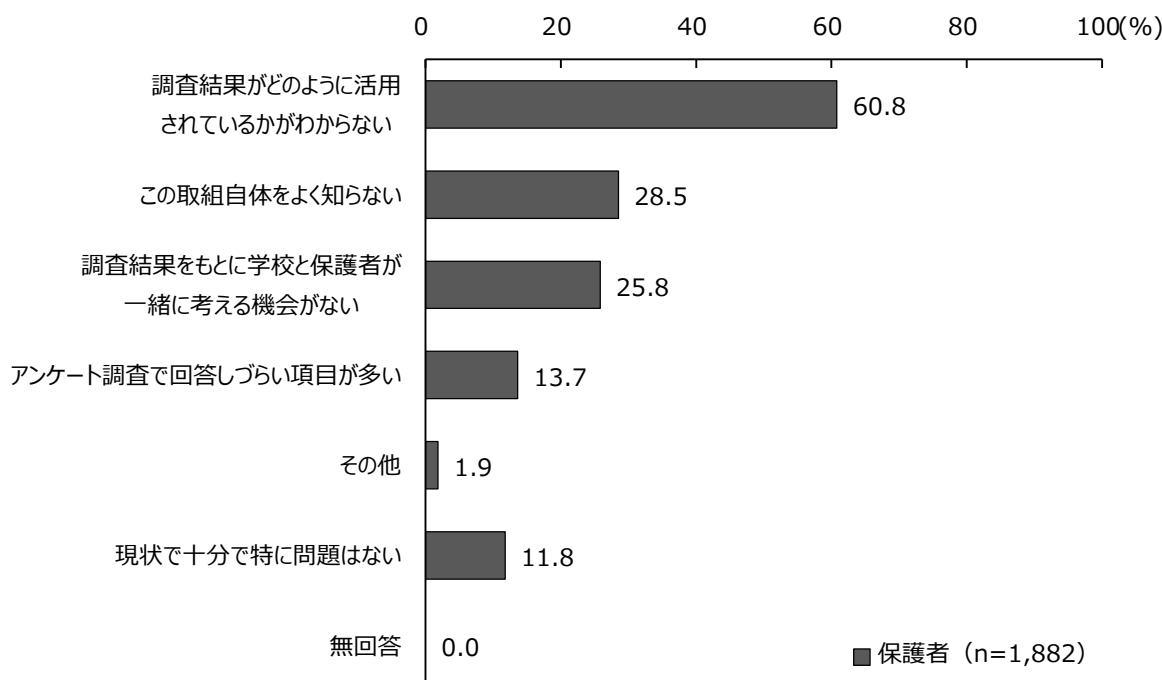


④ 学校評価の課題

市民	小学生	中学生	保護者	教員	校長・教頭
			問 31		

問. 本市では、保護者やお子さんからの学校評価を各学校の運営に生かしていますが、どのような課題があると思いますか。(3つまで)

「調査結果がどのように活用されているかがわからない」が最も多く 60.8%となっている。次いで、「この取組自体をよく知らない」(28.5%)、「調査結果をもとに学校と保護者が一緒に考える機会がない」(25.8%) が多くなっている。



豊田市の教育に関するアンケート調査

あなたご自身について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男 2. 女 3. その他

F7 あなたの職業についてお答えください。(1つに○)

1. 無職・専業主婦(夫) 4. 自営業・事業・農業
2. 学生 5. パート・アルバイト・派遣・内職等
3. 会社員・公務員 6. その他()

F6 あなたの豊田市の在住年数(通算で)をお答えください。(1つに○)

1. 5年未満 2. 5~9年 3. 10~19年 4. 20年以上

F2 あなたの世帯(同居家族)についてお答えください。(1つに○)

- 1.ひとり暮らし 4. 3世代世帯(親と子と孫)
2. 夫婦のみ 5. その他()
3. 2世代世帯(親と子)
)

1. 学校教育について

F3 あなたの同居の家族に次の方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 未就園児 5. 中学校卒業(～18歳以下)
2. こども園・幼稚園児 6. 18歳以下の同居の子どもはない
3. 小学生 もしくは子どもはない
4. 中学生

F4 あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

1. 20歳未満 6. 60～64歳
2. 20～29歳 7. 65～69歳
3. 30～39歳 8. 70～74歳
4. 40～49歳 9. 75歳以上
5. 50～59歳

F5 あなたのお住まいの中学校区についてお答えください。(1つに○)

1. 逢妻 8. 梅平台 15. 末野原 22. 保見
2. 旭 9. 小原 16. 崇化館 23. 前林
3. 朝日丘 10. 上郷 17. 高岡 24. 益富
4. 足助 11. 猿投 18. 高橋 25. 松平
5. 井郷 12. 猿投台 19. 藤岡 26. 美里
6. 石野 13. 下山 20. 藤岡南 27. 竜神
7. 稲武 14. 清水 21. 豊南 28. 若園
)

※中学校区がわからぬ場合は→()町()丁目

問2. 現在の学校教育について、どのような問題があると思いますか。(5つまで○)

1. 子どもの基礎的な学力が低下している
2. 進学中心の教育にかけたよっている
3. 子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい
4. いじめ、学級崩壊などの問題行動が多い
5. 不登校の子どもが多い
6. 教師の立場が弱すぎる
7. 指導力不足の教師が増えできている
8. 教師が多忙すぎる
9. 1学級の人数が多い ※現在の小・中学校1クラスの人数は30~35人です。
10. 道徳教育やこころの教育が十分でない
11. オンライン授業やICT教育が進んでいない
12. 学校と地域との連携が十分でない
13. 学校にしつけなどを頼りすぎている
14. その他()
15. 特に問題はない

問4. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム※を推進するために、どういったことが必要だと思いですか。(あてはまるものすべてに○)
※インクルーシブ教育システム：障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場所を提供できる仕組み。

1. 学校の施設整備の拡充・充実
2. 教員数の確保・増員
3. 支援人材の確保・増員
4. 教職員をはじめとする入材の専門性の確立
5. インクルーシブ教育システム
についての理解啓発
6. 多様性を理解する授業
7. 就学相談機会の充実
8. 教材・教具等の支援の充実
9. 少人数級制の拡充
10. 関係機関の連携強化
11. 子ども同士の交流及び共同学習の充実
12. その他()
13. わからない

問5. 学校と地域の連携について、どのような考え方方が重要だと思いますか。(3つまで○)

1. 学校の運営や経営に地域の人方が参加する
2. 地域の人を授業の講師や部活動の指導者として招く
3. 学校の授業参観や行事などに地域の人へ見学しやすくなる
4. 学校の施設を地域に開放する
5. 学校と地域の施設を隣接させ、人の行き来をしやすくする
6. 児童生徒を地域活動や地域の行事に参加させる
7. 登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める
8. その他()
9. 特に必要はない

問3. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思いますか。(2つまで○)

1. 物のづくり・科学
2. 外国語教育(英語教育)
3. ICTを活用した学びや協働的学び(個に応じた学びや協働的学び)
4. 体験を重視した教育
5. キャリア教育(人生設計・職業体験)
6. 国際化・多文化共生
7. 地域の伝統、歴史
8. 運動・スポーツ
9. 音楽、美術等の芸術(アート)
10. その他()

問6.次の行事・活動の中で、今後、あなたが学校等と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. PTA活動 | 9. 学校の教育活動に対する意見・感想 |
| 2. 授業補助や放課後指導の支援 | 10. 学校公開日や授業参観への参加 |
| 3. 部活動の指導・補助 | 11. 学校外での地域活動体験の受け入れ・手伝い |
| 4. 登下校など子どもの安全管理 | 12. 教室に行きにくさを感じている子の居場所での対応 |
| 5. 非行防止や生徒指導への協力 | 13. その他（
花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備
学校図書館の運営支援や読み聞かせ） |
| 6. 学校行事への参加 | 14. 特に協力や参加したいことはない |
| 7. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備 | |
| 8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ | |

問7.少子化で児童生徒数が減少しています。子どもたちにとって適切な教育環境を保つためには、1学年あたり最低でも何クラス必要だと思いますか。（1つに○）

①小学校

- | |
|----------------------------|
| 1. 複式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい |
| 2. 1クラス |
| 3. 2クラス |
| 4. 3クラス |
| 5. 4クラス以上 |

②中学校

- | |
|----------------------------|
| 1. 複式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい |
| 2. 1クラス |
| 3. 2クラス |
| 4. 3クラス |
| 5. 4クラス |
| 6. 5クラス |
| 7. 6クラス |
| 8. 7クラス以上 |

2. 地域ぐるみの教育について

問8.あなたは、どのくらい近所の子どもと会話をしますか。（1つに○）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. （ほぼ毎日話す | 4. 1年に数回程度、話す |
| 2. 1週間に数回程度、話す | 5. （ほとんど話さない |
| 3. 1か月に数回程度、話す | |
| 4. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. （ほぼ満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問9.家庭の教育について、どのように評価しますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 基本的な生活習慣 | 7. 相手の気持ちになつて考えることができますか。（特に重要なことをそれぞれ3つまで記入） |
| 2. 感情のコントロール（心の強さ） | |
| 3. 学力 | |
| 4. 健康や体力 | |
| 5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲 | |
| 6. アイデアや新しいものを考え出す力 | |
| 13. その他（
） | |

↓ ※それ番号を記入。同じ番号を2か所に記入いただいても構いません。

家庭の役割	学校の役割	地域の役割

3. 生涯学習について

問11. あなたが自主的に学んでいることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 現在の仕事上で必要な知識・技能や資格取得に関すること	5. 育児・教育に関すること
2. キャリアや転職活動に関すること	6. 森や川で行う自然体験に関すること
3. 健康・スポーツ・文化・料理・語学など趣味や教養に関すること	7. ボランティアや地域活動に関すること
4. インターネットやデジタルに関すること	8. SDGs など社会課題に関すること
	9. その他()
	10. 特になし

問14で「6. 利用したことがない」を回答した方へお尋ねします。」

問15. 中央図書館を利用したことがない理由を教えてください。(3つまで○)

1. 自宅から遠くて行くのに不便だから	6. 本に興味がないから
2. 家事や仕事等で行く時間がないから	7. 存在を知らないから
3. 参加したい講座や事業がないから	8. その他()
4. 本を返しに行くのが面倒だから	9. 特に理由はない
5. 電子書籍ストアを利用しているから	

4. 文化について

問12. ここ3年間で、交流館をどのように目的で利用しましたか。(3つまで○)

1. 教養・趣味のサークル活動	5. コミュニティ会議、自治区等の地域活動
2. 図書の利用	6. 活動団体や行政等の情報を得るために
3. 講座やイベントの参加	7. その他()
4. ボランティア活動	8. 利用したことない →問13へ

問13. 交流館を利用したことがない理由を教えてください。(3つまで○)

1. 近くにないから	6. 家事や仕事等で行く時間がないから
2. 利用の仕方を知らないから	7. 参加したい講座や事業がないから
3. 何をしている施設かわらないから	8. 存在を知らないから
4. 習いたいサークル・グループがないから	9. その他()
5. 気軽に行きにくいから	10. 特に理由はない

【すべての方にお尋ねします。】

問14. ここ3年間で、中央図書館をどのような目的で利用しましたか。(3つまで○)

1. 本や雑誌、CD を借りるため	5. レファレンス※(知りたい情報への案内)を受けたため
2. 参考にできる情報がなかなか探すため	6. 利用したことない →問15へ
3. お話しやイベントに参加するため	
4. 資料貸出しの予約をするため	

※レファレンスとは、わからぬことや知りたいことがあるときに、職員に直接聞いたり、メールや電話で問い合わせたりすることで、必要な資料・情報の案内を受けられるサービスのことです。

問18. あなたは、この1年間に次のような催し物や場所に出かけで行って、「鑑賞・見学」（豊田市外も含む）をしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

※ホール・劇場・美術館・博物館・映画館・祭り・旅行等で直接鑑賞することが対象です。

- | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|--------------------------|-----------------------|-------------------|------------------------------|------------------------|--|-----------|--------------------|-----------------|
| 1. 音楽（ボピュラー、クラシック、邦楽、合唱など） | 2. 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真、デザイン、現代アート、民芸など） | 3. 演劇（現代演劇、ミュージカル、人形劇など） | 4. 舞踊（バレエ、ダンス、日本舞踊など） | 5. 演芸（漫才、落語、浪曲など） | 6. 映画・メディア芸術（映像作品、アニメ、マンガなど） | 7. 古典芸能（歌舞伎、能・狂言、文楽など） | 8. 文化財（古い寺社、まちなみ、棒の手、山車祭、農村歌舞伎、遺跡、天然記念物、近代産業遺産、仏像、出土品など） | 9. その他（ ） | 10. まったく鑑賞・見学していない | 11. まったく活動していない |
|----------------------------|--|--------------------------|-----------------------|-------------------|------------------------------|------------------------|--|-----------|--------------------|-----------------|

問19. あなたが「鑑賞・見学」する上で、お困りのこと(はありますか)。(3つまで○)

- | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------------------|----------------|----------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------|---------------|-----------|-------------|---------------|
| 1. 催し物の情報が少ない | 2. 鑑賞・見学したい催し物が少ない | 3. 催し物の開催数が少ない | 4. 文化施設まで遠くて行くことが難しい | 5. 短時間の催し物や予約なしで鑑賞できるのが少ない | 6. オンラインで鑑賞・見学できるものが少ない | 7. 子連れで行ける催し物が少ない | 8. 入場料等の料金が高い | 9. その他（ ） | 10. 特に問題はない | 11. まだ活動していない |
|---------------|--------------------|----------------|----------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------|---------------|-----------|-------------|---------------|

問20. あなたは、この1年間に次のような「文化・芸術活動」（鑑賞・見学を除く）を行ったことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

※作品の制作・練習・習い事などを対象します。

- | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|--------------------------|-----------------------|-------------------|------------------------------|------------------------|--|----------------------------------|------------|-----------------|
| 1. 音楽（ボピュラー、クラシック、邦楽、合唱など） | 2. 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、書道、写真、デザイン、現代アート、民芸など） | 3. 演劇（現代演劇、ミュージカル、人形劇など） | 4. 舞踊（バレエ、ダンス、日本舞踊など） | 5. 演芸（漫才、落語、浪曲など） | 6. 映画・メディア芸術（映像作品、アニメ、マンガなど） | 7. 古典芸能（歌舞伎、能・狂言、文楽など） | 8. 文化財（古い寺社、まちなみ、棒の手、山車祭、農村歌舞伎、遺跡、天然記念物、近代産業遺産、仏像、出土品など） | 9. 生活文化・国民娛樂（生け花、茶道、囲碁、将棋、かるたなど） | 10. その他（ ） | 11. まったく活動していない |
|----------------------------|--|--------------------------|-----------------------|-------------------|------------------------------|------------------------|--|----------------------------------|------------|-----------------|

問21. あなたが「文化・芸術活動」をする上で、お困りのこと(はありますか)。(3つまで○)

- | | | | | | | | | | |
|------------------|---------------|--------------|--------------------|--------------|------------|----------------|-----------|------------|---------------|
| 1. 活動するための情報が少ない | 2. 活動のきっかけがない | 3. 費用がかかりすぎる | 4. 他の活動者と交流する機会がない | 5. 活動する場所がない | 6. 指導者がいない | 7. 自分にはできないと思う | 8. その他（ ） | 9. 特に問題はない | 10. まだ活動していない |
|------------------|---------------|--------------|--------------------|--------------|------------|----------------|-----------|------------|---------------|

問22. あなたは、この1年間に、文化・芸術活動の支援等をしたこと(はありますか)。(1つに○)

※芸術祭や文化施設等でのボランティア活動、子どもの文化体験講座等の手伝い、文化イベントの運営費を寄附など

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 支援をした | 2. 支援をしていない |
|----------|-------------|

問23. あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするため、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
2. ホール、劇場、美術館、博物館などの文化施設の機能の充実
3. 身近なところで気軽に文化芸術に触られる機会の充実
4. 公演、展覧会、芸術祭などの催し物の充実
5. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
6. 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
7. 文化・芸術や文化財を学んだり、活用する機会の充実
8. 芸術家や文化団体の活動の支援
9. その他（
満足しているため、特に必要はない）
10. 特に期待することはない

問24. 豊田市の歴史や文化財を継承し、その魅力を発信していくためには、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 文化財の活用や保存を積極的に進める
2. 市民参画による継承、発信の取組を進める
3. 歴史・文化財に関する情報や講座を開催する
4. 歴史・文化財を楽しく体感できる体験教室や講座を開催する
5. 歴史・文化財の保護や継承を行う団体などに対する支援・助成をする
6. 伝統的な技術や祭礼などの記録・保存をする
7. 歴史・文化財を観光資源として活用し、多くの人に知つてもらえるようにする
8. その他（
特に必要はない）
9. 特に必要はない

問25. 地域の文化的環境が充実することにより、あなたが期待する効果は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 生きる楽しみを見出せる
2. 市民の交流や社会参加が盛んになる
3. 市や地域への愛着が高まる
4. 市により良い人材が集まる
5. 市民の創造性が高まり、地域社会・経済の活性化につながる
6. 子どもが心豊かに成長する
7. 市や地域のイメージが向上する
8. 全国や諸外国から訪れる人が増える
9. その他（
特に期待することはない）
10. 特に期待することはない

5. スポーツについて

問26. あなたは、この1年間にどのような運動やスポーツをしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 体操・ウォーキング・ランニング・陸上・ジム（ラジオ体操、健康体操、散歩などを含む）
2. 水泳
3. 球技（キャッチボール、サッカー、バスケットボール、卓球、テニス等を含む）
4. ゴルフ、ゲートボール、マレットゴルフ、グラウンドゴルフ
5. アウトドア（スキー、スノーボード、マリンスポーツ、釣り、登山、キャンプ等を含む）
6. 日常生活における体力づくりや健康の保持増進を目的とした身体活動
(徒歩や自転車による買い物・通勤通学など)
7. 脚かい者スポーツ
8. eスポーツ（電子機器で行うスポーツ）
9. その他（
運動やスポーツをしなかった →問29へ
10. 運動やスポーツをしなかった →問29へ

【問26で「1～9」を回答した方へお尋ねします。】

問27. 間26の「1～9」の運動やスポーツをした日数を全部合わせると、どのくらいの頻度になりますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. (ほぼ)毎日 | 4. 月に1～3日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. 3か月に1～2日 |
| 3. 週に1～2日 | 6. 年に1～3日 |

【問26で「1～9」を回答した方へお尋ねします。】

問28. 運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 健康・体力づくりのため | 6. 家族のふれあいのため |
| 2. 楽しみ・気晴らしのため | 7. 友人・仲間との交流のため |
| 3. 運動不足を感じるため | 8. 美容や肥満解消のため |
| 4. 精神の養成や訓練のため | 9. その他() |
| 5. 自己の記録や能力を向上させるため | 10. 特に理由はない |

【問26で「10. 運動やスポーツをしなかった」を回答した方へお尋ねします。】

問29. 運動やスポーツをしなかったのはどのような理由ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 仕事・家事・育児が忙しくて時間がないため | 6. 指導者がないため |
| 2. 体が弱いため | 7. お金がかかるため |
| 3. 年をとつたため | 8. 運動・スポーツは好きではないため |
| 4. 場所や施設がないため | 9. 機会がなかったため |
| 5. 仲間が少ないため | 10. その他() |
| 6. 特に理由はない | 11. 特に理由はない |

【すべての方にお尋ねします。】

問30. あなたは、次のことをご存知ですか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. スポーツ推進委員 | 4. 部活動地域指導者 |
| 2. 地域スポーツクラブ | 5. あいち地域クラブ活動人材バンク |
| 3. スポーツボランティアヒヨト | 6. 豊田市わがままアスリート |

問31. あなたは1年間で、どのようなスポーツを直接現地で観戦しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 野球 | 8. ラグビー |
| 2. サッカー | 9. ソフトボール |
| 3. バレーボール | 10. モータースポーツ |
| 4. バスケットボール | 11. 障がい者スポーツ |
| 5. テニス | 12. eスポーツ(電子機器で行うスポーツ) |
| 6. 体操 | 13. その他() |
| 7. 陸上・マラソン | 14. 駅伝していない |

問32. 豊田スタジアム、スカイホール豊田の利用について、どのように思いますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. プロスポーツ大会の開催を増やしてほしい |
| 2. アマチュアスポーツ大会の開催を増やしてほしい |
| 3. コンサート、催事などのスポーツ以外のイベントを増やしてほしい |
| 4. 市民への開放を増やしてほしい |
| 5. その他() |
| 6. 特に希望はない |

問33. あなたは、次のことをご存知ですか。(知っているものすべてに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 名古屋グランパス | 3. トヨタ自動車硬式野球部 |
| 2. トヨタヴエルブリッツ | 4. トヨタレッドテリアーズ |

問34. この1年間で、どのようなスポーツを支える活動(有償・無償いずれも含む)に participated しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- ※コーチ、審判、大会運営、団体運営、スポーツ施設の管理などスポーツに関わる活動を指します。(報酬があるもの、ボランティア活動のもの、いずれも含みます。)
- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. スポーツの指導や審判 | 5. 「スポーツボランティアヒヨト」での活動 |
| 2. 國際・全国的なイベント運営や準備 | 6. その他ボランティア団体での活動 |
| 3. 市民向けのイベント運営や準備 | 7. スポーツ施設の管理 |
| 4. 地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの団体の運営 | 8. その他() |
| 5. 活動をしていない | 9. 活動をしていない |

問35. 運動やスポーツを行う上で、どのような情報が不足し、不便に思ったことがありますか。(3つまで○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 施設の場所 | 7. 審判などの資格 |
| 2. 施設の内容 | 8. 出版物等 |
| 3. 施設の用具や道具 | 9. 健康・スポーツ相談 |
| 4. クラブや同好会 | 10. その他() |
| 5. 行事・イベント | 11. 不便に思ったことはない |
| 6. 指導者 | |

問36. 運動やスポーツに関して、豊田市は今後どのように力を入れていくべきだと思いますか。(5つまで○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 競技スポーツの推進 | 10. 障がい者スポーツ |
| 2. 市民が参加できるスポーツイベントの開催 | 11. 施設サービスの向上 |
| 3. 國際試合やプロスポーツの試合の開催 | 12. スポーツを通じた国際交流 |
| 4. 地域のクラブやサークルの育成 | 13. 企業や大学と連携したスポーツ振興の推進 |
| 5. スポーツ指導者の養成 | 14. 年齢層にあつたスポーツの普及 |
| 6. スポーツボランティアの支援 | 15. スポーツを通じた観光客増加の促進 |
| 7. スポーツに関する広報活動 | 16. eスポーツ(電子機器で行うスポーツ) |
| 8. 学校体育施設の開放・整備 | 17. その他() |
| 9. 身近な地域のスポーツ施設の整備 | |

6. 教育行政について

問37. あなたは、ここ3年間で、市内の教育行政の情報について、どのような手段で得ていきましたか。(あてはまるものすべてに○)

※学校教育、家庭教育、文化、スポーツなどが対象です。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 広報とよた | 7. 市のホームページ |
| 2. 新聞 | 8. SNSなどシーシャルメディア* |
| 3. テレビ | 9. メールマガジン |
| 4. ラジオ | 10. 知人や家族 |
| 5. 公共施設の職員や置いているチラシ | 11. その他() |
| 6. 回観板 | 12. 特に情報を得ていない |

※ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)、動画共有サイトなど、利用者が情報を発信し、形成していくメディア(エックス、フェイスブック、ラインを含みます)のことです。

問38. 今後、教育行政に関するどのような内容の情報をもっと提供すべきだと思いますか。(3つまで○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 教育委員会議等での検討状況 | 5. 市内での文化やスポーツのイベント |
| 2. 学校教育に関する全市的な取組 | 6. 市民の文化団体やスポーツ団体の情報 |
| 3. 地元の小・中学校の状況 | 7. その他() |
| 4. 交流館等での各種講座などの情報 | 8. 特にない |

問39. 豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがありましたら、ご記入ください。

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関する

アンケート調査(ちょうさ)

1. 学校生活や学習(がくしゅう)について

問1. あなたは、今の学校生活に満足(まんぞく)していますか。(1つ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 満足 | 4. やや不満(ふまん) |
| 2. (ほぼ)満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからぬい |

あなたご自身について

F1 あなたの性別(せいべつ)をお答えください。(1つ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F2 あなたがいっしょに住んでいる人についてお答えください。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. お父さん | 4. 弟・妹 |
| 2. お母さん | 5. おじいさん・おばあさん |
| 3. お兄さん・お姉さん | 6. その他() |

F3 あなたの小学校をお答えください。(1つ)

- | | | | | |
|---------|----------|---------|---------|---------|
| 1. 青木 | 16. 大蔵 | 31. 佐切 | 46. 巴ヶ丘 | 61. 平井 |
| 2. 朝日 | 17. 大沼 | 32. 敷島 | 47. 豊松 | 62. 広川台 |
| 3. 足助 | 18. 大畠 | 33. 四郷 | 48. 中金 | 63. 平和 |
| 4. 飯野 | 19. 大林 | 34. 済水 | 49. 中山 | 64. 本城 |
| 5. 石置 | 20. 小渡 | 35. 済水北 | 50. 西広瀬 | 65. 前山 |
| 6. 市木 | 21. 小原中部 | 36. 新盛 | 51. 西保見 | 66. 御藏 |
| 7. 五ヶ丘 | 22. 加納 | 37. 寿恵野 | 52. 根川 | 67. 御作 |
| 8. 五ヶ丘東 | 23. 上鷹見 | 38. 高嶺 | 53. 野見 | 68. 美山 |
| 9. 稲武 | 24. 久久平 | 39. 滝脇 | 54. 則定 | 69. 明和 |
| 10. 井上 | 25. 幸海 | 40. 竹村 | 55. 萩野 | 70. 元城 |
| 11. 伊保 | 26. 小清水 | 41. 土橋 | 56. 花山 | 71. 矢並 |
| 12. 岩倉 | 27. 古瀬間 | 42. 堤 | 57. 冷田 | 72. 山之手 |
| 13. 故部 | 28. 駒場 | 43. 寺部 | 58. 東広瀬 | 73. 若園 |
| 14. 梅坪 | 29. 孝母 | 44. 道慈 | 59. 東保見 | 74. 若林西 |
| 15. 追分 | 30. 衣丘 | 45. 童子山 | 60. 東山 | 75. 若林東 |

問2. 「1、2」を選んだ人にお聞きします。】

問2. その理由(りゆう)は何ですか。(3つまで)

- | |
|--------------------------|
| 1. 勉強がおもしろいから |
| 2. 友達といつしょに遊んだりするのが楽しいから |
| 3. 運動会や学芸会などの学校の行事が楽しいから |
| 4. 学級の係や児童会・委員会の活動が楽しいから |
| 5. 先生との関係がよいから |
| 6. なんとなく |
| 7. その他() |

問1で「1、2」を選んだ人にお聞きします。】

問3. その理由(りゆう)は何ですか。(3つまで)

- | |
|--------------------------|
| 1. 勉強がよくわからぬいから |
| 2. 友達との関係がうまくいくつていられないから |
| 3. 先生との関係がうまくいくつていられないから |
| 4. ゆとりや自由がないから |
| 5. 楽しいと思うことがないから |
| 6. その他() |

問4. あなたは、学校の授業(じゅぎょう)に満足してますか。(1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. (ほぼ)満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからぬい |

問5. 学校でどのような授業(じゅぎょう)や学習が好きですか。(3つまで)

1. 自分でテーマを決めて調べたり
2. グループで考えたり協力したり
3. 学校の外で見たり体験したりする学習
4. 自分なりに予想を立てて実験などを行う学習
5. 自分の考え方を作品で表現(ひょうげん)する活動
6. 自分の興味(きょうみ)があることにじっくりと取り組む学習
7. 自分のベースで「早く」又(または)は「ゆっくり」と取り組む学習
- 8.自分が学習したことを発表する活動
9. 先生以外の地域(ちいき)の人や企業(きぎょう)の人などから話を聞いたり教わったりする活動
10. 上級生や下級生といっしょに活動する学習
11. 特にない

問7. あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか。(2つまで)

1. ものづくり・科学
2. 外国語教育(英語教育)
3. 学習用タブレットなどを使って、自分に合った内容やベースで学んだり、他
4. 実際(じっさい)に見たり、体験する教育
5. 将来(しょうらい)の仕事につながる教育
6. 外国の言葉や文化を学び、運(ちが)いを認め(みとめ)合い共に生きていくこと
7. 地域(ちいき)の伝統(でんとう)、歴史の人と協力しながら学ぶ教育
8. 運動・スポーツ
9. 音楽、美術(びじゅつ)等の芸術(げいじゅつ)(アート)
10. その他()

問6. あなたは、学校でどのようなことを伸(の)ばしていきたい、または身につけたいと思いますか。(3つまで)

1. 生活の中が必要な学力や能力(のうりょく)
2. 自分でやりぬく気持ちやましさ
3. 将来(しょうらい)の目標や夢(ゆめ)を持つこと
4. 一人ひとりのよいところ
5. アイデアを考え、表現(ひょうげん)する力
6. いろいろな人と協力して行動する力
7. 思いややさしさなどの心
8. ルールや決まりを守ること
9. 自分で考え、決める力
10. 課題を見つけて解決する力
11. その他()

問7. あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか。(2つまで)

- 【問8～10の質問(しつもん)は、中学校に進学する時を想像(そうぞう)してお答えください。】
- 問8. 中学校に進学するときに、先生に気軽に相談できるか不安に思いますか。(1つ)
1. 不安に思う
 2. どちらかといえば不安に思う
 3. どちらでもない
 4. どちらかといえば不安に思わない
 5. 不安に思わない

- 問9. 中学校に進学するときに、授業(じゅぎょう)についてけるか不安に思いますか。(1つ)
1. 不安に思う
 2. どちらかといえば不安に思う
 3. どちらでもない
 4. どちらかといえば不安に思わない
 5. 不安に思わない

- 問10. 中学校に進学するときに、他の学校出身の子と仲良くなれるか不安に思いますか。(1つ)
1. 不安に思う
 2. どちらかといえば不安に思う
 3. どちらでもない
 4. どちらかといえば不安に思わない
 5. 不安に思わない

問11. 学校の給食に満足していますか。(1つ)

1. 満足
2. (ほぼ)満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. 不満
6. わからない

【問11で「1、2」を選んだ人にお聞きします。】

問12. 学校の給食のどのように満足していますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. おいしいから | 4. 栄養のバランスが取れているから |
| 2. みんなといつしょに食べられるから | 5. その他() |
| 3. いろいろメニューがあるから | |

【問16で「1」を選んだ人にお聞きします。】

問17. 毎回通っていますか。(1つ)

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 週に5回以上 | 3. 週に3回 | 5. 週に1回以下 |
| 2. 週に4回 | 4. 週に2回 | |

【問11で「3、4、5」を選んだ人にお聞きします。】

問13. 学校の給食のどのようなことが不満ですか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. おいしくないから | 4. 時間が短いから |
| 2. みんな量が同じで、一人ひとり | 5. 給食のきまりが多いから |
| の状況(じょうきょう)にあっていない(量が多い、少ないから) | 6. アレルギーがあるから |
| 3. 食べられなかつたり、嫌いなもの | 7. 準備(じゅんび)や片づけが大変だから |
| (ばかりに)になる日があるから | 8. その他() |

2. 生活について

問14. 自分には良いところがあると思いますか。(1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問15. あなたは家族と、学校のことや勉強のことについて、どのくらい会話しますか。(1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. よく会話する | 3. あまりしない |
| 2. 時々会話する | 4. まったくしない |

問16. 学習塾(じゅく)や習い事(ピアノ、英会話、書道、サッカー、水泳など)に通っていますか。(1つ)

- | | |
|-----------|--|
| 1. 通っている | |
| 2. 通っていない | |

【問16で「1」を選んだ人にお聞きします。】

問17. 毎回通っていますか。(1つ)

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 週に5回以上 | 3. 週に3回 | 5. 週に1回以下 |
| 2. 週に4回 | 4. 週に2回 | |

問18. あなたは、学校以外で、1日にどのくらいスマートフォンやタブレット、パソコンを見ていますか。

①学校に行く日(1つ)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 使わない | 3. 2時間ぐらい | 5. 5~6時間ぐらい |
| 2. 1時間以下 | 4. 3~4時間ぐらい | 6. 7時間以上 |

②学校が休みの日(1つ)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 使わない | 3. 2時間ぐらい | 5. 5~6時間ぐらい |
| 2. 1時間以下 | 4. 3~4時間ぐらい | 6. 7時間以上 |

問19. 地域(ちいき)の行事や活動にどの程度(ていど)参加していますか。(1つ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. できる限(かぎ)り多く参加している | 3. (ほとんど)参加していない |
| 2. 時々参加している | 4. 参加していない |

問20. 次のような地域の行事や活動などに参加していますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 子ども会 | 5. ボーイスカウト、ガールスカウト |
| 2. お祭りなどの地域行事 | 6. 地域スポーツクラブ |
| 3. ボランティア活動 | 7. その他() |
| 4. 廃品(はいひん)回収(かいしゅう) | 8. どれも参加したことがない |

問21. あなたの住んでいる地域では、地域の人が勉強やスポーツを教えてくれたり、自分たちを見守ってくれたりしていると感じますか。(1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 感じる | 3. あまり感じない |
| 2. 時々感じる | 4. 感じない |

3. 生涯（しょうがい）学習について

問22. 学校以外で、どのくらい読書をしていますか。（1つ）

※教科書や参考書、まんがや雑誌(ざっし)は除きます。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. (ほぼ毎日 | 4. 月に1～2日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. (ほとんど読んでいない) |
| 3. 週に1日ぐらい | |

問23. 中央図書館や交流館・コミュニケーションセンターの図書コーナーを1年間にどのくらい利用しますか。（1つ）

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. だいたい週に4回以上 | 4. 年に数回程度 |
| 2. 週に1～3回程度（ついど） | 5. (ほとんど、または、まったく行かない) |
| 3. 月に1～3回程度 | |

問25. コンサートや文化財(ぶんかざい)など、出かけて行って文化・芸術(ぶんかげいじゅつ)（アート）の「鑑賞(かんじょう)・見学」（豊田市外も含(ふく)む）を、1年間に何回ぐらいしますか。（1つ）

※文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

※ホーリ・劇場（げきじょう）・美術館(びじゅつかん)・博物館・映画館(えいがかん)・旅行などで直接鑑賞(ちよくせつかんじょう)することが対象です。

※学校の授業（じゅぎょう）や遠足などは含みません。

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 5回以上 | 2. 3～4回 | 3. 1～2回 | 4. 0回 |
|---------|---------|---------|-------|

問26. あなたは、次のどのようなことをしたいと思いますか。（3つまで）

- | |
|--|
| 1. 絵をかいたり、彫刻（ちょうごく）を作つたりする |
| 2. 楽器を演奏（さんそう）したり、歌を歌つたりする |
| 3. ダンスをする |
| 4. 演劇（えんげき）をする |
| 5. 茶道、書道、囲碁（いご）、将棋（じょうぎ）、かるたなどの日本の伝統文化や娛樂（ごらく）をする |
| 6. 歌手などの音楽ライブやクラシックのコンサートを見る |
| 7. ミュージカルや演劇（えんげき）を見る |
| 8. 本物の絵や彫刻（ちょうこく）、写真などを見る |
| 9. まちの歴史や、むかしのくらしの様子などを学んだり、体験する |
| 10. 歌舞伎（かぶき）や能（のう）、狂言（きょうげん）など、古くから伝わる日本の芸能（げいのう）を見る |
| 11. その他（ ） |
| 12. どれもしたいと思わない |

※文化財(ぶんかざい)とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

4. 文化について

問24. あなたは、次のことにについて、興味（きょうみ）がありますか。（それぞれ1つ）

	とても興味がある	どちらかいえば興味がある	あまり興味がない	まったく興味がない
①文化・芸術(げいじゅつ)（アート）	1	2	3	4
②住んでいる地域（ちいき）の歴史・文化財(ぶんかざい)※	1	2	3	4
③ものづくり・科学・自然	1	2	3	4
④読書	1	2	3	4

5. スポーツについて

問27. あなたは、この1年間にどのくらい運動やスポーツをしましたか。(1つ)
※学校の体育の授業(じゅぎょう)や行事は除(のぞ)きますが、地域(ちいき)でのクラブ活動は含(ふく)みます。
※体操(たいそう)、ランニング、陸上、水泳、球技(きゅうぎ)、武道(ぶどう)、スキー、キャンプ、ダンスなどを含(ふく)みます。

1. (ほぼ毎日) 4. 月に1～3日
2. 週に3日以上 5. 月に1日より少ない
3. 週に1～2日

問28. 問27の運動やスポーツに公園での遊びなど軽い運動を加えると、どのくらいになりますか。(1つ)

1. (ほぼ毎日) 4. 月に1～3日
2. 週に3日以上 5. 月に1日より少ない
3. 週に1～2日

問29. この1年間に直接(ちょくせつ)スポーツの試合・イベントなどを見たことがありますか。(あてはまるものすべて)

※体操(たいそう)、陸上、水泳、球技(きゅうぎ)、武道(ぶどう)、格闘技(かくとうぎ)、ワインタースポーツ、ダンスなどを含(ふく)みます。

1. プロや会社のスポーツチームの試合・イベント
2. 大学生・高校生の試合・イベント
3. 地域(ちいき)のスポーツ団体の試合・イベント
4. その他()
5. 特にない

【問29で「1」を選んだ人にお聞きします。】

問30. プロや会社のスポーツチームの試合を見たのは何のスポーツですか。(あてはまるものすべて)

1. 野球 6. 体操(たいそう)
2. サッカー 7. 陸上・マラソン
3. バレーボール 8. ラグビー
4. バスケットボール 9. ソフトボール
5. テニス 10. その他()

6. 豊田市について

問31. あなたは、自分の住んでいる地域(ちいき)が好きですか。(1つ)

1. 好き 3. どちらかといえば好きではない
2. どちらかといえば好き 4. 好きではない

問32. 学校や文化・スポーツについて、意見を自由に書いてください。

豊田市の教育に関するアンケート調査

あなたご自身について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F2 あなたがいっしょに住んでいる人についてお答えください。(あてはまるものすべて)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. お父さん | 4. 弟・妹 |
| 2. お母さん | 5. おじいさん・おばあさん |
| 3. お兄さん・お姉さん | 6. その他() |

F3 あなたの中学校についてお答えください。(1つ)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 逢妻 | 8. 梅平台 | 15. 末野原 | 22. 保見 |
| 2. 旭 | 9. 小原 | 16. 崇化館 | 23. 前林 |
| 3. 朝日丘 | 10. 上郷 | 17. 高岡 | 24. 益富 |
| 4. 足助 | 11. 猛投 | 18. 高橋 | 25. 松平 |
| 5. 井郷 | 12. 猛投台 | 19. 藤岡 | 26. 美里 |
| 6. 石野 | 13. 下山 | 20. 藤岡南 | 27. 龍神 |
| 7. 稲武 | 14. 净水 | 21. 豊南 | 28. 若園 |

1. 学校生活や学習について

問1. あなたは、今の学校生活に満足していますか。(1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. (ほぼ)満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからない |

【問1で「1、2」を選んだ人にお聞きします。】
問2. その理由は何ですか。(3つまで)

- | |
|--------------------------|
| 1. 効強がおもしろいから |
| 2. 友達といつしょに遊んだりするのが楽しいから |
| 3. 部活動が楽しいから |
| 4. 学校の行事が楽しいから |
| 5. 学級の係や生徒会・委員会の活動が楽しいから |
| 6. 先生との関係がよいから |
| 7. なんなく |
| 8. その他() |

【問1で「3、4、5」を選んだ人にお聞きします。】
問3. その理由は何ですか。(3つまで)

- | |
|------------------------|
| 1. 効強がよくわからぬから |
| 2. 友達との関係がうまくいくっていないから |
| 3. 先生との関係がうまくいくていないから |
| 4. 部活動がうまくいくいないから |
| 5. ゆとりや自由がないから |
| 6. 楽しいと思うことがないから |
| 7. その他() |

問4. あなたは、学校の授業に満足していますか。(1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. (ほぼ)満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからない |

問5. 学校でどのような授業や学習が好きですか。(3つまで)

1. 自分でテーマを決めて調べたり
2. 考えたりする学習
3. グループで考えたり協力したりする学習
4. 学校の外で見たり体験したりする学習
5. 自分なりに予想を立てて実験などを行ふ学習
6. 自分の興味があることにじっくりと取り組む学習
7. 自分の考え方で作品で表現する活動
8. 自分の興味があることにじっくりと取り組む学習
9. 先生以外の地元の人や企業の人などから話を聞いたり教わったりする活動
10. 上級生や下級生といっしょに活動

問6. あなたは、学校でどのようなことを伸ばしていきたい、または身につけたいと思いますか。(3つまで)

1. 生活の中で必要な学力や能力
2. 自分でやりぬく気持ちやましさ
3. 将来の目標や夢を持つこと
4. 一人ひとりのよいところ
5. アイデアを考え、表現する力
6. いろいろな人と協力して行動する力
7. 思いやややさしさなどの心
8. ルールや決まりを守ること
9. 自分で考え、決める力
10. 課題を見つけて解決する力
11. その他()

問7. あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか。(2つまで)

1. ものづくり・科学
2. 外国語教育(英語教育)
3. 学習用タブレットなどを使って、自分に合った内容やペースで学んだり、他の人と協力しながら学ぶ教育
4. 実際に見たり、体験する教育
5. 将来の仕事につながる教育
6. 外国の言葉や文化を学び、違いを認め合い共に生きていくこと
7. 地域の伝統、歴史
8. 運動・スポーツ
9. 音楽、美術等の芸術(アート)
10. その他()

問8. 将來の職業を考えるために、学校でどのようなことがあればよいと思いますか。(3つまで)

- (3つまで)
- | | | | | | | |
|--|----------------------------------|-------------------|-----------------------------------|--|-----------|----------|
| 1. いろいろな職業の人の話を聞く機会をつくる | 2. 自分がなりたい仕事をしている人の話を実際に聞く機会をつくる | 3. 職場体験などの機会を充実する | 4. 自分にどんな仕事が向いているのかをじっくり考える機会をつくる | 5. 仕事をするためにどんなことが大切で、どんな勉強をする必要があるのかを学ぶ() | 6. その他() | |
| 【問9~11の質問は、中学校に進学したときの状況をお答えください】 | | | | | | |
| 問9. 中学校に進学したときに、先生に気軽に相談しづらくなつたと思いましたか。(1つ) | 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |
| 問10. 中学校に進学したときに、授業が急に難しくなって大変だとしましたか。(1つ) | 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |
| 問11. 中学校に進学したときに、他の学校出身の子と仲良くなることに苦労しましたか。(1つ) | 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない | 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |
| 問12. 学校の給食に満足していますか。(1つ) | 1. 満足 | 2. (ほぼ)満足 | 3. どちらでもない | 4. やや不満 | 5. 不満 | 6. わからない |

【問12で「1、2」を選んだ人にお聞きします。】

問13.学校の給食のどのように満足していますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. おいしいから | 4. 栄養のバランスが取れているから |
| 2. みんなといつしょに食べられるから | 5. その他() |
| 3. いろいろなメニューがあるから | |

【問12で「3、4、5」を選んだ人にお聞きします。】

問14.学校の給食のどのようなことが不満ですか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. おいしくないから | 4. 時間が短いから |
| 2. みんな量が同じで、一人ひとりの状況 | 5. 給食のきまりが多いから |
| 3. 食べられなかったり、嫌いなもの | 6. アレルギーがあるから |
| (ばかりになる日があるから) | 7. 準備や片づけが大変だから |
| 8. その他() | |

問19.あなたは、学校以外で、1日にどのくらいスマートフォンやタブレット、パソコンを見ていますか。

①学校に行く日(1つ)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 使わない | 3. 2時間ぐらい | 5. 5~6時間ぐらい |
| 2. 1時間以下 | 4. 3~4時間ぐらい | 6. 7時間以上 |

②学校が休みの日(1つ)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 使わない | 3. 2時間ぐらい | 5. 5~6時間ぐらい |
| 2. 1時間以下 | 4. 3~4時間ぐらい | 6. 7時間以上 |

問20.地域の行事や活動にどの程度参加していますか。(1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. できる限り多く参加している | 3. (ほとんど)参加していない |
| 2. 時々参加している | 4. 参加していない |

2. 生活について

問15.自分には良いところがあると思いますか。(1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問16.あなたは家族と、学校のことや勉強のことについて、どのくらい会話しますか。(1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. よく会話する | 3. あまりしない |
| 2. 時々会話する | 4. まったくしない |

問17.学習塾や習い事(ピアノ、英会話、書道、サッカー、水泳など)に通っていますか。(1つ)

- | | |
|-----------|--|
| 1. 通っている | |
| 2. 通っていない | |

【問17で「1」を選んだ人にお聞きします。】

問18.週に何回通っていますか。(1つ)

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 週に5回以上 | 3. 週に3回 | 5. 週に1回以下 |
| 2. 週に4回 | 4. 週に2回 | |

問21.次のような地域の行事や活動などに参加していますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 子ども会 | 6. ボーイスカウト、ガールスカウト |
| 2. ジュニアクラブ | 7. 地域スポーツクラブ |
| 3. お祭りなどの地域行事 | 8. その他() |
| 4. ボランティア活動 | 9. どれも参加したことがない |
| 5. 废品回収などの環境美化活動 | |

問22.あなたが住んでいる地域では、地域の人が勉強やスポーツを教えてくれたり、自分が見守ってくれたりしていると感じますか。(1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 感じる | 3. あまり感じない |
| 2. 時々感じる | 4. 感じない |

3. 生涯学習について

※教科書や参考書、まんがや雑誌は除きます。

問23.学校以外で、どのくらい読書をしていますか。(1つ)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. (ほぼ)毎日 | 4. 月に1~2日 |
| 2. 週に3日以上 | 5. (ほとんど)読んでいない |
| 3. 週に1日ぐらい | |

問24. 中央図書館や交流館・コミュニケーションセンターの図書コーナーを1年間にどのくらい利用しますか。(1つ)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. だいたい週に4回以上 | 4. 年に数回程度 |
| 2. 週に1～3回程度 | 5. ほとんど、または、まったく行かない |
| 3. 月に1～3回程度 | |

4. 文化について

問25. あなたは、次のことについて、興味がありますか。(それぞれ1つ)

	とても興味がある	どちらかといえど興味がある	あまり興味がない	興味がない
①文化・芸術（アート）	1	2	3	4
②住んでいる地域の歴史・文化財※	1	2	3	4
③ちのづくり・科学・自然	1	2	3	4
④絵画	1	2	3	4

※文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

問26. コンサートや文化財など、出かけて行って文化・芸術（アート）の「鑑賞・見学」（豈田市外も含む）を、1年間に何回ぐらいしますか。(1つ)

※文化財とは、歴史的な建物、芸術品、天然記念物、祭りなどをさします。

※ホール・劇場・美術館・博物館・映画館・旅行などで直接鑑賞することが対象です。

※学校の授業や遠足などは含みません。

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 5回以上 | 2. 3～4回 | 3. 1～2回 | 4. 0回 |
|---------|---------|---------|-------|

問27. あなたは、次のどのようなことをしたいと思しますか。(3つまで)

1. 絵をかいたり、彫刻を作ったりする
2. 楽器を演奏したり、歌を歌つたりする
3. ダンスをする
4. 演劇をする
5. 茶道、書道、囲碁、将棋、かるたなど
6. 歌手などの音楽ライブやクラシックのコンサートを見る
7. ミュージカルや演劇を見る
8. 本物の絵や彫刻、写真などを見る
9. まちの歴史や、むかしのくらしの様子などを学んだり、体験する
10. 歌舞伎や能、狂言など、古くから伝わる日本の芸能を見る
11. その他（ ）
12. どれもしたいと思わない

5. スポーツについて

問28. あなたは、この1年間にどのくらい運動やスポーツをしましたか。(1つ)

※学校の体育の授業や行事は除きますが、学校の部活動や地域でのクラブ活動は含みます。 ※体操、ランニング、陸上、水泳、球技、武道、スキーキャンプ、ダンスなどを含みます。
1. ほぼ毎日
2. 週に3日以上
3. 週に1～2日
4. 月に1～3日
5. 月に1日より少ない

問29. 週28の運動やスポーツに公園での遊びなど軽い運動を加えると、どのくらいになりますか。(1つ)
1. ほぼ毎日
2. 週に3日以上
3. 週に1～2日
4. 月に1～3日
5. 月に1日より少ない

問30. この1年間に直接スポーツの試合・イベントなどを見たことがありますか。(あてはまるものすべて)
※体操、陸上、水泳、球技、武道、格闘技、ウインタースポーツ、ダンスなどを含みます。
1. プロや会社のスポーツチームの試合・イベント
2. 大学生・高校生の試合・イベント
3. 地域のスポーツ団体の試合・イベント
4. 部活動の試合・イベント
5. その他（ ）
6. 特にない

問30で「1」を選んだ人にお聞きします。】
問31. プロや会社のスポーツチームの試合を見たのは何のスポーツですか。(あてはまるものすべて)
1. 野球
2. サッカー
3. バレーボール
4. バスケットボール
5. テニス
6. 体操
7. 陸上・マラソン
8. ラグビー
10. その他（ ）

6. 豊田市について

問32. あなたたは、自分の住んでいる地域が好きですか。（1つ）

- 1. 好き
- 2. どちらかといえば好き
- 3. どちらかといえれば好きではない
- 4. 好きではない

小学5年生・中学2年生の保護者の皆様へ

豊田市の教育に関するアンケート調査

問33. 豊田市の教育や学校、文化・スポーツについて、意見などを自由に書いてください。

F 1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

F 2 あなたの年齢についてお答えください。（1つ）

- 1. 29歳以下
- 2. 30～39歳
- 3. 40～49歳
- 4. 50～59歳
- 5. 60～69歳
- 6. 70歳以上

F 3 この調査依頼を持ち帰ったお子さんとの続柄についてお答えください。（1つ）

- 1. 親
- 2. 兄姉
- 3. 祖父母
- 4. その他（ ）

F 4 この調査依頼を持ち帰ったお子さんの学校についてお答えください。（1つ）

- 1. 小学校
- 2. 中学校

★小学校対象

F5—1 この調査依頼を持ち帰ったお子さんの学校についてお答えください。

1. 青木	16. 大蔵	31. 佐切	46. 巴ヶ丘	61. 平井
2. 朝日	17. 大沼	32. 敷島	47. 豊松	62. 広川台
3. 足助	18. 大畑	33. 四郷	48. 中金	63. 平和
4. 飯野	19. 大林	34. 净水	49. 中山	64. 本城
5. 石畠	20. 小渡	35. 净水北	50. 西広瀬	65. 前山
6. 市木	21. 小原中部	36. 新盛	51. 西保見	66. 御歳
7. 五ヶ丘	22. 加納	37. 寿恵野	52. 根川	67. 御作
8. 五ヶ丘東	23. 上鷺見	38. 高嶺	53. 野見	68. 美山
9. 稲武	24. 九久平	39. 滝脇	54. 則定	69. 明和
10. 井上	25. 幸海	40. 竹村	55. 萩野	70. 元城
11. 伊保	26. 小清水	41. 土橋	56. 花山	71. 矢並
12. 岩倉	27. 古瀬間	42. 堤	57. 冷田	72. 山之手
13. 歆部	28. 駒場	43. 寺部	58. 東広瀬	73. 若園
14. 梅坪	29. 桧母	44. 道慈	59. 東保見	74. 若林西
15. 追分	30. 衣丘	45. 童子山	60. 東山	75. 若林東

1. 豊田市の学校教育について

問1. あなたのお子さん（この調査依頼を持ち帰ったお子さん）は、今の学校生活に満足していると思いますか。（1つ）

1. 満足
2. (ほぼ)満足
3. どちらでもない

問2. あなたは、学校が児童生徒のどのような力を伸ばすことによって一層力を入れる必要があると思いますか。（3つまで）

1. 基礎的な知識や技能
2. 自立心やたくましさ
3. 生きる指針や夢
4. 一人ひとりの個性
5. 創造力（アイデア、発想力）
11. その他（ ）

問3. 学校生活において、児童生徒一人ひとりに目が行き届いていると思いますか。（1つ）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらでもない

問4. 学校生活において、お子さんが多くの異なる友人と関係を築けていると思いますか。（1つ）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらでもない

★中学校対象

F5—2 この調査依頼を持ち帰ったお子さんの学校についてお答えください。

1. 逢妻	8. 梅平台	15. 未野原	22. 保見
2. 旭	9. 小原	16. 崇化館	23. 前林
3. 朝日丘	10. 上郷	17. 高岡	24. 益富
4. 足助	11. 猿投	18. 高橋	25. 松平
5. 井郷	12. 猿投台	19. 藤岡	26. 美里
6. 石野	13. 下山	20. 藤岡南	27. 竜神
7. 稲武	14. 净水	21. 豊南	28. 若園

★中学校対象

F5—3 この調査依頼を持ち帰ったお子さんの学校についてお答えください。

1. 逢妻	8. 梅平台	15. 未野原	22. 保見
2. 旭	9. 小原	16. 崇化館	23. 前林
3. 朝日丘	10. 上郷	17. 高岡	24. 益富
4. 足助	11. 猿投	18. 高橋	25. 松平
5. 井郷	12. 猿投台	19. 藤岡	26. 美里
6. 石野	13. 下山	20. 藤岡南	27. 竜神
7. 稲武	14. 净水	21. 豊南	28. 若園

問5. 学校生活において、お子さんが相手との関係を考えて関わる力（コミュニケーション能力）を十分に養えていると思いますか。（1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

問6. 学校生活の中において、お子さんが多様な意見や考え方方に触れる機会が十分にあると思いますか。（1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

問7. 学校の授業に満足していますか。（1つ）

- | | |
|------------|---------|
| 1. 満足 | 4. やや不満 |
| 2. ほぼ満足 | 5. 不満 |
| 3. どちらでもない | 6. わからぬ |

問8. 学校の教師にどのようなことを期待しますか。（2つまで）

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 子どもの気持ちを理解しようとすること | 6. 配慮が必要な子への個別の支援についての知識があること |
| 2. 専門的知識が豊富であったり、教育方
がうまいこと | 7. 保護者や地域と適切にコミュニケーションをとれるこ |
| 3. 子どもに対して厳しくしつけの
できること | 8. 幅広い経験を持つていること |
| 4. 子どもに対して信頼し、子どもの自主性を
尊重すること | 9. その他（ ） |

問9. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思いま
すか。（2つまで）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. ものづくり・科学 | 6. 國際化・多文化共生 |
| 2. 外国語教育（英語教育） | 7. 地域の伝統、歴史 |
| 3. I C T を活用した教育
(個人応じた学びや協働的学び) | 8. 運動・スポーツ |
| 4. 体験を重視した教育 | 9. 音楽、美術等の芸術（アート） |
| 5. キャリア教育（人生設計・職業体験） | 10. その他（ ） |

問10. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム※を推進するために、
どういったことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて）

- ※「インクルーシブ教育システム」：障がいのある子どもと障がいのない子どもが同じ場で共に学
ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の
場所を提供できるシステム
- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 学校の施設整備の拡充・充実 | 7. 就学相談機会の充実 |
| 2. 教員数の確保・増員 | 8. 教材・教具等の支援の充実 |
| 3. 支援人材の確保・増員 | 9. 少人数学級制の拡充 |
| 4. 教職員をはじめとする人材の専門性の確立 | 10. 関係機関の連携強化 |
| 5. インクルーシブ教育システム
についての理解啓発 | 11. 子ども同士の交流及び共同学習の充実 |
| 6. 多様性を理解する授業 | 12. その他（ ） |
| ①小学校 | 13. わからぬ |

問11. 少子化で児童生徒数が減少しています。子どもたちにとって適切な教育環境を保つ
ためには、1学年あたり最低でも何クラス必要だと思いますか。（1つ）

- | |
|----------------------------|
| 1. 複式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい |
| 2. 1クラス |
| 3. 2クラス |
| 4. 3クラス |
| 5. 4クラス以上 |

②中学校

1. 複式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
2. 1クラス
3. 2クラス
4. 3クラス
5. 4クラス
6. 5クラス
7. 6クラス
8. 7クラス以上

問12. 今後、少子化で児童生徒数がさらに減少していく場合、小規模校の対策の方法と

して、どのような取組を期待しますか。（あてはまるものすべて）

※ここでは、学校全体のクラス数が6クラス以下（特別支援学級を除く）になる学校を小規模校とします。

1. 他校との授業の合同実施
2. 他校との行事等の合同実施
3. I C Tを活用した遠隔授業の実施
4. 市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる（スクールバス無し）
5. 学校の統合を検討する
6. 小中連携や小中一貫教育を推進する[※]
7. 特色ある教育課程を編成するなど、魅力ある教育を追求する
8. 学校以外の施設と複合化し、地域住民とのつながりを深める
9. その他（ ）
10. 人数がどれだけ減少しても小規模校対策は必要ない

※小中連携：小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育
※小中一貫教育：小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

問13. 今後、児童生徒数が増加していく場合、大規模校の対策の方法として、どのような取組を期待しますか。（あてはまるものすべて）

※ここでは、学校全体のクラス数が19クラス以上（特別支援学級を除く）になる学校を大規模校とします。

1. 市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる（スクールバス無し）
2. 地域事情等を考慮しながら学区を見直して児童生徒数を適正化する
3. 教員を増員し、連携強化や学校運営を充実させる
4. 術員やスタッフ（校務支援員等）を増員し、連携強化や学校運営を充実させる
5. 学校の整備（増改築等）や教材教具を充実させる
6. 学校の分離新設をする
7. その他（ ）
8. 今後は児童生徒の減少が見込まれるため大規模校対策（は必要ない）

問14. お子さんの片道の通学時間はどのくらいですか。（1つ）

1. 15分未満
2. 15分～29分
3. 30分～44分
4. 45分～59分
5. 1時間以上

問15. お子さんの片道の通学時間についてどのように感じますか。（1つ）

1. 適当
2. 適当ではない
3. どちらともいえない

問16. あなたは、学校の給食に満足していますか。（1つ）

1. 満足
2. (ほぼ)満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. 不満
6. わからない

【問16で「1、2」と回答した方にお尋ねします。】

問17. 給食について、どのようなことに満足していますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 子どもが喜んでいるから
- 2. おいしそうだから
- 3. 栄養のバランスがとれているから
- 4. 食事や栄養の教育を行ってくれるから
- 5. アレルギーに対応しているから
- 6. 家事の手間が省けるから
- 7. その他（ ）

【問16で「3、4、5」と回答した方にお尋ねします。】

問18. 給食について、どのようなことが不満ですか。（あてはまるものすべて）

- 1. おいしくなさそうだから
- 2. みんな量が同じで、一人一人の状況に
- 3. 食べられなかつたり、嫌いなもの
- 4. 栄養のバランスがとれないから
- 5. アレルギーに十分対応していないから
- 6. その他（ ）

2. 地域ぐるみの教育について

問19. あなたには、お子さんと、学校での生活や学習の状況について話しますか。（1つ）

- 1. 1週間に何回か話す
- 2. 1か月に何回か話す
- 3. あまり話さない
- 4. ほとんど話さない

問20. 現在の暮らしみきについて、どのように感じていますか。（1つ）

- 1. ゆとりがある
- 2. ややゆとりがある
- 3. ふつう
- 4. やや苦しい
- 5. 苦しい

問21. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますか、何が原因だと思いますか。

か。（3つまで）

- 1. 親子のコミュニケーションが減っている
- 2. 子どもを甘やかしたり、干渉しそぎる
- 3. 教育に关心が低くなっている
- 4. しつけや教育の方法を親が十分にわかつていない
- 5. 小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている
- 6. 子どもが、お手伝いやいろいろ遊びなど、様々な体験をする機会が不足している
- 7. 少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている
- 8. 経済的な問題を抱える家庭が増えている
- 9. その他（ ）
- 10. 特に低下しているとは思わない

問22. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。（3つまで）

- 1. 大人が、他人の子どものことには無関心である
- 2. 他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある
- 3. 地域の大人と子どもが会う機会が少ない
- 4. 子どもが一人で遊ぶことが多い
- 5. 世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない
- 6. 隣近所の人とのコミュニケーションが少ない
- 7. 自治区やPTAなどの地域活動が活発ではない
- 8. 地域団体と学校の連携が不十分である
- 9. その他（ ）
- 10. 特に問題はない

問23. 家庭の教育について、どのように評価しますか。（1つ）

- 1. 満足
- 2. ほぼ満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 不満
- 6. わからない

問24. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと
思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで)

1. 基本的な生活習慣
2. 感情のコントロール（心の強さ）
3. 学力
4. 健康や体力
5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲
6. アイデアや新しいものを考え出す力
7. 相手の気持ちになつて考えることができる力
8. いろいろな人と協力する力
9. 美しいものや自然に感動する心
10. 夢や希望を持つこと
11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと
12. コミュニケーション能力
13. その他（ ）



※それぞれ番号を記入。同じ番号を2か所にご記入いただいても構いません。

家庭の役割	学校の役割	地域の役割

3. 文化・スポーツについて

問26.あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について、おさんと一緒に利用したいと思しますか。(あてはまるものすべて)

1. 美術館
2. 中央図書館・交流館図書室
3. 市民文化会館
4. コンサートホール・能楽堂
5. 博物館
6. 民芸館
7. 豊田スタジアム
8. スカイホール豊田
9. 青少年センター
10. 総合野外センター
11. コミュニティセンター・交流館
12. 地域文化広場
13. その他（ ）
14. 特に利用したいと思わない

問27. おさんには、芸術や文化財の鑑賞や見学をさせたり、文化活動（習い事やお稽古事を含む）を行わせたいと思ったときに、お困りのことはありますか。（3つまで）

1. 芸術や文化財に関する情報が少ない
2. 子ども(親子)向けの催し物が少ない
3. 子どもが関心を示す催し物が少ない
4. 入場料等の料金が高い
5. オンライン配信等で気軽に鑑賞・見学できる催し物が少ない
6. 子どもを気軽に連れていくける施設が少ないので楽しむ仲間がない
7. 子どもに鑑賞・見学できるものが少ない
8. 短時間の催し物や予約なしで鑑賞・見学できない
9. 一緒に楽しむ仲間がない
10. 親が連れていけない
11. その他（ ）
12. 子どもの興味がない
13. 特に問題はない

問25. 次のような行事・活動の中で、今後、おさんの通つている学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。(あてはまるものすべて)

1. PTA活動
2. 授業補助や放課後指導の支援
3. 部活動の指導・補助
4. 登下校など子どもの安全管理
5. 非行防止や生徒指導への協力
6. 学校行事への参加
7. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備
8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ
9. 学校の教育活動に対する意見・感想
10. 学校公開日や授業参観への参加
11. 学校外での地域活動体験の受け入れ・手伝い
12. 教室に行きにくさを感じている子の居場所での対応
13. その他（ ）
14. 特に協力や参加したいことはない

問28.お子さんが参加しやすい芸術や文化財の催し物や取組として、今後、充実していく
とよいと思うものは何ですか。（3つまで）

1. 子ども向け解説付きのコンサートや展示等の催し物
2. 入門講座や体験講座（ワークショップ）
3. 専門家や芸術家と接する機会がある催し物
4. まちの中、交流館、自然の中など文化施設外での催し物
5. 子どもによる文化・芸術活動を発表する機会
6. 専門家や芸術家が参加する授業
7. 授業として文化施設での展示や公演の鑑賞
8. 音楽・演劇などの学校公演
9. その他（ ）
10. 特にない

問29.あなたのお子さんは、この1年間に運動・スポーツを学校での体育の授業以外で、
どのようなところで取り組んでいますか。（あてはまるものすべて）

1. 学校の部活動、クラブ活動
2. 学校以外のスポーツ活動（市内）
3. 学校以外のスポーツ活動（市外）
4. 体育の授業以外では特に運動・スポーツを行っていない

4. 教育行政について

問30.あなたは、学校の教育方針や学校でのお子さんの様子などの情報を十分に得られて
いると思いますか。（1つ）

1. 十分に得られている
2. ある程度は得られている
3. あまり得られない
4. （ほとんど）得られない
5. わからない

問31.本市では、保護者やお子さんからの学校評価を各学校の運営に生かしていますが、
どのような課題があると思いますか。（3つまで）
例) 学校から保護者やお子さんにアンケート調査を実施して、その結果から学校運営の状況を確
認し、改善点を考えています。

1. この取組自体をよく知らない
2. アンケート調査で回答しづらい項目が多い
3. 調査結果がどのように活用されているかがわからぬ
4. 調査結果をもとに学校と保護者が一緒に考える機会がない
5. その他（ ）
6. 現状で十分で特に問題はない

問32.豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがありましたら、ご記入ください。

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査

問5. 学校生活の中において、児童生徒が多様な意見や考え方方に触れる機会があると思いますか。(1つ)

1. 小学校	2. 中学校
3. どちらでもない	

1. 豊田市の学校教育について

問1. あなたは、学校が、児童生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。(3つまで)

1. 基礎的な知識や技能	6. 様々な人と協力して行動する力
2. 自立心やましさ	7. 思いややりや優しさなどの心
3. 生きる指針や夢	8. ルールや決まりを守ること
4. 一人ひとりの個性	9. 自分で考え、判断する力
5. 創造力（アイデア、発想力）	10. 課題を見つけて解決する力
11. その他（ ）	

【問2～6の質問は、勤務校の児童生徒のことについてお答えください】
問2. 学校生活において、児童生徒一人ひとりに目が行き届いていると思いますか。(1つ)

1. そう思う	4. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	5. そう思わない
3. どちらでもない	

問3. 学校生活において、児童生徒が多くの異なる友人と関係を築けていると思いますか。(1つ)

1. そう思う	4. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	5. そう思わない
3. どちらでもない	

問4. 学校生活において、児童生徒が相手との関係を考えて関わる力（コミュニケーション能力）を十分に養えていると思いますか。(1つ)

1. そう思う	4. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	5. そう思わない
3. どちらでもない	

問6.ご自身の授業に対して、児童生徒の理解度はどの程度だと思いますか。(1つ)
※小学校では担当教科を平均してください。

1. (ほぼ)全員、理解していると思う	4. 半分以下しか、理解していないと思う
2. 8割程度、理解していると思う	5. わからない
3. 半分程度、理解していると思う	

問7.あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。(それぞれ1つ)
①十分な授業の準備をする
②子どもをよく理解する
③学級を円滑に運営する
④保護者と良好な関係をもつ
⑤職場で協力して個別の課題や学校運営に取り組む
⑥教員として必要な経験を積む
⑦特別な配慮が必要な子への支援

1. できている	2. できる	3. できない	どちらかといえばできない	どちらかといえばできない	できない
1	2	3	どちらかといえばできない	どちらかといえばできない	できない

問8. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するとよいと思いますか。(2つまで)

1. 物のづくり・科学	6. 國際化・多文化共生
2. 外国語教育（英語教育）	7. 地域の伝統、歴史
3. I C T を活用した教育	8. 運動・スポーツ
(個に応じた学びや協働的学び)	
4. 体験を重視した教育	9. 音楽、美術等の芸術（アート）
5. キャリア教育（人生設計・職業体験）	10. その他（ ）

問9. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム※を推進するために、どういったことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて）

※「インクルーシブ教育システム」：障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場所を提供できる仕組み。

1. 学校の施設整備の拡充・充実
2. 教員数の確保・増員
3. 支援人材の確保・増員
4. 教職員をはじめとする人材の専門性の確立
5. インクルーシブ教育システムについての理解啓発
6. 多様性を理解する授業
7. 就学相談機会の充実
8. 教材・教具等の支援の充実
9. 少人数学級制の拡充
10. 関係機関の連携強化
11. 子ども同士の交流及び共同学習の充実
12. その他（ ）
13. わからない

問10. 市内の外国人児童生徒への支援について、学校はどうのようなことに、力を入れたらよいと思いますか。（あてはまるものすべて）

1. 外国人児童生徒の日本語学習支援
2. 外国人児童生徒の生活支援
3. 外国人児童生徒へのキャリア教育支援
4. 保護者への支援（日本語の学習機会、通訳・翻訳支援、外国语表記など）
5. 外国人児童生徒の母国語を生かす機会をつくる
6. その他（ ）
7. 特にない

問12. 小中連携※や小中一貫教育※として、どのようなことに取り組んでいますか。

（あてはまるものすべて）

※小中連携…小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育

から中学校教育への中間的な接続を目指す様々な教育

※小中一貫教育…小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子ども像を共有し、9

年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

1. 義務教育9年間を通じた教育課程の編成
2. 教科担任制の導入（専科指導、学級担任間の授業交換、チームティーチング等）
3. 乗り入れ授業の実施（小→中、中→小、又は相互）
4. 行事の共同実施（児童会・生徒会活動、運動会・合唱コンクール等）
5. その他（ ）
6. 特に取り組んでいない

【小学校勤務の方にお尋ねします。】

問13. 少子化で児童生徒数が減少しています。小学校の学校規模について、1学年あたり最低でも何クラス必要だと思っていますか。

①児童生徒の学習環境や人間関係の構築の側面から（1つ）

1. 複式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
2. 1クラス
3. 2クラス
4. 3クラス
5. 4クラス以上

問11. 「中1ギャップ※」を抱えている生徒がいると思いませんか。（1つ）
※中1ギャップ…小学校から中学校へ進学する際に、新しい環境での学習や人間関係の変化がストレスとなり、様々な問題につながりやすいこと

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらでもない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

②教員の学年運営の側面から（1つ）

1. 複式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
2. 1クラス
3. 2クラス
4. 3クラス
5. 4クラス以上

[中学校勤務の方にお尋ねします。]

問14. 少子化で児童生徒数が減少しています。中学校の学校規模について、1学年あたり
最低でも何クラス必要だと思います。

①児童生徒の学習環境や人間関係の構築の側面から（1つ）

- 1. 多式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
- 2. 1クラス
- 3. 2クラス
- 4. 3クラス
- 5. 4クラス
- 6. 5クラス
- 7. 6クラス
- 8. 7クラス以上

②教員の学年運営の側面から（1つ）

- 1. 多式学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
- 2. 1クラス
- 3. 2クラス
- 4. 3クラス
- 5. 4クラス
- 6. 5クラス
- 7. 6クラス
- 8. 7クラス以上

問15. 今後、少子化で児童生徒数がさらに減少していく場合、小規模校の対策の方法として、どのような取組を期待しますか。（あてはまるものすべて）
※ここでは、学校全体のクラス数が6クラス以下（特別支援学級を除く）になる学校を小規模校とします。

1. 他校との授業の合同実施

2. 他校との行事等の合同実施

3. ICTを活用した遠隔授業の実施

4. 市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる（スクールバス無し）

5. 学校の統合を検討する

6. 小中連携や小中一貫教育を推進する

7. 特色ある教育課程を編成するなど、魅力ある教育を追求する

8. 学校以外の施設ご複合化し、地域住民とのつながりを深める

9. その他（ ）

10. 人数がどれだけ減少しても小規模校対策は必要ない

問16. 今後、児童生徒数が増加していく場合、大規模校の対策の方法として、どのような取組を期待しますか。（あてはまるものすべて）
※ここでは、学校全体のクラス数が19クラス以上（特別支援学級を除く）になる学校を大規模校とします。

1. 市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる（スクールバス無し）

2. 地域事情等を考慮しながら学区を見直して児童生徒数を適正化する

3. 教員を増員し、連携強化や学校運営を充実させる

4. 術員やスタッフ（校務支援員等）を増員し、連携強化や学校運営を充実させる

5. 学校の整備（増改築等）や教材教具を充実させる

6. 学校の分離新設をする

7. その他（ ）

8. 今後は児童生徒の減少が見込まれたため大規模校対策は必要ない

問17. 今後、どのような研修の充実を希望しますか。（3つまで）

- 1. 学級経営
- 2. 教科（道徳含む）の指導
- 3. 図書館教育
- 4. 生徒指導・生徒理解
- 5. 特別支援教育
- 6. 情報教育（コンピュータ等）
- 7. 國際理解教育・外国語教育
- 8. カウンセリング・コーチングの技術
- 9. 教員の倫理観の向上
- 10. 社会体験・企業体験
- 11. その他（ ）

2. 地域ぐるみの教育について

問18. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと思いますか。（特に重要なことをそれぞれ3つまで）

1. 基本的な生活習慣
2. 感情のコントロール（心の強さ）
3. 学力
4. 健康や体力
5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲
6. アイデアや新しいものを考え出す力
7. 相手の気持ちになって考えることができ
8. いろいろな人と協力する力
9. 美しいものや自然に感動する心
10. 夢や希望を持つこと
11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと
12. コミュニケーション能力
13. その他（ ）



家庭の役割	学校の役割	地域の役割

※それぞれ番号を記入。同じ番号を2か所に記入したい場合でも構いません。

問20. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。（3つまで）

1. 大人が、他人の子どものことには無関心である
2. 他の子どもを注意しづらい雰囲気がある
3. 地域の大人と子どもが会う機会が少ない
4. 子どもが一人で遊ぶことが多い
5. 世代の異なる子ども同士が遊ぶ機会が少ない
6. 隣近所の人とのコミュニケーションが少ない
7. 自治区やPTAなどの地域活動が活発ではない
8. 地域団体と学校の連携が不十分である
9. その他（ ）
10. 特に問題はない

問21. 家庭の教育について、どのように評価しますか。（1つ）

1. 満足
2. (ほぼ)満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満
6. わからない、

問22. 学校の教育について、保護者・地域住民にどのようなことを協力してほしいですか。（あてはまるものすべて）

1. PT A活動
2. 授業補助や放課後指導の支援
3. 中学校の部活動の指導・補助
4. 登下校など子どもの安全管理
5. 非行防止や生徒指導への協力
6. 学校行事への参加
7. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備
8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ
9. 学校の教育活動に対する意見・感想
10. 学校公開日や授業参観への参加
11. 学校外での地域活動体験の受け入れ・手伝い
12. 教室に行きにくさを感じている子の居場所での対応
13. その他（ ）
14. 特に協力してほしいことはない

問19. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、何が原因だと思いますか。（3つまで）

1. 親子のコミュニケーションが減っている
2. 子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる
3. 教育に関心が低くなっている
4. しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない
5. 小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている
6. 子どもが、お手伝いやいろいろな遊びなど、様々な体験をする機会が不足している
7. 少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている
8. 経済的な問題を抱えている家庭が増えている
9. その他（ ）
10. 特に低下しているとは思わない

3. 生涯学習について

問23.学校との連携に向けて、中央図書館がどのようなことに一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 団体貸出資料の充実
- 2. レファレンスサービス（知りたい情報への案内）の充実
- 3. 調べ学習の出前授業の充実
- 4. 調べ学習の教員向け研修の充実
- 5. その他（
特に連携したいと思わない）
- 6. 特に連携したいと思わない

4. 文化・スポーツについて

問24.あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について授業等で活用したい、連携したいと思いますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 美術館
- 2. 中央図書館・交流館図書室
- 3. 市民文化会館
- 4. コンサートホール・能楽堂
- 5. 博物館
- 6. 民芸館
- 7. 豊田スタジアム
- 8. スカイホール豊田
- 9. 青少年センター
- 10. 総合野外センター
- 11. コミニティセンター・交流館
(図書室を除く)
- 12. 地域文化広場
- 13. その他（
特に活用、連携したいと思わない）
- 14. 特に活用、連携したいと思わない

問25.博物館が学校と連携して、どのようなことに一層力をいれて取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 博物館の見学への対応の充実
- 2. 歴史・自然を体感するための体験学習の実施
- 3. 学芸員やボランティア等による学校での出前講座の開催
- 4. 学校への資料や教材の貸し出し
- 5. 社会科、理科の教師などとの合同研究(学習プログラムの作成を含む)
- 6. その他（
特に連携したいと思わない）
- 7. 特に連携したいと思わない

5. 教育行政について

問26.体育の授業や中学校の部活動以外で、業務時間外に地域のクラブなどでスポーツの指導（部活動地域指導含む）を行っていますか。（1つ）

- 1. 行っている
- 2. 現在は行っていないが、機会があれば指導を行いたい
- 3. 行っておらず、今後も行う意向はない

問27.あなたは、ご自身の職務について、どのくらい忙しいと感じていますか。（1つ）

- 1. （ほとんど毎日）忙しい
- 2. 忙しい日が多い
- 3. 忙しい日と余裕がある日がほぼ半々である
- 4. 忙しい日はそれほどない

問28.勤務時間中（7時間45分の中）に自分の裁量で使える時間（授業準備や学級事務など）が平均で1週間あたりどの程度ありますか。（1つ）

- 1. まったくない
- 2. （ほとんどない）（月に1～3時間程度）
- 3. 1～5時間
- 4. 6～10時間
- 5. 11～15時間
- 6. 16時間以上

問29.あなたの学校の職場環境として、どの程度あてはまりますか。
①自身の成長や挑戦の機会や場が提供されている。（1つ）

- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえばあてはまる
- 3. どちらでもない
- 4. どちらかといえばあてはまらない
- 5. あてはまらない

②上司に気軽に相談・会話できる。（1つ）

- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえばあてはまらない
- 3. どちらでもない
- 4. どちらかといえばあてはまらない
- 5. あてはまらない

③先輩、同僚や部下と気軽に相談・会話できる。（1つ）

- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえばあてはまる
- 3. どちらでもない
- 4. どちらかといえばあてはまらない
- 5. あてはまらない

問30. 教育委員会による、学校や教員への「子どもや保護者に対する専門的な支援」について、どのような内容の充実を望みますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 不登校・ひきこもり | 6. 家庭教育の相談 |
| 2. 発達障がい・特別支援教育 | 7. 家庭経済的な困窮に対する支援 |
| 3. 非行・暴力行為 | 8. その他() |
| 4. 保護者からの理不尽な要求 | 9. 特にない |
| 5. 在住外国人家族の支援 | |

問31. あなたの学校では、問題や課題に対して組織的な対応を行っていると思いますか。(1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問32. 豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがあればそちらに記入ください。

6. あなたご自身について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F2 あなたの年齢についてお答えください。(1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 4. 50～59歳 |
| 2. 30～39歳 | 5. 60歳以上 |
| 3. 40～49歳 | |

F3 あなたの通算の教職期間をお答えください。(1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| ※講師・再任用期間を含む。 | 1. 5年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| | 2. 5年以上10年未満 | 5. 30年以上 |
| | 3. 10年以上20年未満 | |

【小学校勤務の方にお尋ねします。】

F4-1 あなたの勤務する小学校をお答えください。(1つ)

- | | | | | |
|---------|----------|---------|---------|---------|
| 1. 青木 | 16. 大蔵 | 31. 佐切 | 46. 巴ケ丘 | 61. 平井 |
| 2. 朝日 | 17. 大沼 | 32. 敷島 | 47. 豊松 | 62. 広川台 |
| 3. 足助 | 18. 大畑 | 33. 四郷 | 48. 中金 | 63. 平和 |
| 4. 飯野 | 19. 大林 | 34. 净水 | 49. 中山 | 64. 本城 |
| 5. 石置 | 20. 小渡 | 35. 净水北 | 50. 西広瀬 | 65. 前山 |
| 6. 市木 | 21. 小原中部 | 36. 新盛 | 51. 西保見 | 66. 御藏 |
| 7. 五ヶ丘 | 22. 加納 | 37. 寿恵野 | 52. 根川 | 67. 御作 |
| 8. 五ヶ丘東 | 23. 上鷹見 | 38. 高瀬 | 53. 野見 | 68. 美山 |
| 9. 稲武 | 24. 九久平 | 39. 滝脇 | 54. 則定 | 69. 明和 |
| 10. 井上 | 25. 幸海 | 40. 竹村 | 55. 秋野 | 70. 元城 |
| 11. 伊保 | 26. 小清水 | 41. 土橋 | 56. 花山 | 71. 矢並 |
| 12. 岩倉 | 27. 古瀬間 | 42. 堤 | 57. 冷田 | 72. 山之手 |
| 13. 故部 | 28. 駒場 | 43. 寺部 | 58. 東広瀬 | 73. 若園 |
| 14. 梅平 | 29. 拳母 | 44. 道慈 | 59. 東保見 | 74. 若林西 |
| 15. 追分 | 30. 衣丘 | 45. 童子山 | 60. 東山 | 75. 若林東 |

【中学校勤務の方にお尋ねします。】

F4-2 あなたの勤務する中学校をお答えください。(1つ)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 逢妻 | 8. 梅坪台 | 15. 末野原 | 22. 保見 |
| 2. 旭 | 9. 小原 | 16. 崇化館 | 23. 前林 |
| 3. 朝日丘 | 10. 上郷 | 17. 高岡 | 24. 益富 |
| 4. 足助 | 11. 猿投 | 18. 高橋 | 25. 松平 |
| 5. 井郷 | 12. 猿投台 | 19. 藤岡 | 26. 美里 |
| 6. 石野 | 13. 下山 | 20. 藤岡南 | 27. 竜神 |
| 7. 稲武 | 14. 净水 | 21. 豊南 | 28. 若園 |

【中学校勤務の方にお尋ねします。】

F5 担当教科（1つ）

- | | | |
|-------|----------|------------|
| 1. 国語 | 5. 音楽 | 9. 英語 |
| 2. 社会 | 6. 美術 | 10. 養護 |
| 3. 数学 | 7. 保健体育 | 11. その他（ ） |
| 4. 理科 | 8. 技術・家庭 | |

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

校長・教頭の皆様へ

豊田市の教育に関するアンケート調査

あなたの勤務先をお答えください。（1つ）

- | | |
|--------|--------|
| 1. 小学校 | 2. 中学校 |
|--------|--------|

1. 豊田市の学校教育について

問1. あなたは、学校が、児童生徒のどのような力を伸ばすことに一層力を入れる必要があると思いますか。（3つまで）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 基礎的な知識や技能 | 6. 様々な人と協力して行動する力 |
| 2. 自立いやたくましさ | 7. 思いややりや優しさなどの心 |
| 3. 生きる指針や夢 | 8. ルールや決まりを守ること |
| 4. 一人ひとりの個性 | 9. 自分で考え、判断する力 |
| 5. 創造力（アイデア、発想力） | 10. 課題を見つけて解決する力 |
| 11. その他（ ） | |

【問2～5の質問は、勤務校の児童生徒のことについてお答えください。】

問2. 学校生活において、児童生徒一人ひとりに目が行き届いていると思いますか。（1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

問3. 学校生活において、児童生徒が多く異なる友人と関係を築けていると思いますか。（1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

問4. 学校生活において、児童生徒が相手との関係を考えて関わる力（コミュニケーション能力）を十分に養えていると思いますか。（1つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

問5. 学校生活の中において、児童生徒が多様な意見や考え方方に触れる機会が十分にあると思いますか。(1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

問6. あなたの学校（教員）は、次のことについて、どの程度できていると思われますか。（それぞれ1つ）

	できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできない	できない
①十分な授業の準備をする	1	2	3	4
②子どもをよく理解する	1	2	3	4
③学級を円滑に運営する	1	2	3	4
④保護者と良好な関係をもつ	1	2	3	4
⑤職場で協力して個別の課題や学校運営に取り組む	1	2	3	4
⑥教員として必要な経験を積む	1	2	3	4
⑦特別な配慮が必要な子への支援	1	2	3	4

問7. 豊田市の特色のある教育として、どのような分野を重点的に実施するといふと思いますか。(2つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. ものづくり・科学 | 6. 国際化・多文化共生 |
| 2. 外国語教育（英語教育） | 7. 地域の伝統、歴史 |
| 3. ICTを活用した教育 | 8. 運動・スポーツ |
| （個に応じた学びや協働的学び） | 9. 音楽、美術等の芸術（アート） |
| 4. 体験を重視した教育 | 10. その他（ ） |
| 5. キャリア教育（人生設計・職業体験） | |

問8. 今後、共生社会の実現に向けてインクルーシブ教育システム※を推進するために、どういったことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて）

※「インクルーシブ教育システム」：障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶことを追求するとともに、障がいのある子どもが望む教育を受けられるように、多様な学習の場所を提供できる仕組み。

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 学校の施設整備の拡充・充実 | 7. 就学相談機会の充実 |
| 2. 教員数の確保・増員 | 8. 教材・教具等の支援の充実 |
| 3. 支援人材の確保・増員 | 9. 少人数学級制の拡充 |
| 4. 教職員をはじめとする人材の専門性の確立 | 10. 関係機関の連携強化 |
| 5. インクルーシブ教育システムについての理解啓発 | 11. 子ども同士の交流及び共同学習の充実 |
| 6. 多様性を理解する授業 | 12. その他（ ） |
| | 13. わからぬ |

問9. 市内の外国人児童生徒への支援について、学校はどうなごとに、力を入れたらよいと思いますか。（あてはまるものすべて）

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 外国人児童生徒の日本語学習支援 | 1. 外国人児童生徒の日本語学習支援 |
| 2. 外国人児童生徒の生活支援 | 2. 外国人児童生徒の生活支援 |
| 3. 外国人児童生徒へのキャリア教育支援 | 3. 外国人児童生徒へのキャリア教育支援 |
| 4. 保護者への支援（日本語の学習機会、通訳・翻訳支援、外国語表記など） | 4. 保護者への支援（日本語の学習機会、通訳・翻訳支援、外国語表記など） |
| 5. 外国人児童生徒の母国語を生かす機会をつくる | 5. 外国人児童生徒の母国語を生かす機会をつくる |
| 6. その他（ ） | 6. その他（ ） |
| 7. 特にない | 7. 特にない |

問10. 「中1ギャップ※」を抱えている生徒がいると思いますか。(1つ)
※中1ギャップ…小学校から中学校へ進学する際に、新しい環境での学習や人間関係の変化がストレスとなり、様々な問題につながりやすいこと

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらでもない | |

問11. 小中連携※や小中一貫教育※として、どのようなことに取り組んでいますか。

(あてはまるものすべて)

※小中連携…小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育

から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

※小中一貫教育…小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

1. 義務教育 9年間を通じた教育課程の編成
2. 教科担任制の導入（専科指導、学校担任間の授業交換、チームティーチング等）
3. 乗り入れ授業の実施（小→中、中→小、又は相互）
4. 行事の共同実施（児童会・生徒会活動、運動会・合唱コンクール等）
5. その他（ ）
6. 特に取り組んでいない

【中学校勤務の方にお尋ねします。】

問13. 少子化で児童生徒数が減少しています。中学校の学校規模について、1学年あたり最低でも何クラス必要だと思いますか。

①児童生徒の学習環境や人間関係の構築の側面から（1つ）

1. 漢字学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
2. 1クラス
3. 2クラス
4. 3クラス
5. 4クラス
6. 5クラス
7. 6クラス
8. 7クラス以上

【小学校勤務の方にお尋ねします。】

問12. 少子化で児童生徒数が減少しています。小学校の学校規模について、1学年あたり最低でも何クラス必要だと思いますか。

①児童生徒の学習環境や人間関係の構築の側面から（1つ）

1. 漢字学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
2. 1クラス
3. 2クラス
4. 3クラス
5. 4クラス
6. 5クラス
7. 6クラス
8. 7クラス以上

②教員の学年運営の側面から（1つ）

1. 漢字学級（例 1・2年生が合同クラス）でもよい
2. 1クラス
3. 2クラス
4. 3クラス
5. 4クラス以上

問14. 今後、少子化で児童生徒数がさらに減少していく場合、小規模校の対策の方法として、どのような取組を期待しますか。(あてはまるものすべて)
※ここでは、学校全体のクラス数が6クラス以下(特別支援学級を除く)になる学校を小規模校とします。

1. 他校との授業の合同実施
2. 他校との行事等の合同実施
3. I C Tを活用した遠隔授業の実施
4. 市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる(スクールバス無し)
5. 学校の統合を検討する
6. 小中連携や小中一貫教育を推進する
7. 特色ある教育課程を編成するなど、魅力ある教育を追求する
8. 学校以外の施設と複合化し、地域住民とのつながりを深める
9. その他()
10. 人数がどれだけ減少しても小規模校対策は必要ない

問15. 今後、児童生徒数が増加していく場合、大規模校の対策の方法として、どのような取組を期待しますか。(あてはまるものすべて)
※ここでは、学校全体のクラス数が19クラス以上(特別支援学級を除く)になる学校を大規模校とします。

1. 市内のどこでも、通学する学校を自由に選べる(スクールバス無し)
2. 地域事情等を考慮しながら学区を見直して児童生徒数を適正化する
3. 教員を増員し、連携強化や学校運営を充実させる
4. 补助員やスタッフ(校務支援員等)を増員し、連携強化や学校運営を充実させる
5. 学校の整備(増改築等)や教材教具を充実させる
6. 学校の分離新設をする
7. その他()
8. 今後は児童生徒の減少が見込まれるため大規模校対策は必要ない

問16. 今後、どのような研修の充実を希望しますか。(3つまで)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 学級経営 | 7. 國際理解教育・外国語教育 |
| 2. 教科(道徳含む)の指導 | 8. カウンセリング・コーチングの技術 |
| 3. 図書館教育 | 9. 教員の倫理観の向上 |
| 4. 生徒指導・生徒理解 | 10. 社会体験・企業体験 |
| 5. 特別支援教育 | 11. その他() |
| 6. 情報教育(コンピュータ等) | |

問17. 学校運営について、どのように特に課題を感じていますか。(5つまで)

- | |
|--|
| 1. 児童生徒の基礎学力が低下している |
| 2. 児童生徒の基礎体力が低下している |
| 3. 生活指導の必要な児童生徒が増えている |
| 4. いじめ、暴力行為などの問題行動が増えている |
| 5. 不登校の児童生徒が増えている |
| 6. 指導力が十分でない教員が増えている |
| 7. 教職員に学習指導以外の仕事が多く、指導力の向上に十分な時間が得られない |
| 8. 教職員間の職務分担や情報共有が不十分である |
| 9. 保護者や地域の要望が複雑になり、対応が難しくなっている |
| 10. 保護者や地域の要望や意見を聞く機会がない・少ない |
| 11. 学校運営に関する客観的な評価を得られる機会がない・少ない |
| 12. 施設の安全性や情報セキュリティなど安全面に不安がある |
| 13. その他() |

2. 地域ぐるみの教育について

- 問18. 家庭、学校、地域は、それぞれ、子どものどのようなところを育てていくべきだと思いますか。(特に重要なことをそれぞれ3つまで)
- 1. 基本的な生活習慣
 - 2. 感情のコントロール（心の強さ）
 - 3. 学力
 - 4. 健康や体力
 - 5. 自分から進んで取り組む気持ちや新しいことにチャレンジする意欲
 - 6. アイデアや新しいものを考え出す力
 - 7. 相手の気持ちになって考えることができる力
 - 8. いろいろな人と協力する力
 - 9. 美しいものや自然に感動する心
 - 10. 夢や希望を持つこと
 - 11. 郷土愛や地域の伝統文化を受け継ぐこと
 - 12. コミュニケーション能力
 - 13. その他（ ）



※それぞれ番号を記入。同じ番号を2か所に記入したい場合でも構いません。

家庭の役割	学校の役割	地域の役割

問19. 家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、何が原因だと思いますか。(3つまで)

- 1. 親子のコミュニケーションが減っている
- 2. 子どもを甘やかしたり、干渉しすぎる
- 3. 教育に関心が低くなっている
- 4. しつけや教育の方法を親が十分にわかっていない
- 5. 小さい頃から受験勉強や塾通いに偏った教育をしている
- 6. 子どもが、お手伝いやいろいろな遊びなど、様々な体験をする機会が不足している
- 7. 少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている
- 8. 経済的な問題を抱えている家庭が増えている
- 9. その他（ ）
- 10. 特に低下しているとは思わない

問20. 地域の教育力について、どのような課題があると思いますか。(3つまで)

- 1. 大人が、他人の子どものことに無関心である
- 2. 他人の子どもを注意しづらい雰囲気がある
- 3. 地域の大人口と子どもが会う機会が少ない
- 4. 子どもが一人で遊ぶことが多い
- 5. 世代の異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない
- 6. 隣近所の人とのコミュニケーションが少ない
- 7. 自治区やPTAなどの地域活動が活発ではない
- 8. 地域団体と学校の連携が不十分である
- 9. その他（ ）
- 10. 特に問題はない

問21. 家庭の教育について、どのように評価しますか。(1つ)

- 1. 満足
- 2. (ほぼ)満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 不満
- 6. わからない

問22. 学校の教育について、保護者・地域住民にどのようなことを協力してほしいですか。(あてはまるものすべて)

- 1. PTA活動
- 2. 授業補助や放課後指導の支援
- 3. 中学校の部活動の指導・補助
- 4. 登下校など子どもの安全管理
- 5. 非行防止や生徒指導への協力
- 6. 学校行事への参加
- 7. 花壇の手入れや校内清掃など学校の環境整備
- 8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ
- 9. 学校の教育活動に対する意見・感想
- 10. 学校公開日や授業参観への参加
- 11. 学校外での地域活動体験の受け入れ・手伝い
- 12. 教室に行きにくさを感じている子の居場所での対応
- 13. その他（ ）
- 14. 特に協力してほしいことはない

3. 生涯学習について

問23. 学校との連携に向けて、中央図書館がどのようなことに一層力を入れて取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 団体貸出資料の充実
- 2. レファレンスサービス（知りたい情報への案内）の充実
- 3. 調べ学習の出前授業の充実
- 4. 調べ学習の教員向け研修の充実
- 5. その他（ ）
- 6. 特に連携したいと思わない

4. 文化・スポーツについて

問24. あなたは、次の市内の文化・スポーツ等の施設について授業等で活用したい、連携したいと思いますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 美術館
- 2. 中央図書館・交流館図書室
- 3. 市民文化会館
- 4. コンサートホール・能楽堂
- 5. 博物館
- 6. 民芸館
- 7. 豊田スタジアム
- 8. スカイホール豊田
- 9. 青少年センター
- 10. 総合野外センター
- 11. コミュニティセンター・交流館
(図書室を除く)
- 12. 地域文化広場
- 13. その他（ ）
- 14. 特に活用、連携したいと思わない

問25. 博物館が学校と連携して、どのようなことに一層力をいれて取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 博物館の見学への対応の充実
- 2. 歴史・自然を体感するための体験学習の実施
- 3. 学芸員やボランティア等による学校での出前講座の開催
- 4. 学校への資料や教材の貸し出し
- 5. 社会科、理科の教師などとの合同研究(学習プログラムの作成を含む)
- 6. その他（ ）
- 7. 特に連携したいと思わない

5. 教育行政について

問26. あなたの学校の職場環境として、どの程度あてはまりますか。

①教職員に成長や挑戦の機会や場が提供できている。（1つ）

- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえばあてはまる
- 3. どちらでもない
- 4. どちらかといえばあてはまらない
- 5. あてはまらない

②先輩、同僚や部下と気軽に相談・会話できる。（1つ）

- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえばあてはまる
- 3. どちらでもない
- 4. どちらかといえばあてはまらない
- 5. あてはまらない

問27. 教育委員会による、学校や教員への「子どもや保護者に対する専門的な支援」について、どのような内容の充実を望みますか。（あてはまるものすべて）

- 1. 不登校・ひきこもり
- 2. 発達障がい・特別支援教育
- 3. 非行・暴力行為
- 4. 保護者からの理不尽な要求
- 5. 在住外国人家族の支援
- 6. 家庭教育の相談
- 7. 家庭の経済的な困難に対する支援
- 8. その他（ ）
- 9. 特にない

問28. あなたの学校では、問題や課題に対して組織的な対応を行っていると思しますか。（1つ）

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

問29. 豊田市の教育行政について、ご意見・ご希望などがありましたら、ご記入ください。

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.

6. あなたご自身について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

F2 あなたの年齢についてお答えください。(1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 4. 50～59歳 |
| 2. 30～39歳 | 5. 60歳以上 |
| 3. 40～49歳 | |

F3 あなたの通算の職位期間をお答えください。(1つ)

※講師・再任用期間を含む。

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年以上4年未満 | 3. 4年以上 |
|---------|-------------|---------|

【小学校勤務の方にお尋ねします。】

F4-1 あなたの勤務する小学校をお答えください。(1つ)

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 青木 | 20. 小渡 | 39. 滝脇 | 58. 東広瀬 |
| 2. 朝日 | 21. 小原中部 | 40. 竹村 | 59. 東保見 |
| 3. 足助 | 22. 加納 | 41. 土橋 | 60. 東山 |
| 4. 飯野 | 23. 上鷹見 | 42. 堤 | 61. 平井 |
| 5. 石置 | 24. 久平 | 43. 寺部 | 62. 広川台 |
| 6. 市木 | 25. 幸海 | 44. 道慈 | 63. 平和 |
| 7. 五ヶ丘 | 26. 小清水 | 45. 童子山 | 64. 本城 |
| 8. 五ヶ丘東 | 27. 古瀬間 | 46. 巴ヶ丘 | 65. 前山 |
| 9. 稲武 | 28. 駒場 | 47. 豊松 | 66. 御威 |
| 10. 井上 | 29. 桧母 | 48. 中金 | 67. 御作 |
| 11. 伊保 | 30. 衣丘 | 49. 中山 | 68. 美山 |
| 12. 岩倉 | 31. 佐切 | 50. 西広瀬 | 69. 明和 |
| 13. 故部 | 32. 敷島 | 51. 西保見 | 70. 元城 |
| 14. 梅坪 | 33. 四郷 | 52. 根川 | 71. 矢並 |
| 15. 追分 | 34. 清水 | 53. 野見 | 72. 山之手 |
| 16. 大蔵 | 35. 清水北 | 54. 則定 | 73. 若園 |
| 17. 大沼 | 36. 新盛 | 55. 萩野 | 74. 若林西 |
| 18. 大畑 | 37. 寿恵野 | 56. 花山 | 75. 若林東 |
| 19. 大林 | 38. 高嶺 | 57. 冷田 | |

【中学校勤務の方にお尋ねします。】

F4-2 あなたの勤務する中学校をお答えください。(1つ)

- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 逢妻 | 8. 梅平台 | 15. 末野原 | 22. 保見 |
| 2. 旭 | 9. 小原 | 16. 崇化館 | 23. 前林 |
| 3. 朝日丘 | 10. 上郷 | 17. 高岡 | 24. 益富 |
| 4. 足助 | 11. 猿投 | 18. 高橋 | 25. 松平 |
| 5. 井郷 | 12. 猿投台 | 19. 藤岡 | 26. 美里 |
| 6. 石野 | 13. 下山 | 20. 藤岡南 | 27. 竜神 |
| 7. 稲武 | 14. 清水 | 21. 豊南 | 28. 若園 |

これでアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

豊田市の教育に関するアンケート調査報告書

令和7年3月
豊田市教育委員会
〒471-8501 豊田市西町三丁目 60 番地
